

令和6年度 静岡県多文化共生基礎調査
(日本人調査・外国人調査)
報告書

2024年(令和6年)12月

静岡県
地域外交局 多文化共生課

目次

I. 調査の趣旨と実施方法	1
1 調査の目的	1
2 調査の概要	1
(1) 調査の対象者	1
(2) 調査項目	2
(3) 回収結果	2
(4) 報告書内のデータ記述について	3
(5) 調査の受託者	3
II. 日本人調査結果	5
1 日本人調査の経年比較に関する注意事項	5
2 日本人調査結果	6
(1) 対象者の性別	6
(2) 対象者の年齢	6
(3) 対象者の居住する市	7
(4) 外国人と付き合いがあるか	8
(5) 地域で暮らす外国人に親しみを感ずるか	9
(6) 「やさしい日本語」を知っているか	10
(7) 日本語教育推進に関する法律を知っているか	11
(8) 多文化共生に関する意見について	12
(9) まわりで外国人に対する差別があると感ずるか	13
(10) ともに暮らしやすい地域社会にしていくために行政が力を入れるべき取組	15
(11) 外国人住民が増加することによる影響について	16
III. 外国人調査結果	19
1 外国人調査の経年比較に関する注意事項	19
2 外国人調査結果	20
(1) 対象者の性別	20
(2) 対象者の年齢	20
(3) 対象者の国籍	21
(4) 対象者の在留資格	22
(5) 日本での通算滞在年数	23
(6) 今後の滞在予定年数	24
(7) 対象者の居住する市	26
(8) 一緒に住んでいる人	26
(9) 今後、来日して一緒に暮らす予定の人	27
(10) 日本人と付き合いがあるか	28
(11) 地域で暮らす日本人に親しみを感ずるか	29
(12) 日本人から差別されていると感ずることがあるか	33
(13) どんな時に日本人から差別されていると感ずるか	35
(14) 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるためにしたいこと	36
(15) 日本語がどのくらいできるか	37
(16) 現在の日本語の学習状況	48
(17) どうやって日本語を学んでいるか	51
(18) 日本語を学んでいる理由	51
(19) 日本語を学ぶ意欲	52
(20) 現在、日本語を学んでいない理由	52
(21) どのような環境があれば日本語を学びたいか	53
(22) 日本語の使用状況	54
(23) 日本語が不自由なために困ったこと	55
(24) 日本語学習の6パターン	56
(25) 生活に関する情報をどのように入手しているか	59

(26) 災害時における情報入手方法	61
(27) 災害に備えて、どのような準備をしているか	63
(28) 地域の犯罪を減らすために必要なこと	64
(29) 日本の自転車のルールについて知っていること	65
(30) 困ったときの相談先	65
(31) 老後の貯金について	66
(32) 老後の貯金額	67
(33) 日本での健康保険への加入状況	68
(34) 健康保険に加入していない理由	69
(35) 日本での年金への加入状況	70
(36) 年金に加入していない理由	71
(37) 介護保険サービスを使った経験	72
(38) 介護保険サービスを使ったことがない理由	73
(39) 病気やけがをした時に困ったこと	74
(40) 同居している6～15歳の子ども的人数	75
(41) 同居している一番上の子どもが最もよく話せる言語	76
(42) 同居している一番上の子どもが日本語以外で最もよく話せる言語	77
(43) 同居している一番上の子どもが勉強で困っていること	77
(44) 日本に住んでいる16歳～29歳の子どもの有無	78
(45) 16歳～29歳の子どもの就学状況・最終学歴	79
(46) 16歳～29歳で来日した子どもの有無	79
(47) 16歳～29歳の子どもは日本語をどのように学んだか	81
(48) ふじのくに中学校（夜間中学）が、静岡県内にあることを知っているか	82
(49) 子どもの将来についてどのように考えているか	82
(50) 子どもの教育について、困っていること、困った経験をしたこと	85
(51) 団体や行事に参加した経験	86
(52) 現在の就業形態	89
(53) 現在の就業形態を選んだ理由	91
(54) 今の就業形態に満足しているか	92
(55) 現在の仕事の内容	93
(56) 職場で活躍するために希望すること	96
(57) 外国人が静岡県で就職・就労するときの課題	97
(58) 静岡県に住んでいる理由	98
(59) 市や県に望む行政サービス	99
IV. 日本人調査と外国人調査の比較	101
(1) 性別	101
(2) 年齢	101
(3) 居住する市	102
(4) 地域で暮らす外国人（日本人）に親しみを感じるか	102
(5) 外国人に対する差別があると感じるか（日本人から差別されていると感じるか）	103
V. 集計表（単純集計表）	105
1 日本人調査単純集計表	105
2 外国人調査単純集計表	109

I. 調査の趣旨と実施方法

I. 調査の趣旨と実施方法

1 調査の目的

静岡県内に在住する様々な国籍の外国人及び日本人を対象に、生活・就労等の実態や、外国人との共生に関する意識等を調査し、静岡県多文化共生推進基本計画策定の基礎資料とすることを目的とした。

2 調査の概要

(1) 調査の対象者

1) 対象者等

区 分	内 容
対象者	県内に居住する 16 歳以上の日本人及び外国人
対象市	静岡市、浜松市、富士市、磐田市、焼津市 計 5 市
外国人の国籍	2023 年（令和 5 年）6 月末現在の県内の上位 8 か国 （ブラジル、フィリピン、ベトナム、中国、インドネシア、ペルー、韓国、ネパール）
抽出数	対象市の住民基本台帳から、16 歳以上の日本人 1,000 人及び外国人 4,000 人、計 5,000 人を無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収（オンラインによる回収併用）
調査票の種類	・日本人には、通常の日本語版を送付 ・外国人には、各国の母国語版と「やさしい日本語」版の 2 部を送付 ※ 日本人、外国人ともにオンライン回答用の QR コードを調査票に掲載し、どちらかで回答
調査時期	2024 年（令和 6 年）7 月～8 月

2) 市別対象者数

	ブラジル	フィリピン	ベトナム	中国	インドネシア	ペルー	韓国	ネパール	外国人合計	日本人
静岡市	270	159	139	84	41	40	36	35	804	200
浜松市	270	158	139	84	41	40	36	35	803	200
富士市	269	158	138	84	41	40	35	35	800	200
磐田市	269	158	138	83	40	40	35	34	797	200
焼津市	269	158	138	83	40	39	35	34	796	200
合計	1,347	791	692	418	203	199	177	173	4,000	1,000

※ 外国人の国籍別人数の割り当てについては県内人口比とし、各市には人数を均等に割り当てた。

※ 日本人は、各市に均等に割り当てた。

(2) 調査項目

1) 日本人調査項目

基本属性	性別、年齢、居住市
多文化共生に関わること	外国人との付き合い、外国人への親しみ、「やさしい日本語」の認知度、日本語教育推進に関する法律の認知度、多文化共生に関する意見、外国人に対する差別の意識、行政の取り組むべき課題、外国人増加の影響

2) 外国人調査項目

基本属性	性別、年齢、国籍、在留資格
日本での生活	日本での通算滞在年数、今後の滞在予定年数、居住市、一緒に住んでいる人、今後一緒に暮らす予定の人
日本人との関係	日本人との付き合い、日本人への親しみ、被差別意識、相互理解のために外国人がすべきこと
日本語の能力・学習	自身の日本語の能力、日本語の学習について（学習方法、学ぶ理由・学ばない理由、学ぶ意欲、学ぶための環境）
日本語の使用状況	日本語を使う場面、日本語が不自由なため困った経験、生活情報の入手方法
防災・防犯	災害時における情報の入手方法、災害への備え、地域の治安・防犯、自転車のルール認知
社会との関係	困ったときの相談先、老後のための貯金、健康保険・年金への加入状況、介護保険サービスの利用状況、病気やけがをした時に困ったこと
子どものこと	同居している6～15歳の子どもについて（人数、最もよく話せる言語、勉強で困っていること）、日本に住んでいる16～29歳の子どもについて（子どもの有無、就学状況、16～29歳で来日した子どもの有無、日本語の学習方法）、ふじのくに中学校の認知度、子どもの将来、子どもの教育で困ったこと
社会参加	団体や行事への参加
現在の仕事	現在の就業形態、仕事の内容、職場で活躍するために希望すること、静岡県で就職・就労するときの課題
行政への要望	静岡県に住んでいる理由、市や県に望む行政サービス

(3) 回収結果

1) 日本人調査

発送数	オンライン回収		郵送回収		回収数計		回収率 (%)		郵便不達	
	回収数	有効回収数	回収数	有効回収数	回収数	有効回収数	回収率	有効回収率	不達数	不達率 (%)
1,000	200	199	333	329	533	528	53.3	52.8	11	1.1

※「有効回収数」は、回収されたが回答がない、または極端に少ない票を除いた数。

2) 外国人調査

発送数	オンライン回収		郵送回収		回収数計		回収率 (%)		郵便不達	
	回収数	有効回収数	回収数	有効回収数	回収数	有効回収数	回収率	有効回収率	不達数	不達率 (%)
4,000	749	747	720	720	1,469	1,467	36.7	36.7	64	1.6

外国人調査の回答言語別内訳（有効票数）

	発送数	オンライン 回収数	郵送回収数	回収数計 (有効票)	有効回収率 (%)
ポルトガル語	1,347	165	182	347	25.8
フィリピン語	791	136	146	282	35.7
ベトナム語	692	128	34	162	23.4
中国語	418	49	33	82	19.6
インドネシア語	203	61	30	91	44.8
スペイン語	199	14	24	38	19.1
韓国語	177	4	19	23	13.0
ネパール語	173	19	18	37	21.4
やさしい日本語※	(4,000)	171	234	405	10.1
合計	4,000	747	720	1,467	36.7

※ 外国人調査は各国の母国語版と「やさしい日本語」版の2部送付。

(4) 報告書内のデータ記述について

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が100%にならないことがある。
 - ・基数となる実数は図表中に（n=）として記載した。比率はこの基数を100%として算出した。
 - ・質問の選択肢から複数の回答を認めている場合、比率の合計は100%を超える。
 - ・複数の選択肢をまとめた変数は『』（二重鉤括弧）で示す。
 - ・国籍などの属性別で回答数が10に満たないものは、図表に表示して、コメントから除外している場合がある（外国人調査結果の国籍別における「二重国籍」n=3など）。
 - ・本報告書作成にあたって、静岡県が過去に実施した2つの調査と可能な範囲で経年比較を行った。
 - ① 2016（平成28）年度 静岡県多文化共生に関する基礎調査
 - ② 2020（令和2）年度 静岡県多文化共生基礎調査
- なお、各グラフにおいて該当年度に設問がないものは、数値を表示していない。

(5) 調査の受託者

株式会社サーベイリサーチセンター 静岡事務所

II. 日本人調査結果

II. 日本人調査結果

1 日本人調査の経年比較に関する注意事項

① 2016年調査（平成28年度 静岡県多文化共生に関する基礎調査）

2016年の日本人調査は2,000部送付した、そのうち未達分の9部（未達率0.5%）を差し引いた1,991部が配布数であった。回収数は879部であり、回収率は44.1%であった。2016年調査の結果に関する以下の数値は、879部のうち無効ケース5部を差し引いた有効回答数874部を母数とする比率で示している。

② 2020年調査（令和2年度 静岡県多文化共生基礎調査）

2020年の日本人調査は1,000部送付した。オンライン回収は99部、郵送回収は319部で、計418部回収された。回収率は41.8%であった。そのうちオンラインと郵送との重複回答による無効ケースが2部、その他の無効ケースが1部あったため、最終的な有効回答数は415部で回収率は41.5%となった。2020年調査の結果に関する以下の数値は、有効回答数415部を母数として各選択肢の比率を示している。

③ 2024年調査（令和6年度 静岡県多文化共生基礎調査）

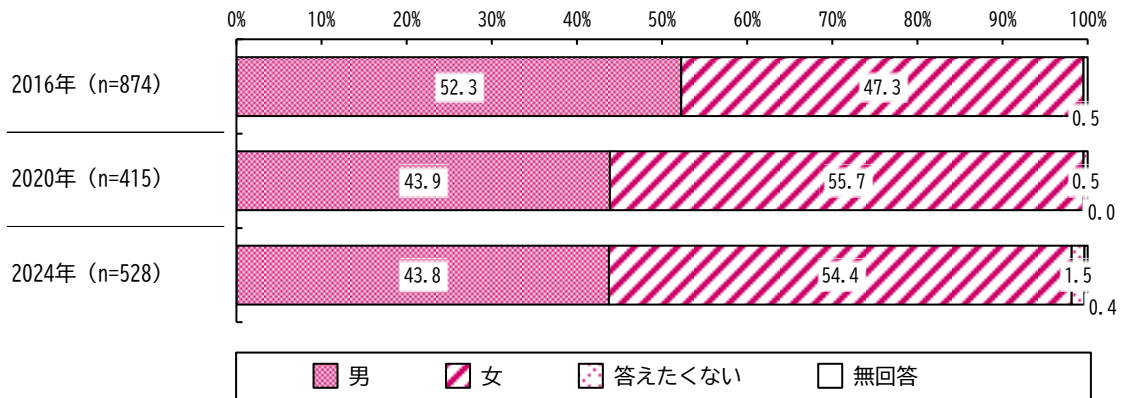
2024年の日本人調査は1,000部送付した。オンライン回収は200部、郵送回収は333部で、計533部回収され、回収率は53.3%であった。そのうち無効ケースが5部あったため、最終的な有効回答数は528部で回収率は52.8%となった。2024年調査の結果に関する以下の数値は、有効回答数528部を母数として各選択肢の比率を示している。

以下では2024年調査の日本人調査の結果を報告するが、過去の調査と比較が可能な項目については比率を比較している。ただし、3つの調査で必ずしも選択肢が同じではない設問も多い点に注意が必要である。調査結果報告の本文では原則として比率を比較する図のみを提示しているが、選択肢が多く、図では煩雑になる場合は表を示す。さらにいくつかの設問（具体的には問4、問5、問9）では回答者を16～29歳、30～59歳、60歳以上の3つの年代に区分して年代別に比率を比較している。

2 日本人調査結果

(1) 対象者の性別

問1 あなたの性別（あなたの今の認識にもっとも近い性別）に○をつけてください。（○は1つ）

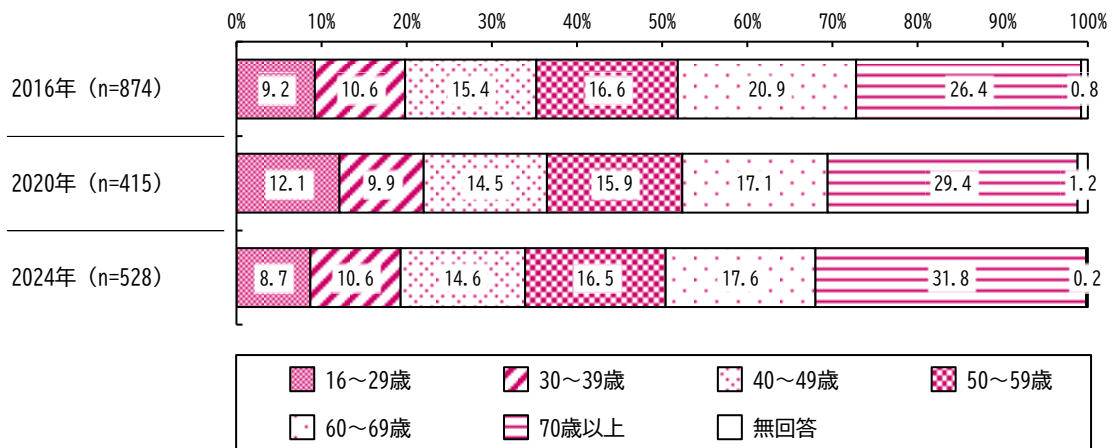


※「答えたくない」は2024年から。2020年は「その他」、2016年はなし。

- 対象者の性別は、「男性」が43.8%、「女性」が54.4%であった。過去調査と比較すると、2020年調査から大きな変化はなかった。

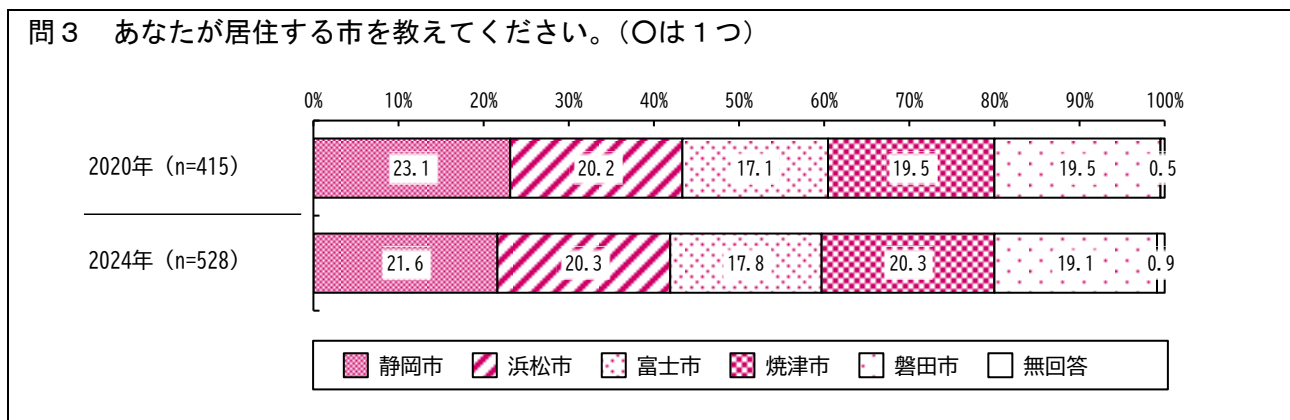
(2) 対象者の年齢

問2 あなたの年齢について教えてください。（○は1つ）



- 対象者の年齢は、「70歳以上」が31.8%で最も多く、次いで「60～69歳」が17.6%、「50～59歳」が16.5%であった。
- 過去調査と比較すると、「16～29歳」が2020年調査から3.4ポイント少なくなっている。

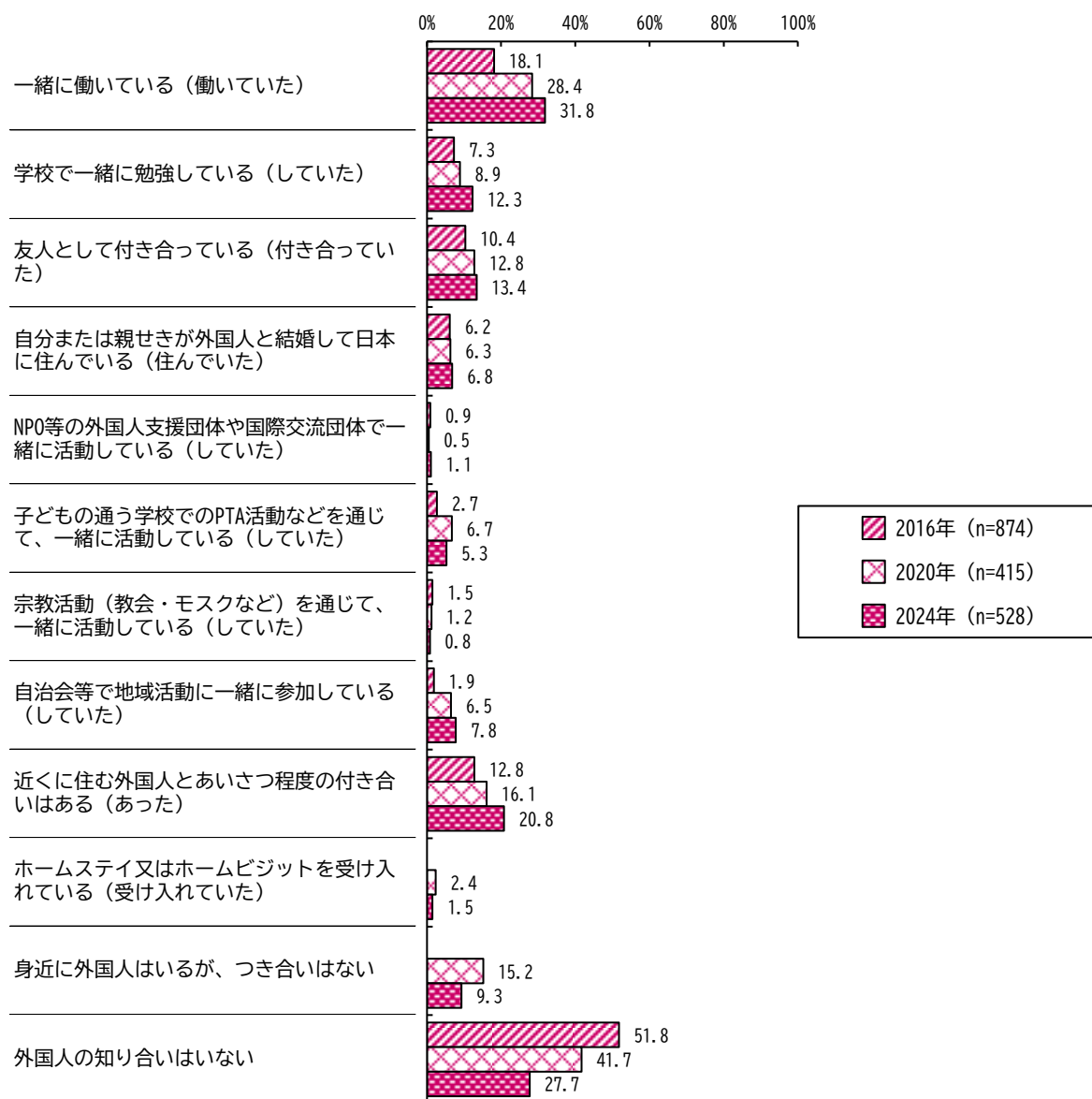
(3) 対象者の居住する市



- 対象者の居住する市は、「静岡市」が 21.6%、「浜松市」が 20.3%、「富士市」が 17.8%、「焼津市」が 20.3%、「磐田市」が 19.1%であった。
- 過去調査と比較すると、2020年調査から大きな変化はなかった。

（4）外国人と付き合いがあるか

問4 あなたは外国人と以下のような付き合いがありますか。（過去の経験を含む）（あてはまるもの全てに○）



※「ホームステイ又はホームビジットを受け入れている（受け入れていた）」、「身近に外国人はいるが、付き合いはない」は2020年から。

- ・ 外国人との付き合いは、「一緒に働いている（働いていた）」が31.8%で最も多く、次いで「近くに住む外国人とあいさつ程度の付き合いはある（あった）」が20.8%であった。
- ・ 一方、「外国人の知り合いはいない」は27.7%となっている。
- ・ 過去調査と比較すると、「外国人の知り合いはいない」は2020年調査から14.0ポイント少なくなっている。

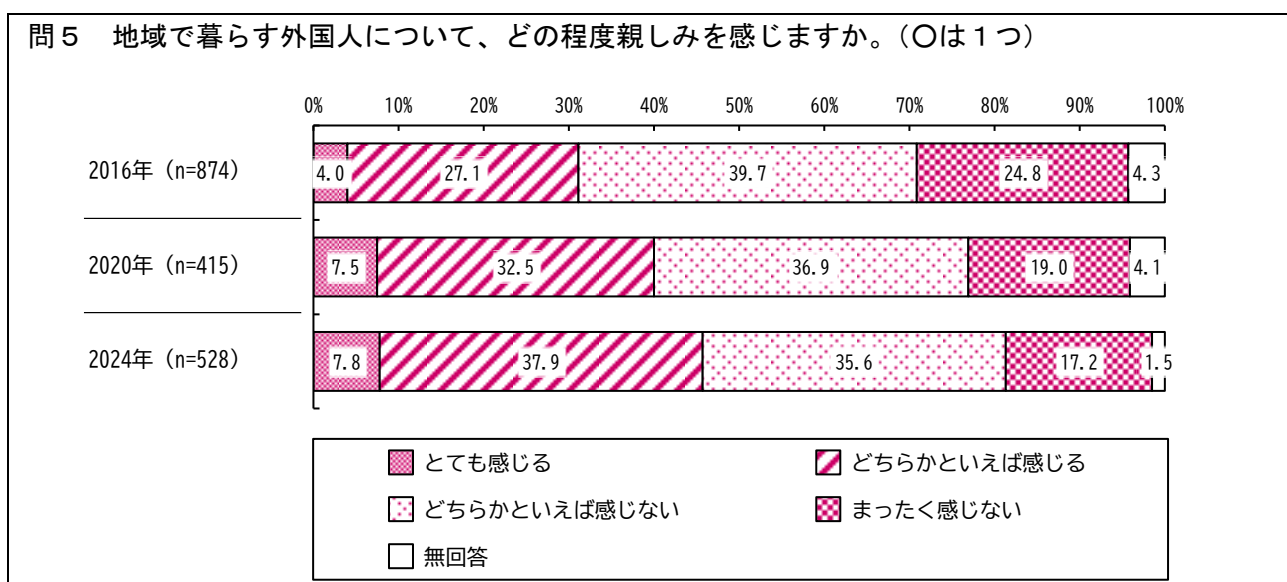
【年代別】

	調査数 (人)	一緒に働いている (働いていた)	学校と一緒に勉強している (していた)	友人として付き合っている (付き合っていた)	自分または親せきが外国人と結婚して日本に住んでいる (住んでいた)	NPO等の外国人支援団体や国際交流団体と一緒に活動している (していた)	子どもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している (していた)	宗教活動(教会・モスクなど)を通じて、一緒に活動している (していた)	自治会等で地域活動に参加している (していた)	近くに住む外国人とあいさつ程度の付き合いはある (あった)	ホームステイ又はホームビジットを受け入れている (受け入れていた)	身近に外国人はいるが、付き合いはない	外国人の知り合いはいない
16 - 29歳	46	39.1	50.0	26.1	6.5	2.2	-	-	4.3	8.7	-	4.3	23.9
30 - 59歳	220	44.5	15.5	15.9	8.2	0.9	10.9	0.5	7.3	19.1	1.4	8.6	21.8
60歳以上	261	19.9	3.1	9.2	5.7	1.1	1.5	1.1	8.8	24.5	1.9	10.7	33.3

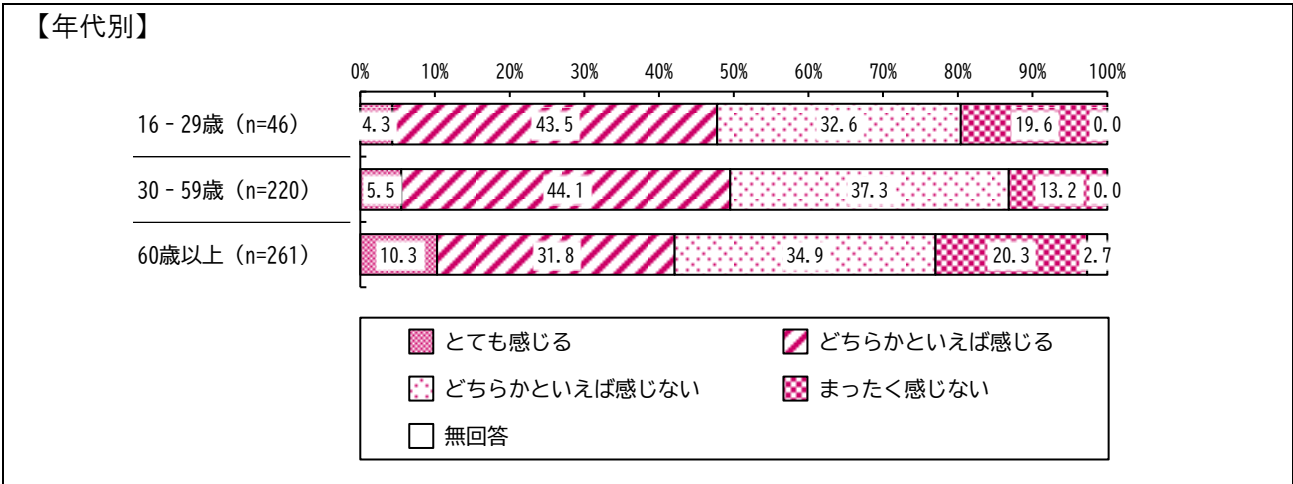
単位 (%)

- 年代別にみると、16 - 29 歳は「学校で一緒に勉強している (していた)」が 50.0% で最も多くなっている。
- 30 - 59 歳は「一緒に働いている (働いていた)」が 44.5% で最も多く、60 歳以上では「外国人の知り合いはいない」が 33.3% で最も多くなっている。

(5) 地域で暮らす外国人に親しみを感ずるか

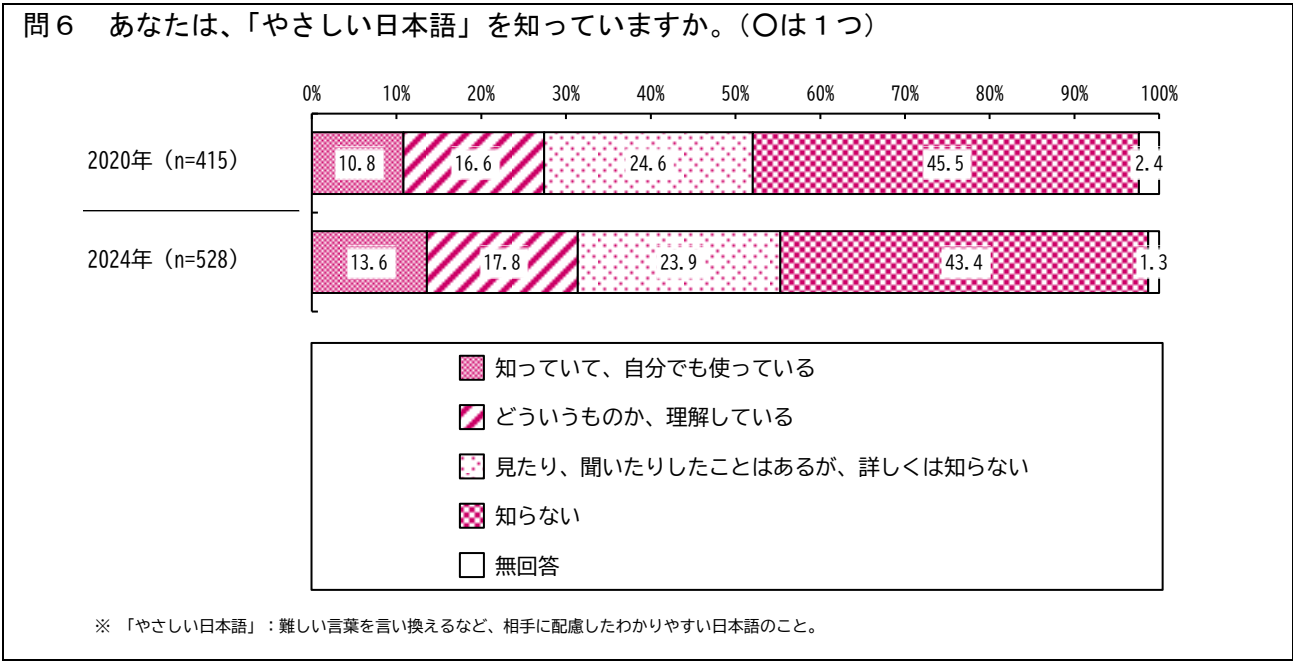


- 地域で暮らす外国人に親しみを感ずるか聞いたところ、「とても感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』は 45.7%、「どちらかといえば感じない」と「まったく感じない」を合わせた『感じない』は 52.8% となっている。
- 過去調査と比較すると、合わせた『感じる』が 2016 年調査から 14.6 ポイント、2020 年調査から 5.7 ポイント多くなっている。

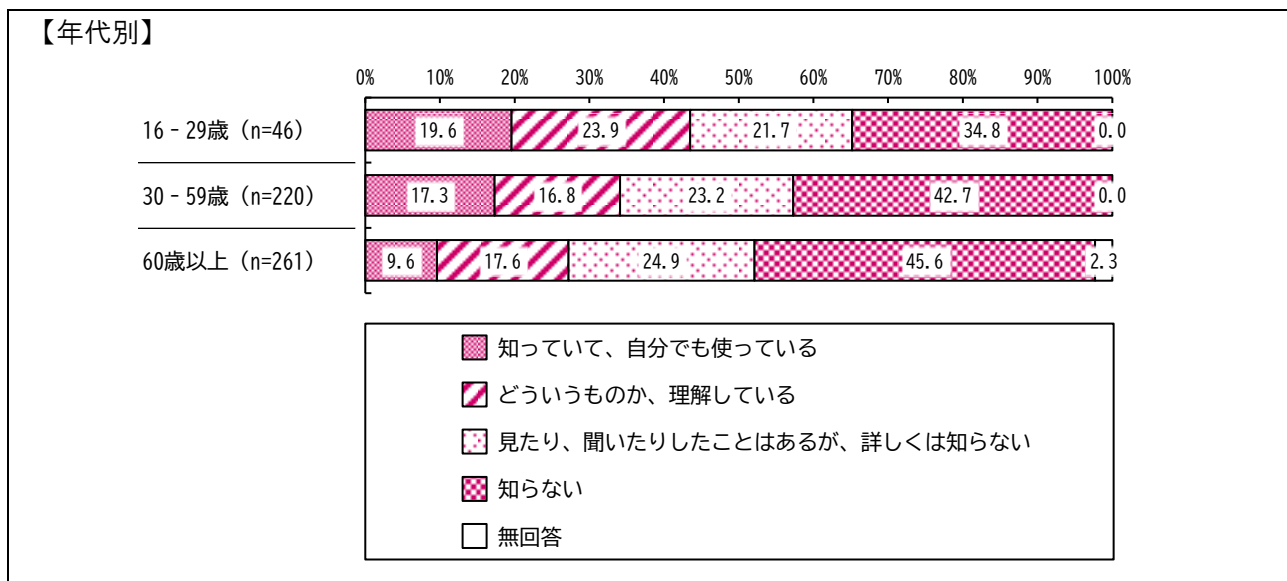


- ・ 年代別にみると、16 - 29 歳では『感じる』が 47.8%、『感じない』が 52.2%となっている。
- ・ 30 - 59 歳では『感じる』が 49.6%、『感じない』が 50.5%、60 歳以上では『感じる』が 42.1%、『感じない』が 55.2%と、いずれの年代も『感じない』が半数以上となっている。

(6) 「やさしい日本語」を知っているか

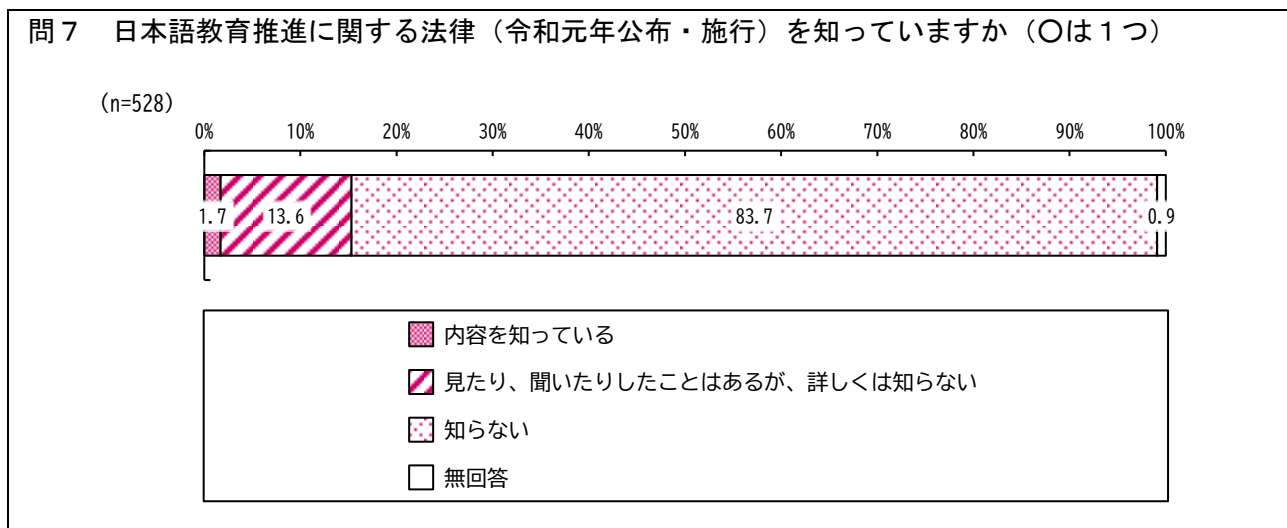


- ・ 「やさしい日本語」を知っているか聞いたところ、「知らない」が 43.4%で最も多く、次いで「見たり、聞いたりしたことはあるが、詳しくは知らない」が 23.9%であった。
- ・ 「どういうものか、理解している」は 17.8%、「知っている、自分でも使っている」は 13.6%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、「知っている、自分でも使っている」は 2020 年調査から 2.8 ポイント多くなっている。



- ・ 年代別にみると、すべての年代で「知らない」が最も多く、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。
- ・ 「知っている、自分でも使っている」「どういうものか、理解している」は、16-29歳でそれぞれ19.6%、23.9%と他の年代に比べ割合が高い。

(7) 日本語教育推進に関する法律を知っているか

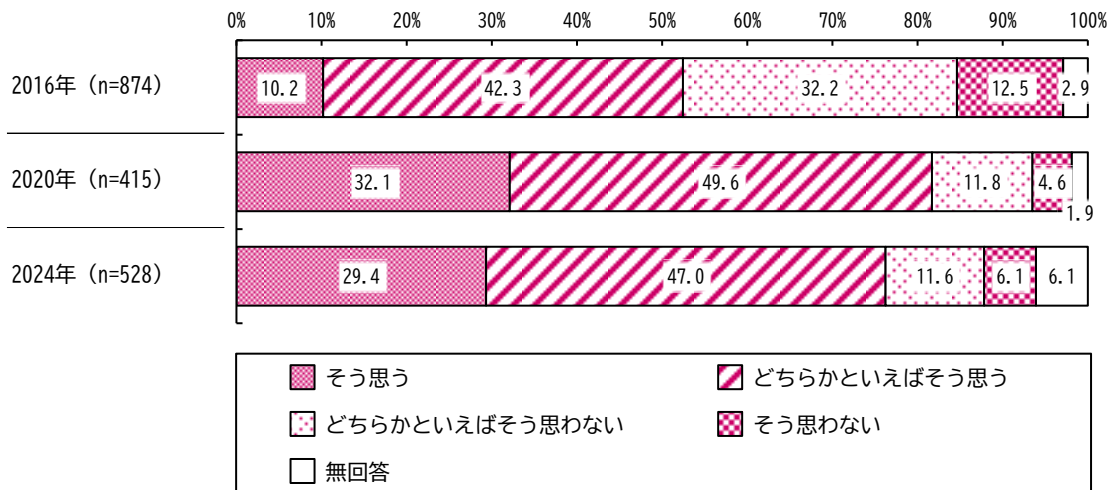


- ・ 日本語教育推進に関する法律を知っているか聞いたところ、「内容を知っている」が1.7%、「見たり、聞いたりしたことはあるが、詳しくは知らない」が13.6%、「知らない」が83.7%であった。

（8）多文化共生に関する意見について

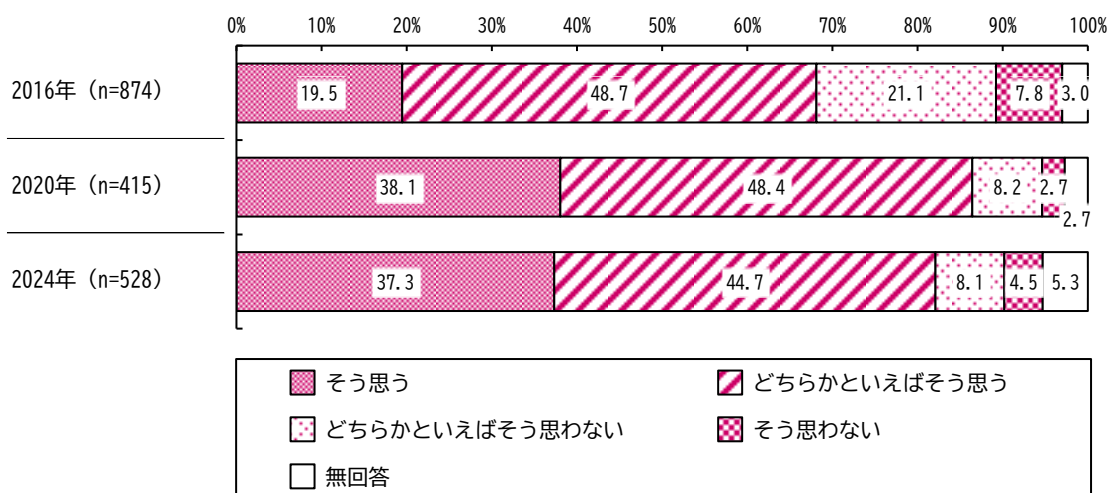
問8 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。（A～Cのそれぞれについて、あてはまる番号1つに○）

<A 外国人とのコミュニケーションを図るため、日本人は、外国語や「やさしい日本語」及び外国の文化を学ぶべきだ>

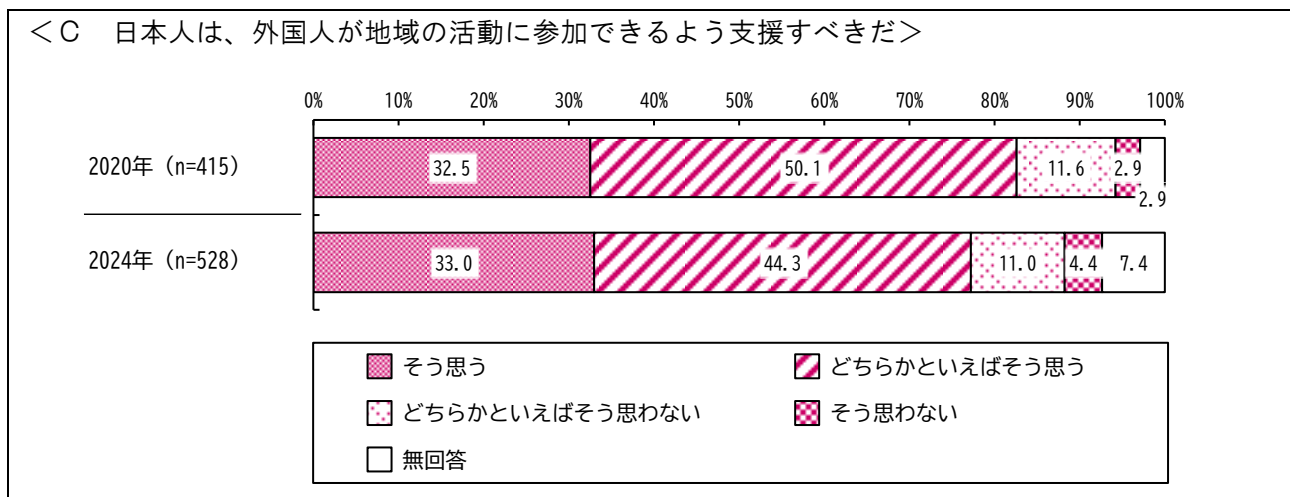


- 多文化共生に関する意見を聞いたところ、<A 外国人とのコミュニケーションを図るため、日本人は、外国語や「やさしい日本語」及び外国の文化を学ぶべきだ>は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』が76.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『思わない』が17.7%であった。
- 過去調査と比較すると、合わせた『思う』が2020年調査から5.3ポイント少なくなっている。

<B 日本人は、外国人が日本の言語、文化、習慣やルールを学べるように支援すべきだ>

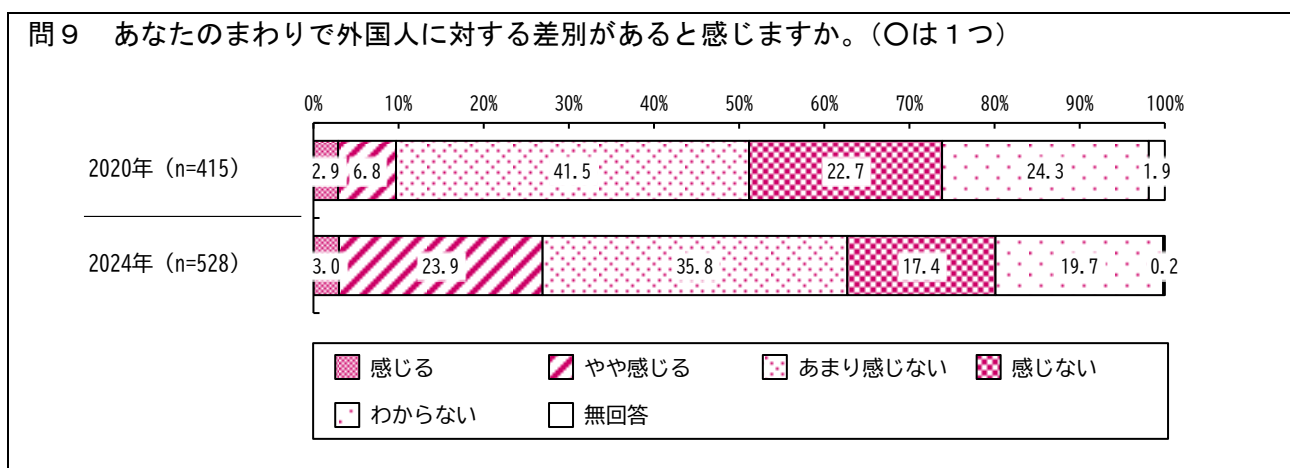


- <B 日本人は、外国人が日本の言語、文化、習慣やルールを学べるように支援すべきだ>は、『思う』が82.0%、『思わない』が12.6%であった。
- 過去調査と比較すると、合わせた『思う』が2020年調査から4.5ポイント少なくなっている。

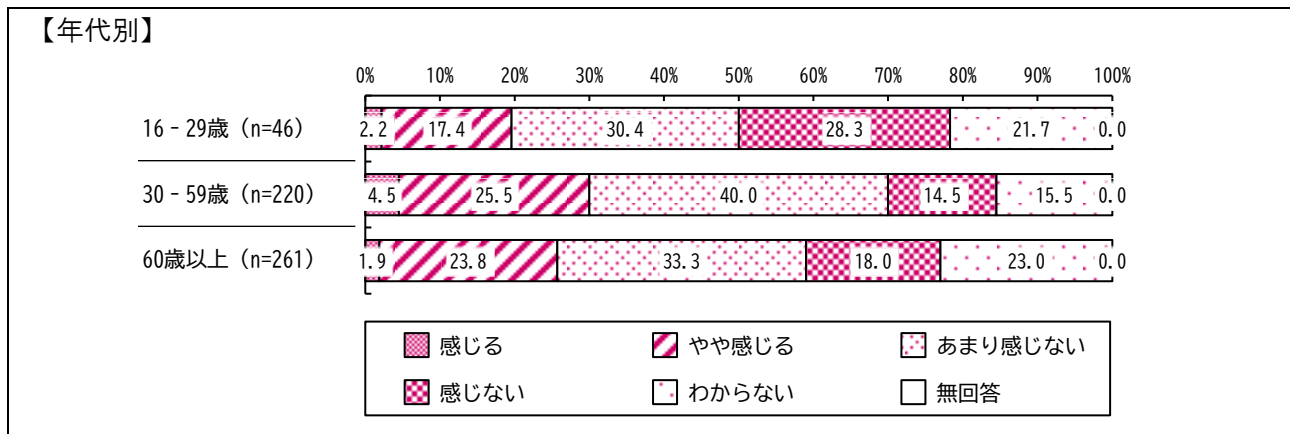


- ・ < C 日本人は、外国人が地域の活動に参加できるように支援すべきだ >は、『思う』が 77.3%、『思わない』が 15.4%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、合わせた『思う』が 2020 年調査から 5.3 ポイント少なくなっている。

(9) まわりで外国人に対する差別があると感じるか



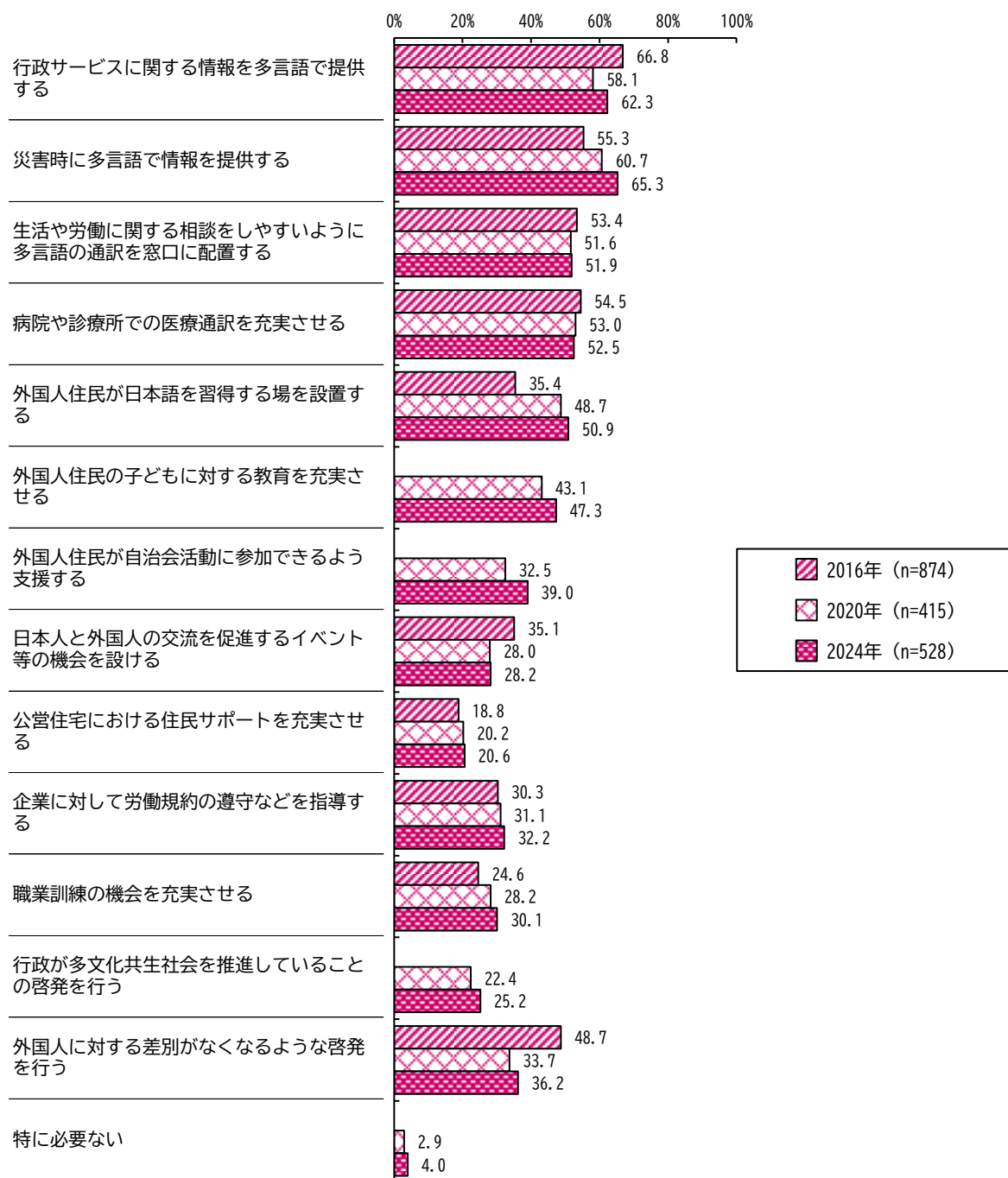
- ・ まわりで外国人に対する差別があると感じるか聞いたところ、「感じる」は 3.0%、「やや感じる」は 23.9%で合わせた『感じる』は 26.9%、「あまり感じない」は 35.8%、「感じない」は 17.4%で合わせた『感じない』は 53.2%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、合わせた『感じる』が 2020 年度調査から 17.2 ポイント多くなっている。



- 年代別にみると、16 - 29歳は「感じる」2.2%、「やや感じる」17.4%で、合わせた『感じる』は19.6%であった。
- 30 - 59歳は「感じる」4.5%、「やや感じる」25.5%で、合わせた『感じる』は30.0%と他の年代に比べ割合が高かった。
- 60歳以上は「感じる」1.9%、「やや感じる」23.8%で、合わせた『感じる』は25.7%であった。

(10) とともに暮らしやすい地域社会にしていくために行政が力を入れるべき取組

問 10 日本人住民と外国人住民がともに暮らしやすい地域社会にしていくために、県や市町など行政はどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



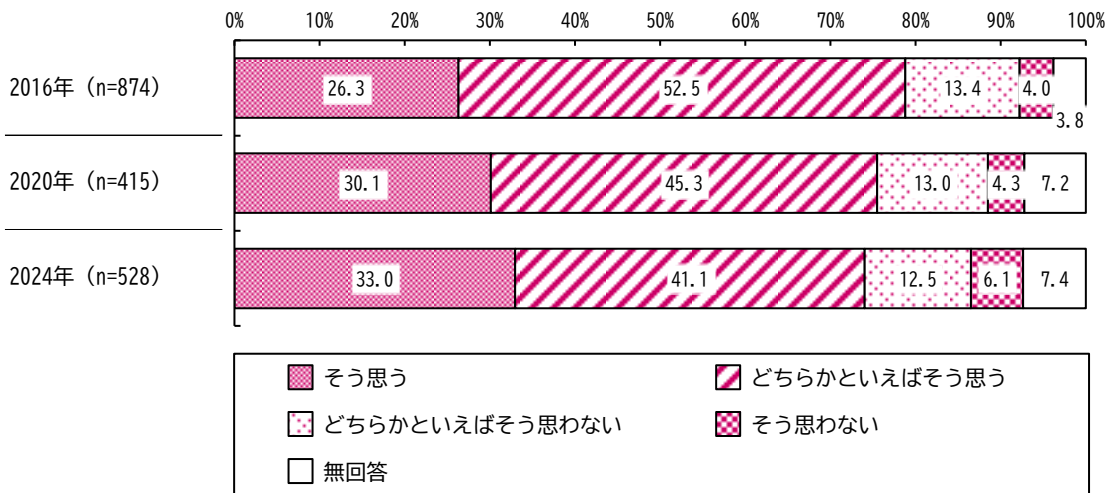
※「外国人住民の子どもに対する教育を充実させる」、「外国人住民が自治会活動に参加できるよう支援する」、「行政が多文化共生社会を推進していることの啓発を行う」、「特に必要ない」は2020年から。

- ・ 日本人と外国人がともに暮らしやすい地域社会にしていくために行政が力を入れるべき取組は、「災害時に多言語で情報を提供する」が 65.3%で最も多く、次いで「行政サービスに関する情報を多言語で提供する」が 62.3%、「病院や診療所での医療通訳を充実させる」が 52.5%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から大きな変化はないが、「外国人住民が自治会活動に参加できるよう支援する」は2020年調査から6.5ポイント多くなっている。

(11) 外国人住民が増加することによる影響について

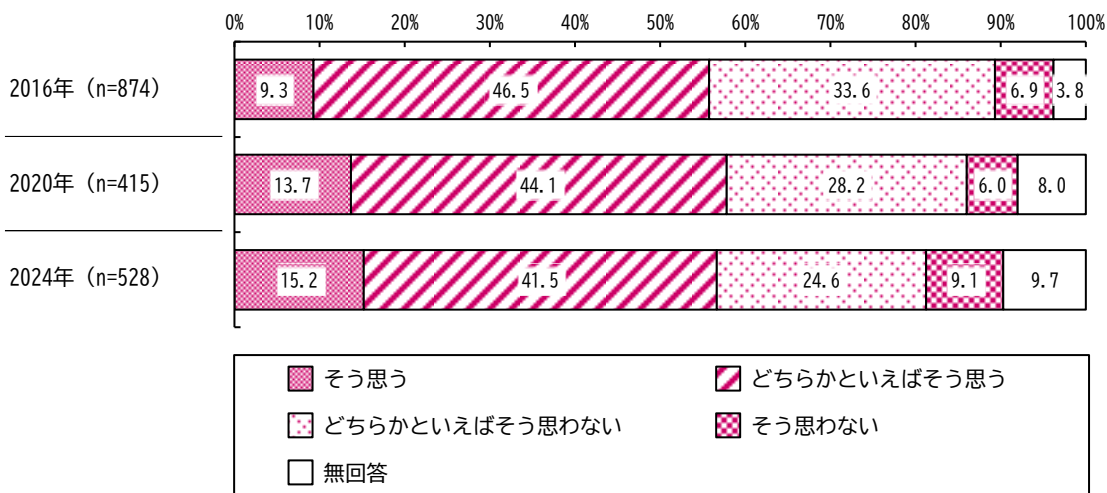
問 11 外国人住民が増加することによる影響についてあなたはどのように思いますか。（A～Eのそれぞれについて、あてはまる番号1つに○）

< A 社会に多様性が生まれる >

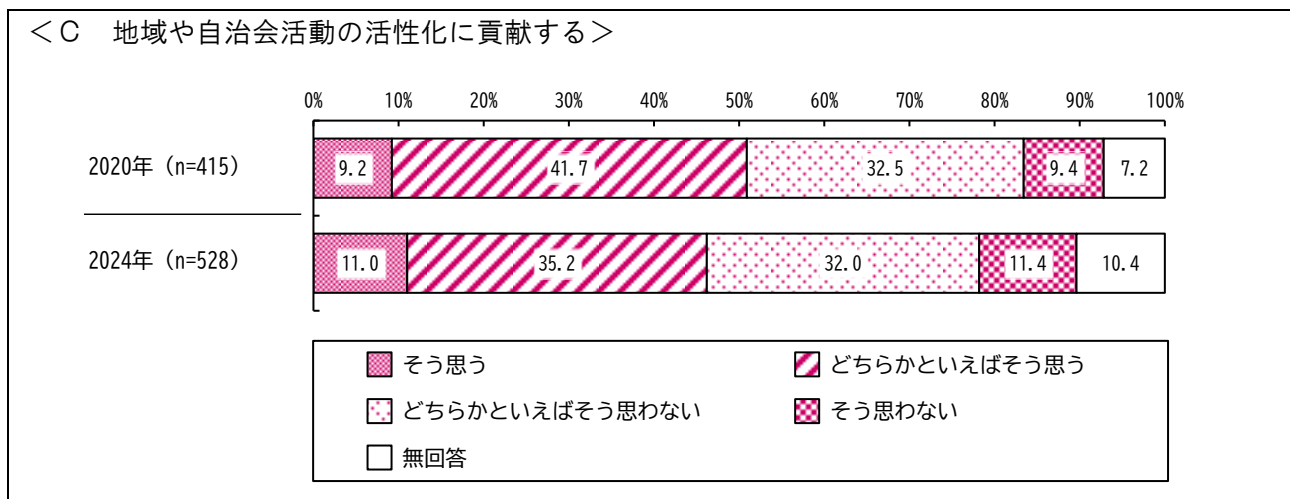


- 外国人住民が増加することによる影響について、< A 社会に多様性が生まれる >は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』が 74.1%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『思わない』が 18.6%であった。
- 過去調査と比較すると、「そう思う」が増加、「どちらかといえばそう思う」が減少傾向にある。

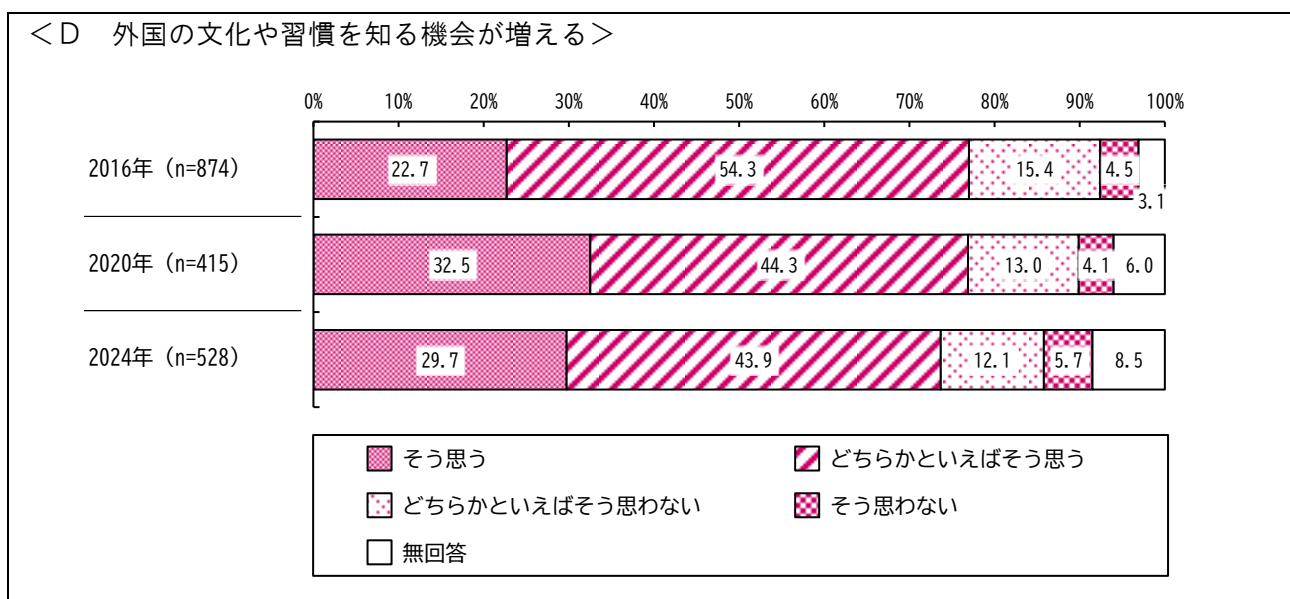
< B 地域経済の活性化に貢献する >



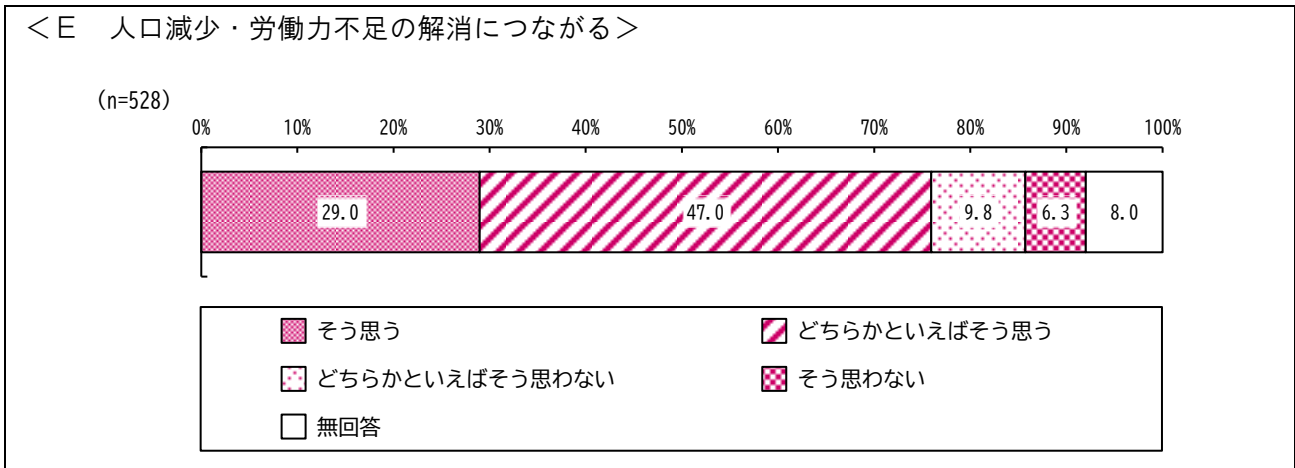
- < B 地域経済の活性化に貢献する >は、『思う』が 56.7%、『思わない』が 33.7%であった。
- 過去調査と比較すると、2020年調査から「そう思う」と「そう思わない」が微増、「どちらかといえばそう思う」と「どちらかといえばそう思わない」が微減となっている。



- ・ < C 地域や自治会活動の活性化に貢献する >は、『思う』が 46.2%、『思わない』が 43.4%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、「どちらかといえばそう思う」が 2020 年調査から 6.5 ポイント少なくなっている。



- ・ < D 外国の文化や習慣を知る機会が増える >は、『思う』が 73.6%、『思わない』が 17.8%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、合わせた『思う』が前回調査から 3.2 ポイント少なくなっている。



- ・ ＜E 人口減少・労働力不足の解消につながる＞は、『思う』が76.0%と8割弱を占め、『思わない』は16.1%であった。

Ⅲ. 外国人調査結果

Ⅲ. 外国人調査結果

1 外国人調査の経年比較に関する注意事項

① 2016年調査（平成28年度 静岡県多文化共生に関する基礎調査）

2016年の外国人調査は5,000部送付した。そのうち未達分の122部（未達率2.4%）を差し引いた4,878部を配布数とする。回収数は1,197部であり、回収率は24.5%であった。回収数1,197部のうち無効ケース4部を差し引いた1,193部が有効回答数であった。2016年調査の結果に関する以下の数値は、有効回答数1,193部を母数とする比率で示している。

② 2020年調査（令和2年度 静岡県多文化共生基礎調査）

2020年の外国人調査は4,000部送付した。オンライン回収は462部、郵送回収は1,165部で、計1,627部回収された。回収率は40.7%であった、そのうちオンラインと郵送との重複回答による無効ケースが34部あったため、最終的な有効回答数は1,593部で回収率は39.8%であった。2020年調査の結果に関する以下の数値は、有効回答数1,593部を母数とする比率で示している。

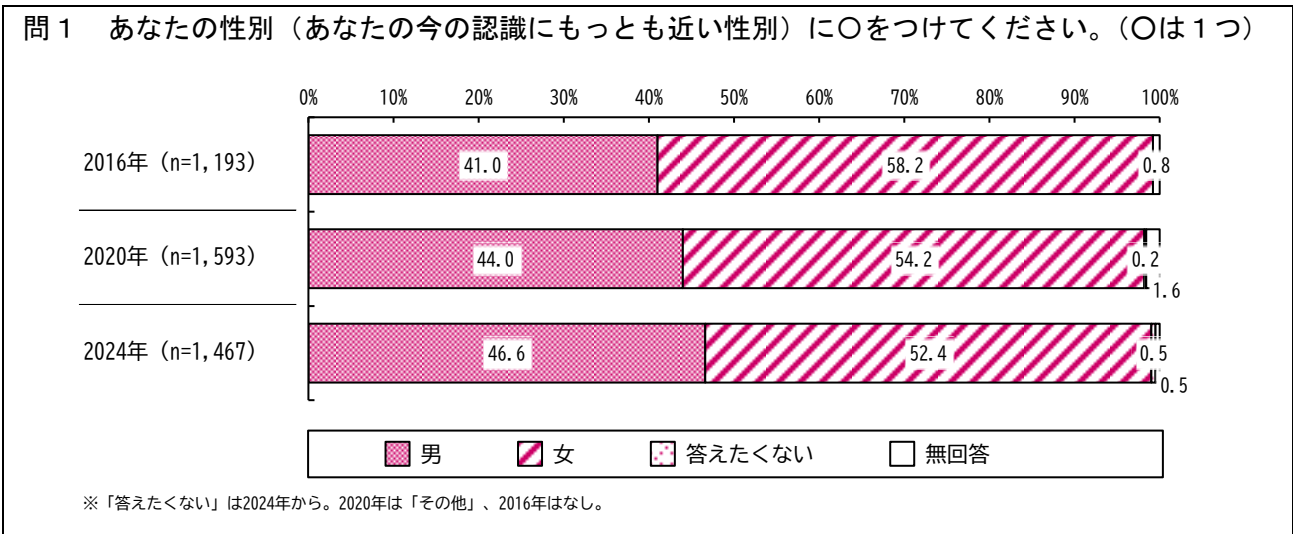
③ 2024年調査（令和6年度 静岡県多文化共生基礎調査）

2024年の日本人調査は4,000部送付した。オンライン回収は749部、郵送回収は720部で、計1,469部回収され、回収率は36.7%であった。そのうち無効ケースが2部あったため、最終的な有効回答数は1,467部、回収率は変わらず36.7%となった。2024年調査の結果に関する以下の数値は、有効回答数1,467部を母数として各選択肢の比率を示している。

以下では2024年調査の外国人調査の結果を報告するが、過去の調査と比較が可能な項目については比率を比較している。ただし、3つの調査で必ずしも選択肢が同じではない設問もある。本文では原則として比率を比較する図のみを提示しているが、選択肢が多く、図では煩雑になる場合は表を示す。さらにいくつかの設問では回答者を16～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60歳以上の5つの年代に区分して年代別に比率を比較している。

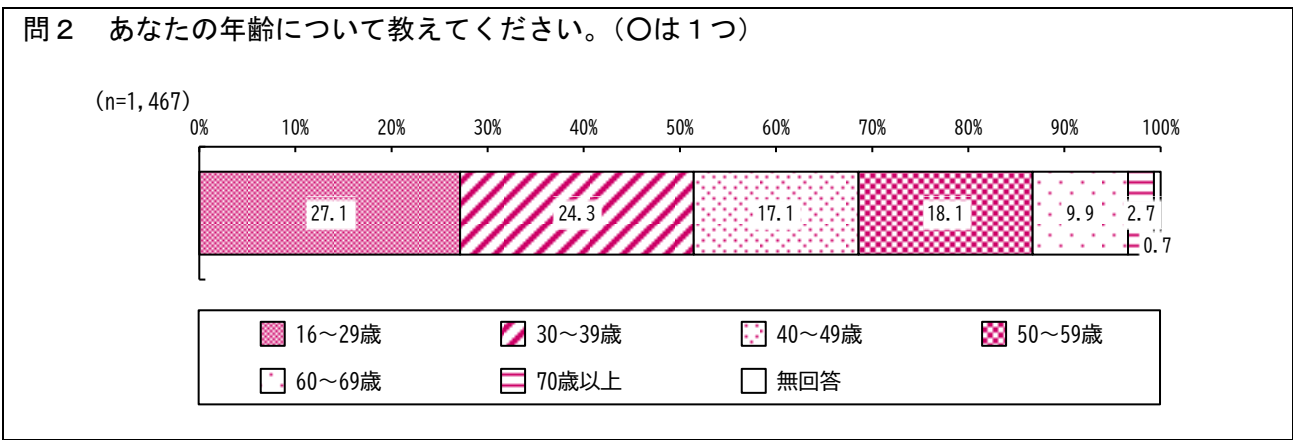
2 外国人調査結果

(1) 対象者の性別

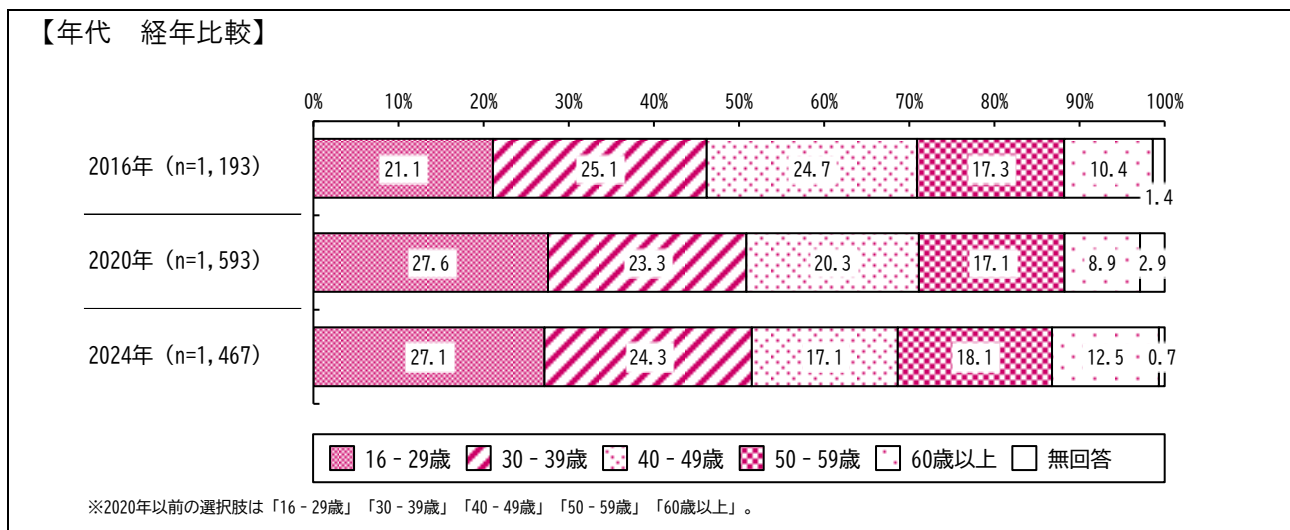


- 対象者の性別は、「男性」が46.6%、「女性」が52.4%であった。
- 過去調査と比較すると、2020年調査から大きな変化はなかった。

(2) 対象者の年齢

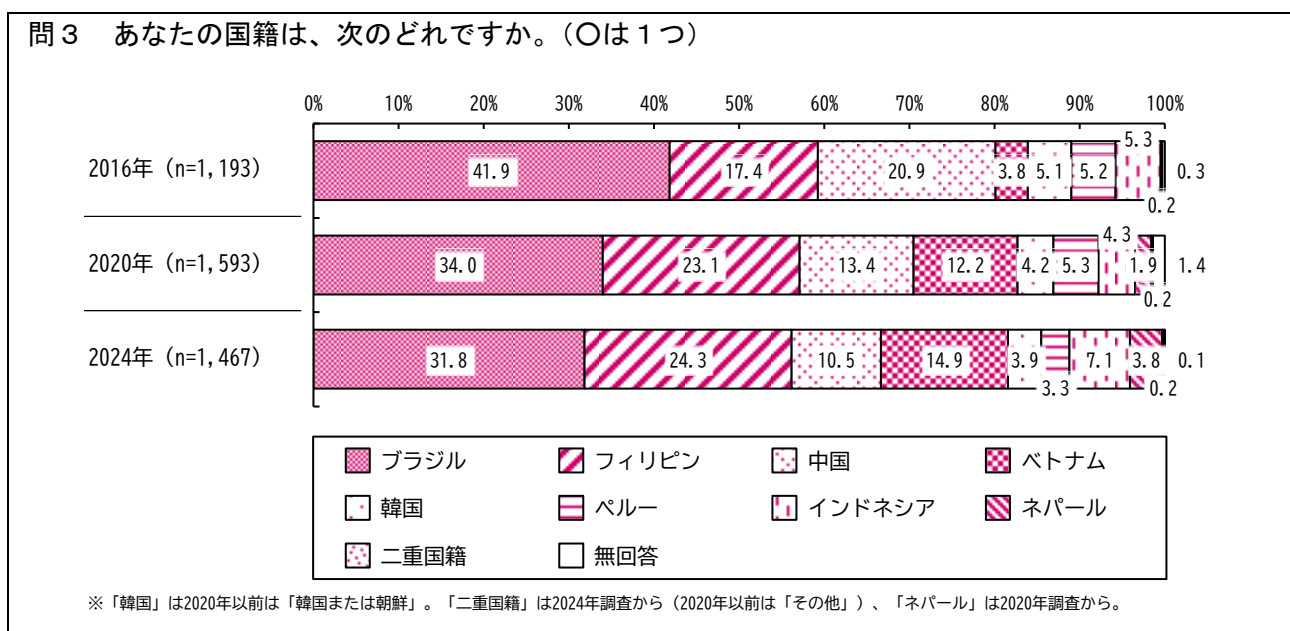


- 対象者の年齢は、「16～29歳」が27.1%で最も多く、次いで「30～39歳」が24.3%、「50～59歳」が18.1%であった。



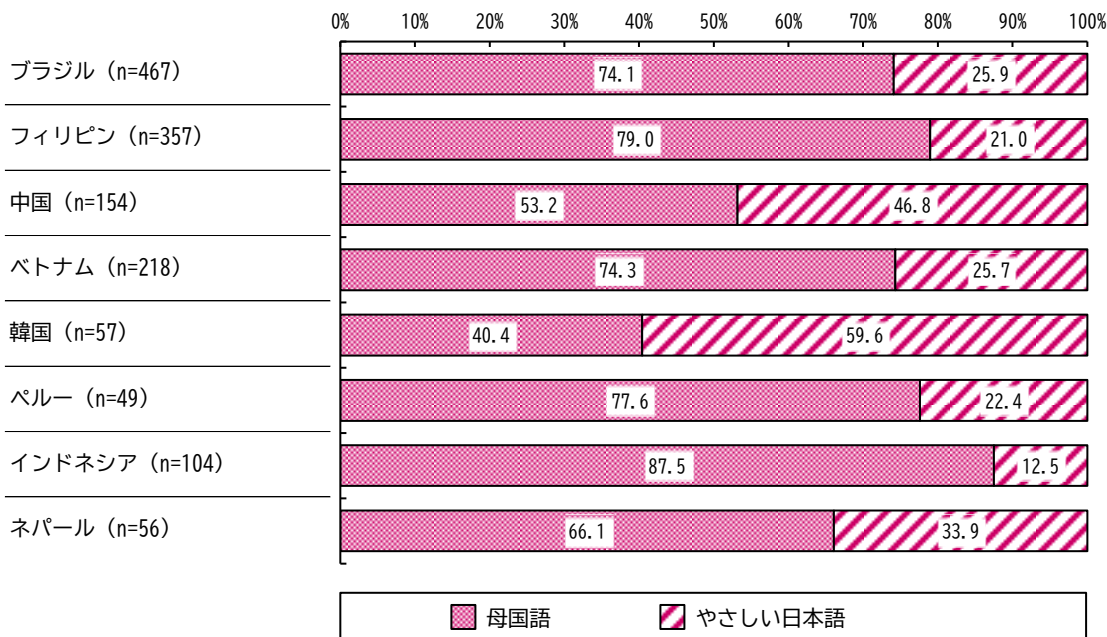
- 年代の区分をそろえて過去調査と比較すると、2020年調査から「40～49歳」が3.2ポイント少なく、「60歳以上」が3.6ポイント多くなっている。

(3) 対象者の国籍



- 対象者の国籍は、「ブラジル」が31.8%で最も多く、次いで「フィリピン」が24.3%、「ベトナム」が14.9%であった。
- 過去調査と比較すると、前回調査から大きな変化はなかったものの、「インドネシア」が2.8ポイント、「ネパール」が1.9ポイント多くなり、「中国」が2.9ポイント、「ブラジル」が2.2ポイント少なくなっている。

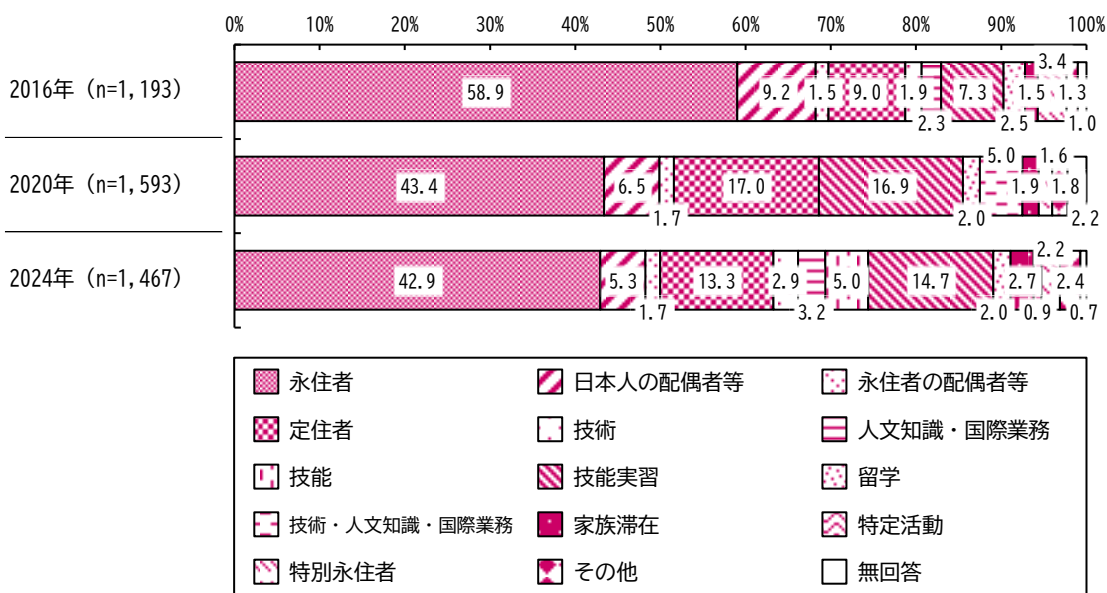
【国籍別回答言語】



- ・ 国籍別に回答言語をみると、「母国語」での回答はインドネシアで87.5%、フィリピンで79.0%などと多くなっている。
- ・ 一方、「やさしい日本語」での回答は、韓国で59.6%、中国で46.8%などと多くなっている。

(4) 対象者の在留資格

問4 あなたの在留資格は、次のどれですか。(○は1つ)



※「技術」、「人文知識・国際業務」は2016年、2024年のみ。「技能」、「特定活動」は2024年調査から。「技術・人文知識・国際業務」は2020年調査のみ。

- ・ 対象者の在留資格は、「永住者」が42.9%で最も多く、次いで「技能実習」が14.7%、「定住者」が13.3%であった。回答者のうち、就労と居住に制限のない身分資格（永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者、特別永住者）の合計は65.4%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から「定住者」が3.7ポイント少なくなっている。

【国籍別】

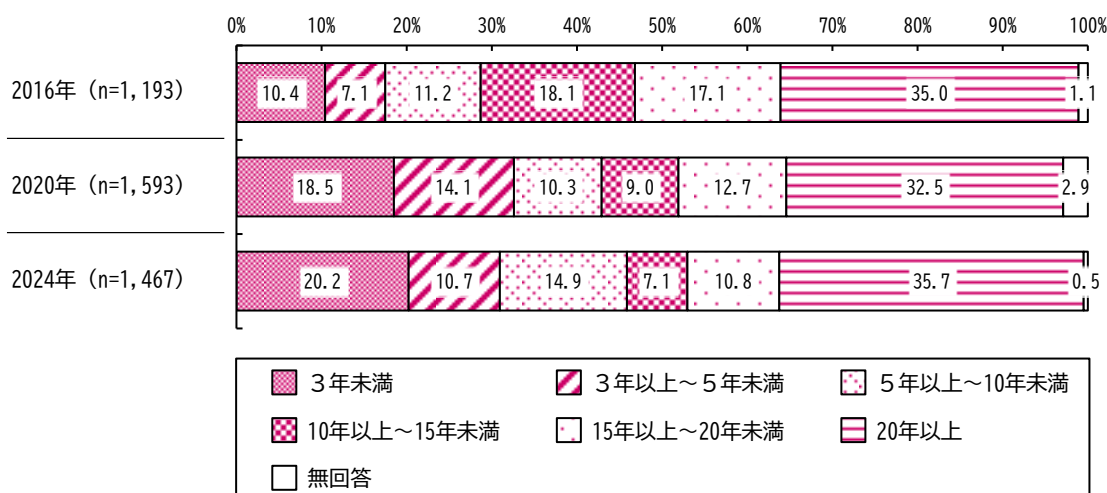
	調査数 (人)	永住者	日本人の 配偶者等	永住者の 配偶者等	定住者	技術	人文知識・国際 業務	技能	技能実習	留学	家族滞在	特定活動	特別永住 者	その他	無回答
ブラジル	467	67.5	3.9	0.6	21.2	-	0.2	-	-	-	1.1	0.4	1.9	1.9	1.3
フィリピン	357	42.9	7.6	3.6	21.8	0.3	0.6	2.8	17.1	0.3	-	0.3	0.6	1.7	0.6
中国	154	46.1	13.6	3.2	4.5	1.3	7.8	3.9	5.8	5.8	2.6	0.6	-	4.5	-
ベトナム	218	5.0	2.3	0.9	0.9	11.9	8.3	16.5	39.0	3.2	7.3	2.3	0.5	1.4	0.5
韓国	57	47.4	10.5	-	1.8	-	5.3	-	-	-	-	-	35.1	-	-
ペルー	49	83.7	2.0	-	10.2	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	-
インドネシア	104	8.7	-	-	-	8.7	1.9	16.3	54.8	3.8	1.0	3.8	-	1.0	-
ネパール	56	3.6	-	3.6	3.6	7.1	16.1	7.1	5.4	16.1	25.0	-	-	12.5	-
二重国籍	3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-

単位 (%)

- ・ 国籍別にみると、「永住者」はペルーで83.7%、ブラジルで67.5%、「技能実習」はインドネシアで54.8%、ベトナムで39.0%などと多くなっている。

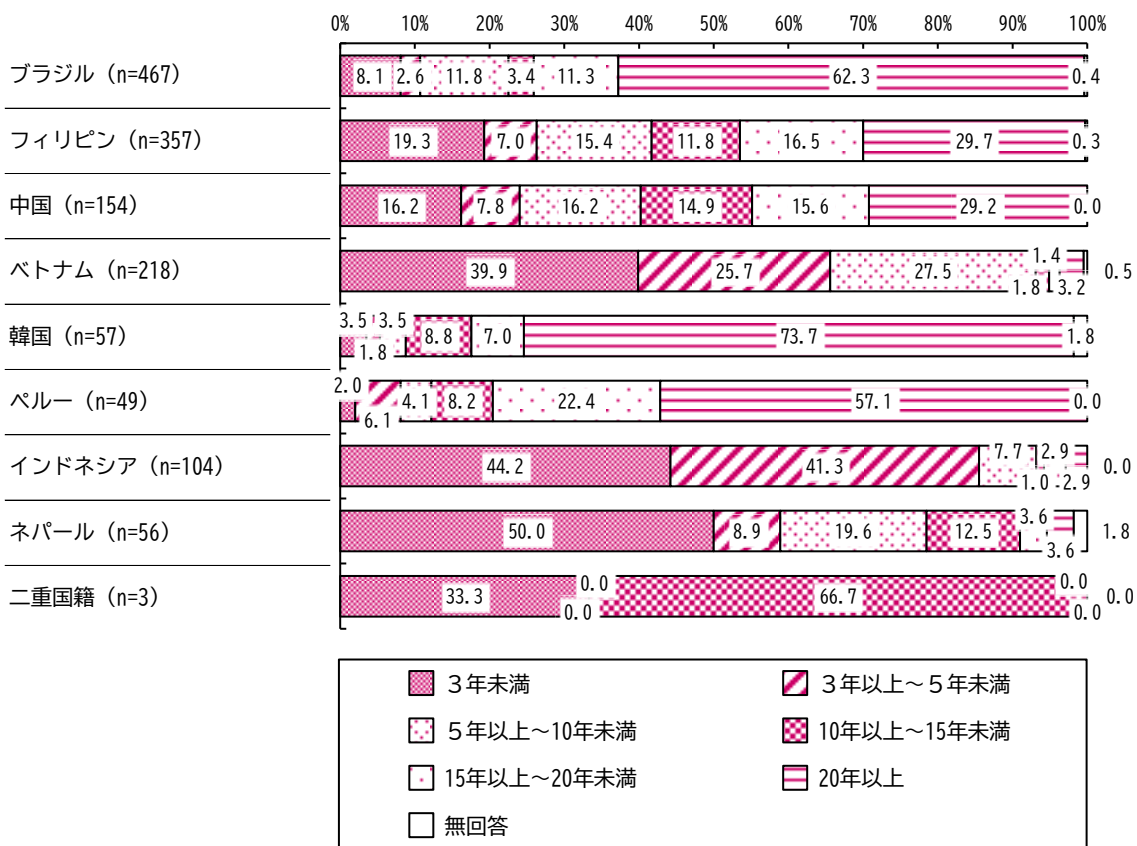
(5) 日本での通算滞在年数

問5 日本での通算滞在年数 (○は1つ)



- ・ 日本での通算滞在年数は、「20年以上」が35.7%で最も多く、次いで「3年未満」が20.2%、「5年以上～10年未満」が14.9%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から「5年以上～10年未満」が4.6ポイント多く、「3年以上～5年未満」が3.4ポイント少なくなっている。

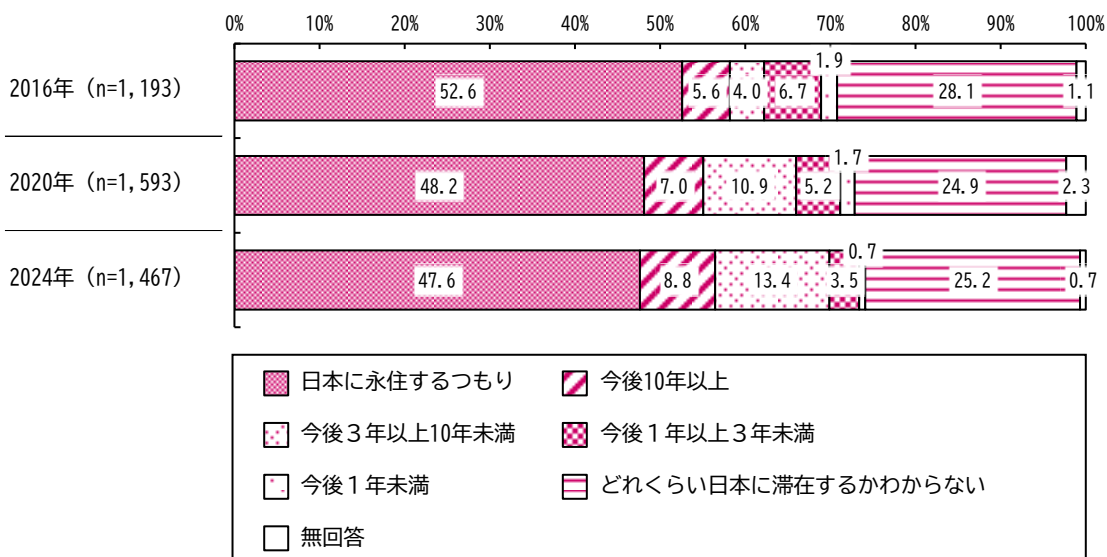
【国籍別】



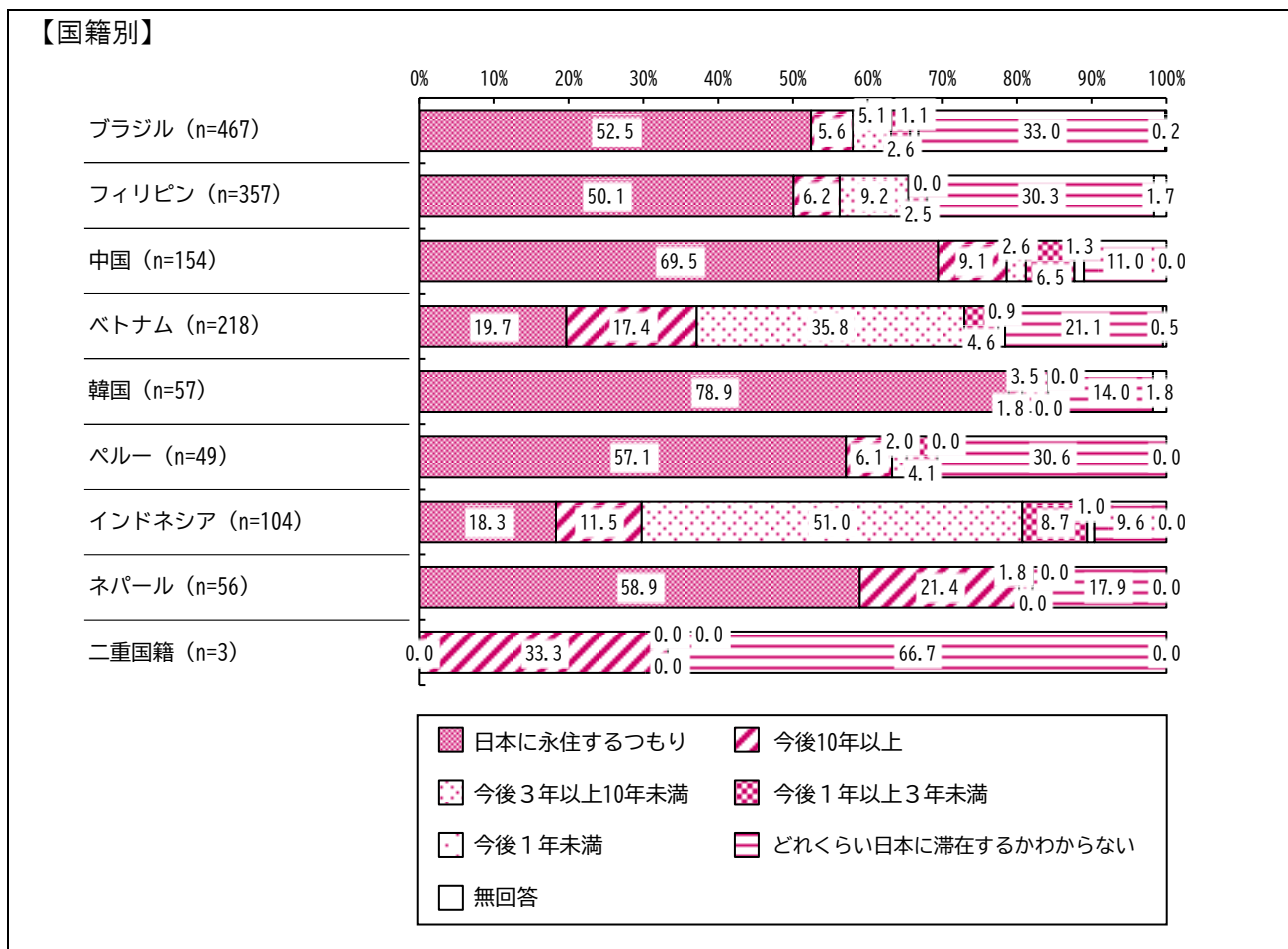
- 国籍別にみると、「20年以上」はブラジル 62.3%、韓国 73.7%、ペルー57.1%で、半数以上となっている。

(6) 今後の滞在予定年数

問6 今後どのくらいの期間、日本で生活する予定ですか。(○は1つ)



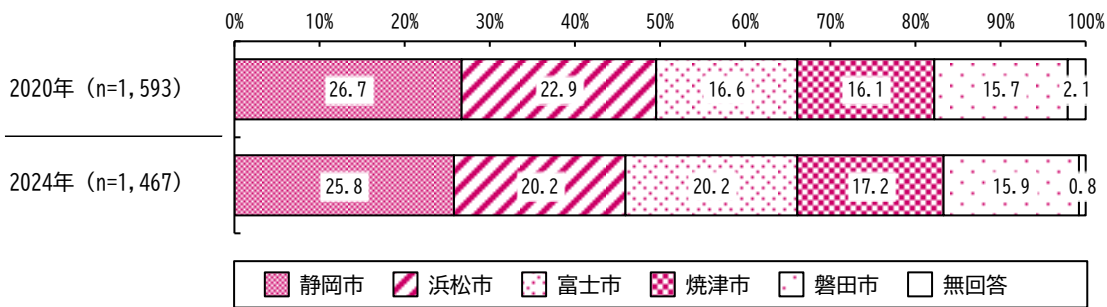
- 今後の滞在予定年数は、「日本に永住するつもり」が47.6%で最も多く、次いで「どれくらい日本に滞在するかわからない」が25.2%、「今後3年以上10年未満」が13.4%であった。
- 過去調査と比較すると、2020年調査から大きな変化はないが、「今後3年以上10年未満」が2.5ポイント多くなっている。



- 国籍別にみると、「日本に永住するつもり」は韓国 78.9%、中国 69.5%、ネパール 58.9%、ペルー 57.1%などが多くなっている。
- また、インドネシアとベトナムでは「今後3年以上10年未満」がそれぞれ 51.0%、35.8%と最も多くなっている。

(7) 対象者の居住する市

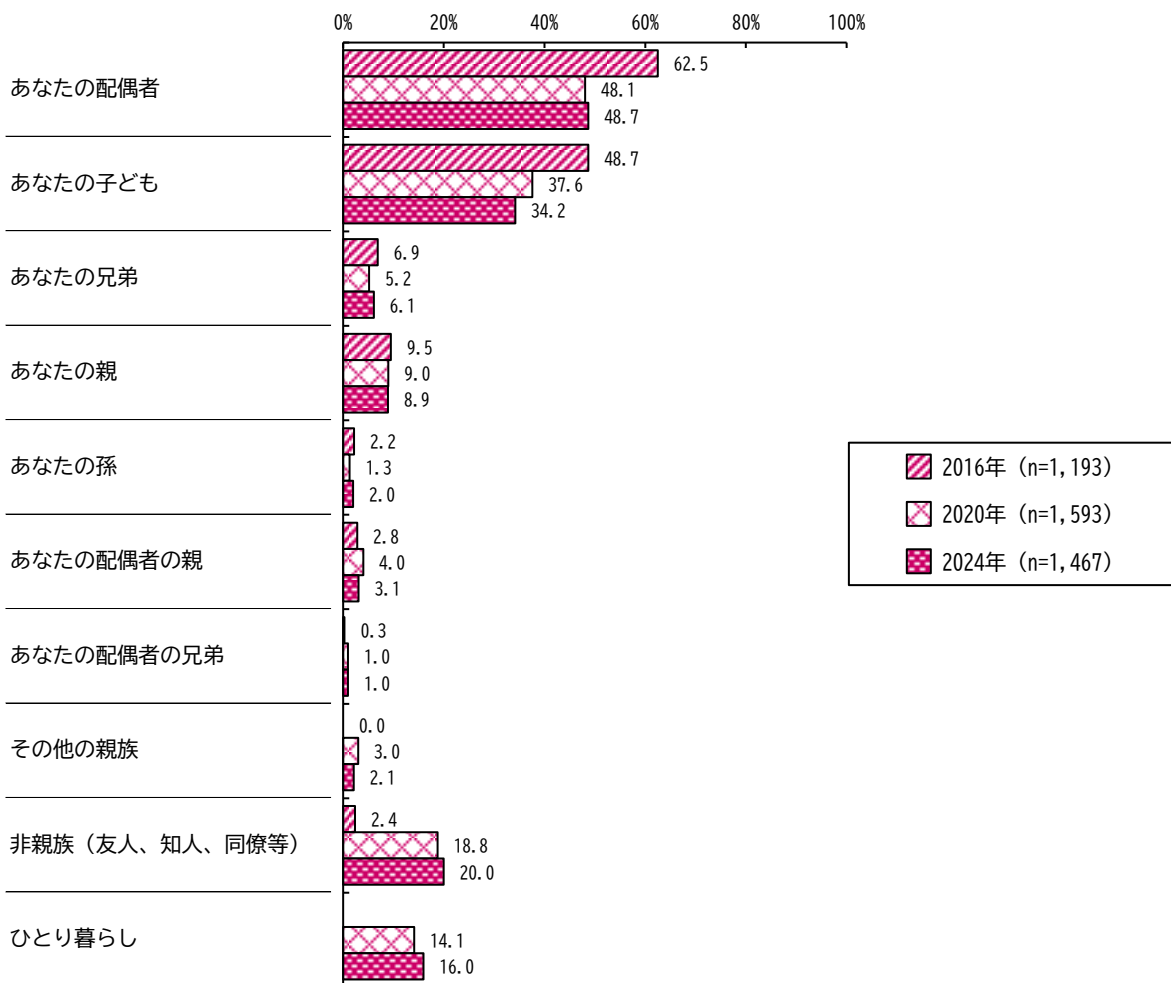
問7 あなたが居住する市を教えてください。(〇は1つ)



- 対象者の居住する市は、「静岡市」が25.8%、「浜松市」が20.2%、「富士市」が20.2%、「焼津市」が17.2%、「磐田市」が15.9%であった。
- 過去調査と比較すると、「富士市」が2020年調査から3.6ポイント多くなっている。

(8) 一緒に住んでいる人

問8 一緒に住んでいる人たちについてお知らせください。(あてはまるもの全てに〇)



※「ひとり暮らし」は2020年から。

- 一緒に住んでいる人は、「あなたの配偶者」が48.7%で最も多く、次いで「あなたの子ども」が34.2%、「非親族(友人、知人、同僚等)」が20.0%であった。
- 過去調査と比較すると、「あなたの子ども」が2020年調査から3.4ポイント少なくなっている。

【国籍別】

	調査数 (人)	あなたの配偶 者	あなたの子ど も	あなたの兄弟	あなたの親	あなたの孫	あなたの配偶 者の親	あなたの配偶 者の兄弟	その他の親族	非親族(友人、知人、同僚等)	ひとり暮らし
ブラジル	467	61.5	43.9	8.1	14.8	3.0	2.8	0.6	2.4	3.0	15.6
フィリピン	357	49.0	39.5	9.8	9.8	2.2	3.6	2.5	1.7	19.3	12.0
中国	154	61.0	37.7	2.6	7.1	1.3	8.4	-	1.9	9.1	17.5
ベトナム	218	23.9	14.2	2.3	-	-	-	-	1.4	53.7	18.8
韓国	57	64.9	33.3	3.5	5.3	-	5.3	-	1.8	-	21.1
ペルー	49	46.9	57.1	6.1	18.4	10.2	2.0	-	4.1	-	14.3
インドネシア	104	10.6	4.8	-	1.0	-	1.9	-	1.0	67.3	20.2
ネパール	56	62.5	26.8	1.8	1.8	-	1.8	3.6	7.1	14.3	19.6
二重国籍	3	-	-	33.3	66.7	-	-	33.3	-	33.3	-

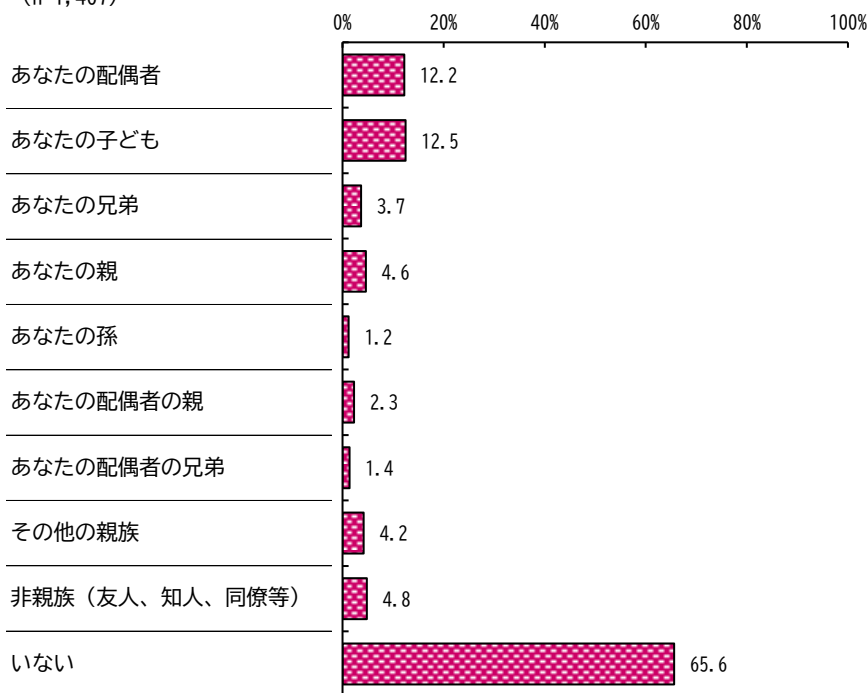
単位 (%)

- 国籍別にみると、「あなたの配偶者」は韓国 64.9%、ネパール 62.5%、ブラジル 61.5%、中国 61.0% などが多く、「非親族（友人、知人、同僚等）」はインドネシア、ベトナムでそれぞれ 67.3%、53.7% と最も多くなっている。

(9) 今後、来日して一緒に暮らす予定の人

問9 今後、本国から来日して一緒に暮らす予定の人についてお知らせください。(あてはまるもの全てに○)

(n=1,467)



- 今後、来日して一緒に暮らす予定の人は、「あなたの子ども」が 12.5%、「あなたの配偶者」が 12.2% と、ともに 1 割強で、「いない」が 65.6% となっている。

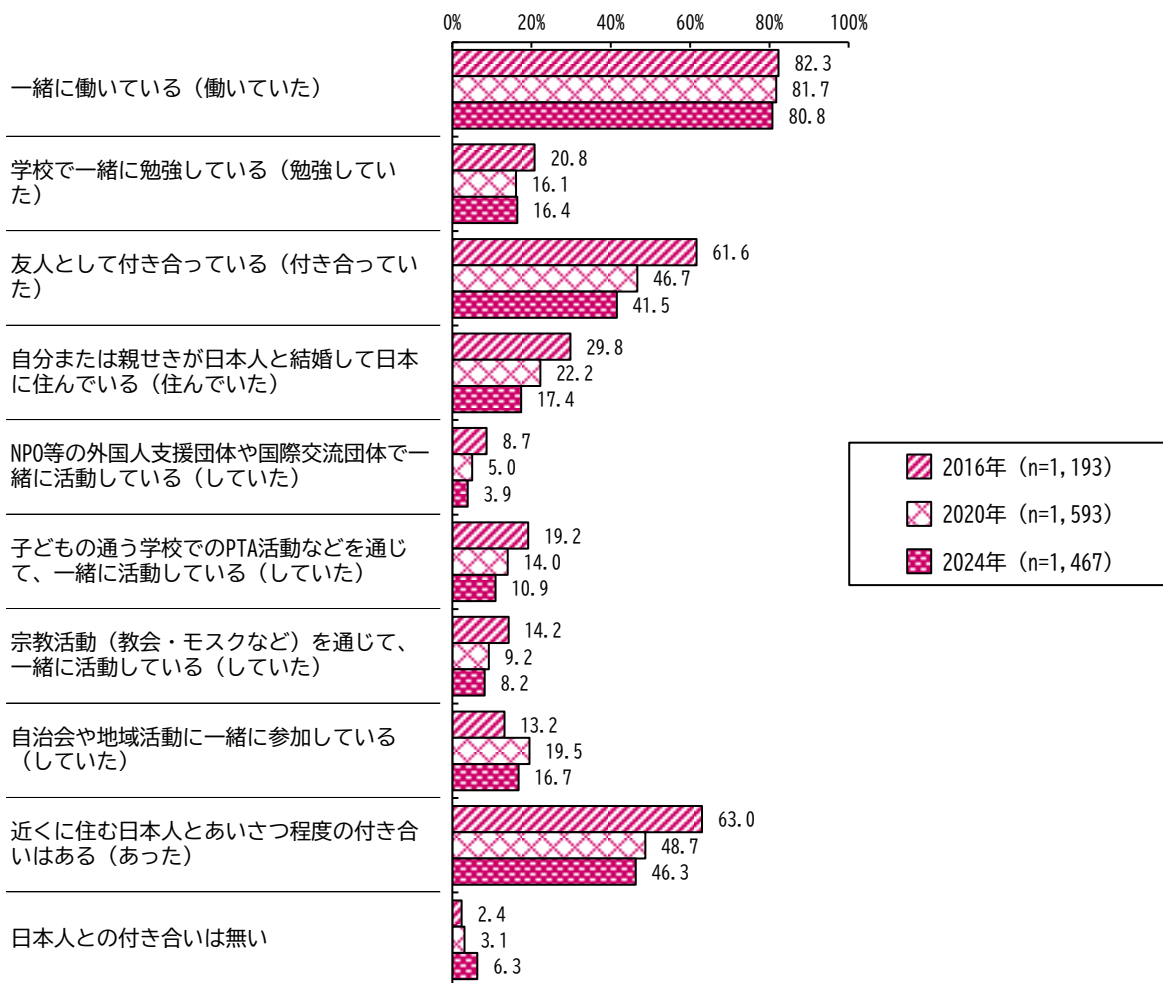
【国籍別】

	調査数 (人)	あなたの配偶 者	あなたの子ど も	あなたの兄弟	あなたの親	あなたの孫	あなたの配偶 者の親	あなたの配偶 者の兄弟	その他の親族	非親族（友人、知人、同僚等）	いない
ブラジル	467	3.2	5.1	2.6	1.7	0.6	0.9	0.6	3.4	1.3	81.2
フィリピン	357	5.9	15.4	5.3	2.8	2.0	1.1	1.4	7.0	1.7	67.2
中国	154	21.4	20.8	1.9	11.7	1.9	5.2	0.6	1.3	3.2	53.9
ベトナム	218	30.7	17.9	3.7	4.6	1.4	2.8	0.5	1.8	15.6	44.0
韓国	57	7.0	7.0	-	-	-	1.8	-	-	-	84.2
ペルー	49	8.2	6.1	2.0	8.2	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	67.3
インドネシア	104	7.7	5.8	6.7	2.9	-	1.0	3.8	10.6	15.4	69.2
ネパール	56	48.2	37.5	8.9	25.0	1.8	16.1	7.1	3.6	5.4	17.9
二重国籍	3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	66.7

- ・ 国籍別にみると、ネパールで「あなたの配偶者」が 48.2%、その他の国籍で「いない」が最も多くなっている。

(10) 日本人と付き合いがあるか

問 10 あなたは日本人と以下のような付き合いがありますか。（過去の経験も含めて、あてはまるもの全てに○）



- 日本人との付き合いは、「一緒に働いている（働いていた）」が80.8%で最も多く、次いで「近くに住む日本人とあいさつ程度の付き合いはある（あった）」が46.3%、「友人として付き合い合っている（付き合い合っていた）」が41.5%であった。
- 過去調査と比較すると、「友人として付き合い合っている（付き合い合っていた）」は2020年調査から5.2ポイント少なくなっている。

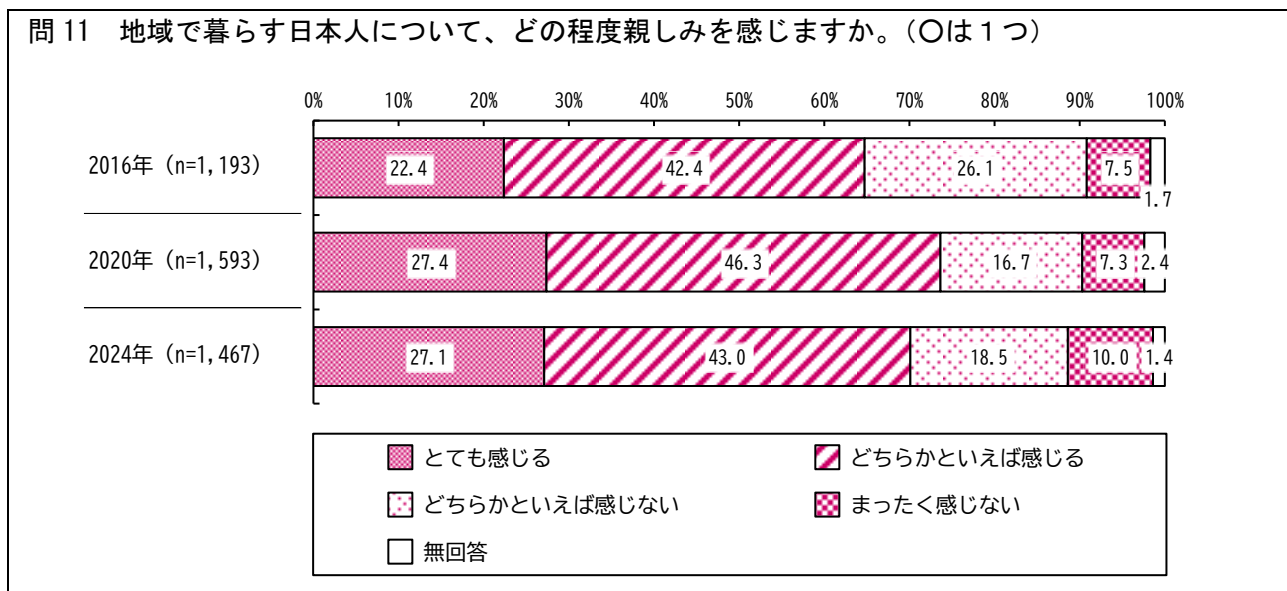
【国籍別】

単位 (%)

	調査数 (人)	一緒に働いている (働いていた)	学校と一緒に 勉強している (勉強していた)	友人として付 き合っている (付き合い合 っていた)	自分または親 せきが日本人 と結婚して日 本に住んでいる (住んでいた)	NPO等の外国 人支援団体や 国際交流団体 と一緒に活動 している(し ていた)	子どもの通う 学校でのPTA 活動などを通 じて、一緒に 活動している (していた)	宗教活動(教 会・モスクな ど)を通じ て、一緒に活 動している (していた)	自治会や地域 活動と一緒に 参加している (していた)	近くに住む日 本人とあいさ つ程度の付き 合いはある (あった)	日本人との付 き合いは無い
ブラジル	467	87.2	19.9	51.8	16.5	6.4	14.3	12.6	24.8	54.0	3.0
フィリピン	357	70.9	7.6	39.8	19.3	1.7	6.2	8.4	5.3	40.6	10.6
中国	154	77.9	31.8	46.8	22.7	2.6	20.1	2.6	25.3	57.1	4.5
ベトナム	218	82.1	9.6	17.9	6.9	3.7	6.0	2.8	8.3	23.9	12.8
韓国	57	84.2	43.9	75.4	61.4	3.5	26.3	15.8	47.4	77.2	-
パルー	49	67.3	10.2	38.8	26.5	6.1	14.3	4.1	16.3	36.7	8.2
インドネシア	104	96.2	11.5	32.7	5.8	1.9	2.9	8.7	12.5	51.0	-
ネパール	56	78.6	10.7	30.4	8.9	3.6	3.6	3.6	8.9	46.4	1.8
二重国籍	3	33.3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-

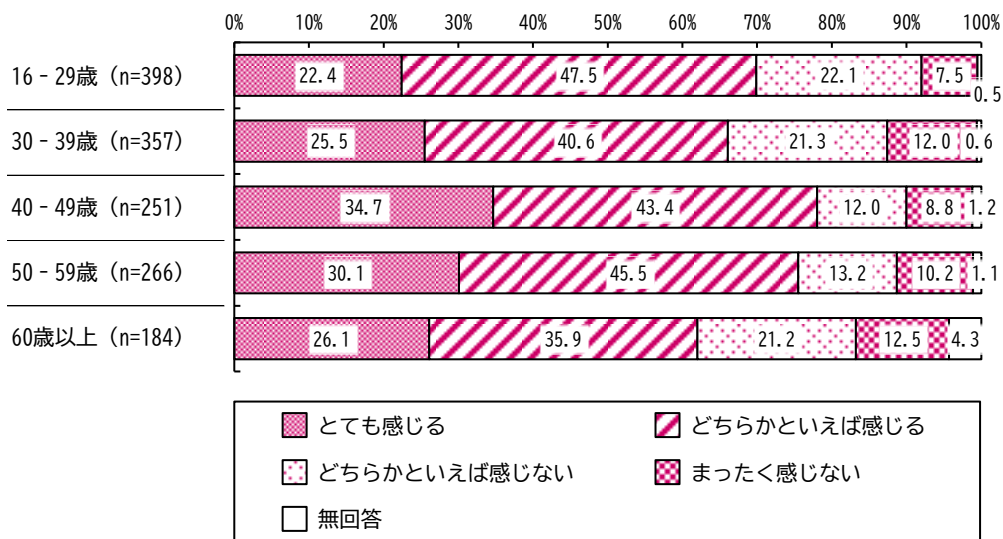
- 国籍別にみると、「一緒に働いている（働いていた）」はインドネシア96.2%、ブラジル87.2%、韓国84.2%、ベトナム82.1%などが多くなっている。
- また、韓国は他の国籍に比べて、全体的に割合が高くなっている。

(11) 地域で暮らす日本人に親しみを感ずるか



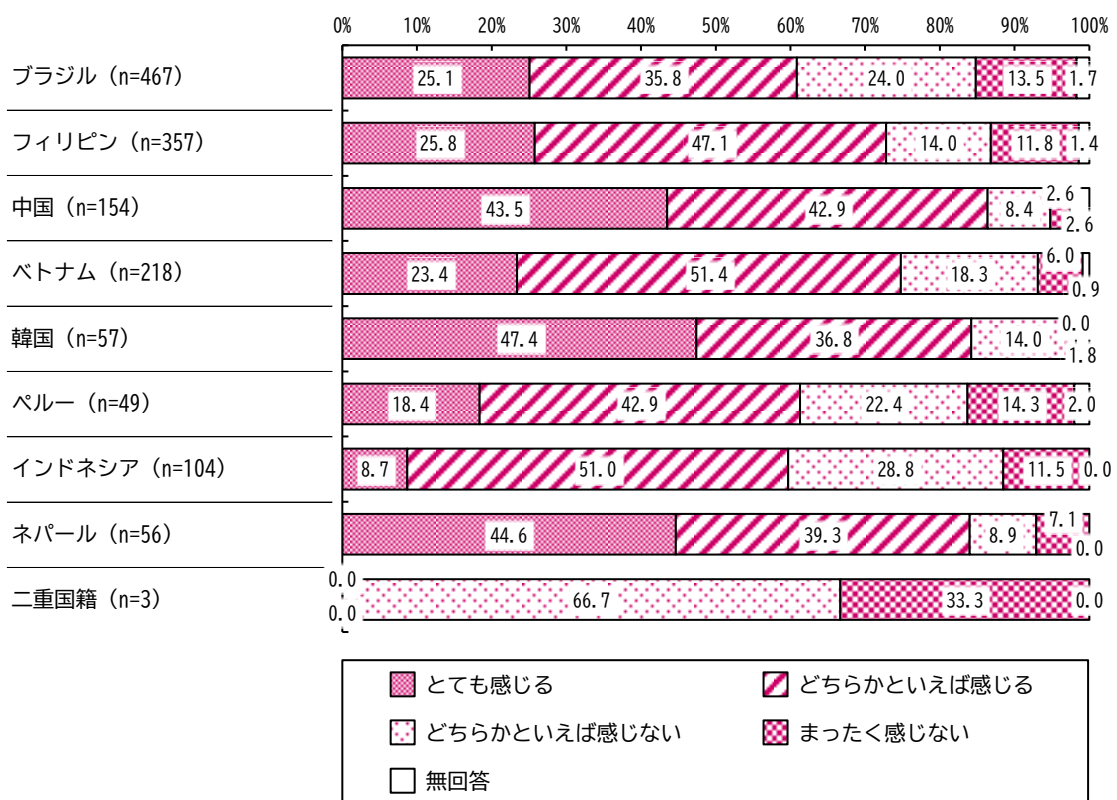
- 地域で暮らす日本人に親しみを感ずるか聞いたところ、「とても感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』は70.1%、「どちらかといえば感じない」と「まったく感じない」を合わせた『感じない』は28.5%となっている。
- 過去調査と比較すると、2020年調査から「どちらかといえば感じる」が3.3ポイント少なく、『感じない』が4.5ポイント多くなっている。

【年代別】

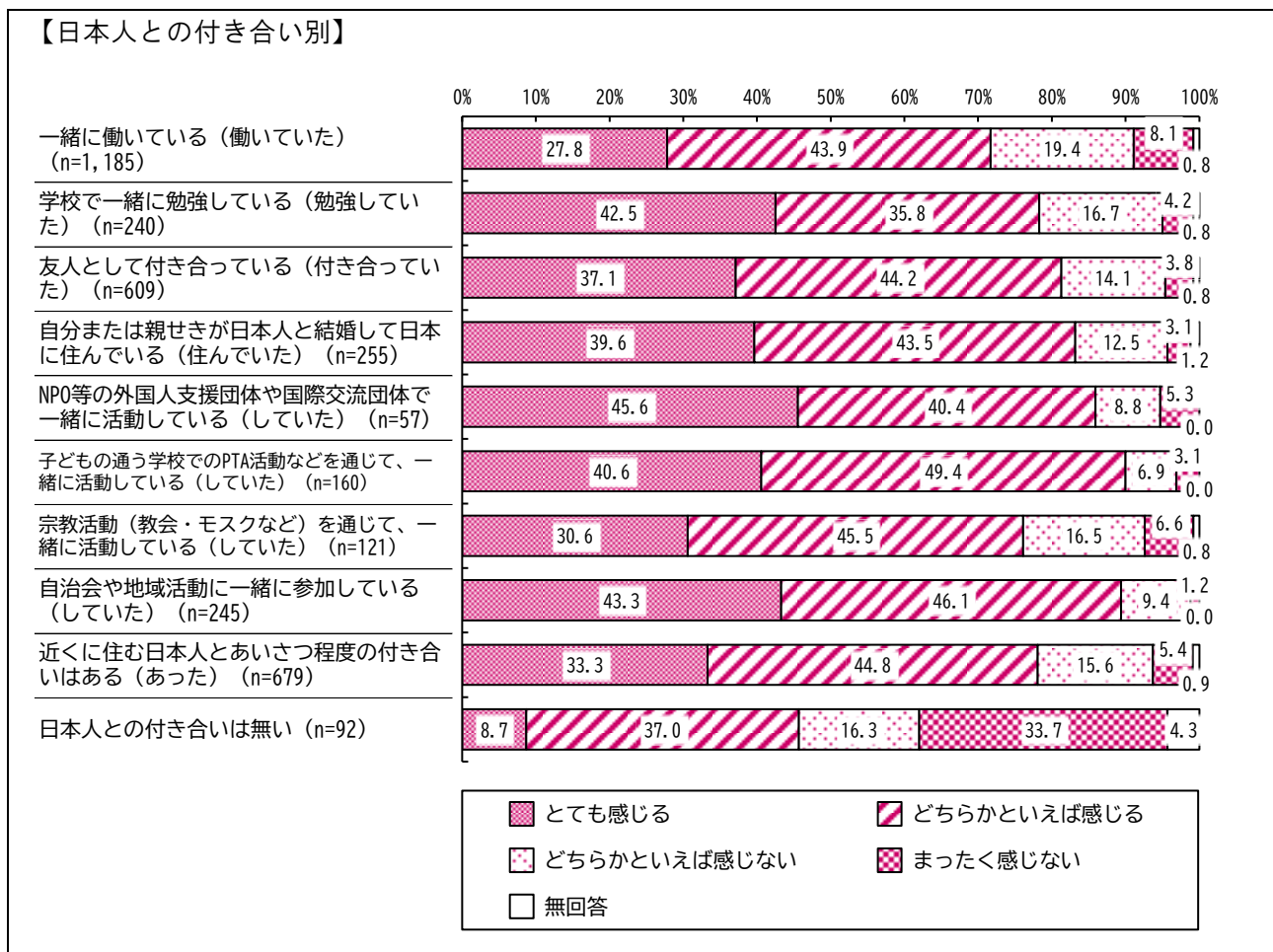


- 年代別にみると、40 - 49歳、50 - 59歳で合わせた『感じる』がそれぞれ78.1%、75.6%と8割弱を占めている。

【国籍別】



- 国籍別にみると、合わせた『感じる』は中国が86.4%で最も多く、次いで韓国が84.2%、ネパールが83.9%となっている。
- 合わせた『感じる』が少ない国籍は、インドネシア59.7%、ブラジル60.9%、ペルー61.3%などであるが、それでも約6割を占めている。



- 日本人との付き合い別に見ると、合わせた『感じる』は「子どもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している（していた）」90.0%、「自治会や地域活動と一緒に参加している（していた）」89.4%、「NPO等の外国人支援団体や国際交流団体と一緒に活動している（していた）」86.0%などが多くなっている。

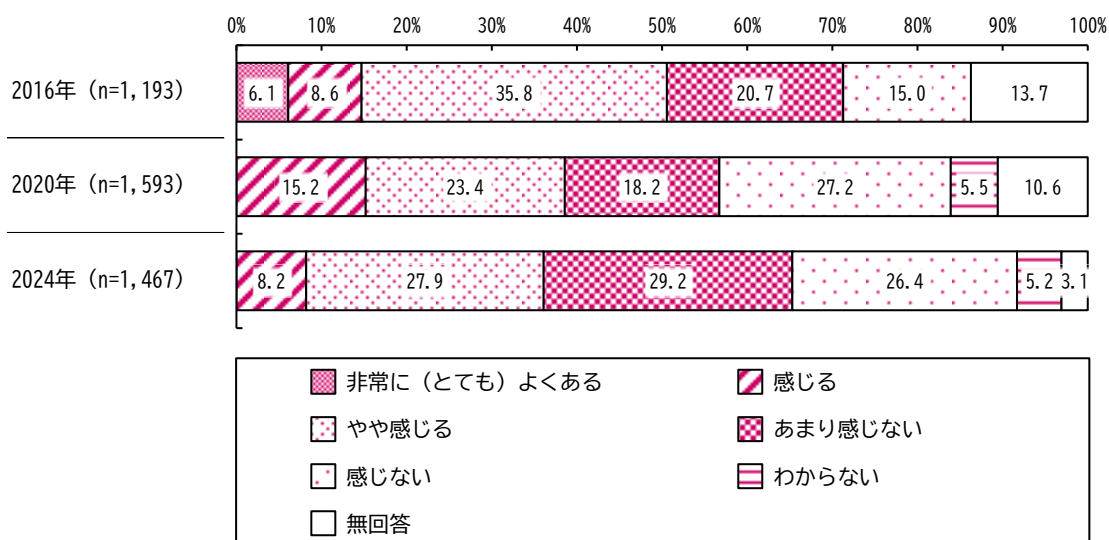
【日本語能力別】

		単位 (%)					
		調査数 (人)	とても感じる	どちらかとい えば感じる	どちらかとい えば感じない	まったく感じ ない	無回答
[聞く]	テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる	462	42.0	40.3	11.0	5.2	1.5
	相手の言うことを聞いて、大体理解できる	429	21.2	47.3	21.4	9.1	0.9
	相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる	360	21.9	45.8	20.3	11.7	0.3
	単語だけ聞き取れる	171	16.4	35.1	25.7	18.7	4.1
	ほとんど聞き取れない	42	9.5	40.5	23.8	21.4	4.8
[話す]	自分の言いたいことが問題なく話せる	352	46.6	37.2	11.6	3.1	1.4
	自分の言いたいことが大体話せる	427	24.6	50.1	15.9	8.9	0.5
	簡単な日常会話ができる	426	19.2	43.9	23.9	12.0	0.9
	自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる	211	17.5	39.8	22.3	16.6	3.8
	ほとんど話せない	40	12.5	25.0	32.5	25.0	5.0
[読む]	役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる	296	46.3	36.8	11.8	4.1	1.0
	役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる	386	24.9	48.4	17.4	8.3	1.0
	チラシやウェブサイトのお知らせを見て、日本語教室や交流イベントなどの場所や日時、内容など、必要な情報を探し出すことができる	155	21.9	47.1	18.1	11.6	1.3
	絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる	454	21.6	43.8	21.6	11.5	1.5
	ほとんど読めない	162	17.9	36.4	25.3	17.3	3.1
[書く]	仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる	210	49.5	35.7	11.9	2.4	0.5
	日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる	178	25.3	47.8	18.5	8.4	-
	職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる	347	24.8	48.7	16.7	8.4	1.4
	名前や国名、住所などが書ける	520	23.7	43.7	20.8	10.8	1.2
	ほとんど書けない	194	18.0	35.1	23.7	19.6	3.6

- ・ 日本語能力別にみると、[聞く]～[書く]のレベルの高い人で「とても感じる」の割合が高く、[書く]では49.5%と約半数を占めている。
- ・ 「とても感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』は、[聞く]～[書く]のレベルの高い人でいずれも80%以上となっている。

(12) 日本人から差別されていると感じることがあるか

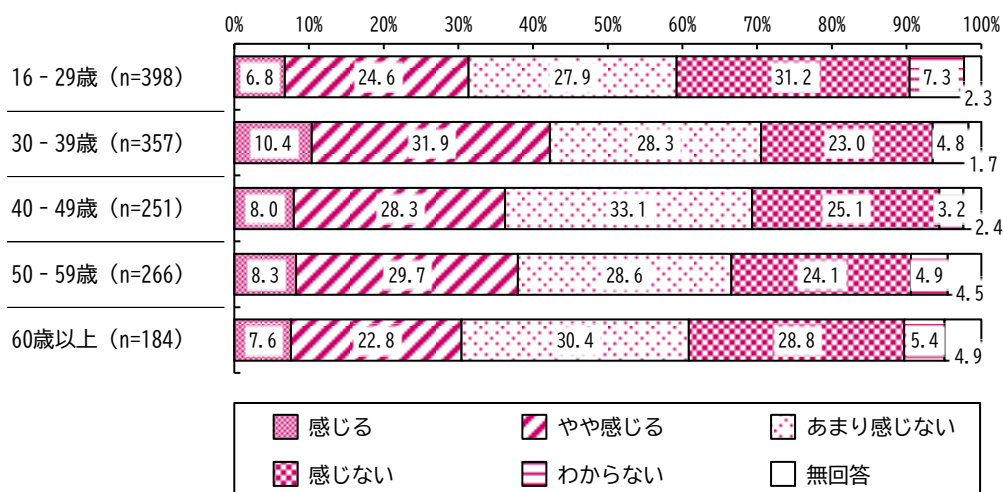
問 12 あなたは、日本人から差別されていると感じることがありますか。(○は1つ)



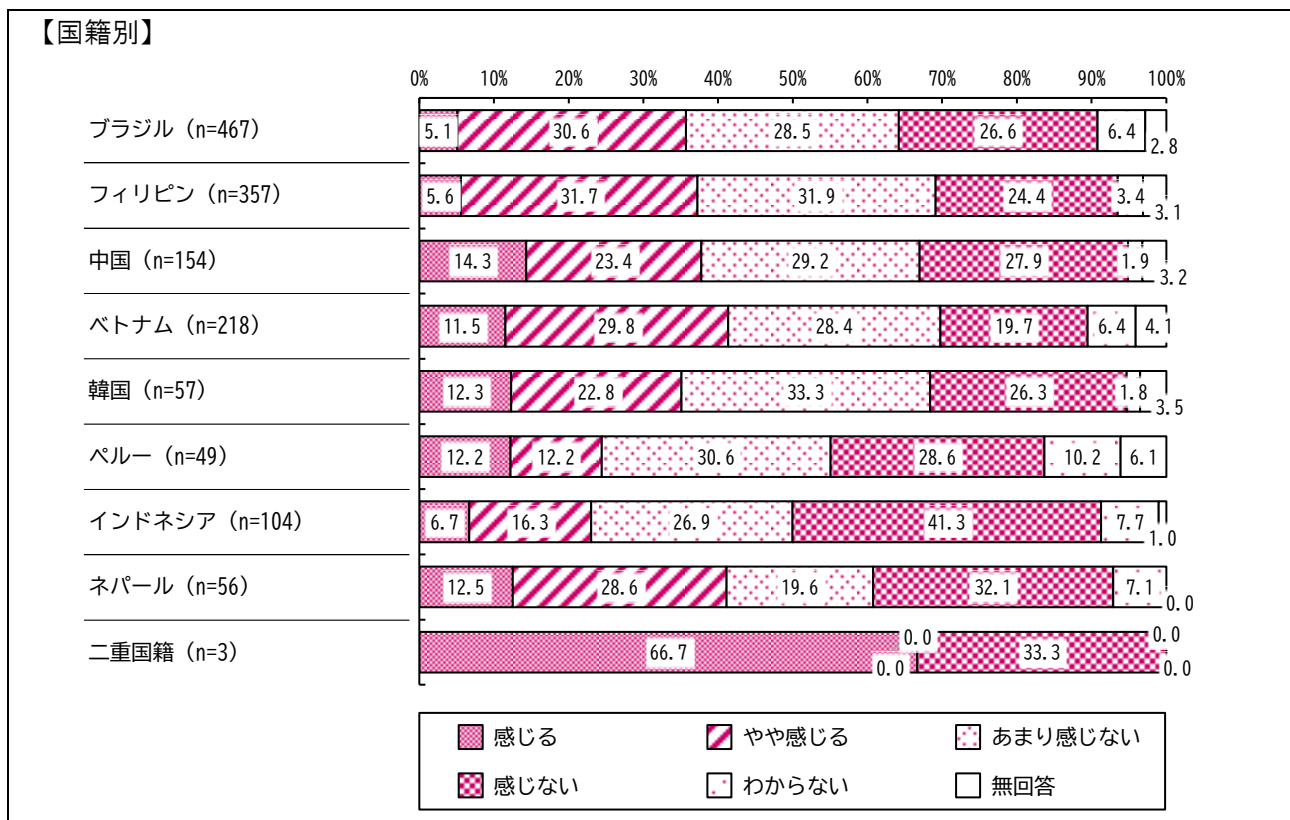
※「非常に(とても)よくある」は2016年のみ、「わからない」は2020年から。

- ・ 日本人から差別されていると感じることがあるか聞いたところ、「感じる」が 8.2%、「やや感じる」が 27.9%で、合わせた『感じる』は 36.1%となっている。
- ・ 「あまり感じない」は 29.2%、「感じない」は 26.4%で、合わせた『感じない』は 55.6%と半数以上であった。
- ・ 2020年調査と比較すると『感じる』が 2.5ポイント減少し、『感じない』が 10.2ポイント増えている。

【年代別】



- ・ 年代別にみると、30 - 39歳で合わせた『感じる』が 42.3%と多くなっている。

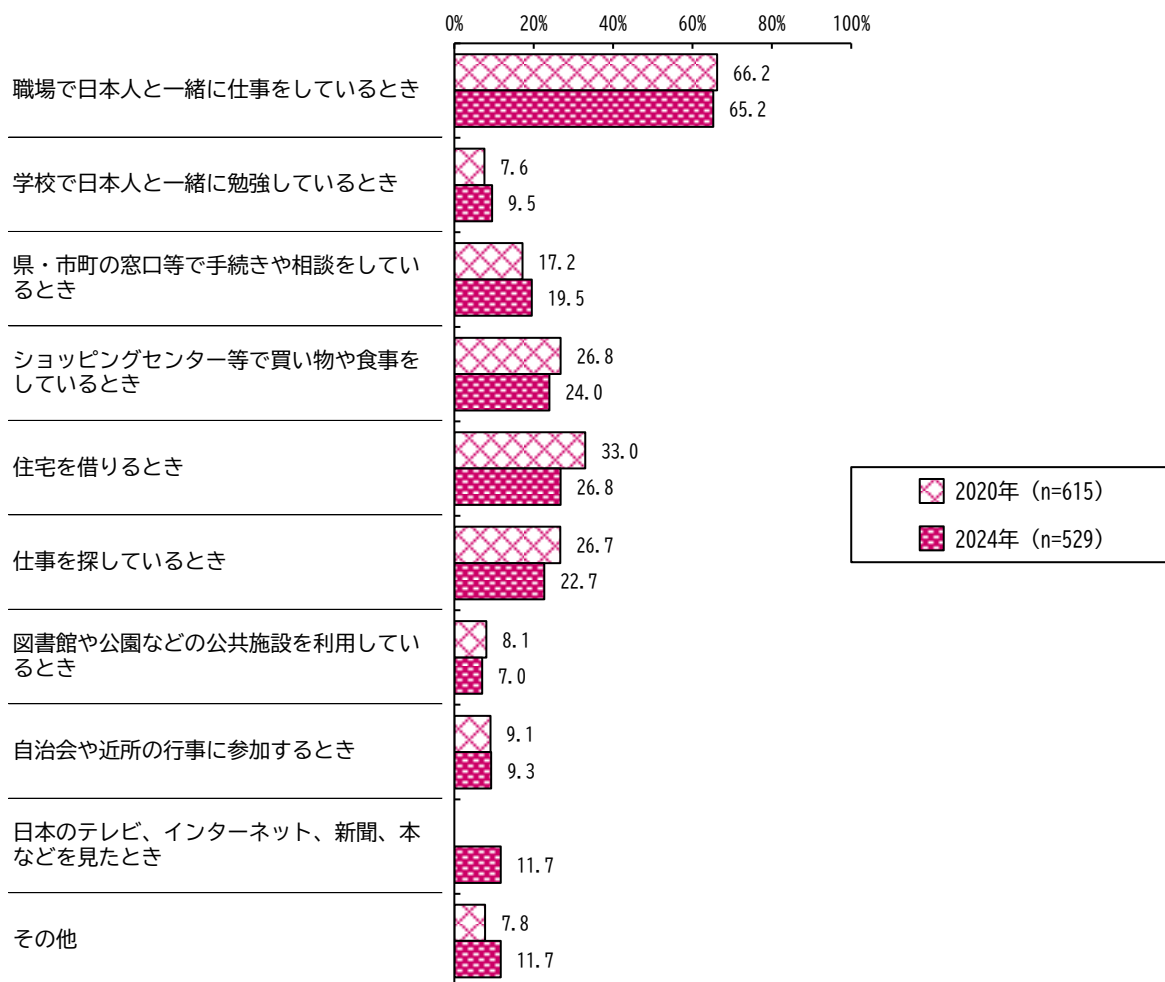


- ・ 国籍別にみると、合わせた『感じる』は、ベトナム 41.3%、ネパール 41.1%が4割以上となっている。
- ・ 反対に『感じる』が少ないのは、インドネシア 23.0%、ペルー24.4%などであった。

(13) どんな時に日本人から差別されていると感じるか

問 12-1 問 12 で、「1 感じる」、「2 やや感じる」と答えた方にお伺いします。

あなたは、どんな時に、日本人から差別されていると感じますか。(過去の経験も含めて、あてはまるもの全てに○)



※「日本のテレビ、インターネット、新聞、本などを見たとき」は2024年から。

- ・ 前問で差別を「感じる」「やや感じる」と回答した人にその場面を聞いたところ、「職場で日本人と一緒に仕事をしているとき」が65.2%で最も多くなっている。
- ・ 以下、「住宅を借りるとき」が26.8%、「ショッピングセンター等で買い物や食事をしているとき」が24.0%、「仕事を探しているとき」が22.7%となっている。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から「住宅を借りるとき」が6.2ポイント、「仕事を探しているとき」が4.0ポイント少なくなっている。

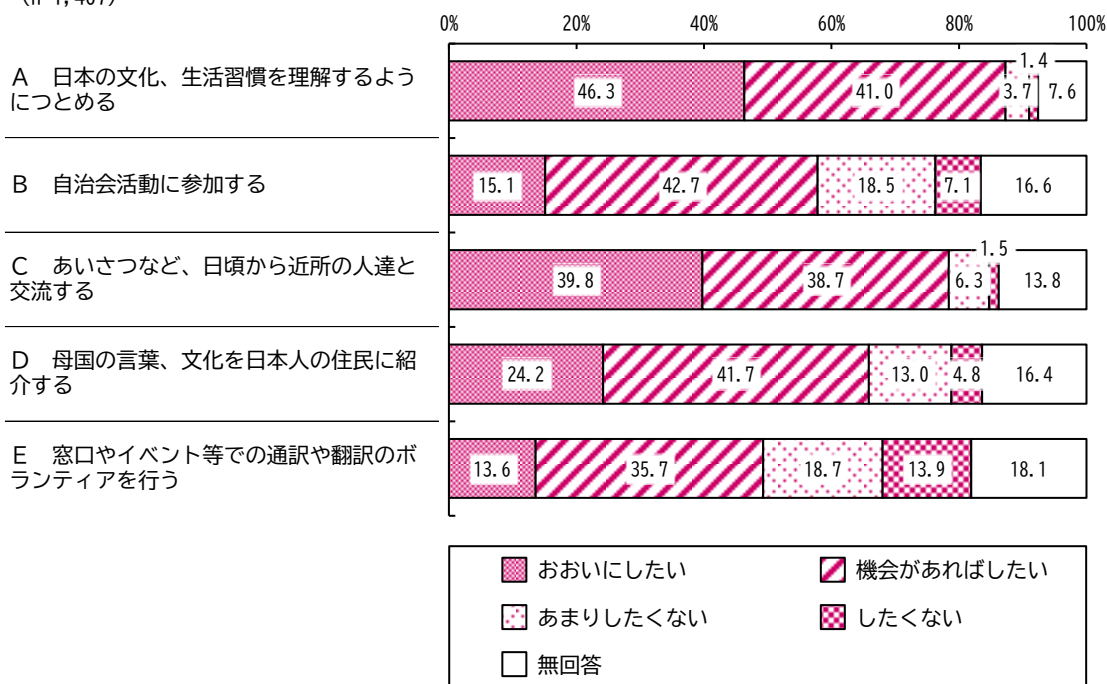
	調査数 (人)	職場で日本人 と一緒に仕事を しているとき	学校で日本人 と一緒に勉強 しているとき	県・市町の窓 口等で手続さ や相談をして いるとき	ショッピング センター等で 買い物や食事 をしているとき	住宅を借りる とき	仕事を探して いるとき	図書館や公園 などの公共施 設を利用して いるとき	自治会や近所 の行事に参加 するとき	日本のテレ ビ、インター ネット、新 聞、本など を見たとき	その他
ブラジル	167	59.3	12.6	31.1	33.5	38.9	29.9	12.0	14.4	12.6	12.6
フィリピン	133	69.9	3.0	14.3	14.3	18.0	18.0	0.8	5.3	8.3	9.8
中国	58	63.8	15.5	8.6	22.4	25.9	20.7	1.7	10.3	25.9	13.8
ベトナム	90	70.0	8.9	13.3	27.8	23.3	14.4	12.2	5.6	7.8	11.1
韓国	20	45.0	20.0	40.0	5.0	30.0	35.0	5.0	10.0	30.0	20.0
ペルー	12	50.0	8.3	25.0	33.3	41.7	25.0	8.3	25.0	-	8.3
インドネシア	24	83.3	4.2	4.2	20.8	4.2	-	-	-	-	12.5
ネパール	23	73.9	4.3	13.0	17.4	21.7	47.8	8.7	8.7	8.7	8.7
二重国籍	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-

- 国籍別にみると、「職場で日本人と一緒に仕事をしているとき」はインドネシア 83.3%、ネパール 73.9%、ベトナム 70.0%、フィリピン 69.9%などがおおよそ7割以上となっている。

(14) 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるためにしたいこと

問 13 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるために、あなたは以下のことをどの程度したいと思いますか。（A～Eのそれぞれについて、あてはまる番号1つに○）

(n=1,467)



- 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるためにしたいことを聞いたところ、＜A 日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる＞は、「おおいにしたい」が 46.3%、「機会があればしたい」が 41.0%で、合わせた『したい』は 87.3%を占めた。
- 一方、「あまりしたくない」は 3.7%、「したくない」は 1.4%で、合わせた『したくない』は 5.1%であった。
- ＜B 自治会活動に参加する＞は、「おおいにしたい」が 15.1%、「機会があればしたい」が 42.7%

で、合わせた『したい』は57.8%と6割弱を占めた。「あまりしたくない」は18.5%、「したくない」は7.1%で、合わせた『したくない』は25.6%であった。

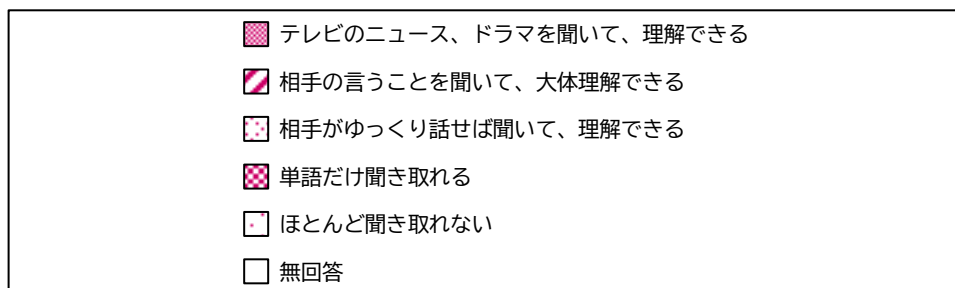
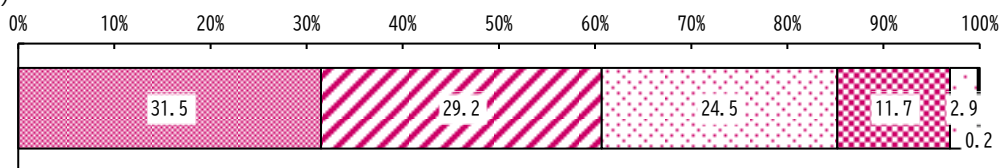
- ・ <C あいさつなど、日頃から近所の人達と交流する>は、「おおいにしたい」が39.8%、「機会があればしたい」が38.7%で、合わせた『したい』は78.5%と約8割を占めた。「あまりしたくない」は6.3%、「したくない」は1.5%で、合わせた『したくない』は7.8%であった。
- ・ <D 母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する>は、「おおいにしたい」が24.2%、「機会があればしたい」が41.7%で、合わせた『したい』は65.9%であった。「あまりしたくない」は13.0%、「したくない」は4.8%で、合わせた『したくない』は17.8%であった。
- ・ <E 相談窓口やイベント等での通訳や翻訳のボランティアを行う>は、「おおいにしたい」が13.6%、「機会があればしたい」が35.7%で、合わせた『したい』は49.3%と約半数を占めた。「あまりしたくない」は18.7%、「したくない」は13.9%で、合わせた『したくない』は32.6%であった。

(15) 日本語がどのくらいできるか

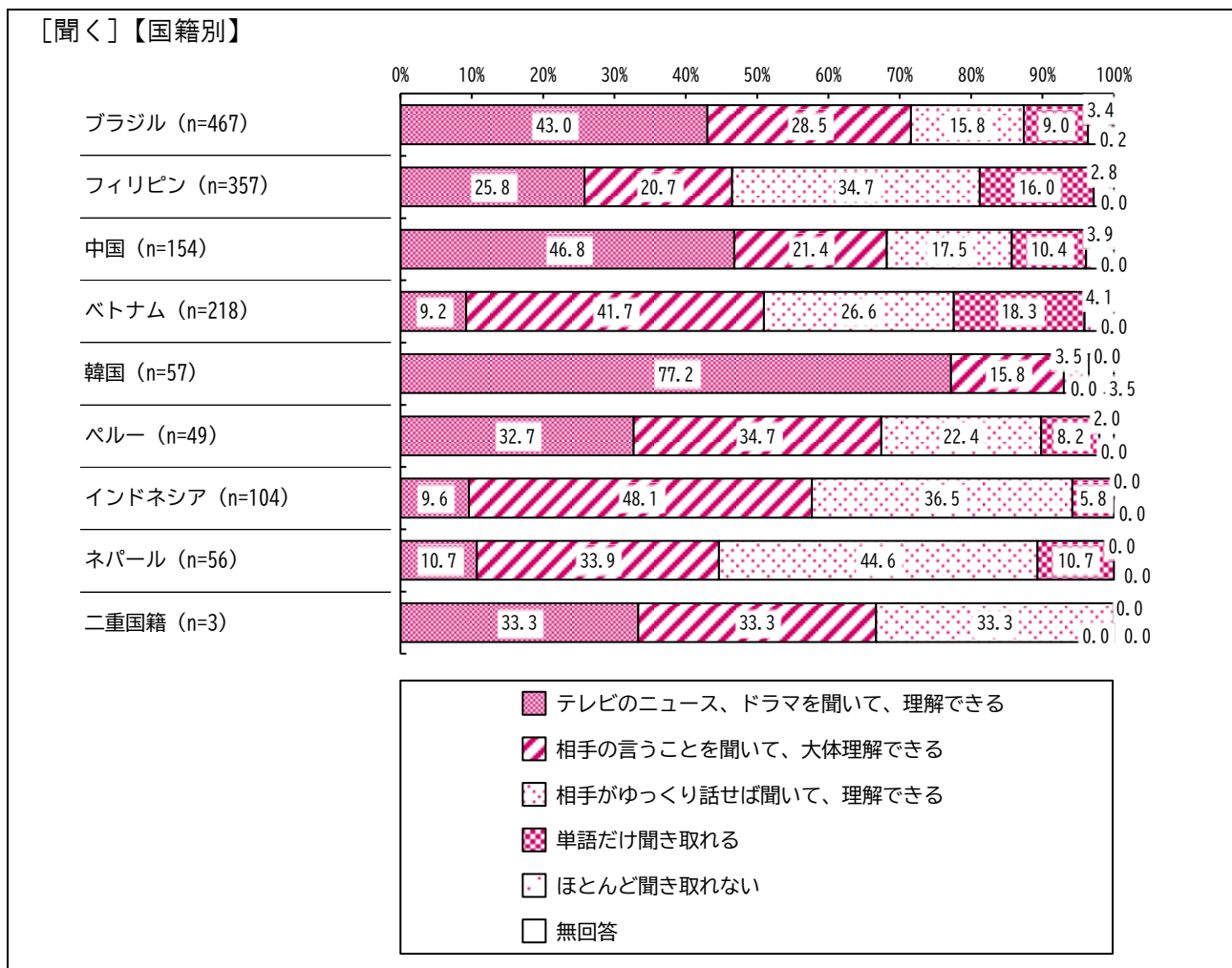
問 14 あなたは日本語がどのくらいできますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

[聞く]

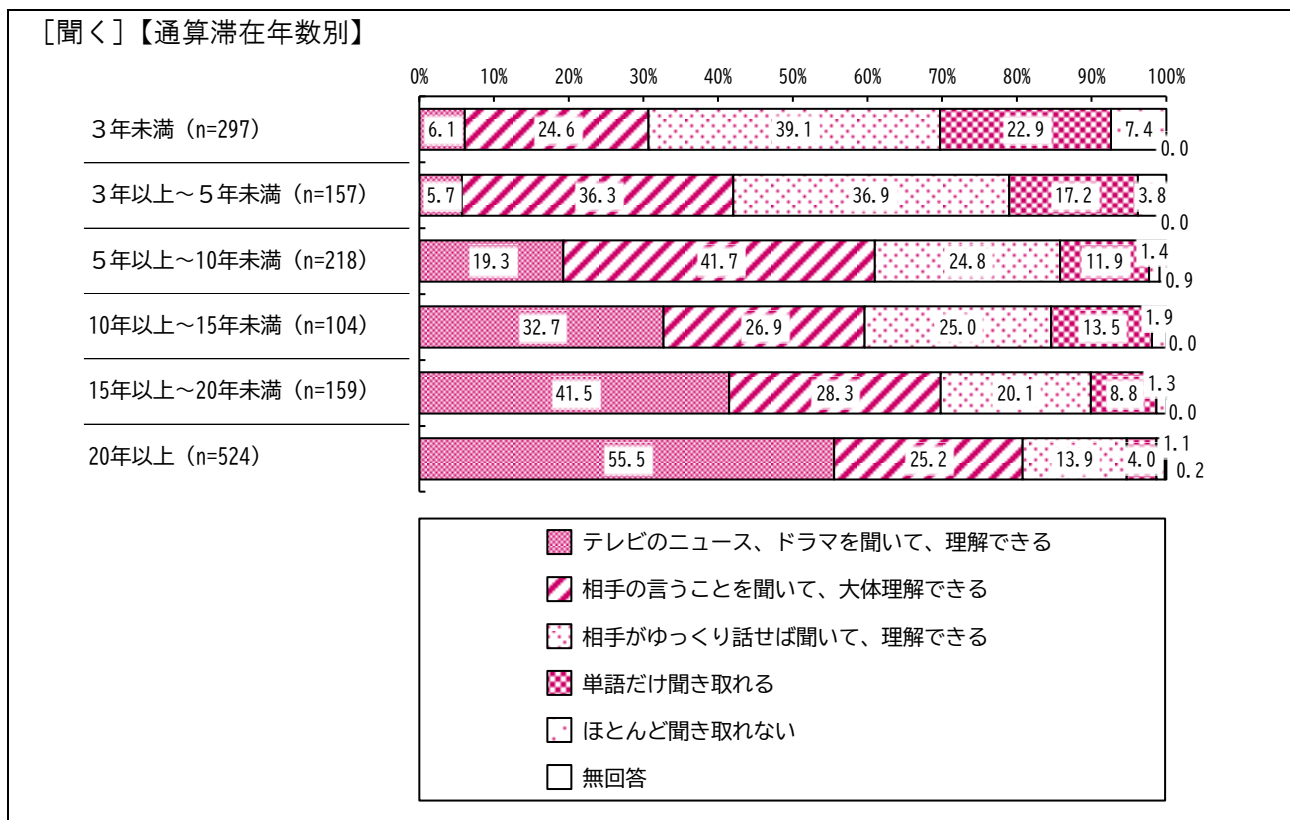
(n=1,467)



- ・ 日本語がどのくらいできるか聞いたところ、[聞く] ことについては、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」が31.5%、「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」が29.2%と、この2つがそれぞれ約3割を占めた。
- ・ 「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」が24.5%、「単語だけ聞き取れる」が11.7%、「ほとんど聞き取れない」が2.9%となっている。
- ・ 「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」を合わせた『やさしい日本語で話せばわかる』は、85.2%となっている。

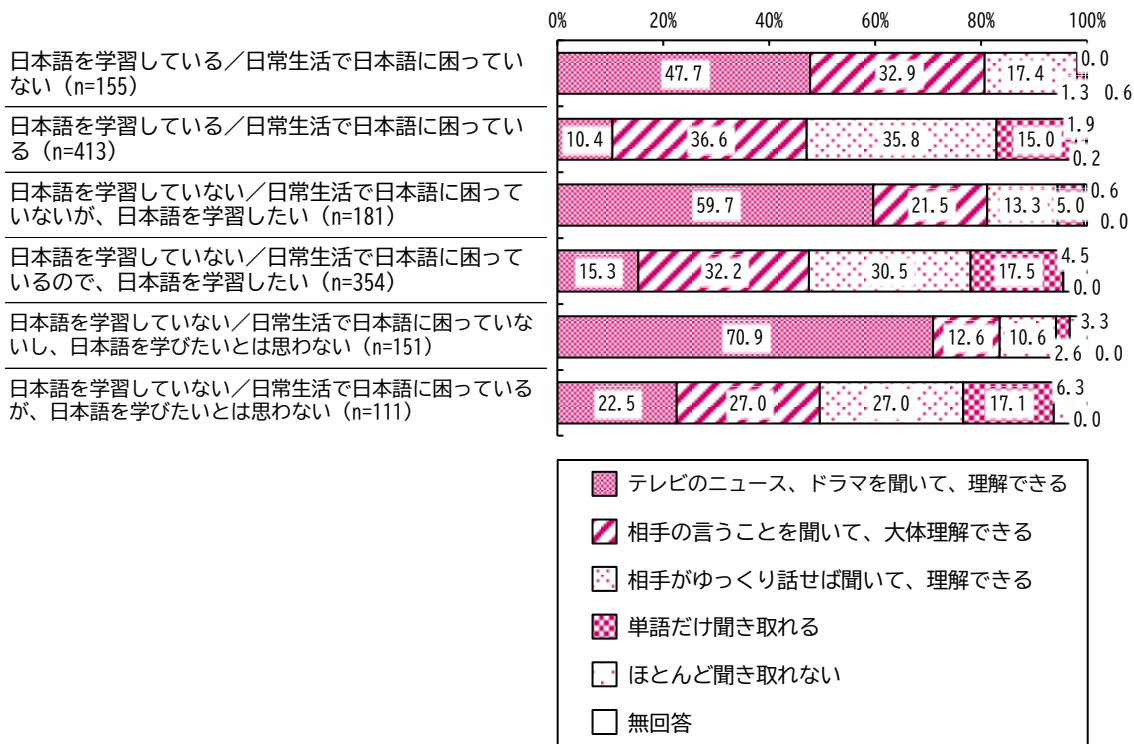


- ・ 国籍別にみると、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」は、韓国で77.2%、中国で46.8%、ブラジルで43.0%と割合が高くなっている。
- ・ 「単語だけ聞き取れる」は、ベトナム18.3%、フィリピン16.0%などが多い。



- ・ 通算滞在年数別にみると、滞在期間が長いほど聞く能力は高くなる傾向となっている。
- ・ 一方、滞在年数が15年以上～20年未満で10.1%、20年以上で5.1%が「単語だけ聞き取れる」「ほとんど聞き取れない」と回答している。

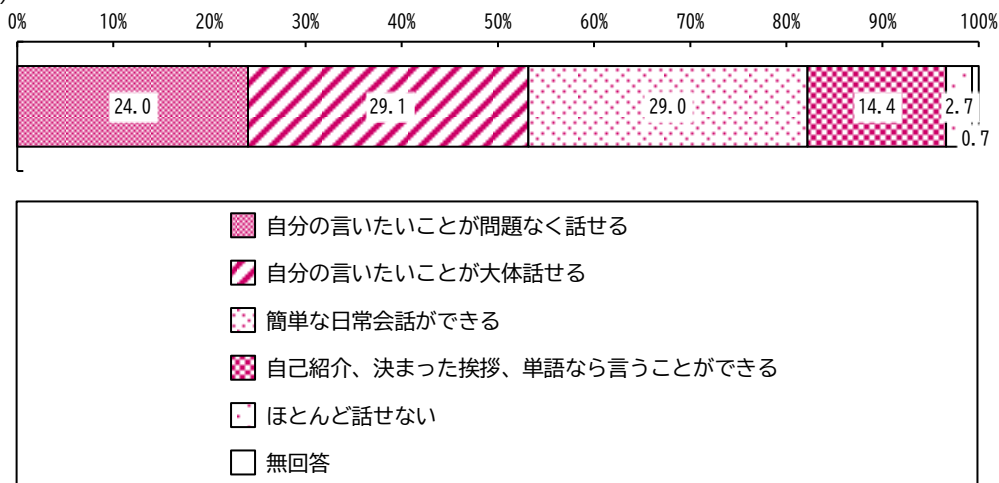
【聞く】【日本語学習の6パターン別】



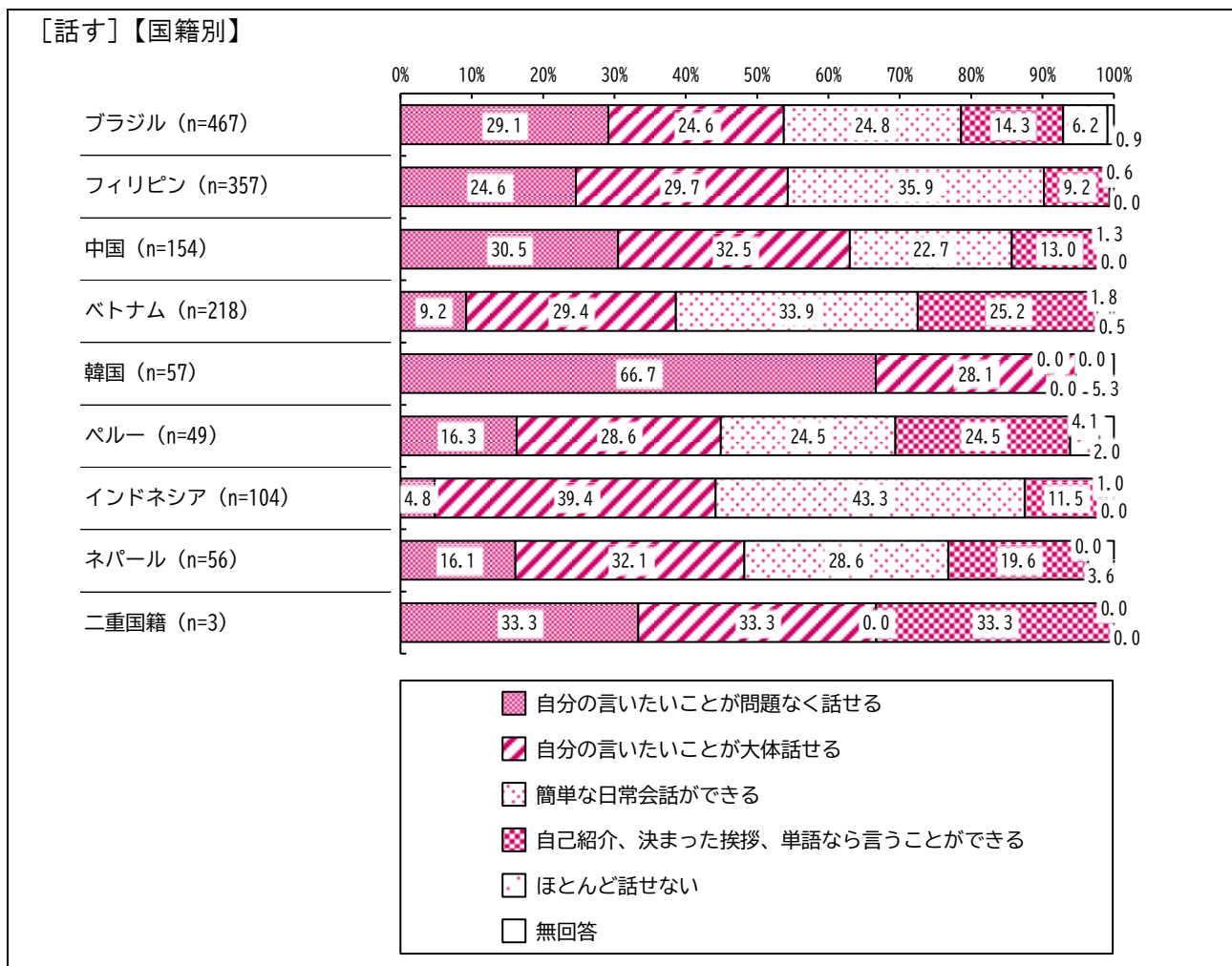
- 日本語能力の6パターン別にみると、「単語だけ聞き取れる」は、「日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているので、日本語を学習したい」で17.5%、「日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているが、日本語を学びたいとは思わない」で17.1%と多くなっている。

【話す】

(n=1,467)

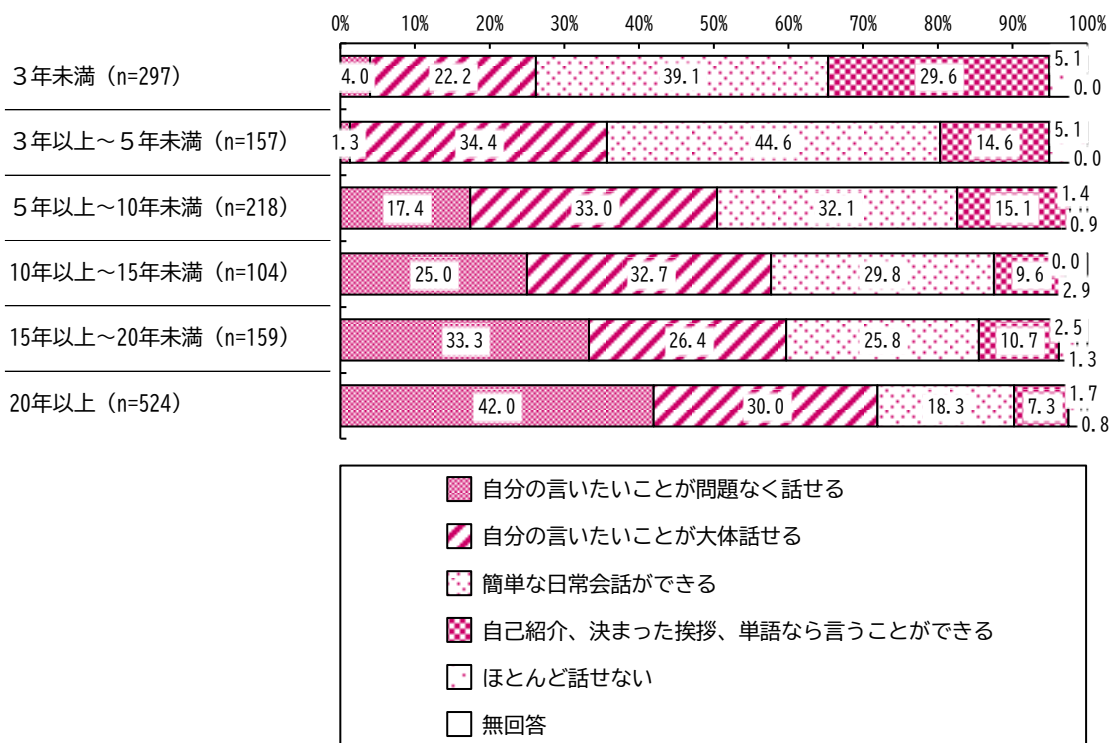


- 【話す】については、「自分の言いたいことが大体話せる」が29.1%、「簡単な日常会話ができる」が29.0%と、この2つがそれぞれ約3割を占めている。
- 「自分の言いたいことが問題なく話せる」が24.0%、「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」が14.4%、「ほとんど話せない」が2.7%となっている。



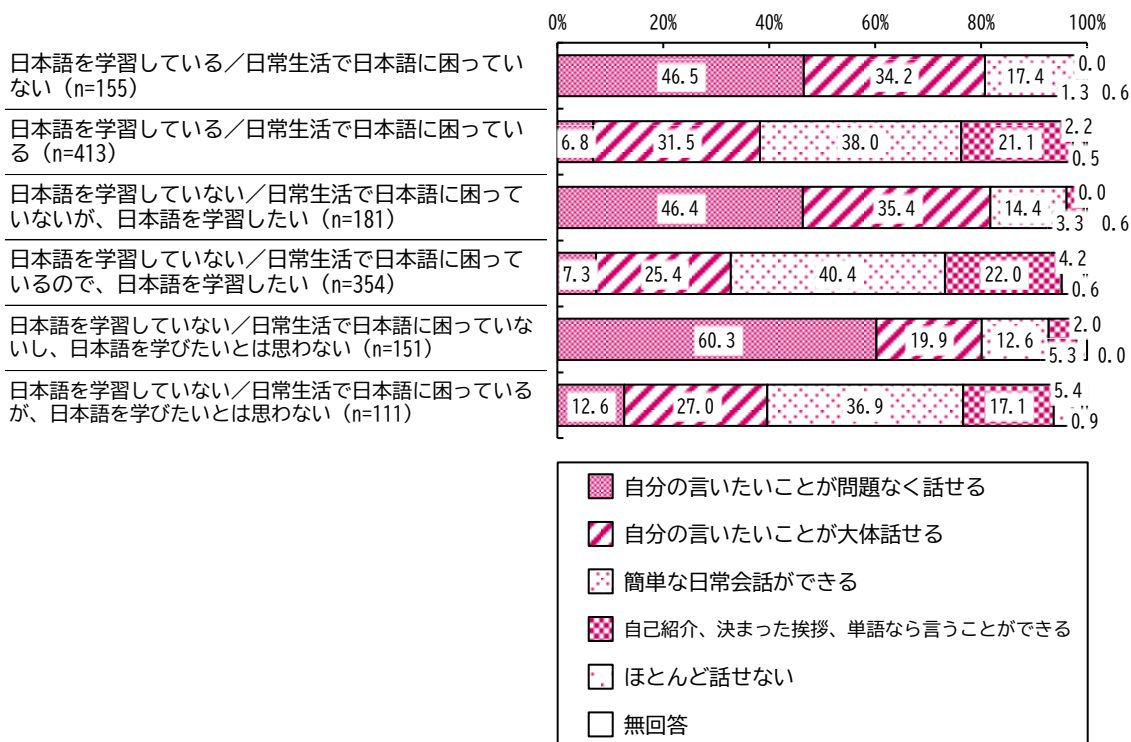
- ・ 国籍別にみると、「自分の言いたいことが問題なく話せる」は韓国で66.7%と多くなっている。
- ・ 「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」は、ベトナムで25.2%、ペルーで24.5%と多くなっている。

【話す】【通算滞在年数別】

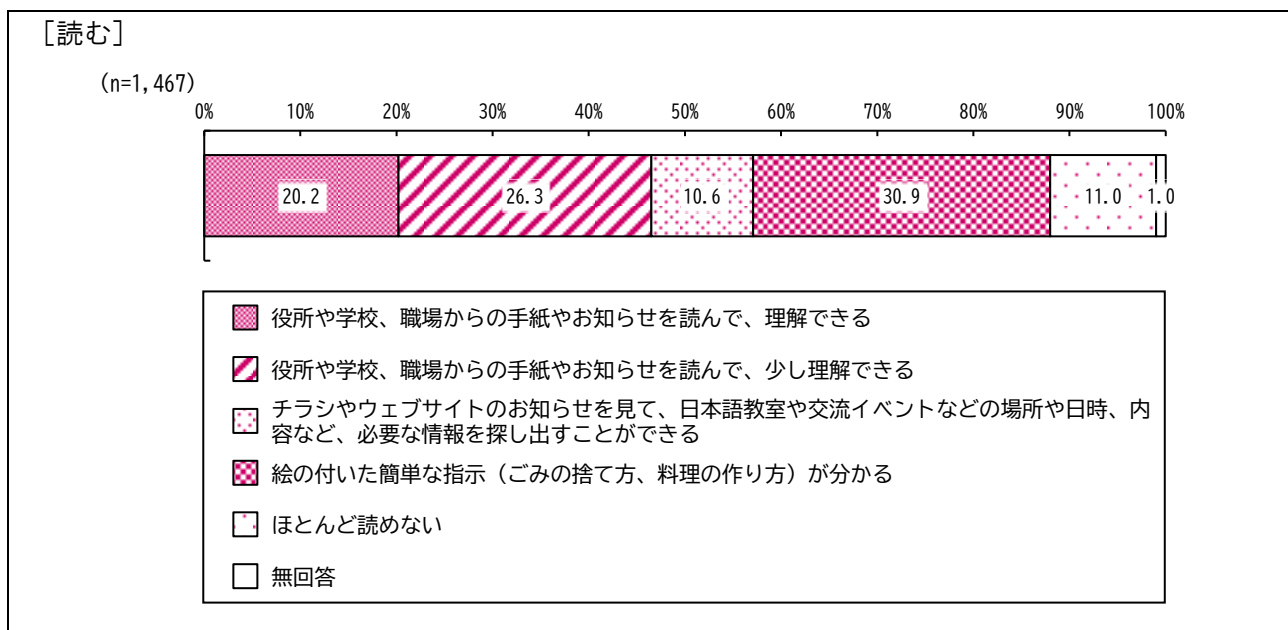


- ・ 通算滞在年数別にみると、3年未満、3年以上～5年未満では「簡単な日常会話ができる」が多く、それぞれ39.1%、44.6%となっている。
- ・ 一方、滞在年数が15年以上～20年未満で13.2%、20年以上で9.0%が「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」「ほとんど話せない」となっている。

【話す】【日本語学習の6パターン別】

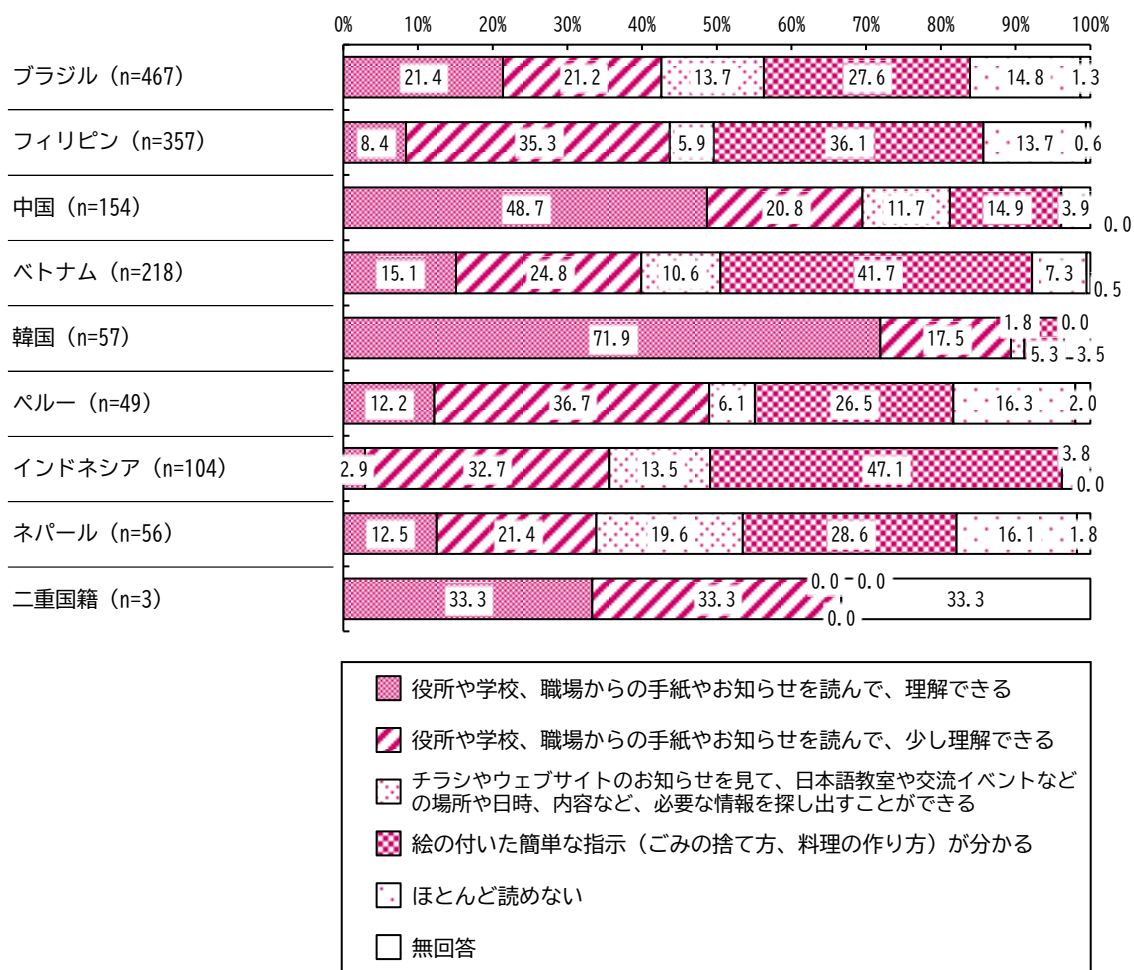


- 日本語能力の6パターン別にみると、「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」は、「日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているので、日本語を学習したい」で22.0%、「日本語を学習している／日常生活で日本語に困っている」で21.1%と多くなっている。

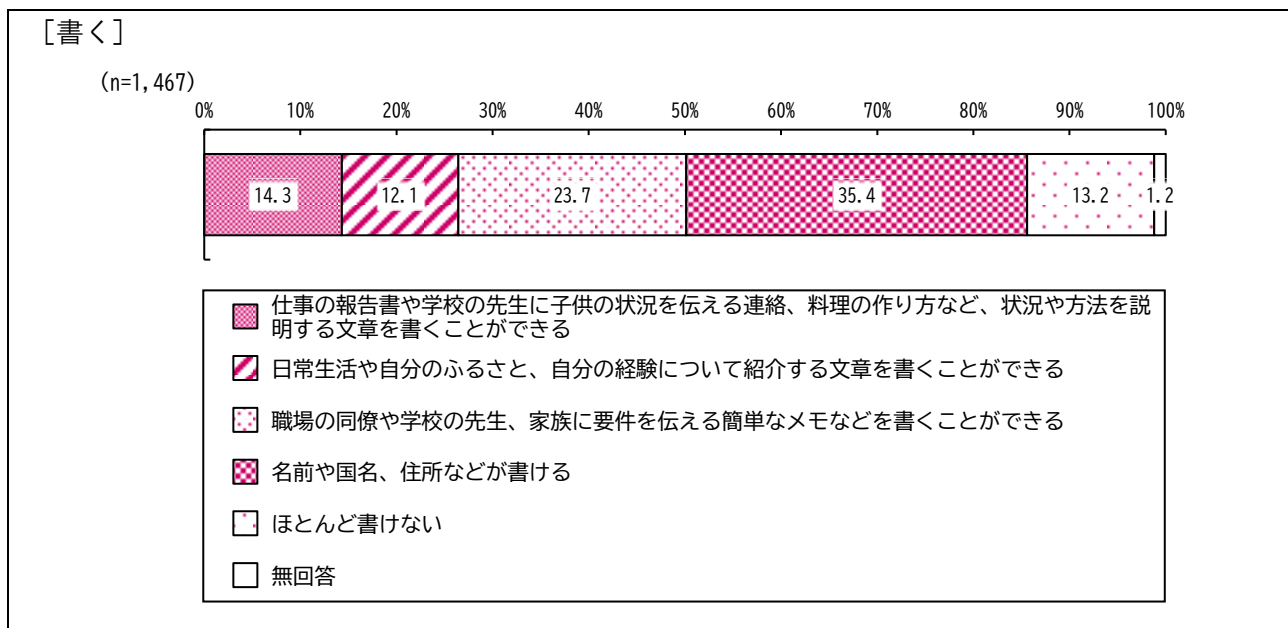


- 「読む」については、「絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる」が30.9%と最も多く、次いで「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる」が26.3%となっている。
- 以下「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」が20.2%、「チラシやウェブサイトのお知らせを見て、日本語教室や交流イベントなどの場所や日時、内容など、必要な情報を探し出すことができる」が10.6%、「ほとんど読めない」が11.0%となった。
- 「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる」「チラシやウェブサイトのお知らせを見て、日本語教室や交流イベントなどの場所や日時、内容など、必要な情報を探し出すことができる」を合わせた『やさしい日本語お知らせが読める』は、57.1%となっている。

【読む】【国籍別】

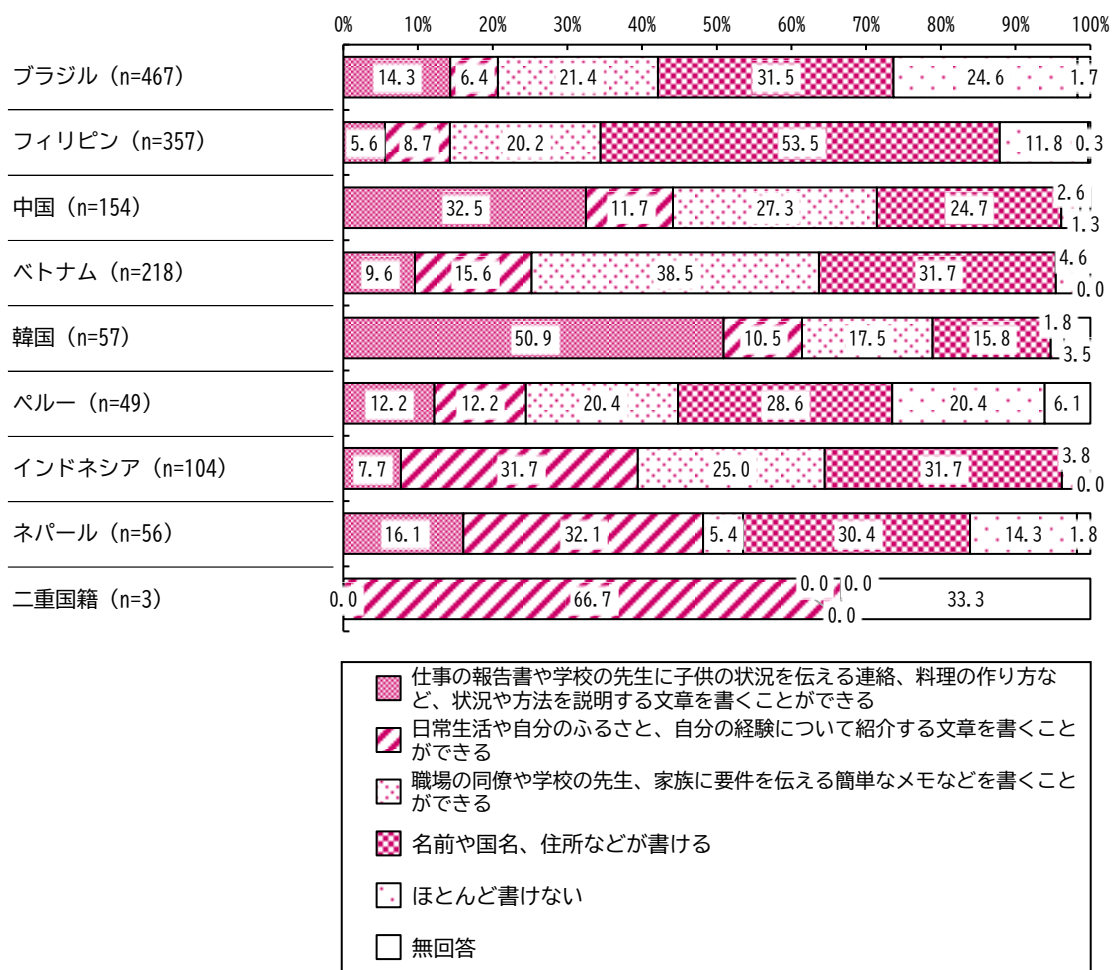


- 国籍別にみると、韓国で「役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる」が71.9%と多く、一方、「ほとんど読めない」はペルー16.3%、ネパール16.1%、ブラジル14.8%などが多くなっている。



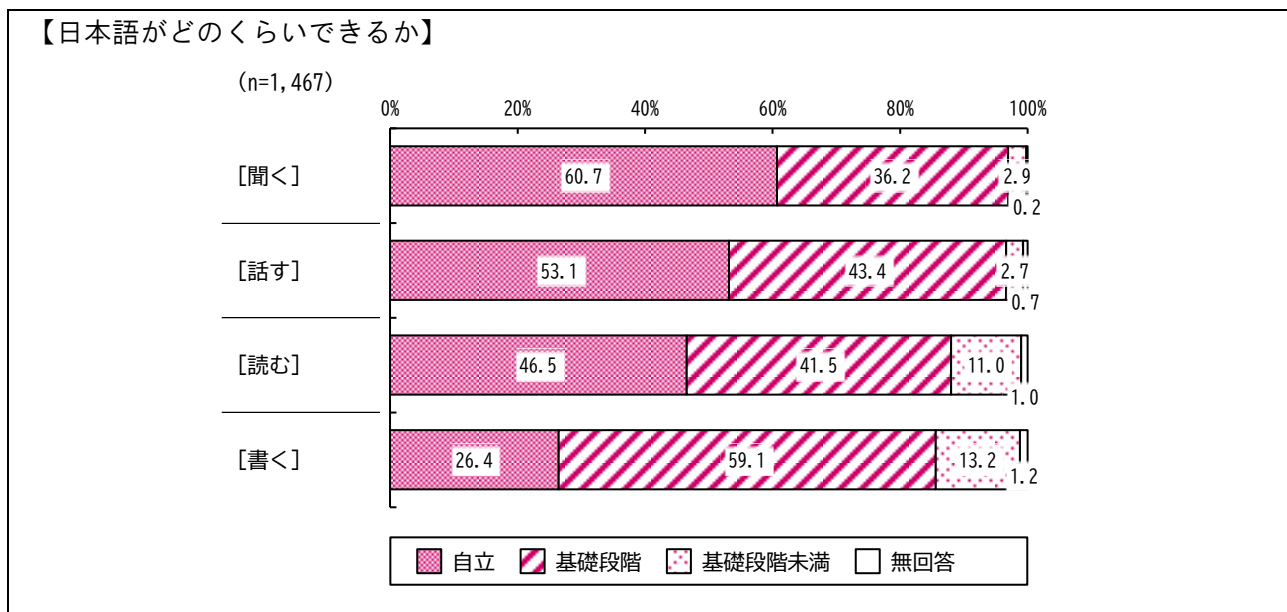
- ・ 【書く】については、「名前や国名、住所などが書ける」が35.4%と最も多く、次いで「職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる」が23.7%となっている。
- ・ 以下「仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」が14.3%、「日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる」が12.1%、「ほとんど書けない」が13.2%となった。

【書く】【国籍別】



- ・ 国籍別にみると、「仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる」は韓国で50.9%と約半数を占めている。
- ・ 一方「ほとんど書けない」は、ブラジル24.6%、ペルー20.4%などが多くなっている。

■日本語能力の4項目の比較



- 日本語教育の参照枠（下記参照）に基づき、それぞれの項目を「自立した言語使用者」「基礎段階の言語使用者」「基礎段階未満」に分類すると、聞く>話す>読む>書くの順に、日本語レベルが低下することがわかる。

「日本語教育の参照枠」の全体的な尺度（抜粋） 日本語能力の熟達度について6レベルで示したもの		
言語熟達した使用者	C2	聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。自然に、流ちょうかつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流ちょうに、また自然に自己表現ができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。
言語自立した使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテキストの主要な内容を理解できる。お互いに緊張しないで熟達した日本語話者とやり取りができるくらい流ちょうかつ自然である。
	B1	仕事、学校、娯楽でふだん出合うような身近な話題について、共通語による話し方であれば、主要点を理解できる。身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結び付けられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。
言語基礎段階の使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。

・各レベルについての説明は、CEFR日本語版（追補版）の訳文を基にし、CEFR補遺版を参考に一部修正を加えた。

（文化庁「日本語教育の参照枠」の概要より抜粋）

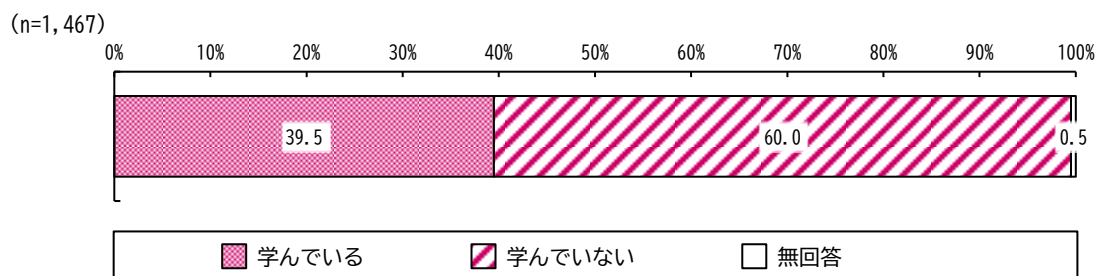
■国籍と「自立した言語使用者」の関係

自立した言語使用者の割合（高い順）【国籍別】							(%)	
	【聞く】	【話す】	【読む】	【書く】	【聞く】と【話す】の差 （【聞く】－【話す】）		【読む】と【書く】の差 （【読む】－【書く】）	
高い ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ 低い	韓国 (93.0%)	韓国 (94.7%)	韓国 (89.5%)	韓国 (61.4%)	ペルー	22.4	フィリピン	29.4
	ブラジル (71.5%)	中国 (63.0%)	中国 (69.5%)	ネパール (48.2%)	ブラジル	17.8	韓国	28.1
	中国 (68.2%)	フィリピン (54.3%)	ペルー (49.0%)	中国 (44.2%)	インドネシア	13.5	中国	25.3
	ペルー (67.3%)	ブラジル (53.7%)	フィリピン (43.7%)	インドネシア (39.4%)	ベトナム	12.4	ペルー	24.5
	インドネシア (57.7%)	ネパール (48.2%)	ブラジル (42.6%)	ベトナム (25.2%)	中国	5.2	ブラジル	21.8
	ベトナム (50.9%)	ペルー (44.9%)	ベトナム (39.9%)	ペルー (24.5%)	韓国	-1.7	ベトナム	14.7
	フィリピン (46.5%)	インドネシア (44.2%)	インドネシア (35.6%)	ブラジル (20.8%)	ネパール	-3.6	インドネシア	-3.8
	ネパール (44.6%)	ベトナム (38.5%)	ネパール (33.9%)	フィリピン (14.3%)	フィリピン	-7.8	ネパール	-14.3

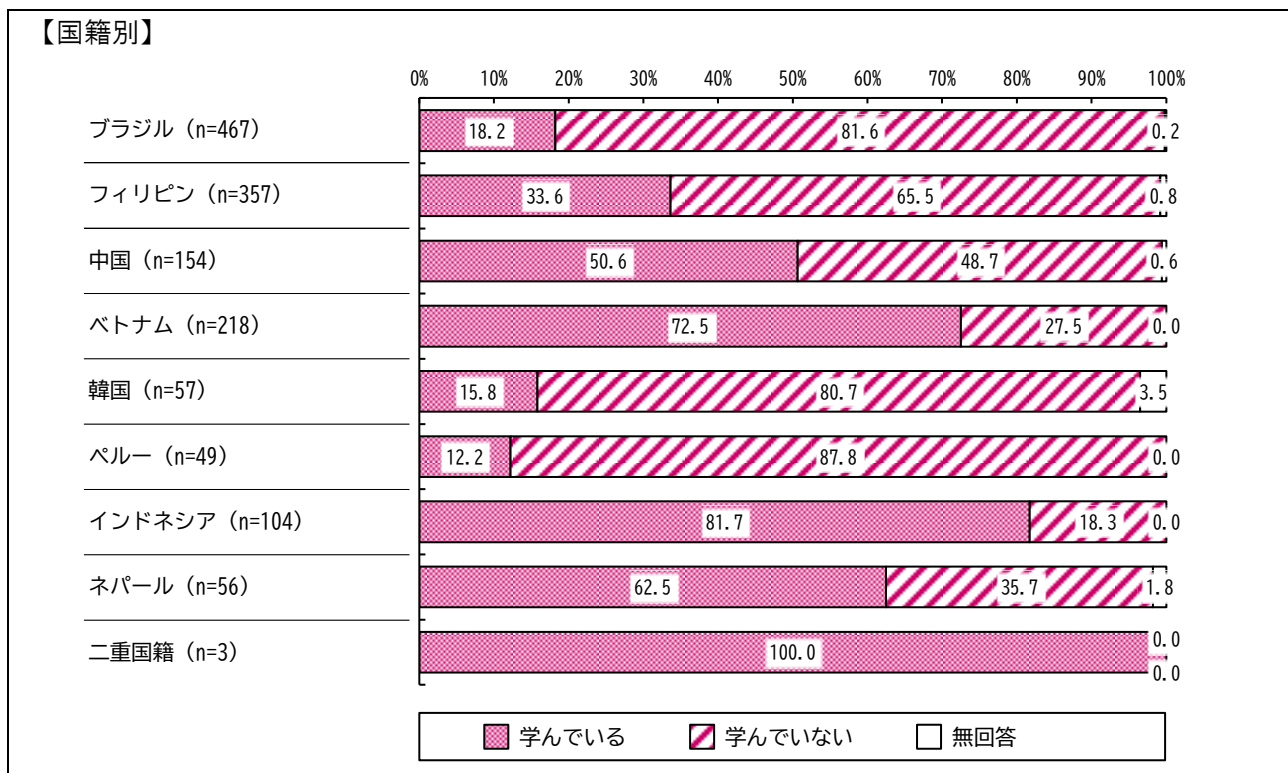
- ・ 国が「地域における日本語教育においてめざすべきレベル」として設定している「自立した言語使用者」と国籍の関係を見ると、特別永住者の多い韓国がどの項目も最も高くなっている。
- ・ 一方、ブラジルでは「聞く」が「話す」よりできる割合が高く、フィリピンはどの項目も半数程度となっている。
- ・ また、「聞く」と「読む」ではブラジル、「話す」と「書く」ではフィリピンで差が大きく、会話だけでも読み書きは難しい状況がわかる。

(16) 現在の日本語の学習状況

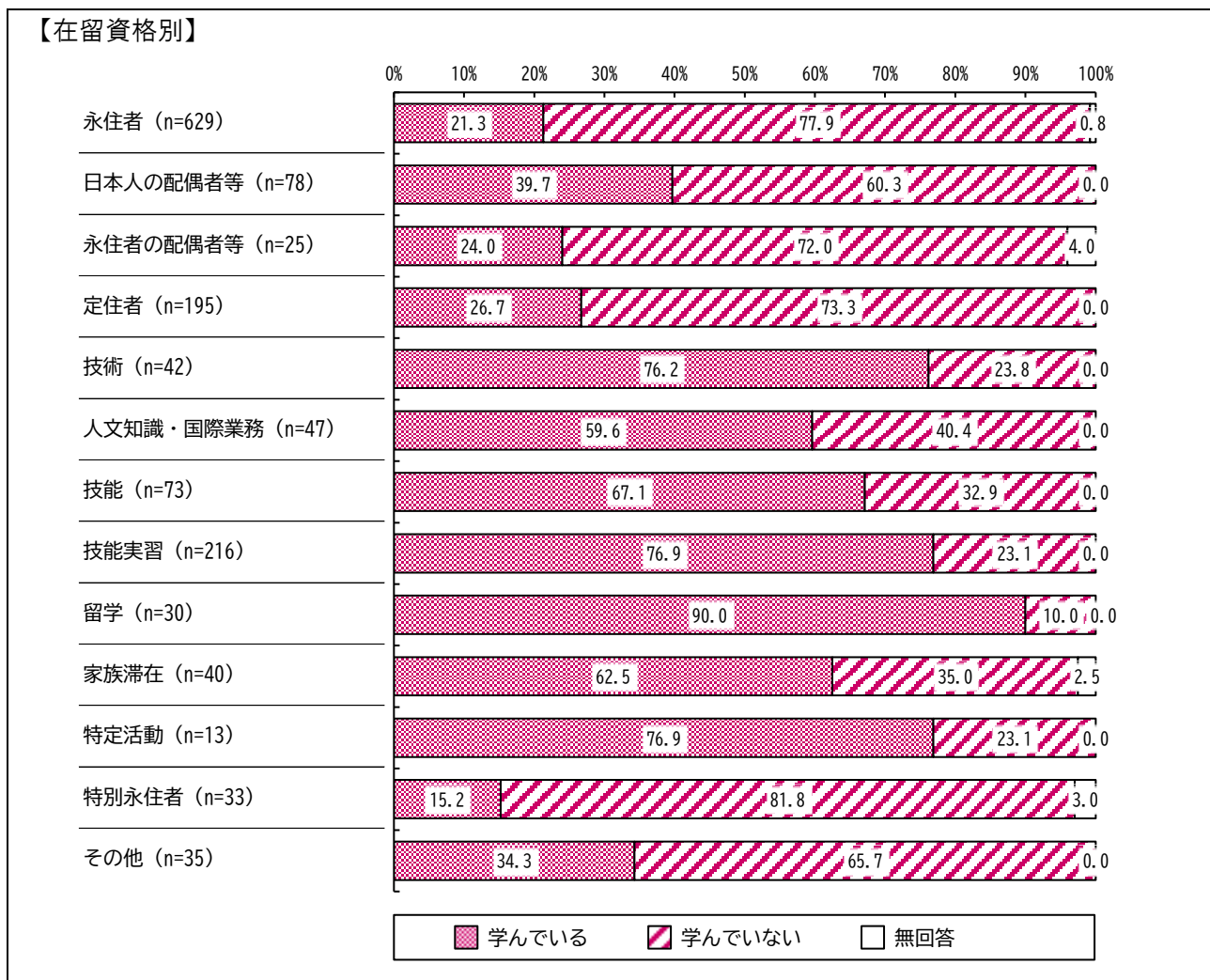
問 15 あなたは、今、日本語を学んでいますか。（○は1つ）



- ・ 現在の日本語の学習状況は、「学んでいる」が39.5%、「学んでいない」が60.0%であった。



- 国籍別にみると、「学んでいる」はインドネシア 81.7%、ベトナム 72.5%、「学んでいない」はペルー87.8%、ブラジル 81.6%、韓国 80.7%の順に多くなっている。



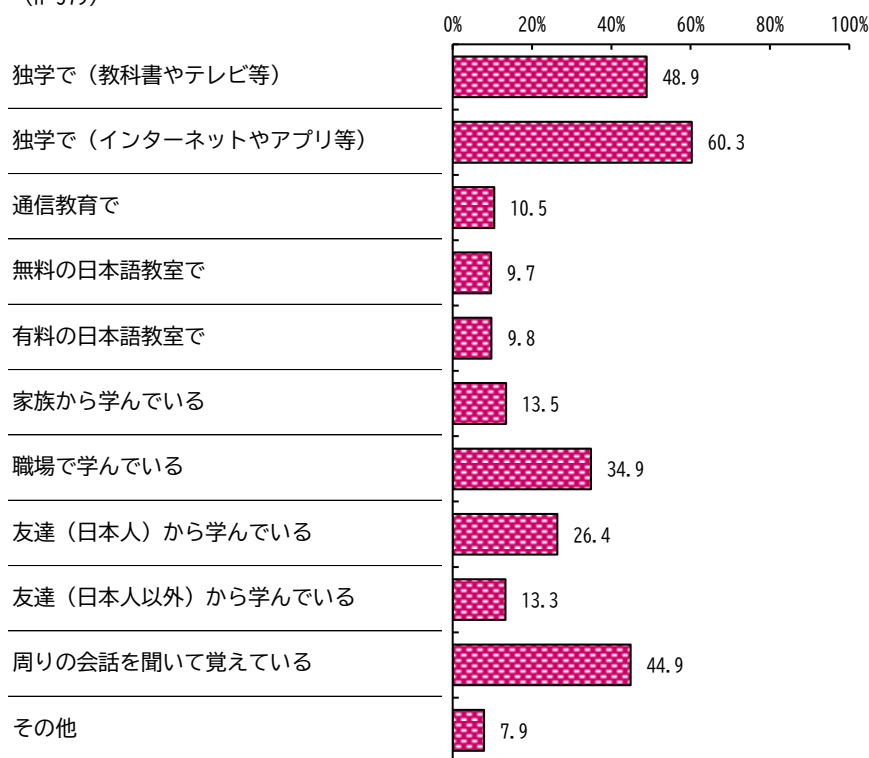
- ・ 在留資格別にみると、「学んでいる」は留学が90.0%、技能実習と特定活動がともに76.9%、技術が76.2%と多くなっている。
- ・ 「学んでいない」は特別永住者81.8%、永住者77.9%、定住者73.3%の順が多くなっている。

(17) どうやって日本語を学んでいるか

問 15 で「学んでいる」と答えた人は教えてください。

問 16 - 1 あなたは今、どうやって日本語を学んでいますか。(あてはまるもの全てに○)

(n=579)

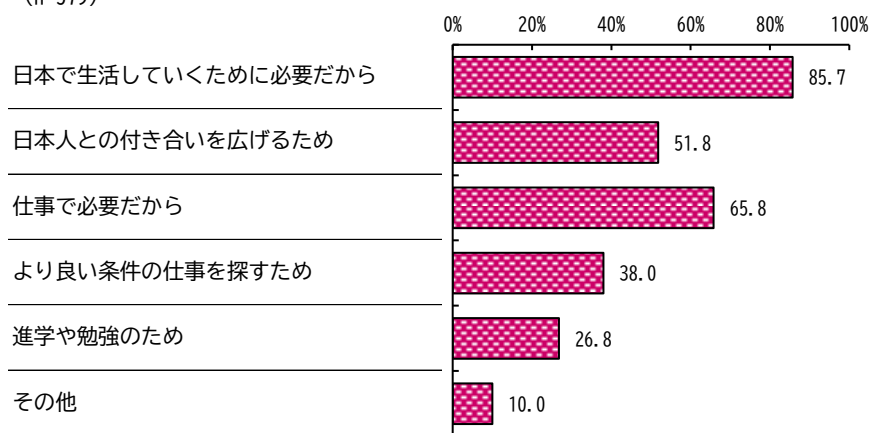


- 日本語を「学んでいる」と回答した人に学習方法を聞いたところ、「独学で (インターネットやアプリ等)」が 60.3% で最も多く、以下「独学で (教科書やテレビ等)」が 48.9%、「周りの会話を聞いて覚えている」が 44.9% であった。

(18) 日本語を学んでいる理由

問 16 - 2 あなたは何のために日本語を学んでいますか。(あてはまるもの全てに○)

(n=579)

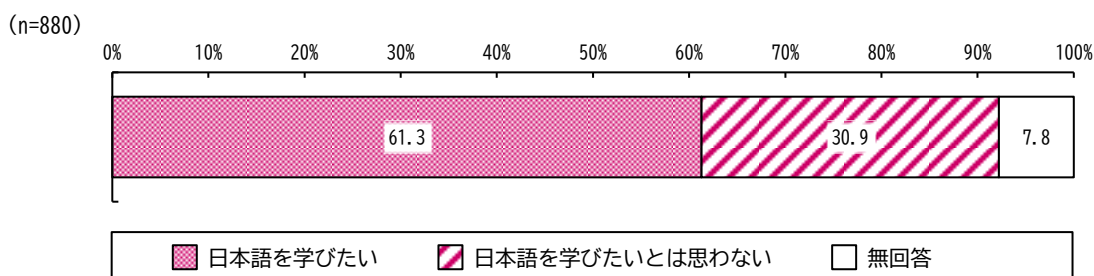


- 日本語を「学んでいる」と回答した人に理由を聞いたところ、「日本で生活していくために必要だから」が 85.7% で最も多く、以下「仕事で必要だから」が 65.8%、「日本人との付き合いを広げるため」が 51.8% であった。

(19) 日本語を学ぶ意欲

問15で「学んでいない」と答えた人は教えてください。

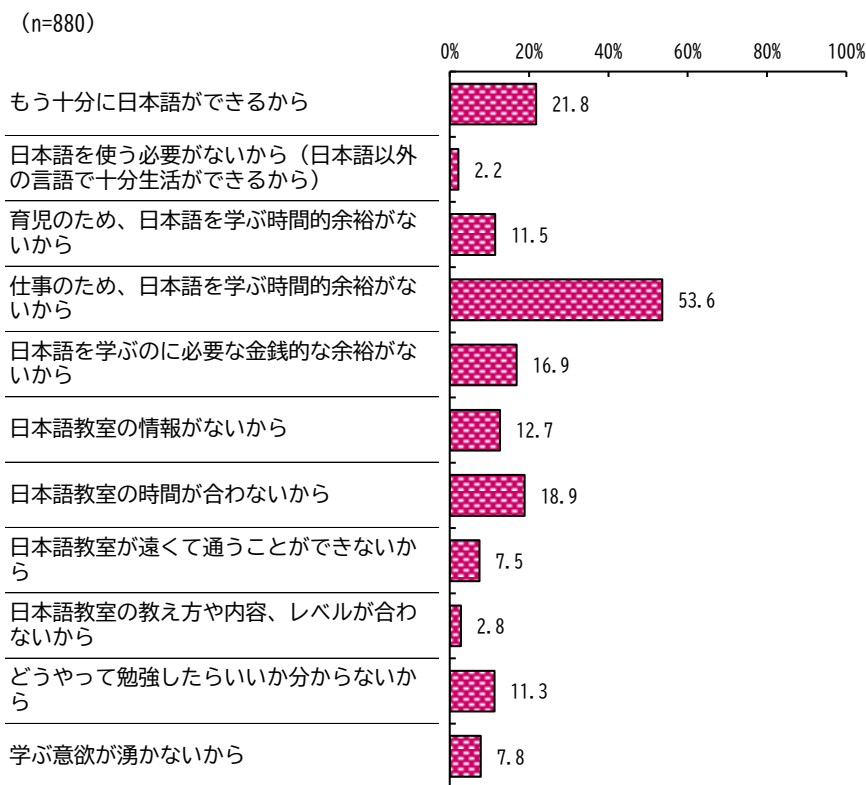
問17-1 日本語を学びたいですか。（○は1つ）



- 問15で日本語を「学んでいない」と回答した人に日本語を学びたいか聞いたところ、「日本語を学びたい」が61.3%、「日本語を学びたいとは思わない」が30.9%であった。

(20) 現在、日本語を学んでいない理由

問17-2 現在学んでいないのはなぜですか。（あてはまるもの全てに○）



- 日本語を「学んでいない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから」が53.6%と最も多く、以下「もう十分に日本語ができるから」が21.8%、「日本語教室の時間が合わないから」が18.9%などとなっている。

【在留資格別】

	調査数 (人)	単位 (%)										
		もう十分に 日本語がで きるから	日本語を使 う必要がな いから (日 本語以外の 言語で十分 生活ができ るから)	育児のた め、日本語 を学ぶ時間 的余裕がな いから	仕事のた め、日本語 を学ぶ時間 的余裕がな いから	日本語を学 ぶのに必要 な金銭的な 余裕がない から	日本語教室 の情報がない から	日本語教室 の時間が合 わないから	日本語教室 が遠くて通 うことがで きないから	日本語教室 の教え方や 内容、レベ ルが合わな いから	どうやって 勉強したら いいかわら ないから	学ぶ意欲が 湧かないか ら
永住者	490	26.1	1.4	11.0	52.2	15.3	11.0	19.2	5.9	2.9	6.7	7.6
日本人の配偶者等	47	23.4	4.3	12.8	38.3	19.1	12.8	14.9	4.3	2.1	12.8	8.5
永住者の配偶者等	18	33.3	11.1	27.8	61.1	22.2	22.2	27.8	5.6	-	11.1	-
定住者	143	10.5	2.1	16.1	67.8	22.4	12.6	21.0	11.2	3.5	14.7	8.4
技術	10	10.0	-	-	70.0	30.0	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	-
人文知識・国際業務	19	36.8	10.5	21.1	57.9	26.3	10.5	10.5	-	-	15.8	-
技能	24	4.2	4.2	4.2	58.3	20.8	20.8	41.7	29.2	-	33.3	8.3
技能実習	50	2.0	-	-	64.0	18.0	12.0	6.0	4.0	4.0	28.0	10.0
留学	3	-	-	-	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	-	-	33.3
家族滞在	14	7.1	-	21.4	28.6	7.1	35.7	28.6	7.1	7.1	14.3	21.4
特定活動	3	-	-	-	66.7	33.3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3
特別永住者	27	63.0	-	3.7	18.5	-	-	7.4	-	-	-	-
その他	23	17.4	4.3	17.4	43.5	4.3	26.1	17.4	17.4	-	21.7	8.7

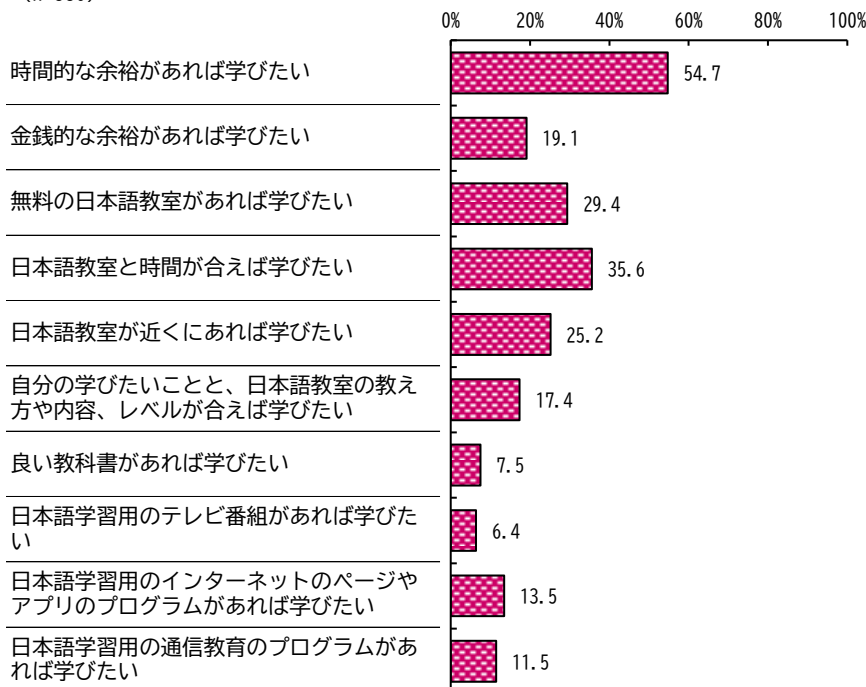
- ・ 在留資格別にみると、「仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから」は技術 70.0%、定住者 67.8%、技能実習 64.0%などが多くなっている。

※ 特定活動 66.7%はn=3と少ないため、参考までとする。

(21) どのような環境があれば日本語を学びたいか

問 17 - 3 どのような環境があれば、日本語を学びたいですか。(あてはまるもの全てに○)

(n=880)



- ・ 日本語を「学んでいない」と回答した人にどのような環境があれば日本語を学びたいか聞いたところ、「時間的な余裕があれば学びたい」が 54.7%と最も多く、次いで「日本語教室と時間が合えば学びたい」が 35.6%、以下「無料の日本語教室があれば学びたい」が 29.4%、「日本語教室が近くにあれば学びたい」が 25.2%などとなっている。

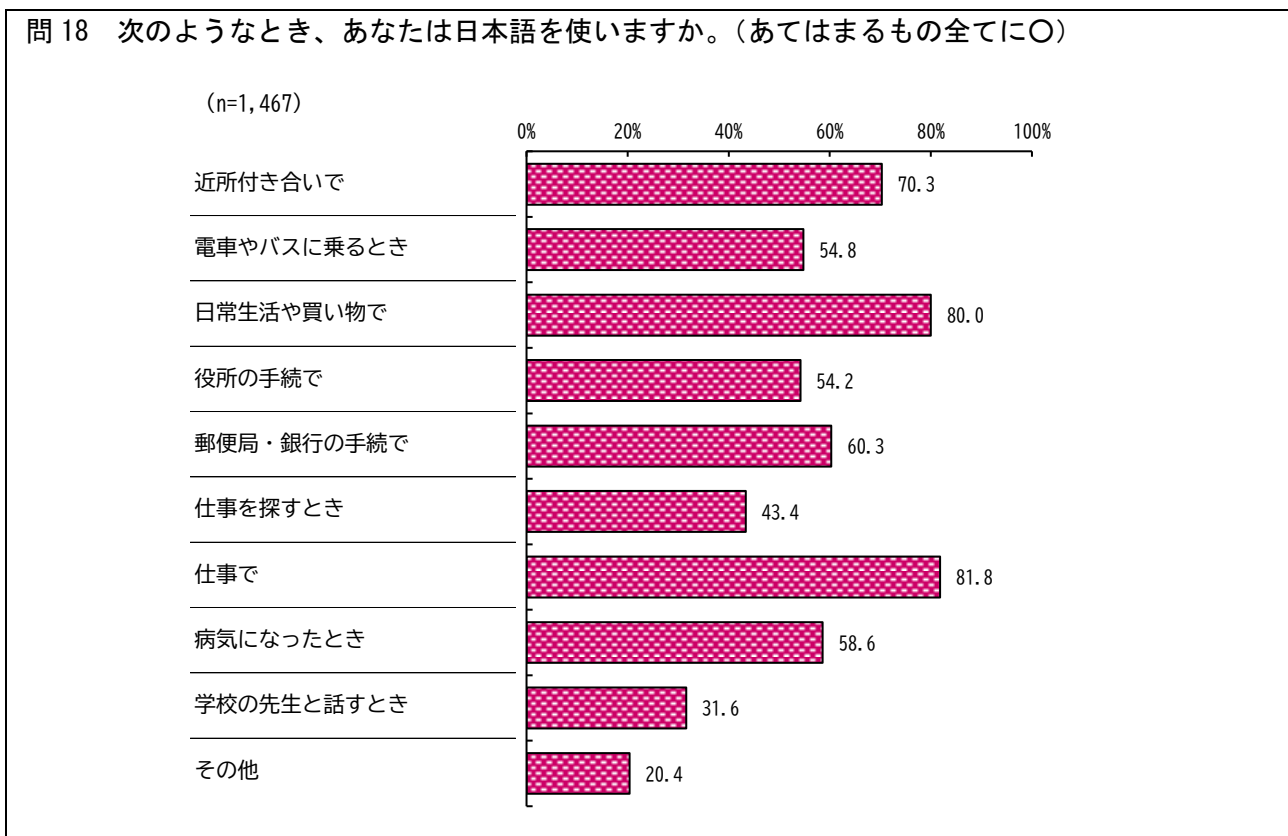
【在留資格別】

単位 (%)

	調査数 (人)	時間的な余裕があれば 学びたい	金銭的な余裕があれば 学びたい	無料の日本語教室があ れば学びたい	日本語教室 と時間が合 えば学びた い	日本語教室 が近くに あれば学び たい	自分の学び たいこと と、日本語 教室の教え 方や内容、 レベルが合 えば学びた い	良い教科書 があれば学 びたい	日本語学習 用のテレビ 番組があ れば学びた い	日本語学習 用のイン ターネット のページや アプリのプ ログラムが あれば学び たい	日本語学習 用の通信教 育のプログ ラムがあ れば学びた い
永住者	490	58.6	20.2	27.8	35.3	23.5	17.3	7.6	6.3	12.9	9.2
日本人の配偶者等	47	48.9	21.3	25.5	19.1	23.4	17.0	2.1	8.5	6.4	10.6
永住者の配偶者等	18	61.1	22.2	27.8	61.1	44.4	22.2	27.8	16.7	27.8	16.7
定住者	143	57.3	21.0	31.5	47.6	28.0	16.1	9.8	6.3	14.0	13.3
技術	10	50.0	10.0	60.0	30.0	30.0	30.0	20.0	-	20.0	40.0
人文知識・国際業務	19	52.6	10.5	26.3	15.8	31.6	36.8	-	-	5.3	15.8
技能	24	37.5	20.8	45.8	41.7	45.8	20.8	12.5	4.2	8.3	12.5
技能実習	50	58.0	16.0	32.0	32.0	24.0	12.0	4.0	4.0	22.0	16.0
留学	3	-	33.3	66.7	-	33.3	-	-	33.3	-	-
家族滞在	14	42.9	-	50.0	42.9	35.7	14.3	-	-	-	7.1
特定活動	3	-	-	-	-	-	66.7	-	-	66.7	-
特別永住者	27	25.9	7.4	11.1	11.1	3.7	3.7	-	3.7	3.7	7.4
その他	23	34.8	17.4	34.8	34.8	30.4	17.4	4.3	8.7	30.4	26.1

- ・ 在留資格別にみると、「時間的な余裕があれば学びたい」は、永住者の配偶者等 61.1%、永住者 58.6%、技能実習 58.0%、定住者 57.3%などで約6割となっている。

(22) 日本語の使用状況



- ・ 日本語を使うときは、「仕事で」が 81.8%で最も多く、次いで「日常生活や買い物で」が 80.0%、「近所付き合いで」が 70.3%であった。

【国籍別】

単位 (%)

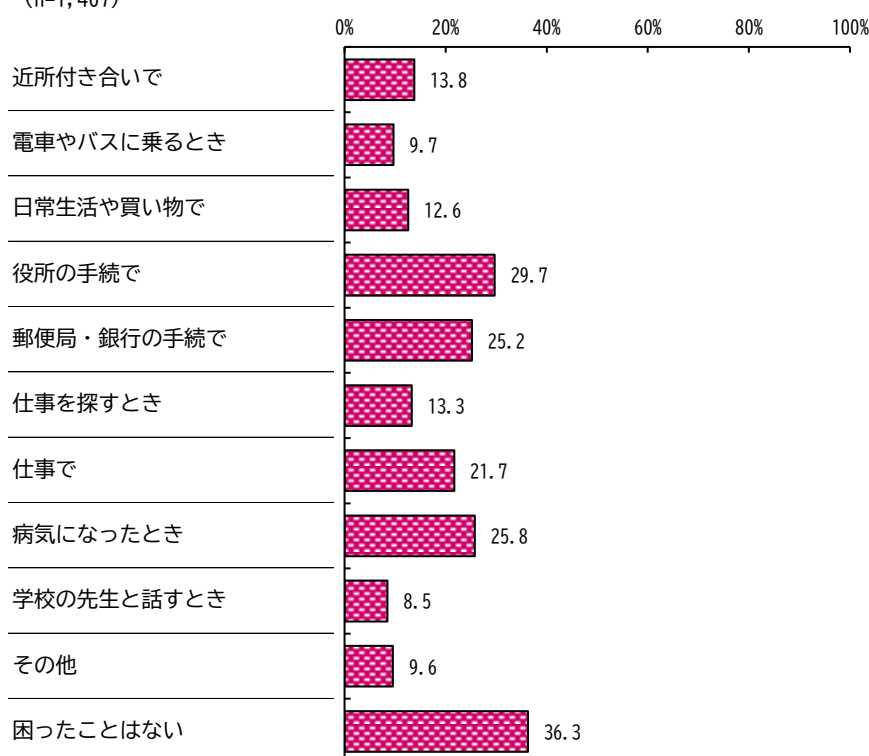
	調査数 (人)	近所付き合い で	電車やバスに 乗るとき	日常生活や買 い物で	役所の手続で	郵便局・銀行 の手続で	仕事を探すと き	仕事で	病気になった とき	学校の先生と 話すとき	その他
ブラジル	467	69.0	48.4	77.7	57.8	67.0	46.7	84.8	65.3	34.0	23.6
フィリピン	357	75.1	58.8	77.0	45.7	54.6	42.3	82.9	54.3	29.4	28.3
中国	154	79.9	53.2	83.8	64.9	64.9	45.5	70.1	61.7	45.5	11.0
ベトナム	218	62.4	59.6	83.9	56.4	63.8	42.2	85.8	53.2	26.6	12.4
韓国	57	87.7	64.9	78.9	70.2	70.2	49.1	68.4	73.7	42.1	21.1
ペルー	49	71.4	51.0	73.5	46.9	57.1	34.7	67.3	61.2	30.6	14.3
インドネシア	104	52.9	54.8	88.5	39.4	39.4	26.0	89.4	34.6	11.5	9.6
ネパール	56	67.9	62.5	82.1	60.7	50.0	57.1	78.6	71.4	33.9	26.8
二重国籍	3	100.0	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7	33.3	66.7	-

- 国籍別にみると、「仕事で」はインドネシア 89.4%、ベトナム 85.8%、ブラジル 84.8%、フィリピン 82.9%、「日常生活や買い物で」は中国 83.8%、ネパール 82.1%、「近所付き合いで」は韓国 87.7% などが多くなっている。

(23) 日本語が不自由なために困ったこと

問 19 次のようなとき、あなたは日本語が不自由なために、困ったことがありますか。最近 1 年間に困った経験があるものを選んでください。(あてはまるもの全てに○)

(n=1,467)



- 日本語が不自由なために困ったことは、「役所の手続で」 29.7%、「病気になったとき」 25.8%、「郵便局・銀行の手続で」 25.2% が多い。一方、「困ったことはない」も 36.3% と 3 割以上を占めている。

【国籍別】

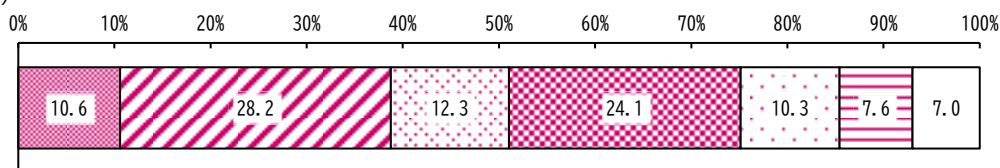
	調査数 (人)	近所付き合い いで	電車やバス に乗るとき	日常生活や 買い物で	役所の手続 で	郵便局・銀 行の手続で	仕事を探す とき	仕事で	病気になっ たとき	学校の先生 と話すとき	その他	単位 (%) 困ったこと はない
ブラジル	467	8.6	4.7	11.3	18.8	21.4	11.1	18.4	26.8	8.1	9.9	44.1
フィリピン	357	14.0	8.4	7.6	33.3	20.2	10.4	15.7	24.1	10.1	9.0	39.8
中国	154	11.7	11.0	13.0	21.4	15.6	8.4	12.3	18.8	6.5	7.1	46.8
ベトナム	218	20.2	22.5	21.6	42.7	42.2	21.1	40.4	32.1	8.3	11.0	17.0
韓国	57	5.3	-	-	10.5	3.5	-	-	5.3	-	5.3	66.7
ペルー	49	12.2	-	14.3	26.5	22.4	26.5	18.4	26.5	14.3	8.2	24.5
インドネシア	104	24.0	8.7	15.4	51.9	41.3	14.4	38.5	23.1	4.8	10.6	12.5
ネパール	56	25.0	25.0	25.0	50.0	39.3	33.9	32.1	50.0	14.3	16.1	19.6
二重国籍	3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	33.3

- 国籍別にみると、「役所の手続で」はインドネシア 51.9%、ネパール 50.0%、ベトナム 42.7%、「病気になったとき」はネパール 50.0%などが多くなっている。

(24) 日本語学習の6パターン

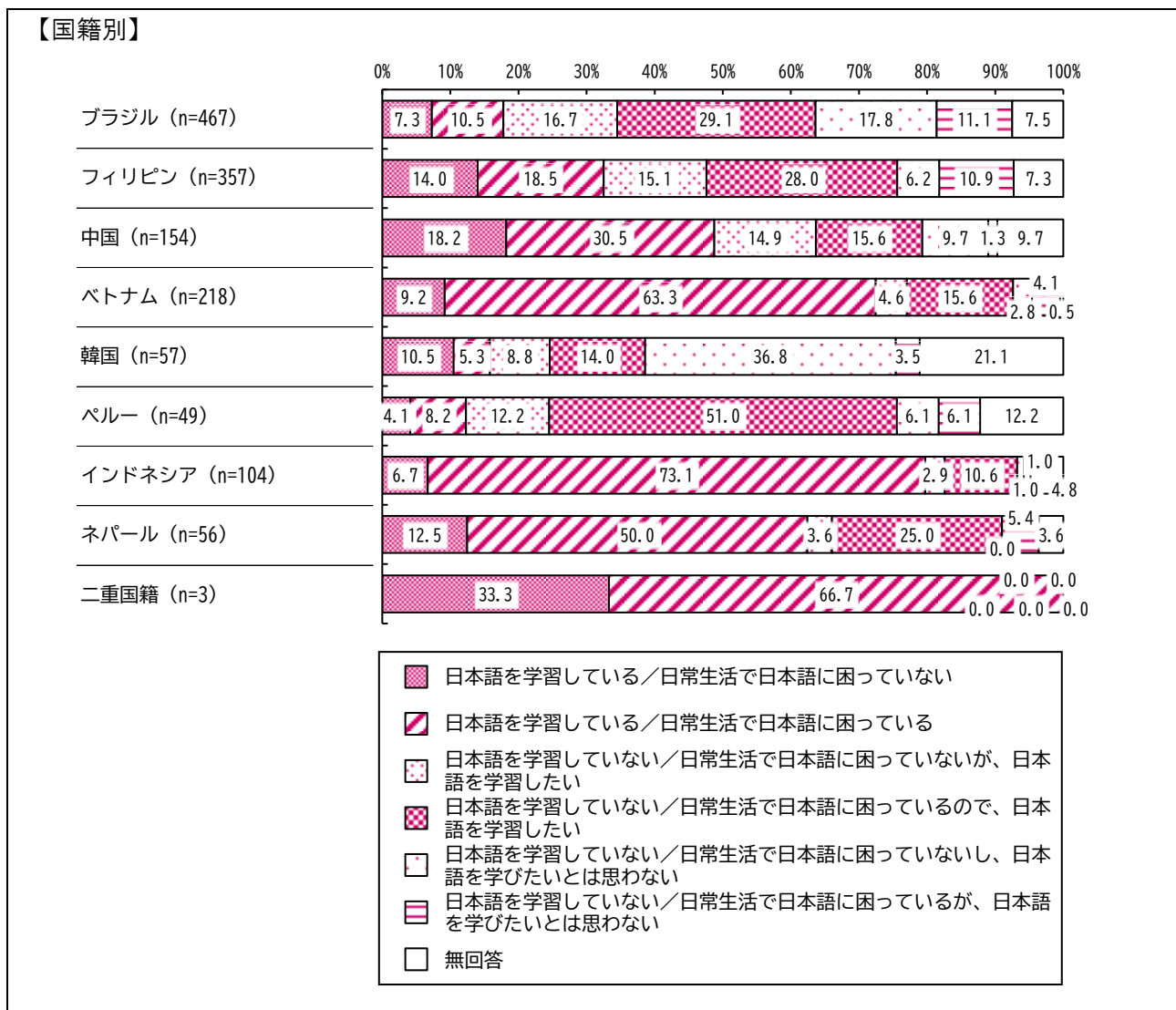
日本語の学習経験（問 15）、日本語学習の希望（問 17）、日本語で困っているかどうか（問 19）の回答による集計（6パターンに分類）

(n=1,467)



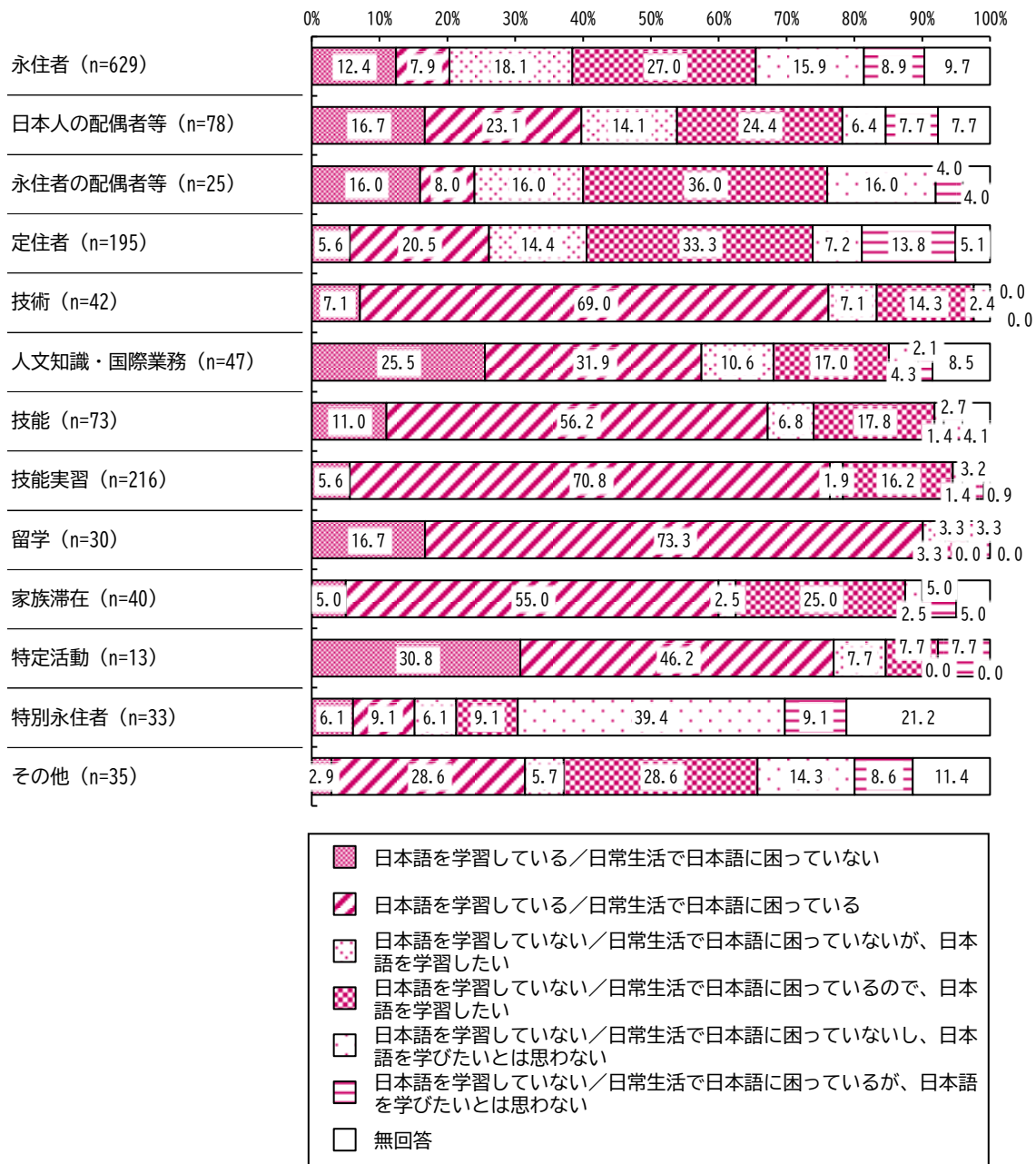
- 日本語を学習している／日常生活で日本語に困っていない
- ▨ 日本語を学習している／日常生活で日本語に困っている
- 日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っていないが、日本語を学習したい
- ▣ 日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているので、日本語を学習したい
- ◻ 日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っていないし、日本語を学びたいとは思わない
- ▤ 日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているが、日本語を学びたいとは思わない
- 無回答

- 日本語の学習経験、日本語で困っているかどうか、日本語学習の希望の回答から6パターンを作成したところ、「日本語を学習している／日常生活で日本語に困っている」が 28.2%で最も多く、次いで「日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているので、日本語を学習したい」が 24.1%であった。



- 国籍別にみると、「日本語を学習している／日常生活で日本語に困っている」は、インドネシア 73.1%、ベトナム 63.3%、「日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているので、日本語を学習したい」はペルー 51.0%などが多くなっている。

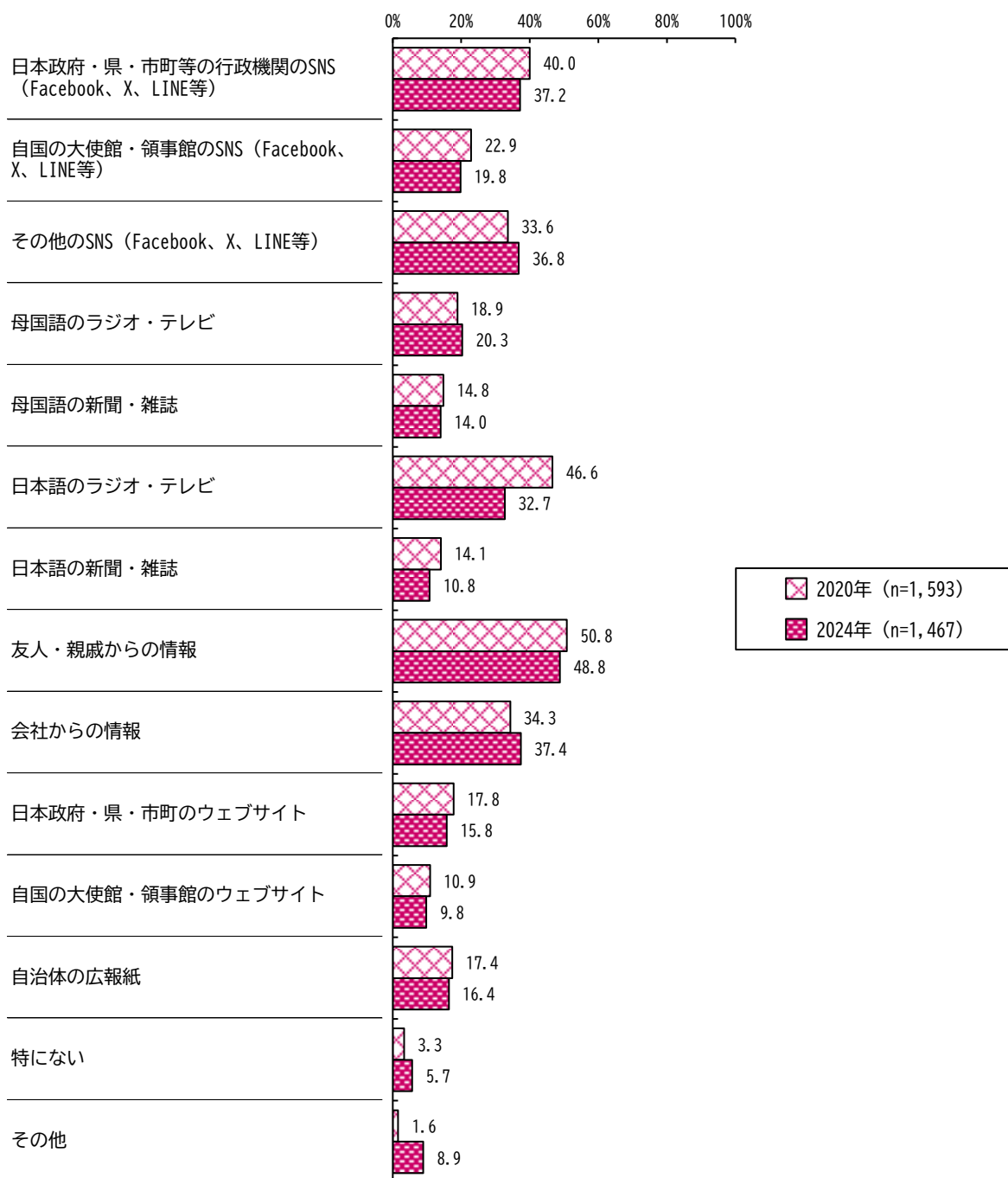
【在留資格別】



- ・ 在留資格別にみると、「日本語を学習している／日常生活で日本語に困っている」は、留学 73.3%、技能実習 70.8%、「日本語を学習していない／日常生活で日本語に困っているため、日本語を学習したい」は永住者の配偶者等 36.0%、定住者 33.3%などが多くなっている。

(25) 生活に関する情報をどのように入手しているか

問 20 生活に関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるもの全てに○)



- 生活に関する情報の入手方法は、「友人・親戚からの情報」が48.8%で最も多く、次いで「会社からの情報」が37.4%、「日本政府・県・市町等の行政機関のSNS (Facebook、X、LINE等)」が37.2%、「その他のSNS (Facebook、X、LINE等)」が36.8%であった。
- 過去調査と比較すると、2020年調査から「日本語のラジオ・テレビ」が13.9ポイント少なくなっている。

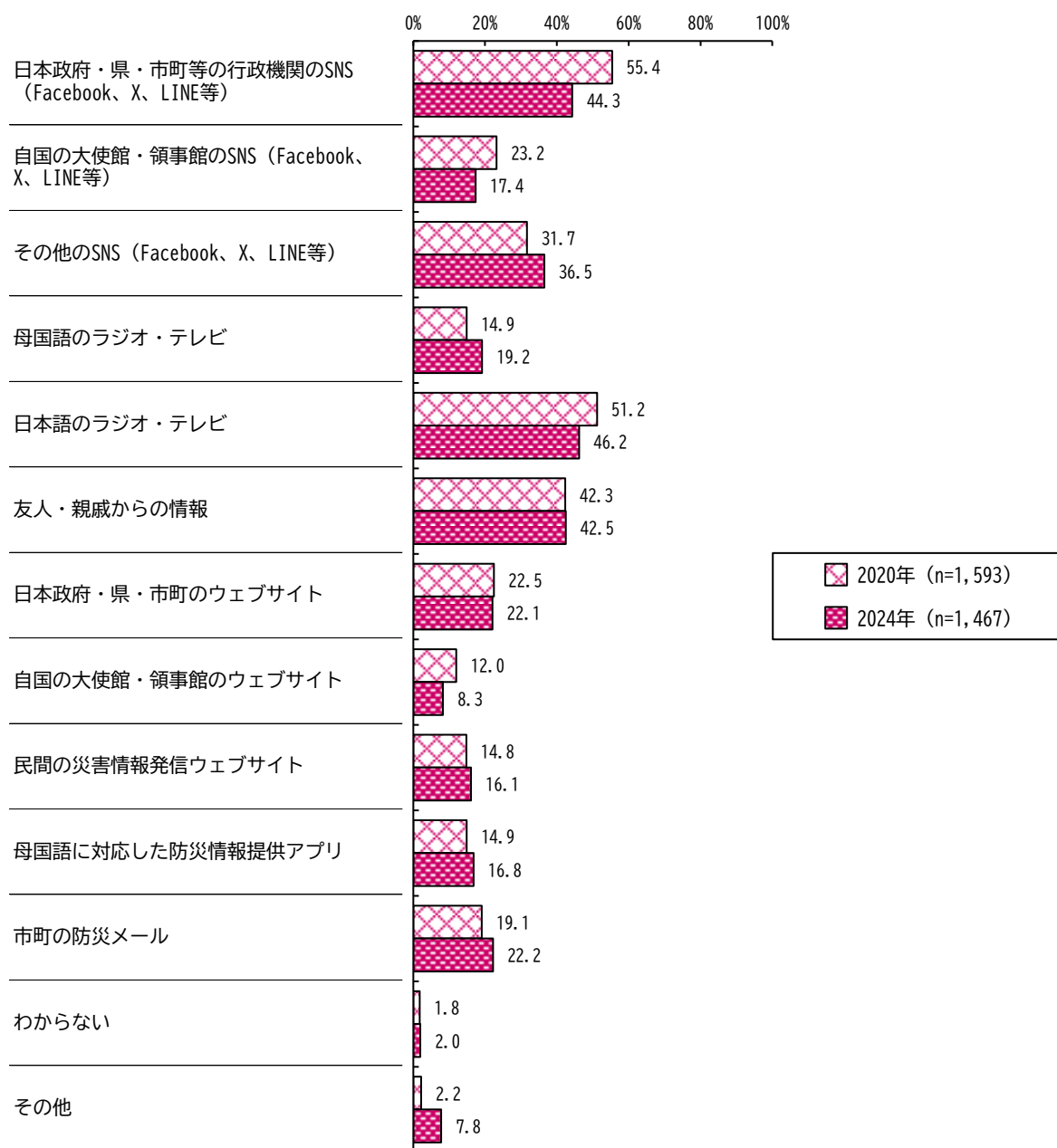
【国籍別】

	調査数 (人)	単位 (%)													
		日本政府・県・市町等の行政機関のSNS (Facebook、X、LINE等)	自国の大使館・領事館のSNS (Facebook、X、LINE等)	その他のSNS (Facebook、X、LINE等)	母国語のラジオ・テレビ	母国語の新聞・雑誌	日本語のラジオ・テレビ	日本語の新聞・雑誌	友人・親戚からの情報	会社からの情報	日本政府・県・市町のウェブサイト	自国の大使館・領事館のウェブサイト	自治体の広報紙	特になし	その他
ブラジル	467	37.7	22.9	38.5	17.1	17.3	41.3	10.3	49.9	28.5	14.1	9.4	21.6	5.4	7.7
フィリピン	357	37.8	13.7	29.1	20.4	3.6	28.6	4.5	50.7	42.0	17.9	11.5	7.8	3.1	10.1
中国	154	31.8	13.0	31.8	22.7	11.7	42.2	24.0	39.6	26.0	16.9	4.5	15.6	11.0	6.5
ベトナム	218	38.1	25.2	43.1	31.2	29.4	19.3	10.1	47.7	53.7	13.3	10.6	16.5	5.0	12.8
韓国	57	29.8	12.3	17.5	15.8	3.5	56.1	33.3	35.1	26.3	17.5	3.5	22.8	19.3	3.5
ペルー	49	32.7	12.2	14.3	16.3	14.3	24.5	6.1	36.7	18.4	18.4	6.1	28.6	10.2	4.1
インドネシア	104	32.7	19.2	62.5	8.7	3.8	17.3	5.8	56.7	51.0	13.5	8.7	10.6	1.9	12.5
ネパール	56	60.7	39.3	51.8	25.0	25.0	23.2	12.5	66.1	53.6	23.2	23.2	21.4	1.8	7.1
二重国籍	3	66.7	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-

- ・ 国籍別にみると、「友人・親戚からの情報」はネパール 66.1%、フィリピン 50.7%、ブラジル 49.9%、ペルー 36.7%で、それぞれ最も多くあげられている。
- ・ 「日本語のラジオ・テレビ」は韓国 56.1%、中国 42.2%、「その他のSNS (Facebook、X、LINE 等)」はインドネシア 62.5%、「会社からの情報」はベトナム 53.7%で、それぞれ最も多くあげられている。

(26) 災害時における情報入手方法

問 21 災害時における情報入手方法について、教えてください。(あてはまるもの全てに○)



- ・ 災害時における情報入手方法は、「日本語のラジオ・テレビ」が46.2%で最も多く、次いで「日本政府・県・市町等の行政機関のSNS (Facebook、X、LINE等)」が44.3%、「友人・親戚からの情報」が42.5%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から「日本政府・県・市町等の行政機関のSNS (Facebook、X、LINE等)」が11.1ポイント、「自国の大使館・領事館のSNS (Facebook、X、LINE等)」が5.8ポイント少なく、「その他のSNS (Facebook、X、LINE等)」が4.8ポイント多くなっている。

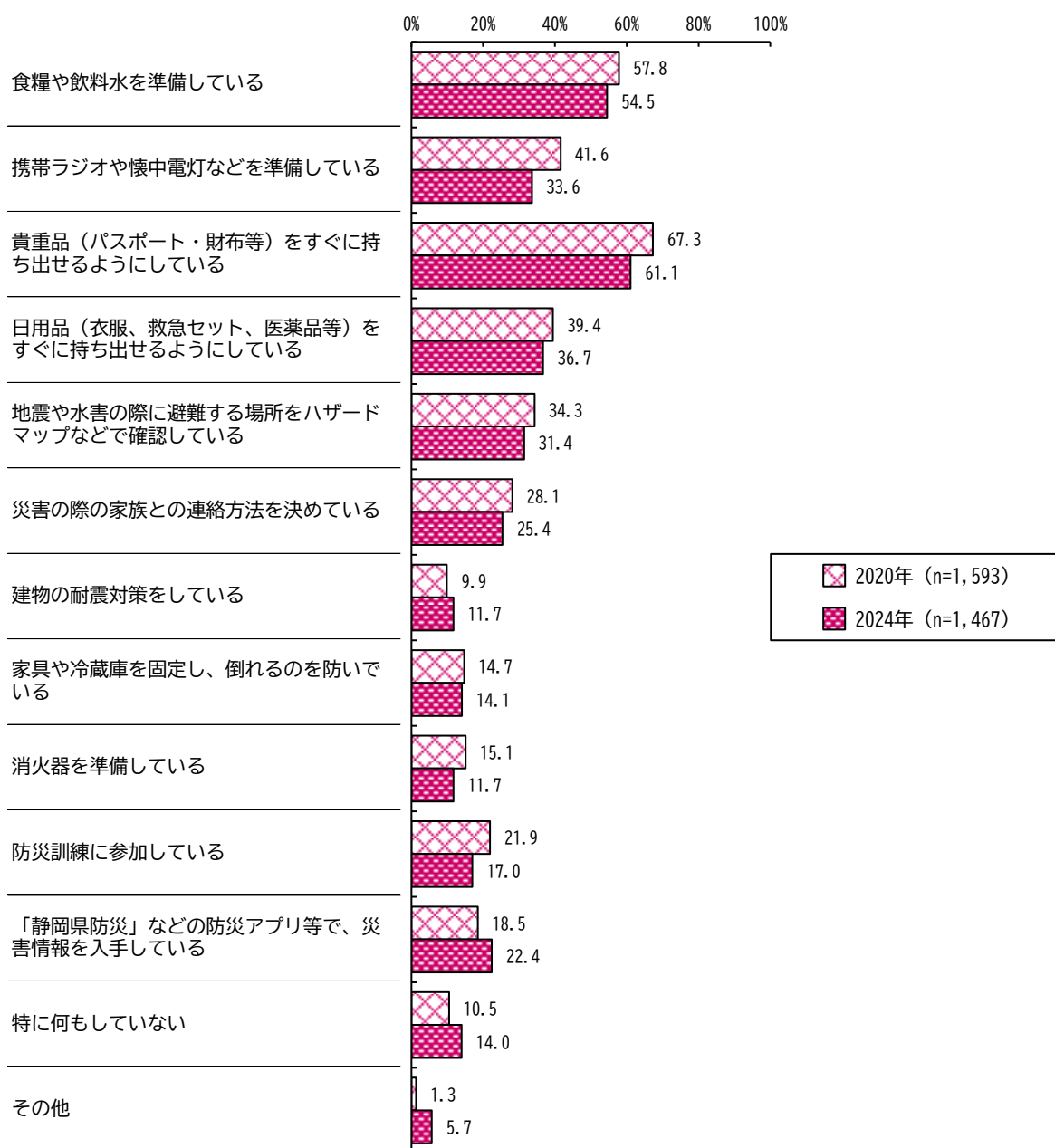
【国籍別】

	調査数 (人)	単位 (%)												
		日本政府・県・市町等の行政機関のSNS (Facebook, X, LINE等)	自国の大使館・領事館のSNS (Facebook, X, LINE等)	その他のSNS (Facebook, X, LINE等)	母国語のラジオ・テレビ	日本語のラジオ・テレビ	友人・親戚からの情報	日本政府・県・市町のウェブサイト	自国の大使館・領事館のウェブサイト	民間の災害情報発信ウェブサイト	母国語に対応した防災情報提供アプリ	市町の防災メール	わからない	その他
ブラジル	467	40.3	15.2	38.1	15.4	57.2	45.2	22.7	7.1	17.1	19.9	22.7	1.9	5.8
フィリピン	357	43.7	16.2	32.5	23.2	43.4	45.1	19.6	8.1	19.0	13.7	17.6	1.1	9.8
中国	154	44.2	12.3	26.6	16.2	61.0	35.7	24.0	9.7	18.2	7.8	27.3	1.3	6.5
ベトナム	218	57.3	24.8	39.0	29.8	28.9	38.5	22.5	10.6	15.1	26.1	24.8	3.2	7.8
韓国	57	43.9	10.5	24.6	10.5	63.2	36.8	29.8	5.3	14.0	1.8	33.3	3.5	5.3
ペルー	49	34.7	8.2	18.4	18.4	34.7	34.7	18.4	4.1	8.2	14.3	18.4	6.1	6.1
インドネシア	104	33.7	20.2	61.5	6.7	26.0	40.4	15.4	7.7	4.8	16.3	17.3	1.9	13.5
ネパール	56	60.7	37.5	46.4	21.4	30.4	53.6	32.1	14.3	14.3	12.5	25.0	-	8.9
二重国籍	3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3

- 国籍別にみると、「日本政府・県・市町等の行政機関の SNS (Facebook、X、LINE 等)」はネパール 60.7%、ベトナム 57.3%、「日本語のラジオ・テレビ」は韓国 63.2%、中国 61.0%、ブラジル 57.2%などで割合が高く、いずれも約6割となっている。

(27) 災害に備えて、どのような準備をしているか

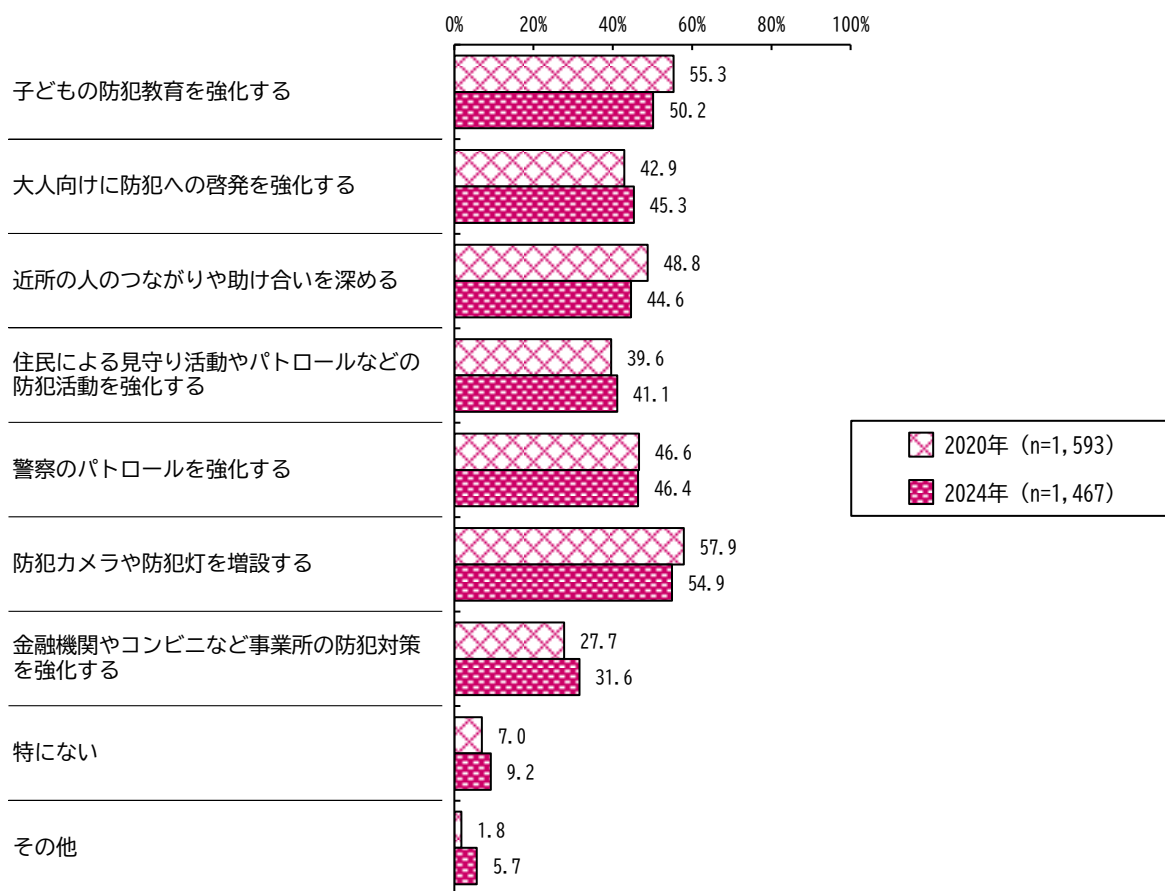
問 22 あなたは、日頃から、災害に備えて、どのような準備をしていますか。(あてはまるもの全てに○)



- ・ 災害への備えは、「貴重品（パスポート・財布等）をすぐに持ち出せるようにしている」が61.1%で最も多く、次いで「食糧や飲料水を準備している」が54.5%、「日用品（衣服、救急セット、医薬品等）をすぐに持ち出せるようにしている」が36.7%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査と上位2項目の順位は変わらないが、第1位の「貴重品（パスポート・財布等）をすぐに持ち出せるようにしている」は6.2ポイント少なくなっている。
- ・ また2020年調査で第3位の「携帯ラジオや懐中電灯などを準備している」も8.0ポイント少なくなっている。

(28) 地域の犯罪を減らすために必要なこと

問23 あなたは、地域の犯罪を減らすために、必要なことは何だと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

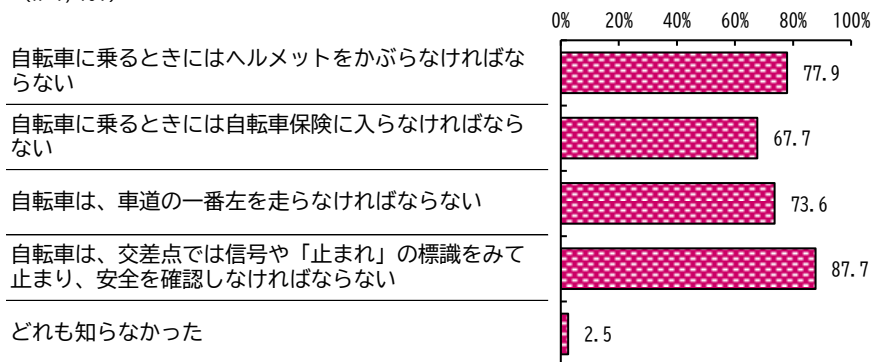


- ・ 地域の犯罪を減らすために必要なことは、「防犯カメラや防犯灯を増設する」が 54.9%で最も多く、以下「子どもの防犯教育を強化する」が 50.2%、「警察のパトロールを強化する」が 46.4%、「大人向けに防犯への啓発を強化する」が 45.3%などとなっている。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から「子どもの防犯教育を強化する」が 5.1ポイント、「近所の人をつながりや助け合いを深める」が 4.2ポイント、いずれも少なくなっている。

(29) 日本の自転車のルールについて知っていること

問 24 自転車のルールについて次のことを知っていますか？（あてはまるもの全てに○）

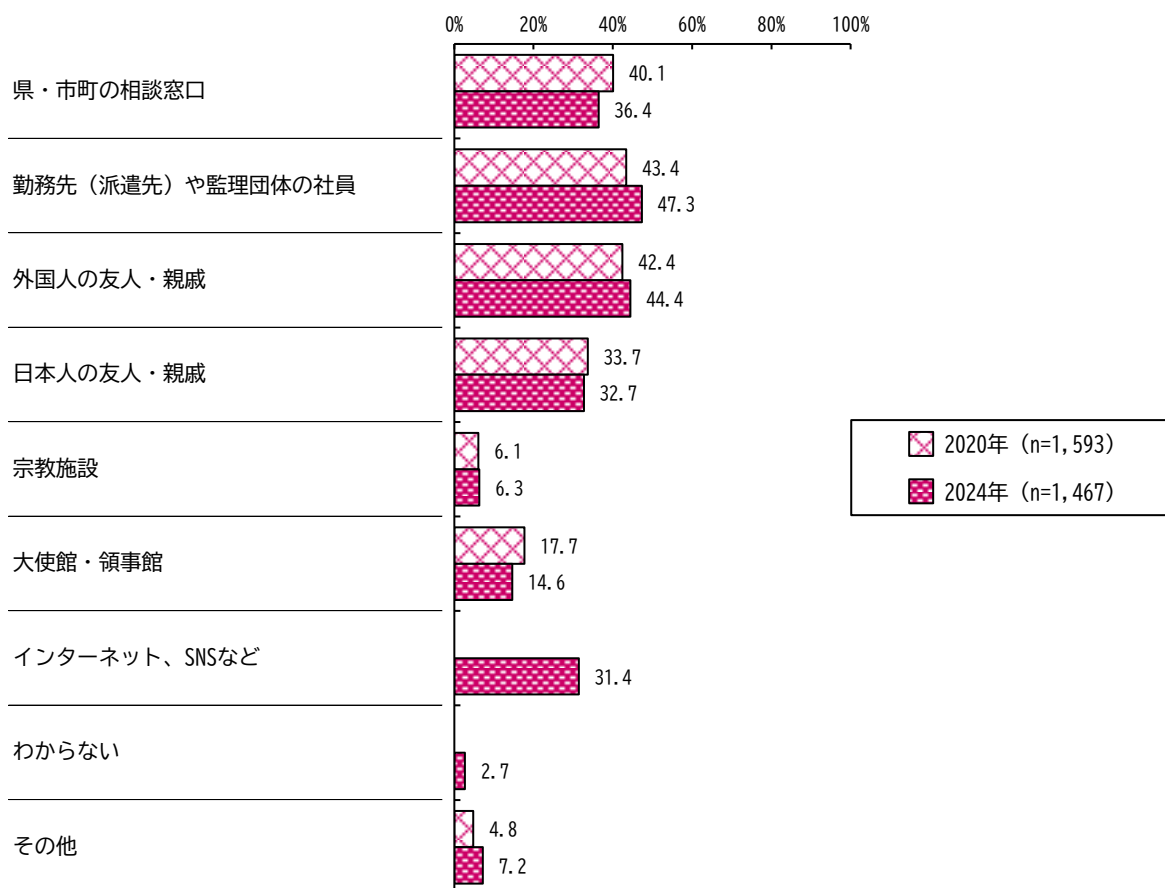
(n=1,467)



- 日本の自転車のルールについて知っていることは、「自転車は、交差点では信号や「止まれ」の標識をみて止まり、安全を確認しなければならない」が 87.7%で最も多く、以下「自転車に乗るときにはヘルメットをかぶらなければならない」が 77.9%、「自転車は、車道の一番左を走らなければならない」が 73.6%、「自転車に乗るときには自転車保険に入らなければならない」が 67.7%であった。

(30) 困ったときの相談先

問 25 あなたが困ったときの相談先はどこですか。（あてはまるもの全てに○）



※「インターネット、SNSなど」「わからない」は2024年から。

- ・ 困ったときの相談先は、「勤務先（派遣先）や監理団体の社員」が47.3%で最も多く、次いで「外国人の友人・親戚」が44.4%、「県・市町の相談窓口」が36.4%であった。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から「勤務先（派遣先）や監理団体の社員」が3.9ポイント多く、「県・市町の相談窓口」が3.7ポイント少なくなっている。

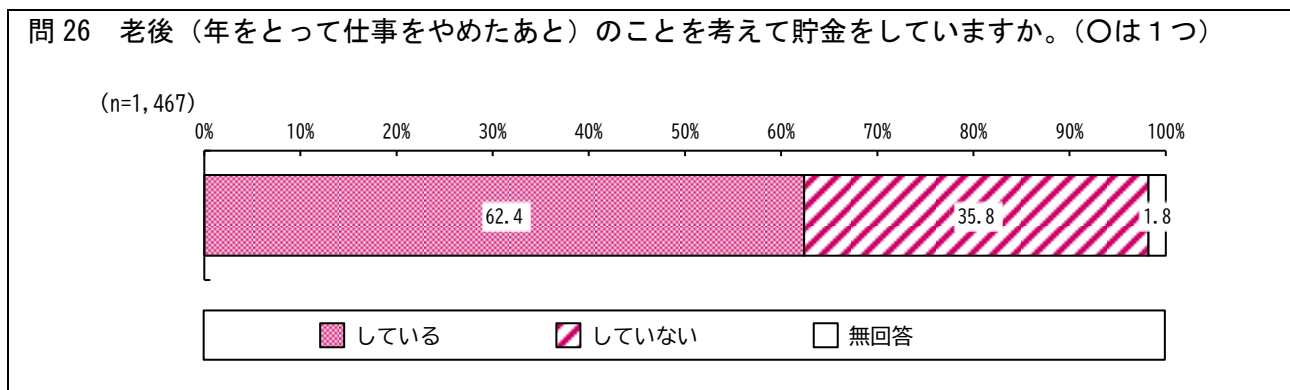
【国籍別】

単位 (%)

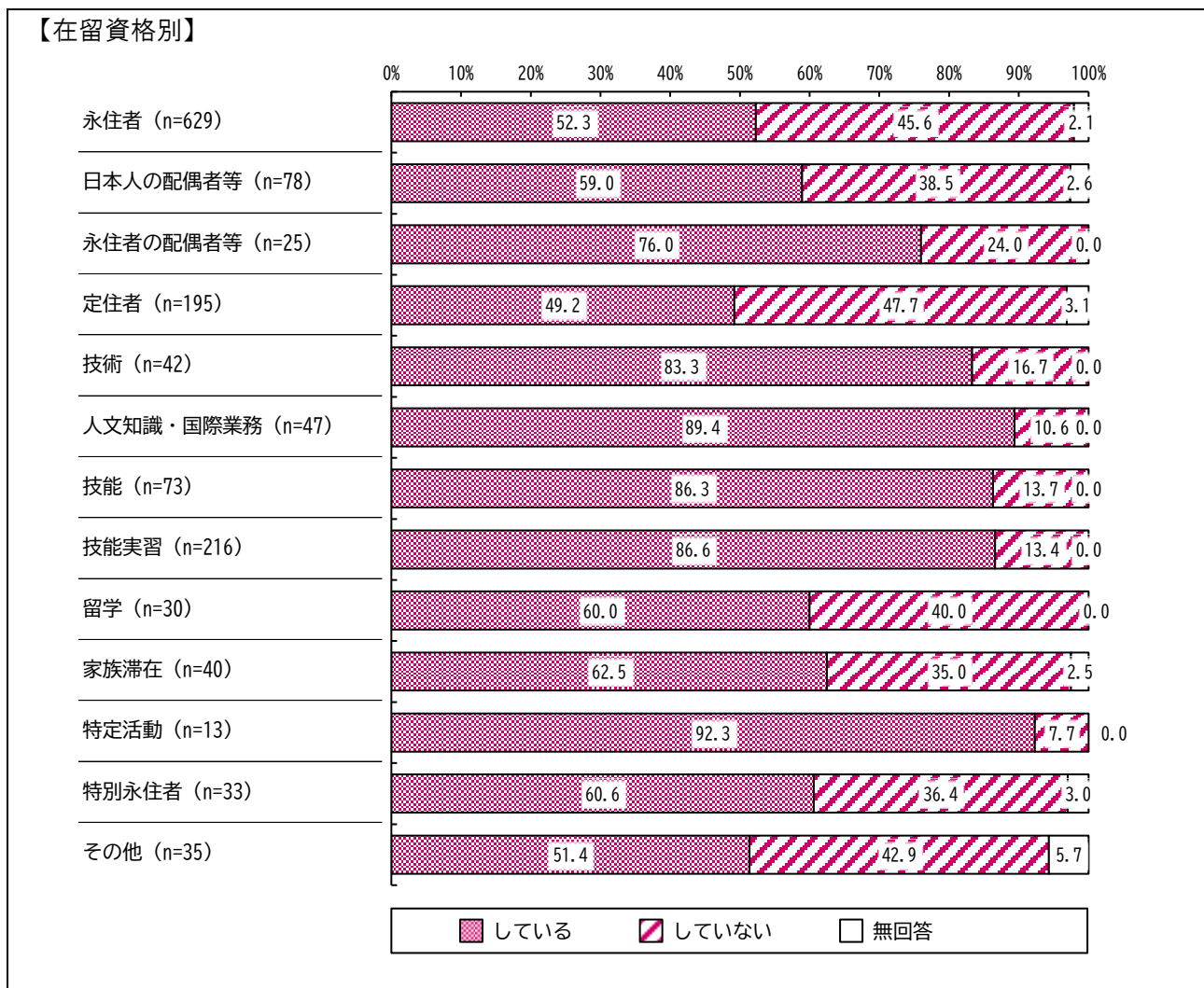
	調査数 (人)	県・市町の相 談窓口	勤務先（派遣 先）や監理団 体の社員	外国人の友 人・親戚	日本人の友 人・親戚	宗教施設	大使館・領事 館	インターネッ ト、SNSなど	わからない	その他
ブラジル	467	46.9	40.0	48.2	30.0	7.3	12.4	46.0	2.1	5.8
フィリピン	357	32.5	47.1	54.1	32.5	9.0	11.5	13.4	2.0	10.1
中国	154	39.6	37.0	35.7	52.6	1.3	18.2	24.7	1.9	7.8
ベトナム	218	19.3	73.9	30.7	16.1	2.3	15.6	40.4	2.8	6.0
韓国	57	35.1	15.8	17.5	61.4	5.3	8.8	8.8	1.8	5.3
ペルー	49	34.7	24.5	53.1	26.5	6.1	10.2	8.2	8.2	4.1
インドネシア	104	26.9	63.5	42.3	30.8	5.8	20.2	35.6	1.9	5.8
ネパール	56	51.8	57.1	51.8	46.4	8.9	33.9	42.9	8.9	10.7
二重国籍	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	66.7	33.3	33.3	-

- ・ 国籍別にみると、「勤務先（派遣先）や監理団体の社員」はベトナム73.9%、インドネシア63.5%、ネパール57.1%、「外国人の友人・親戚」はフィリピン54.1%、ペルー53.1%、ブラジル48.2%、「日本人の友人・親戚」は、韓国61.4%、中国52.6%などがそれぞれ最も多くなっている。

(31) 老後の貯金について

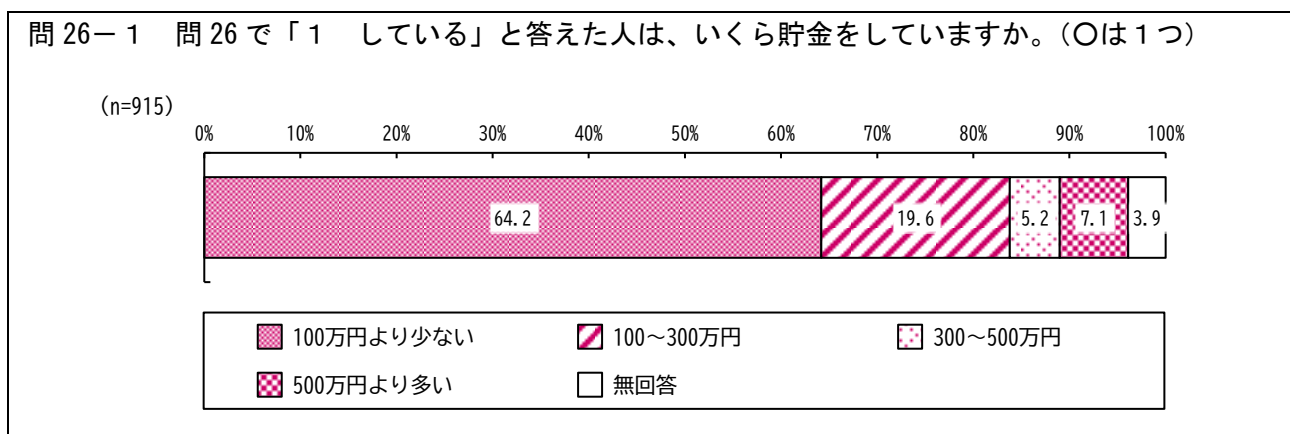


- ・ 老後の貯金については、「している」が62.4%、「していない」が35.8%であった。



- ・ 在留資格別にみると、「している」は特定活動 92.3%、人文知識・国際業務 89.4%、技能実習 86.6%、技能 86.6%などで割合が高く、定住者 49.2%、永住者 52.3%などで割合が低くなっている。

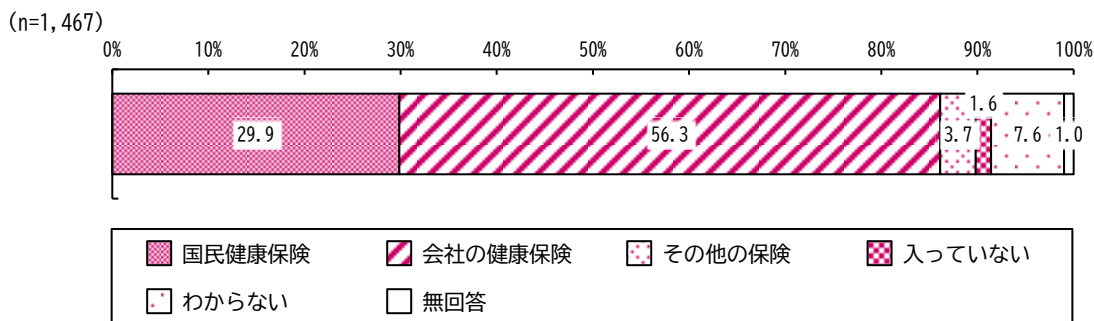
(32) 老後の貯金額



- ・ 老後の貯金額は、「100 万円より少ない」が 64.2%で最も多く、以下「100～300 万円」が 19.6%、「500 万円より多い」が 7.1%、「300～500 万円」が 5.2%の順となっている。

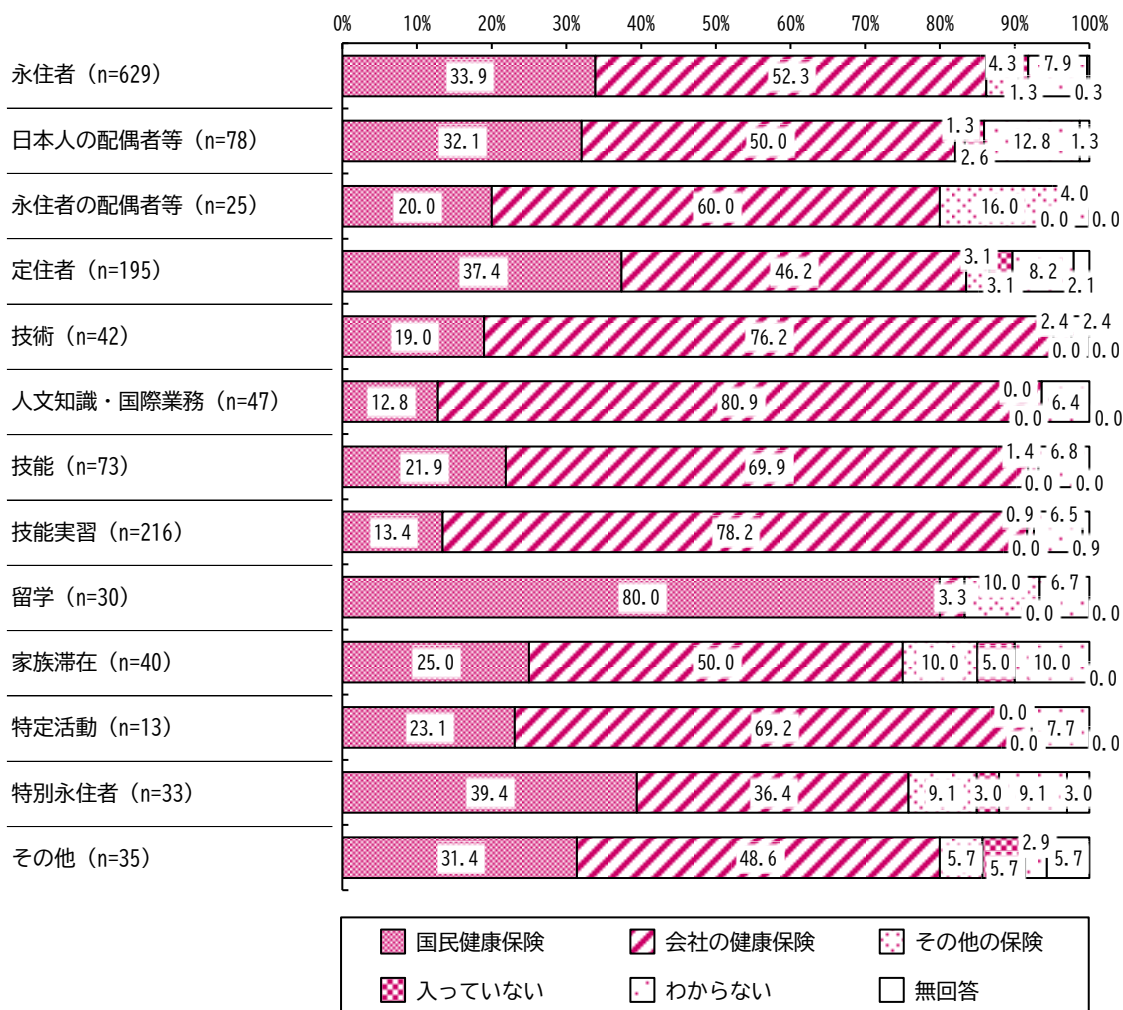
(33) 日本での健康保険への加入状況

問 27 日本での健康保険への加入状況を教えてください。（○は1つ）

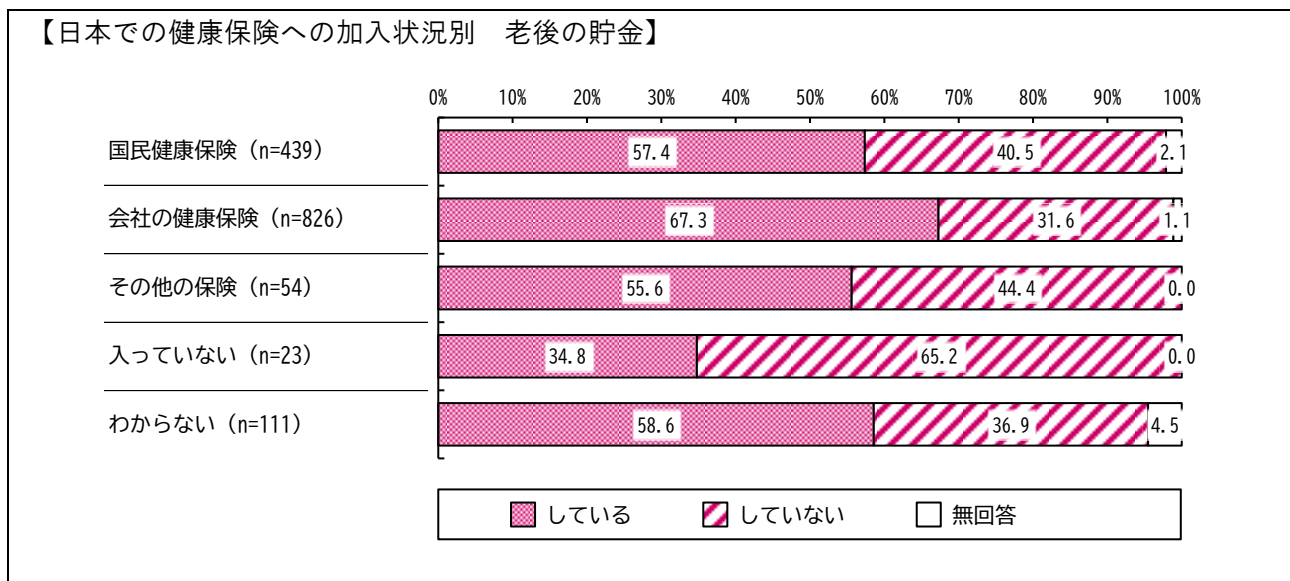


- ・ 日本での健康保険への加入状況は、「会社の健康保険」が 56.3%で最も多く、以下「国民健康保険」が 29.9%、「その他の保険」が 3.7%で、加入者計は 89.9%であった。
- ・ 一方、「入っていない」は 1.6%、「わからない」は 7.6%であった。

【在留資格別】

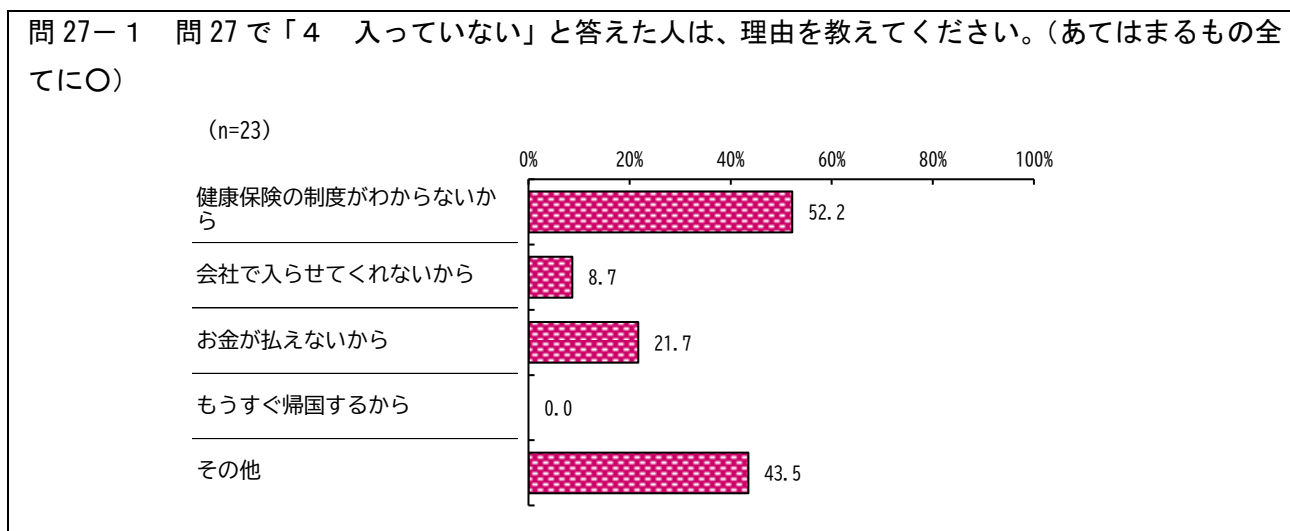


- ・ 在留資格別にみると、「会社の健康保険」は人文知識・国際業務 80.9%、技能実習 78.2%、技術 76.2%などで多くなっている。
- ・ 「国民健康保険」は留学 80.0%、特別永住者 39.4%、定住者 37.4%などで多くなっている。



- 日本での健康保険への加入状況別に老後の貯金の状況を見ると、健康保険に加入していない人は貯金を「している」が34.8%、「していない」が65.2%であった。

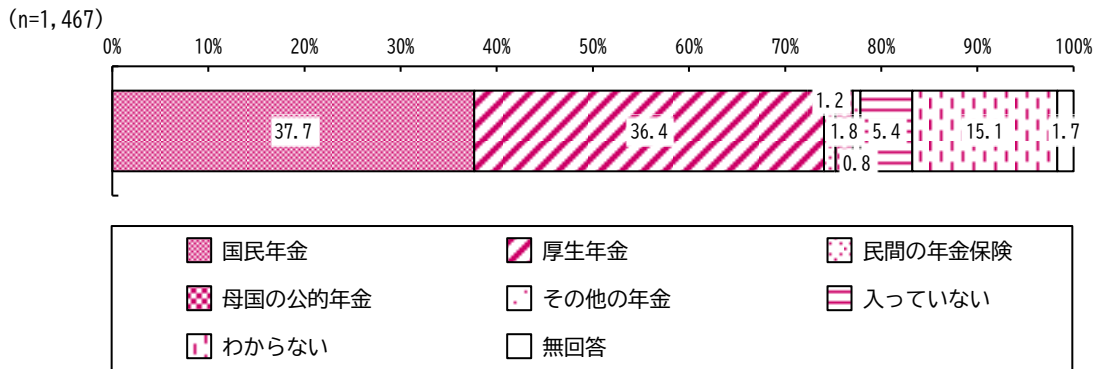
(34) 健康保険に加入していない理由



- 健康保険に加入していない理由は、「健康保険の制度がわからないから」が52.2%で最も多く、次いで「お金が払えないから」が21.7%、「会社で入らせてくれないから」が8.7%であった。

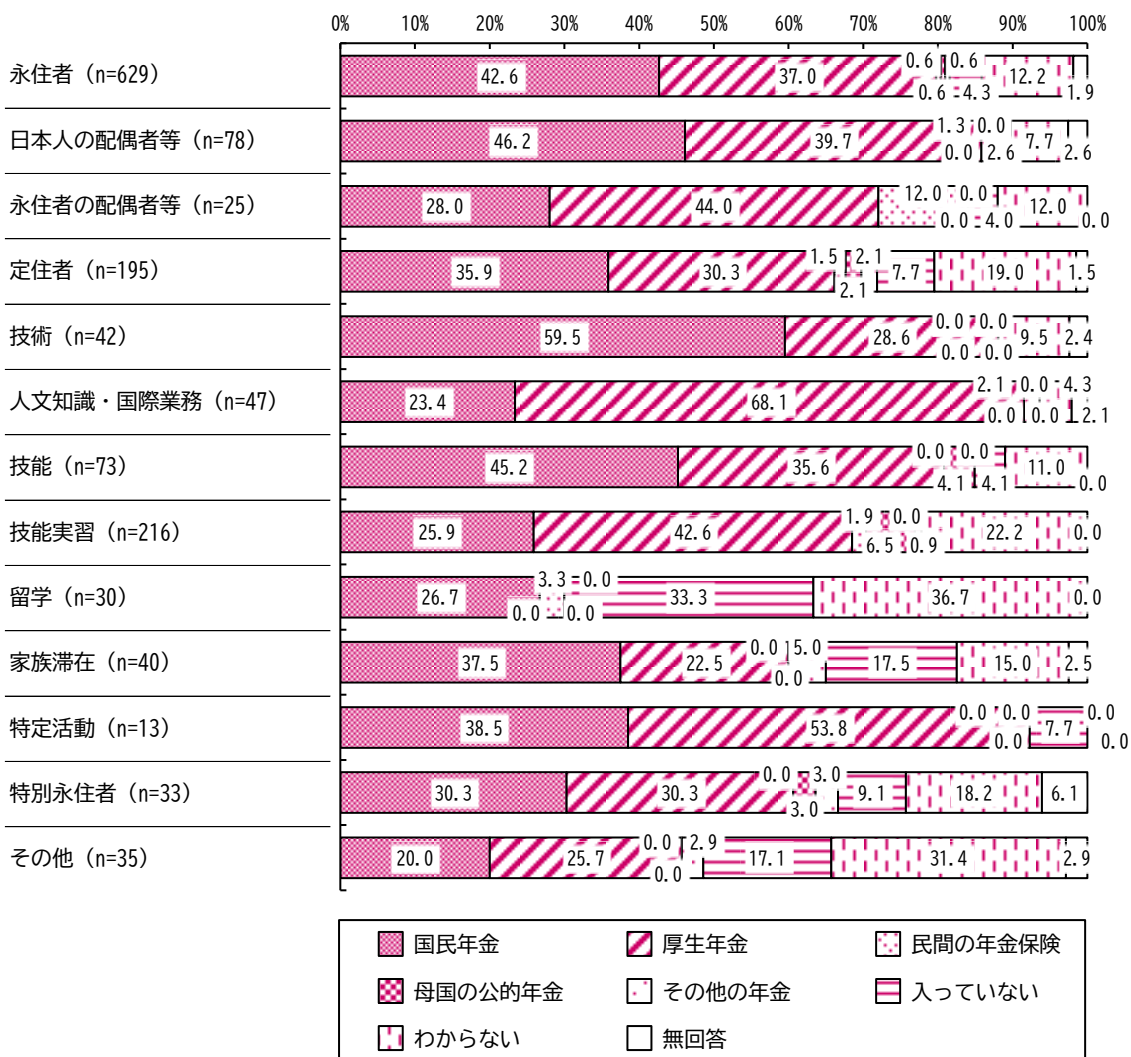
(35) 日本での年金への加入状況

問 28 日本での年金への加入状況を教えてください。(○は1つ)

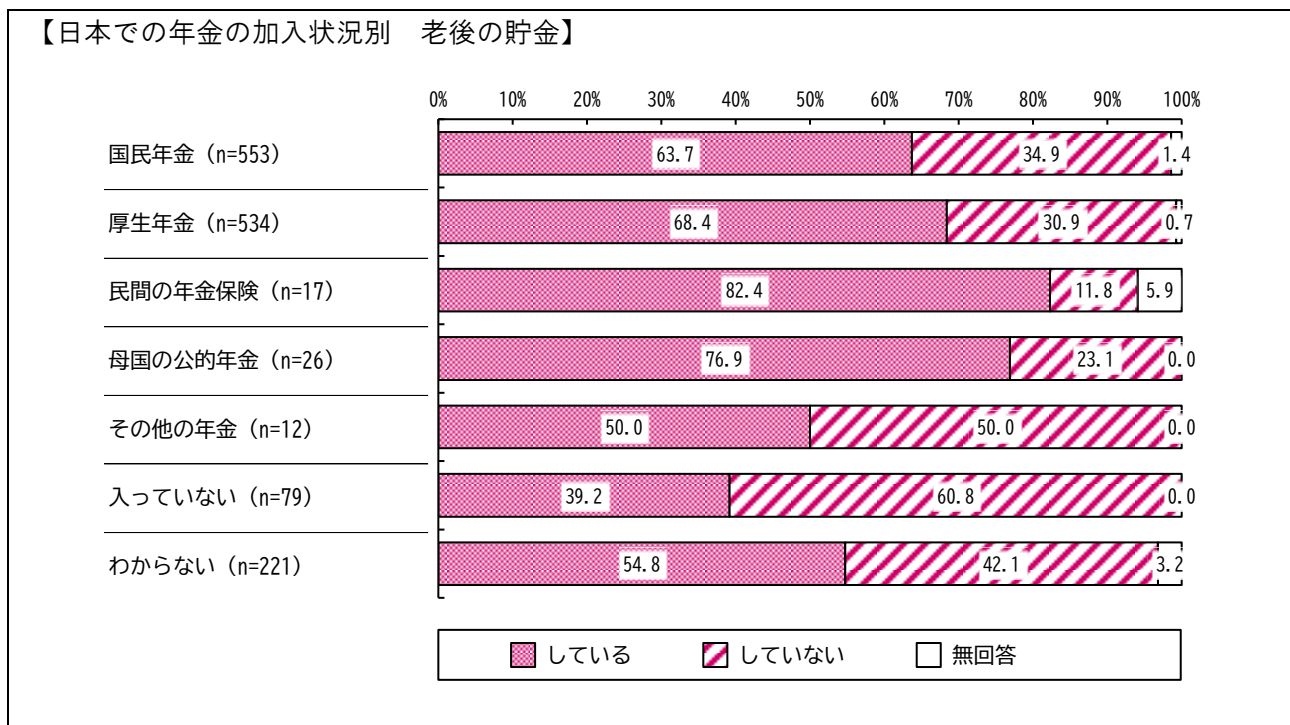


- ・ 日本での年金への加入状況は、「国民年金」が37.7%、「厚生年金」が36.4%、「民間の年金保険」が1.2%、「母国の公的年金」が1.8%、「その他の年金」が0.8%で、加入者計は77.9%であった。
- ・ 一方、「入っていない」は5.4%、「わからない」は15.1%であった。

【在留資格別】

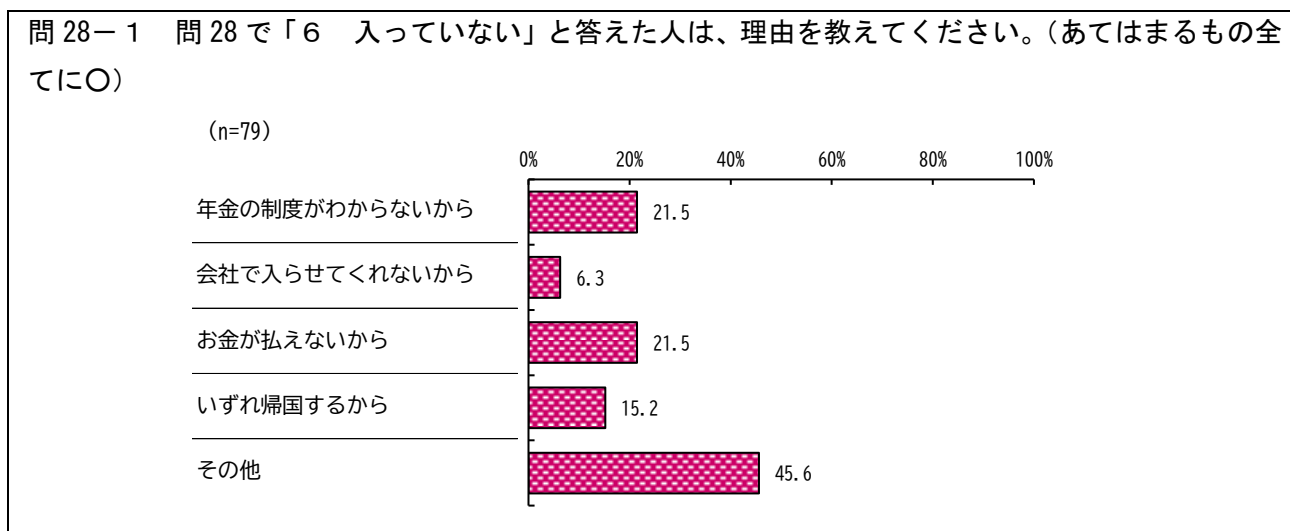


- ・ 在留資格別にみると、「国民年金」は技術 59.5%、日本人の配偶者等 46.2%、技能 45.2%、永住者 42.6%などで割合が高くなっている。
- ・ 「厚生年金」は、人文知識・国際業務 68.1%、特定活動 53.8%、永住者の配偶者等 44.0%、技能実習 42.6%などで割合が高くなっている。



- ・ 日本での年金への加入状況別に老後の貯金の状況を見ると、年金に加入していない人は貯金を「している」が 39.2%、「していない」が 60.8%となっている。

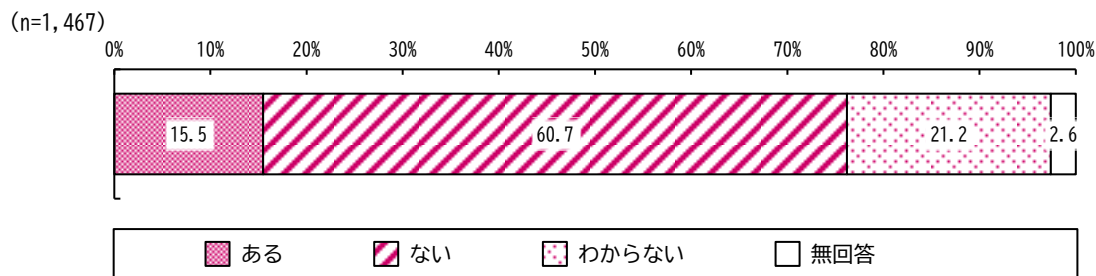
(36) 年金に加入していない理由



- ・ 年金に加入していない理由は、「年金の制度がわからないから」と「お金が払えないから」がともに 21.5%で、次いで「いずれ帰国するから」が 15.2%となっている。

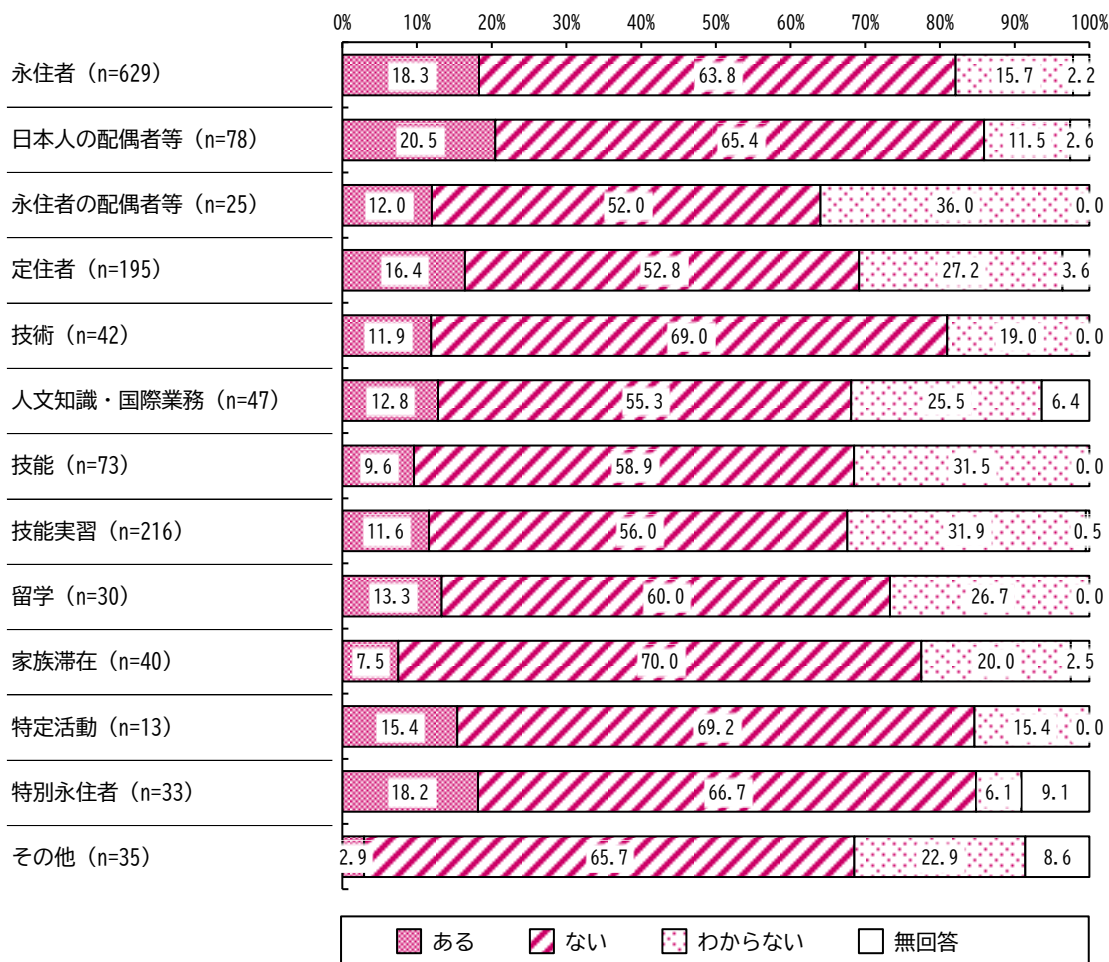
(37) 介護保険サービスを使った経験

問 29 介護保険サービスを使ったことはありますか。（○は1つ）

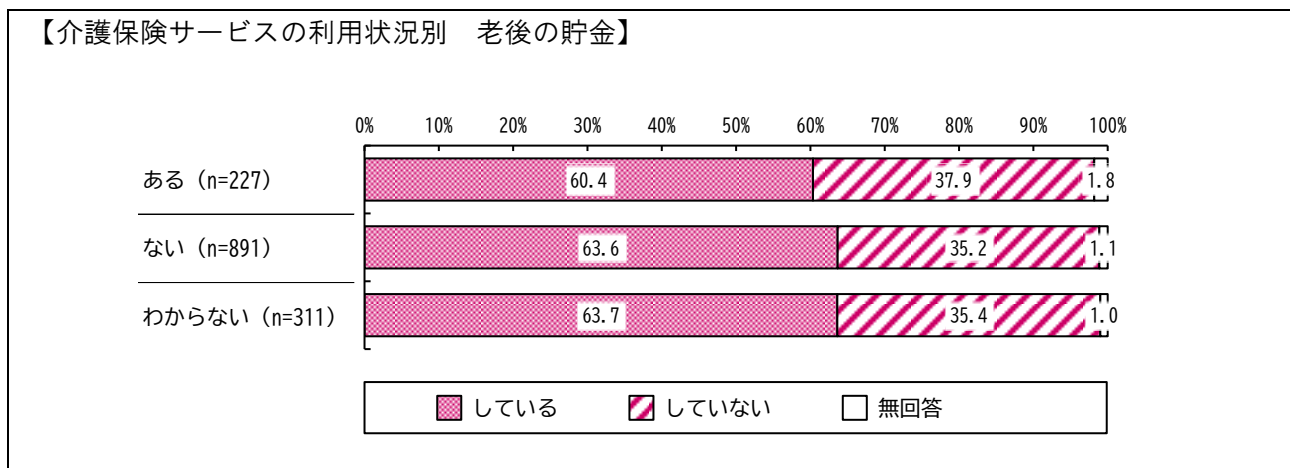


- 介護保険サービスを使った経験は、「ある」が15.5%、「ない」が60.7%、「わからない」が21.2%であった。

【在留資格別】

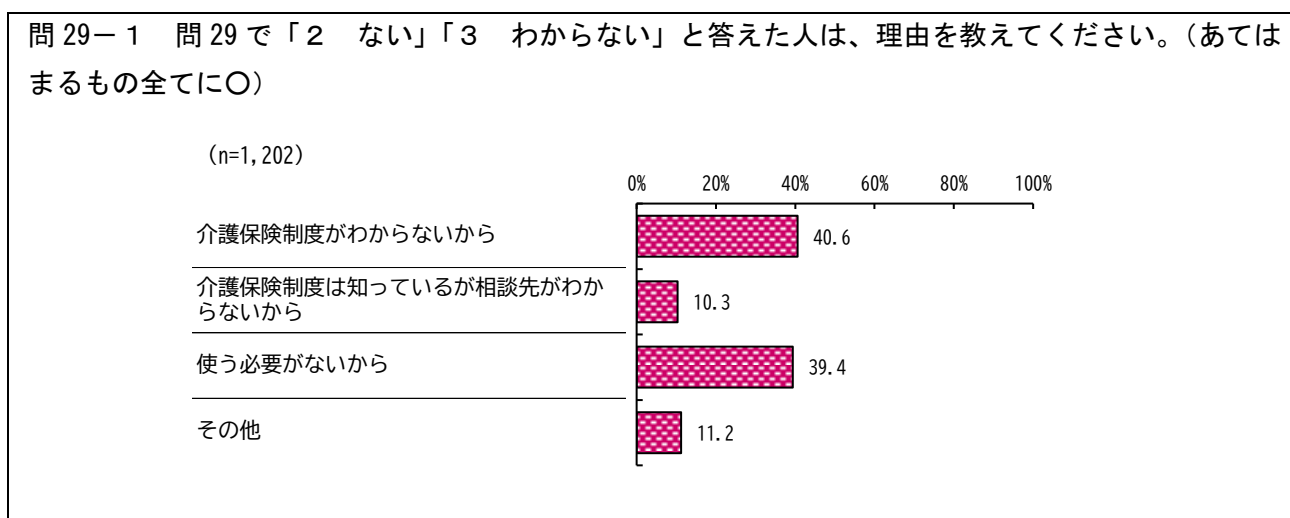


- 在留資格別にみると、「ある」は日本人の配偶者等 20.5%、永住者 18.3%、特別永住者 18.2%、定住者 16.4%、特定活動 15.4%などの順となっている。



- 介護保険サービスを使ったことがない人は、老後の貯金を「している」が63.6%、「していない」が35.2%であった。

(38) 介護保険サービスを使ったことがない理由

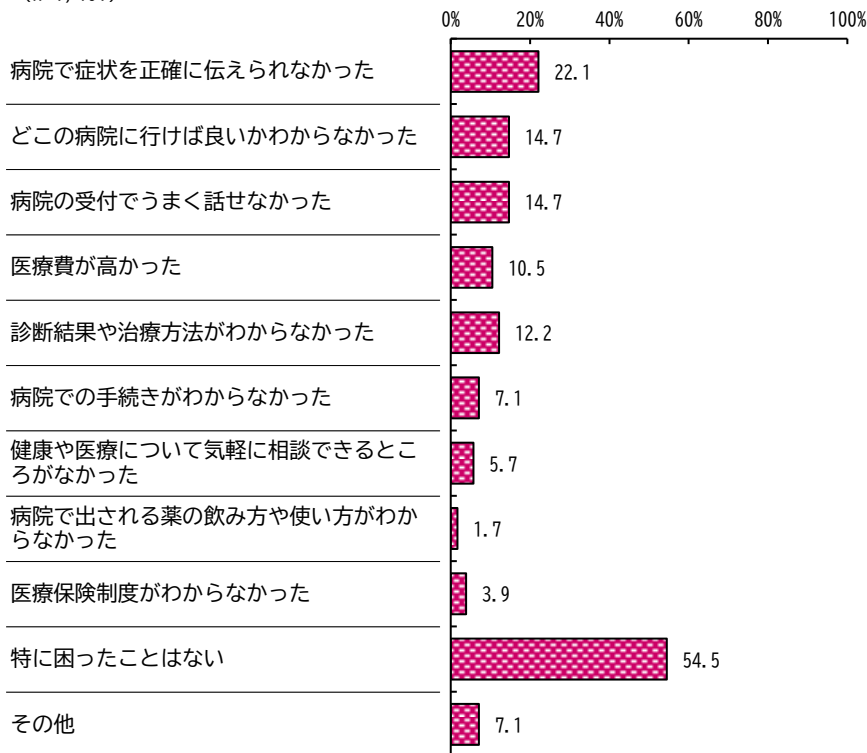


- 介護保険サービスを使ったことがない理由は、「介護保険制度がわからないから」が40.6%、「使う必要がないから」が39.4%とそれぞれ約4割で、「介護保険制度は知っているが相談先がわからないから」が10.3%であった。

(39) 病気やけがをした時に困ったこと

問 30 あなたは、病気やけがをした時困ったことはありますか。（あてはまるもの全てに○）

(n=1,467)



- ・ 病気やけがをした時に困ったことは、「病院で症状を正確に伝えられなかった」が 22.1%で最も多く、次いで「どこの病院に行けば良いかわからなかった」と「病院の受付でうまく話せなかった」がともに 14.7%、「診断結果や治療方法がわからなかった」が 12.2%であった。
- ・ 一方、「特に困ったことはない」は 54.5%となっている。

【日本語がどのくらいできるか [聞く] 能力別

単位 (%)

	調査数 (人)	病院で症状を正確に伝えられなかった	どこの病院に行けば良いかわからなかった	病院の受付でうまく話せなかった	医療費が高かった	診断結果や治療方法がわからなかった	病院での手続きがわからなかった	健康や医療について気軽に相談できるところがなかった	病院で出される薬の飲み方や使い方がわからなかった	医療保険制度がわからなかった	特に困ったことはない	その他
テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる	462	6.9	7.1	2.8	7.6	3.5	2.4	2.8	0.2	0.9	71.4	4.1
相手の言うことを聞いて、大体理解できる	429	22.8	18.9	14.9	11.7	14.5	7.7	7.2	1.9	6.1	52.0	6.1
相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる	360	33.9	18.1	23.1	13.3	18.1	11.4	6.1	1.9	3.1	43.6	8.1
単語だけ聞き取れる	171	36.8	19.3	26.9	9.9	18.7	10.5	8.2	4.7	7.6	42.1	13.5
ほとんど聞き取れない	42	21.4	7.1	21.4	9.5	9.5	2.4	7.1	2.4	7.1	35.7	16.7

- ・ 日本語の [聞く] 能力別にみると、「病院で症状を正確に伝えられなかった」は、「相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる」で 33.9%、「単語だけ聞き取れる」で 36.8%と割合が高くなっている。
- ・ どの能力でも最も多いのは「特に困ったことはない」だが、聞く能力が高いほど割合が高くなっている。

【日本語がどのくらいできるか [話す] 能力別】

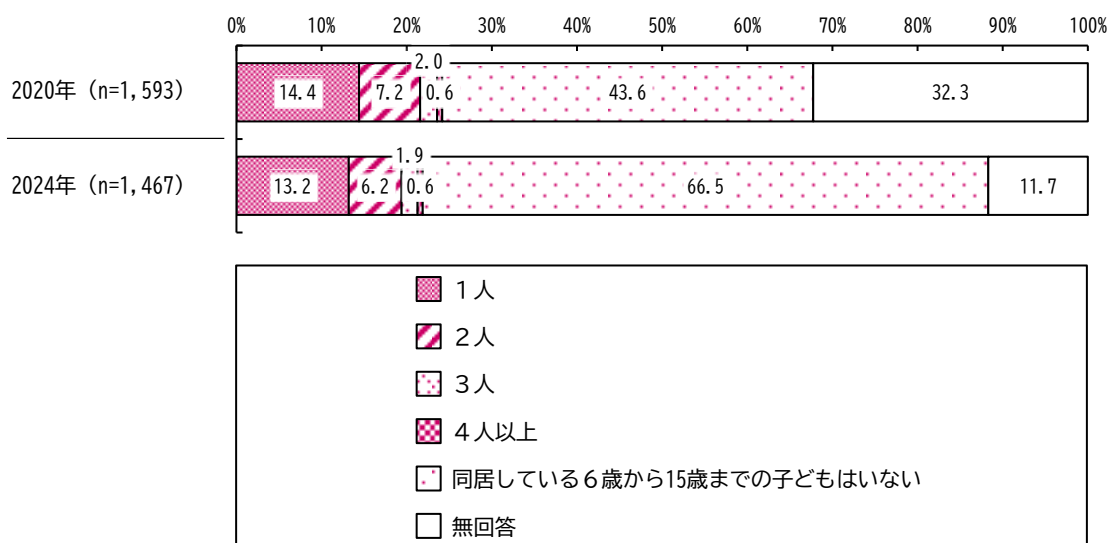
単位 (%)

	調査数 (人)	病院で症状 を正確に伝 えられな かった	どこの病院 に行けば良 いかわら なかった	病院の受付 でうまく話 せなかった	医療費が高 かった	診断結果や 治療方法が わからな かった	病院での手 続きがわか らなかった	健康や医療 について気 軽に相談で きる場所 がなかった	病院で出さ れる薬の飲 み方や使い 方がわから なかった	医療保険制 度がわから なかった	特に困った ことはない	その他
自分の言いたいことが問題 なく話せる	352	8.2	8.0	2.3	8.5	2.6	2.3	2.3	0.3	0.9	71.6	4.3
自分の言いたいことが大体 話せる	427	17.8	13.6	10.5	11.2	12.4	6.8	5.4	1.9	4.9	56.2	6.6
簡単な日常会話ができる	426	32.9	18.5	24.4	10.6	17.4	10.3	7.0	1.9	3.5	45.3	5.4
自己紹介、決まった挨拶、 単語なら言うことができる	211	32.2	20.4	24.2	10.9	17.1	10.0	8.5	3.3	6.6	43.1	15.6
ほとんど話せない	40	20.0	15.0	12.5	15.0	12.5	2.5	7.5	2.5	10.0	50.0	12.5

- 日本語の [話す] 能力別にみると、「病院で症状を正確に伝えられなかった」は、「簡単な日常会話ができる」で 32.9%、「自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる」で 32.2% と割合が高くなっている。
- どの能力でも最も多いのは「特に困ったことはない」だが、話す能力が高いほど割合が高くなる傾向がある。

(40) 同居している 6～15 歳の子ども的人数

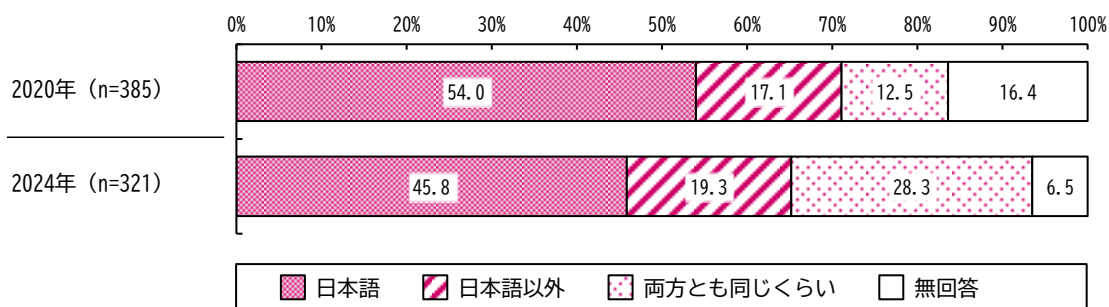
問 31 6 歳から 15 歳までの子どもであなたと同居しているお子さんは何人いますか。(○は 1 つ)



- 同居している 6～15 歳の子ども的人数は、「1 人」が 13.2%、「2 人」が 6.2%、「3 人」が 1.9%、「4 人以上」が 0.6%、「同居している 6 歳から 15 歳までの子どもはいない」が 66.5% であった。
- 過去調査と比較すると、2020 年調査から「同居している 6 歳から 15 歳までの子どもはいない」が 22.9 ポイント多くなっている。

(41) 同居している一番上の子どもが最もよく話せる言語

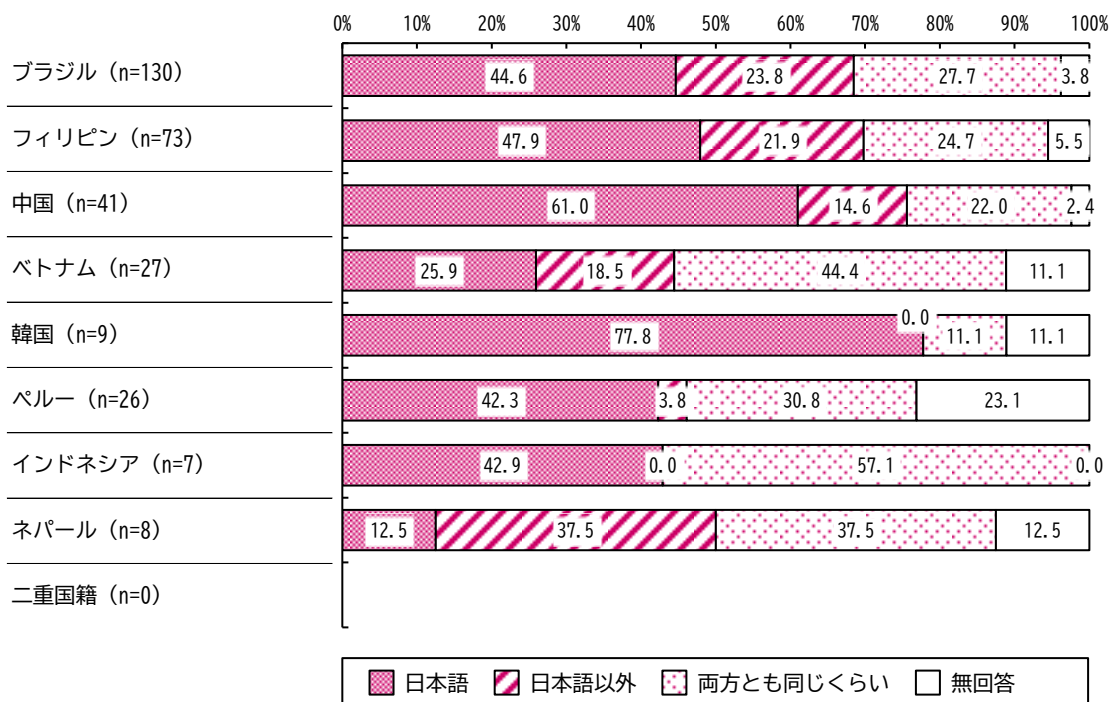
問32 同居している6歳から15歳までの子どものうち、一番上の子どもが最もよく話せる言語は何か。（〇は1つ）



※2020年はポルトガル語からその他までを再集計。

- 同居している一番上の子どもが最もよく話せる言語は、「日本語」が45.8%、「日本語以外」が19.3%、「両方とも同じくらい」が28.3%であった。
- 過去調査と比較すると、2020年調査から「両方とも同じくらい」が15.8ポイント多く、「日本語」が8.2ポイント少なくなっている。

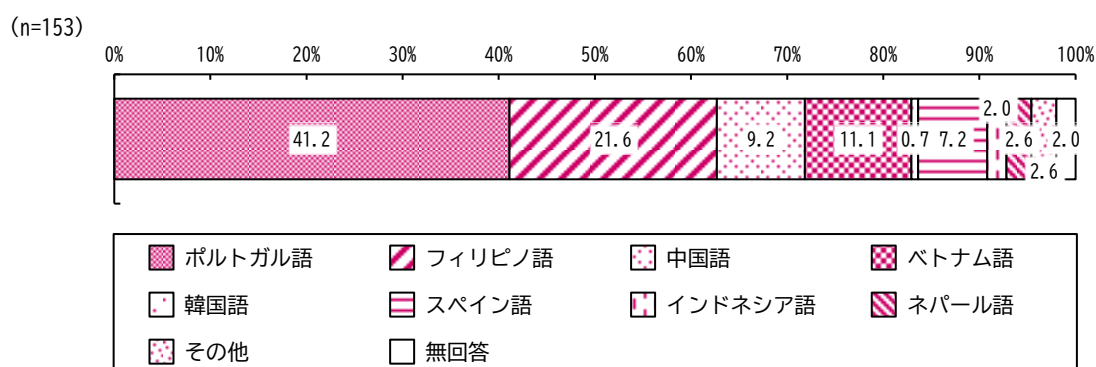
【国籍別】



- 国籍別にみると、「日本語」は中国61.0%、フィリピン47.9%、ブラジル44.6%の順に割合が高く（n=9の韓国を除く）、「両方とも同じくらい」はベトナム44.4%、ペルー30.8%、ブラジル27.7%の順に割合が高い（n=7のインドネシア、n=8のネパールを除く）。

(42) 同居している一番上の子どもが日本語以外で最もよく話せる言語

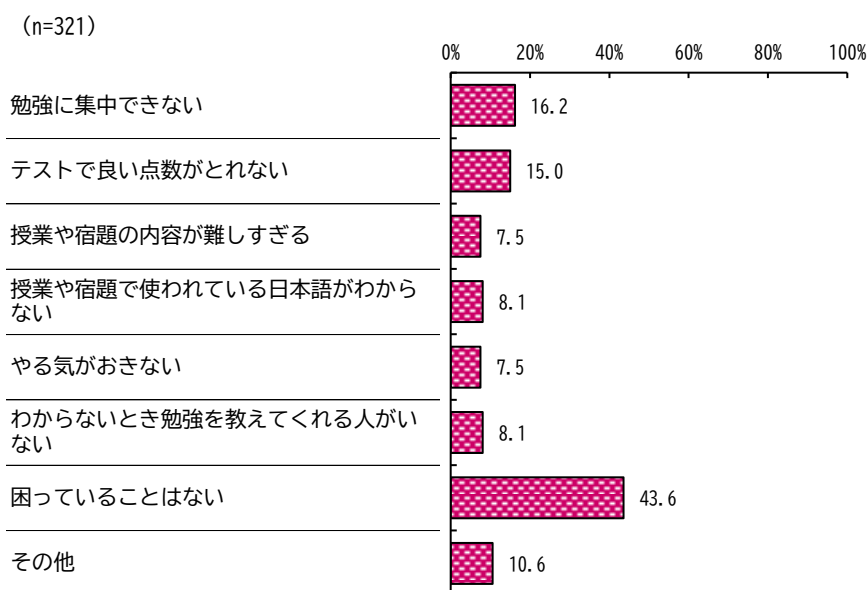
問 32-1 問 32 で「2 日本語以外」「3 両方とも同じくらい」と答えた人は教えてください。同居している 6 歳から 15 歳までの子どもが日本語以外で最もよく話せる言語は何ですか。(○は 1 つ)



- 同居している一番上の子どもが日本語以外で最もよく話せる言語は、「ポルトガル語」が 41.2% で最も多く、次いで「フィリピン語」が 21.6%、「ベトナム語」が 11.1% であった。

(43) 同居している一番上の子どもが勉強で困っていること

問 32-2 問 32 で答えた子どもは、勉強で困っていることはありますか。(あてはまるもの全てに○)



- 同居している一番上の子どもが勉強で困っていることは、「勉強に集中できない」が 16.2% で最も多く、次いで「テストで良い点数がとれない」が 15.0% であった。
- 一方、「困っていることはない」は 43.6% となっている。

【国籍別】

	調査数 (人)	勉強に集中できない	テストで良い点数がとれない	授業や宿題の内容が難しすぎる	授業や宿題で使われている日本語がわからない	やる気がおきない	わからないとき勉強を教えてくれる人がいない	困っていることはない	その他
ブラジル	130	13.8	16.2	9.2	6.9	8.5	8.5	41.5	15.4
フィリピン	73	17.8	21.9	9.6	13.7	5.5	5.5	46.6	12.3
中国	41	26.8	14.6	2.4	4.9	14.6	14.6	43.9	-
バトナム	27	18.5	7.4	-	14.8	-	3.7	40.7	3.7
韓国	9	-	11.1	-	-	11.1	-	66.7	11.1
ペルー	26	11.5	7.7	11.5	3.8	3.8	11.5	38.5	3.8
インドネシア	7	-	-	14.3	-	14.3	14.3	71.4	-
ネパール	8	25.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0
二重国籍	0	-	-	-	-	-	-	-	-

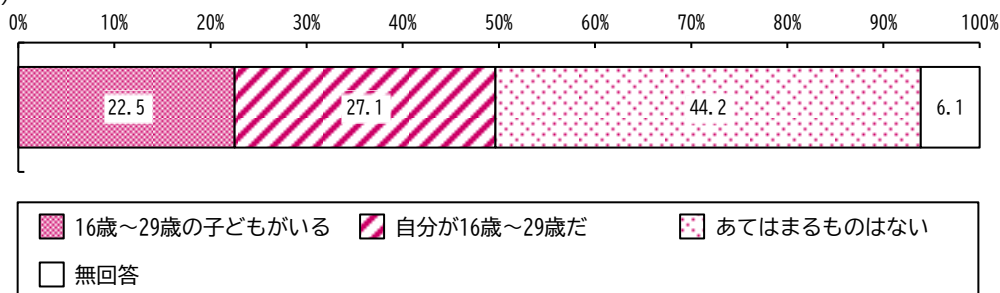
- ・ 国籍別にみると、「困っていることはない」を除けば、「テストで良い点数がとれない」はフィリピンで21.9%、ブラジルで16.2%、「勉強に集中できない」は中国で26.8%と多くなっている。

(44) 日本に住んでいる16歳～29歳の子どもの有無

問33 日本に住んでいる16歳～29歳の子どもがいますか。または、自分が16歳～29歳ですか。

(○は1つ)

(n=1,467)

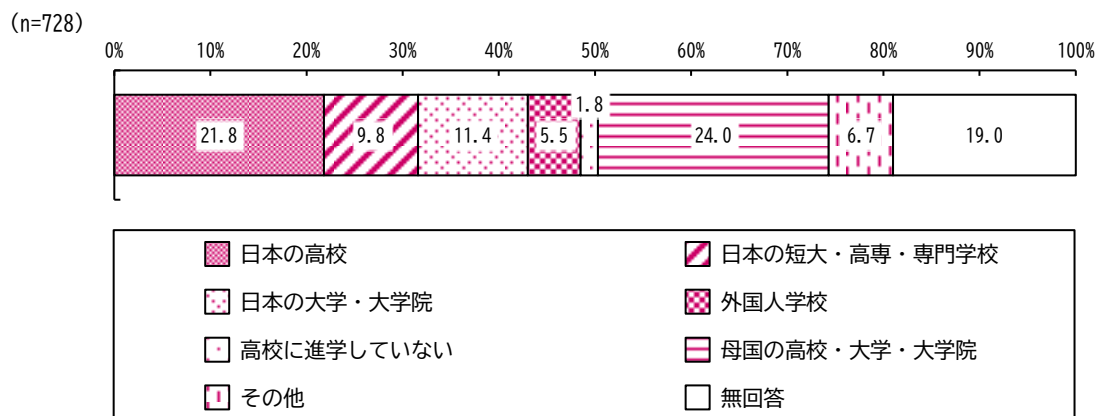


- ・ 日本に住んでいる16歳～29歳の子どもについては、「16歳～29歳の子どもがいる」が22.5%、「自分が16歳～29歳だ」が27.1%、「あてはまるものはない」が44.2%となっている。

(45) 16歳～29歳の子どもの就学状況・最終学歴

問 33 - 1 問 33 で「1 16歳～29歳の子どもがいる」「2 自分が16歳～29歳だ」と答えた人は教えてください。

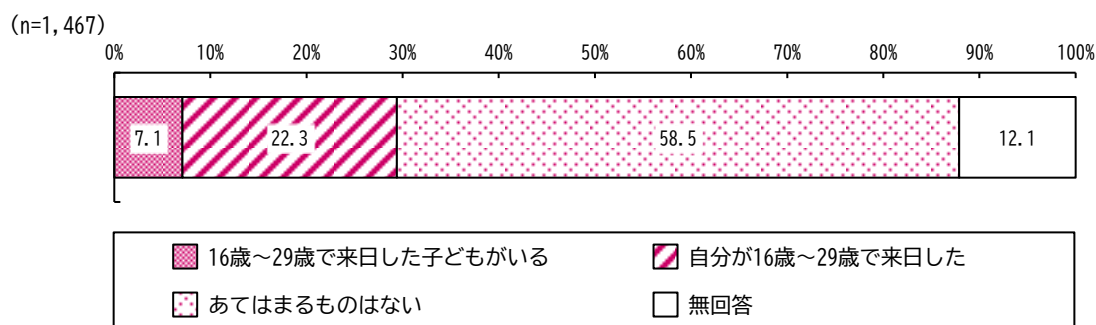
その人（子どもまたは本人）の就学状況を教えてください。卒業した場合は最終学歴を教えてください。（○は1つ）



- ・ 日本に住んでいる 16 歳～29 歳の子どもの就学状況・最終学歴は、「母国の高校・大学・大学院」が 24.0%で最も多く、次いで「日本の高校」が 21.8%、「日本の大学・大学院」が 11.4%であった。

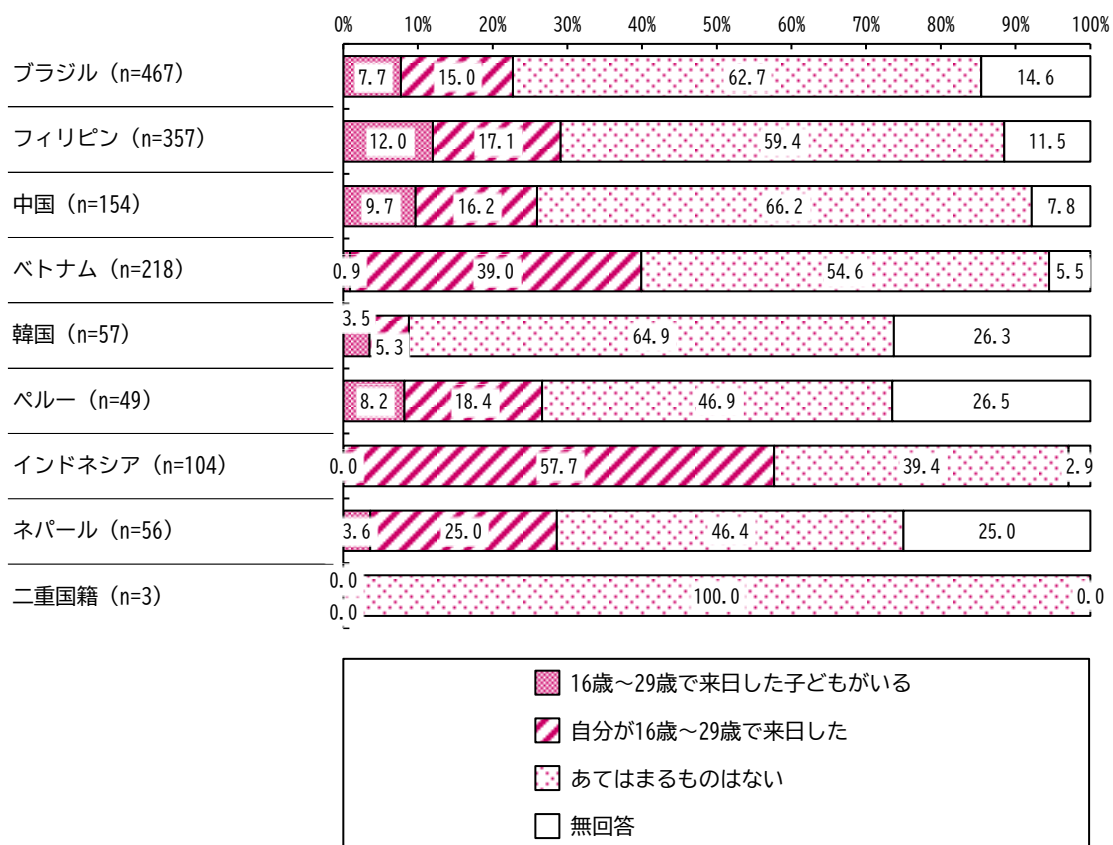
(46) 16歳～29歳で来日した子どもの有無

問 34 16歳～29歳で来日した子どもがいますか。（○は1つ）



- ・ 16 歳～29 歳で来日した子どもについては、「16 歳～29 歳で来日した子どもがいる」が 7.1%、「自分が 16 歳～29 歳で来日した」が 22.3%、「あてはまるものはない」が 58.5%であった。

【国籍別】

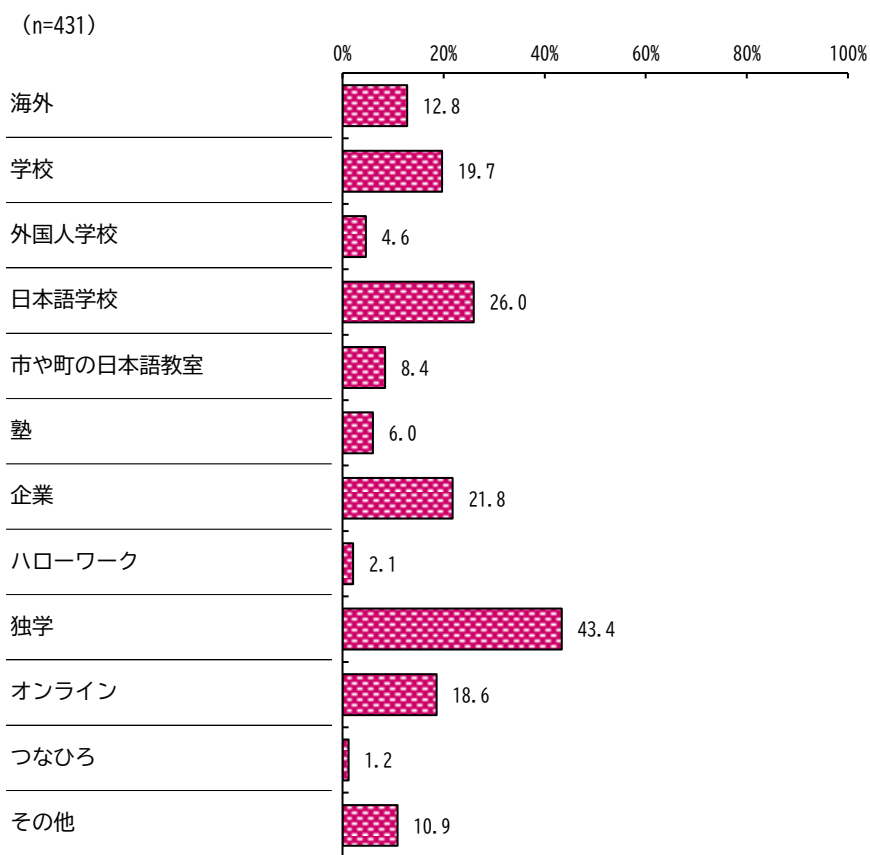


- ・ 国籍別にみると、「16歳～29歳で来日した子どもがいる」はフィリピンで12.0%、「自分が16歳～29歳で来日した」がインドネシアで57.7%、ベトナムで39.0%と多くなっている。

(47) 16歳～29歳の子どもは日本語をどのように学んだか

問34-1 問34で「1 16歳～29歳で来日した子どもがいる」「2 自分が16歳～29歳で来日した」と答えた人は教えてください。

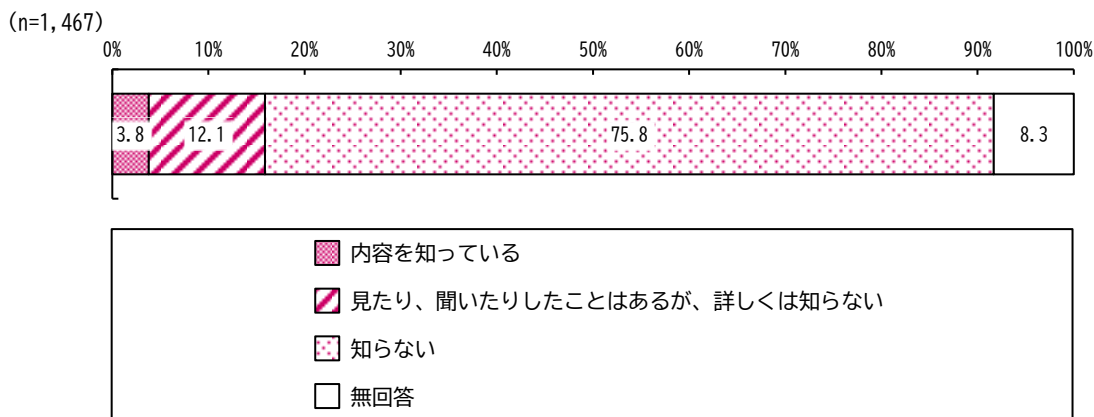
その人（子どもまたは本人）は日本語をどのように学びましたか。（あてはまるもの全てに○）



- 16歳～29歳の子どもの日本語の学習方法は、「独学」が43.4%で最も多く、次いで「日本語学校」が26.0%、「企業」が21.8%、「学校」が19.7%であった。

(48) ふじのくに中学校（夜間中学）が、静岡県内にあることを知っているか

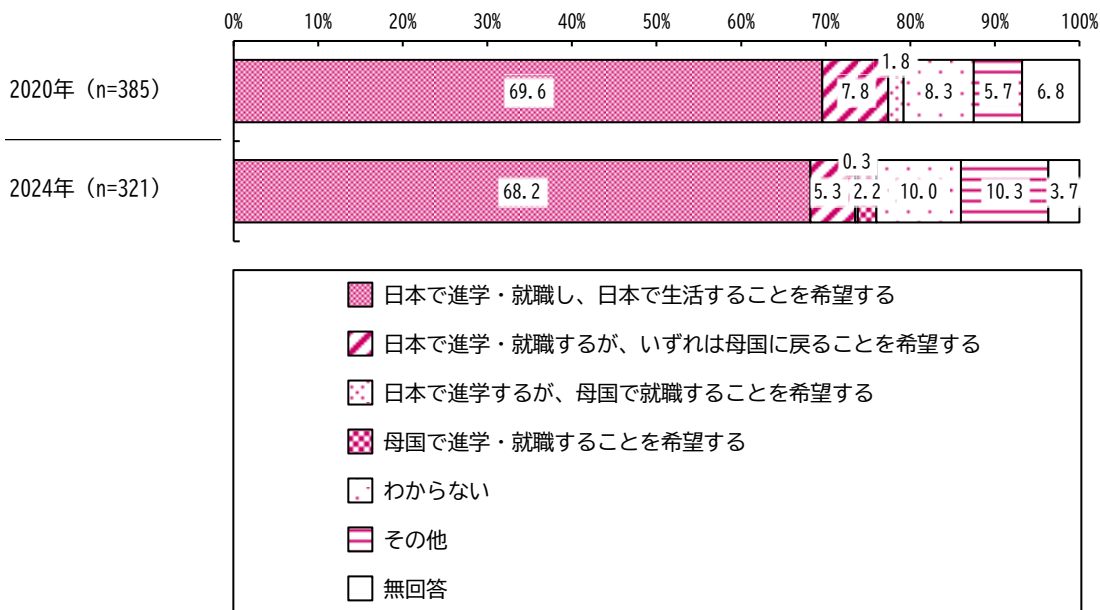
問 35 様々な理由により9年間の義務教育を十分に受けられなかった人を対象とした、ふじのくに中学校（夜間中学）が、静岡県内にあることを知っていますか？（○は1つ）



- ・ ふじのくに中学校については、「内容を知っている」が3.8%、「見たり、聞いたりしたことはあるが、詳しくは知らない」が12.1%、「知らない」が75.8%であった。

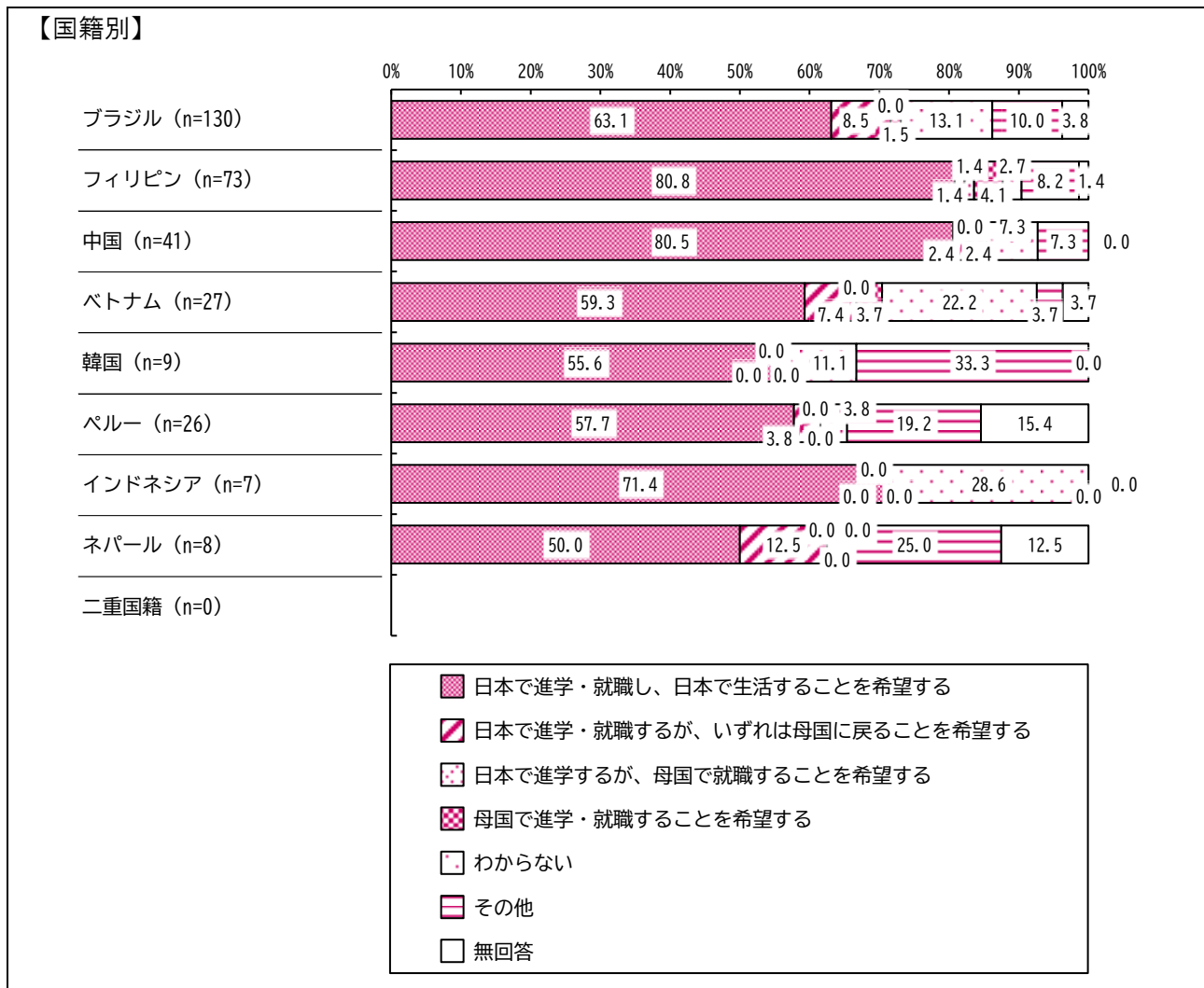
(49) 子どもの将来についてどのように考えているか

問 36 子どもの将来についてどのように考えていますか。（○は1つ）



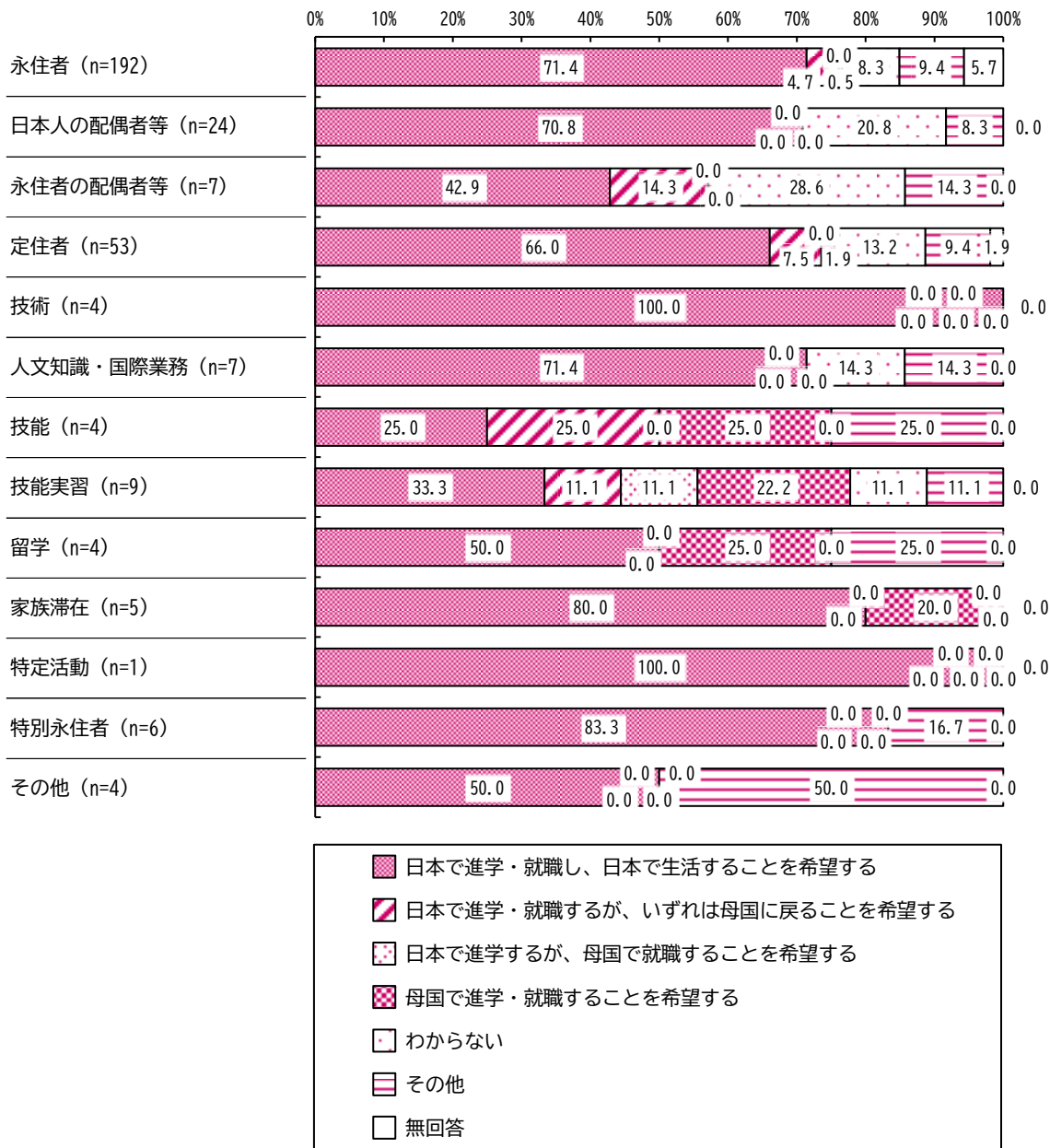
※ 問31で、同居している6歳から15歳までの子どもがいると回答した人だけで集計。
 ※ 「母国で進学・就職することを希望する」は2024年から。

- ・ 子どもの将来についてどのように考えているかは、「日本で進学・就職し、日本で生活することを希望する」が68.2%、「日本で進学・就職するが、いずれは母国に戻ることを希望する」が5.3%、「わからない」が10.0%などとなっている。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から「その他」が4.6ポイント多くなっているが、それ以外の差はいずれも3ポイント以下であった。



- ・ 国籍別にみると、「日本で進学・就職し、日本で生活することを希望する」はフィリピンで 80.8%、中国で 80.5%と約 8 割を占めている。

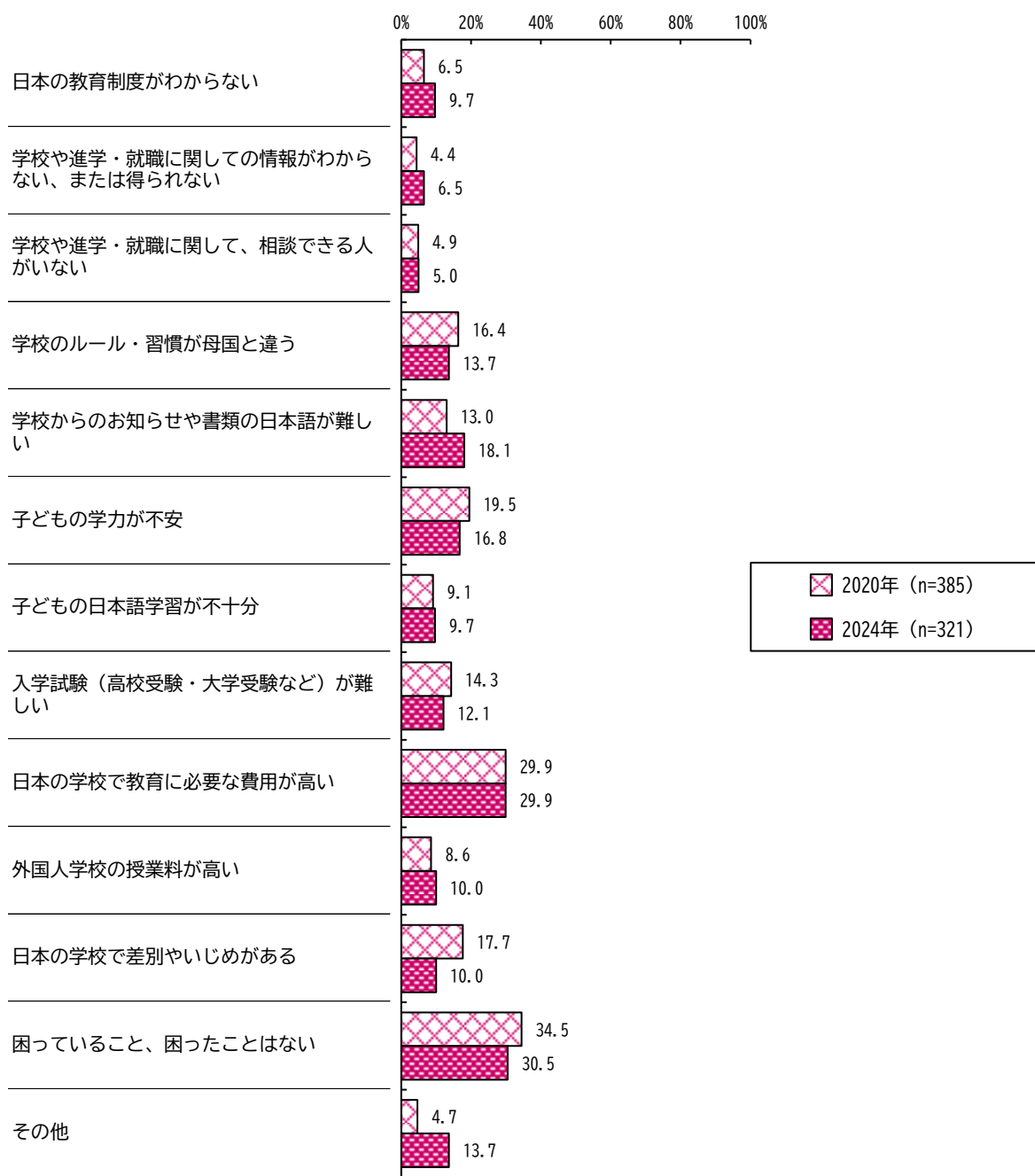
【在留資格別】



・ 在留資格別にみると、「日本で進学・就職し、日本で生活することを希望する」は永住者で71.4%などとなっている。

(50) 子どもの教育について、困っていること、困った経験をしたこと

問37 子どもの教育について、困っていること、困った経験をしたことはありますか。(あてはまるもの全てに○)



※ 問37で、同居している6歳から15歳までの子どもがいると回答した人だけで集計。

※ 「日本の教育制度がわからない」は2020年では「日本の学校に入りたいが、教育制度がわからない」。
 「学校からのお知らせや書類の日本語が難しい」は2020年では「学校からのお知らせや書類が理解できない」。

- ・ 子どもの教育について、困っていること、困った経験をしたことは、「日本の学校で教育に必要な費用が高い」が29.9%で最も多く、次いで「学校からのお知らせや書類の日本語が難しい」が18.1%、「子どもの学力が不安」が16.8%であった。
- ・ 一方、「困っていること、困ったことはない」は30.5%となっている。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から「日本の学校で差別やいじめがある」が7.7ポイント少なくなっている。

【国籍別】

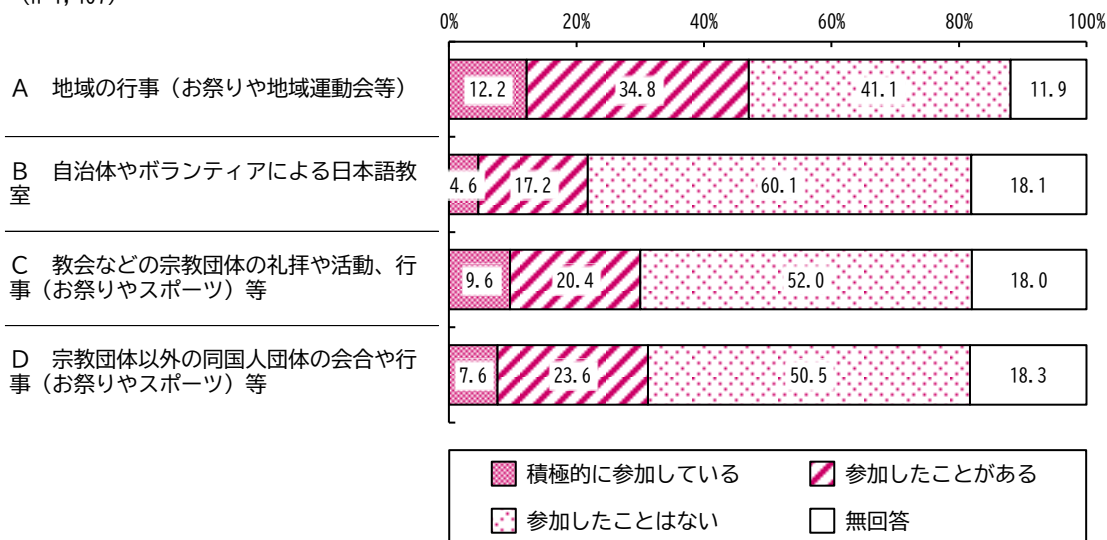
	調査数 (人)	単位 (%)												
		日本の教育制度がわからない	学校や進学・就職に関する情報がわからない、または得られない	学校や進学・就職に関して、相談できる人がいない	学校のルール・習慣が母国と違う	学校からのお知らせや書類の日本語が難しい	子どもの学力が不安	子どもの日本語学習が不十分	入学試験（高校受験・大学受験など）が難しい	日本の学校で教育に必要な費用が高い	外国人学校の授業料が高い	日本の学校で差別やいじめがある	困っていること、困ったことはない	その他
ブラジル	130	7.7	5.4	3.1	13.8	20.8	15.4	6.2	10.8	26.9	10.8	12.3	34.6	12.3
フィリピン	73	6.8	2.7	2.7	19.2	30.1	24.7	19.2	12.3	38.4	15.1	8.2	23.3	17.8
中国	41	12.2	9.8	12.2	4.9	2.4	24.4	7.3	17.1	24.4	2.4	4.9	34.1	7.3
ベトナム	27	22.2	18.5	3.7	18.5	14.8	7.4	11.1	14.8	25.9	7.4	3.7	25.9	18.5
韓国	9	-	-	-	-	-	-	-	22.2	22.2	-	-	77.8	-
ペルー	26	15.4	7.7	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	46.2	11.5	23.1	7.7	7.7
インドネシア	7	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	42.9	42.9
ネパール	8	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5	12.5	37.5	25.0
二重国籍	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- ・ 国籍別にみると、「日本の学校で教育に必要な費用が高い」は、ペルーで46.2%、フィリピンで38.4%、ベトナムで25.9%となっている。

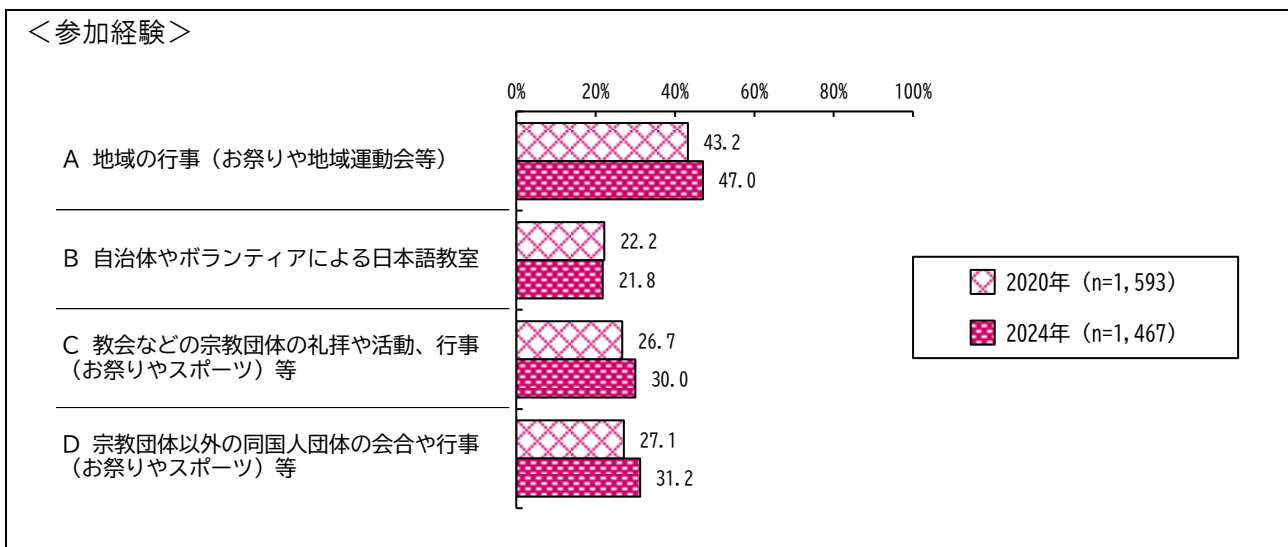
(51) 団体や行事に参加した経験

問38 あなたは以下に上げる団体や行事に参加したことがありますか。(A～Dのそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

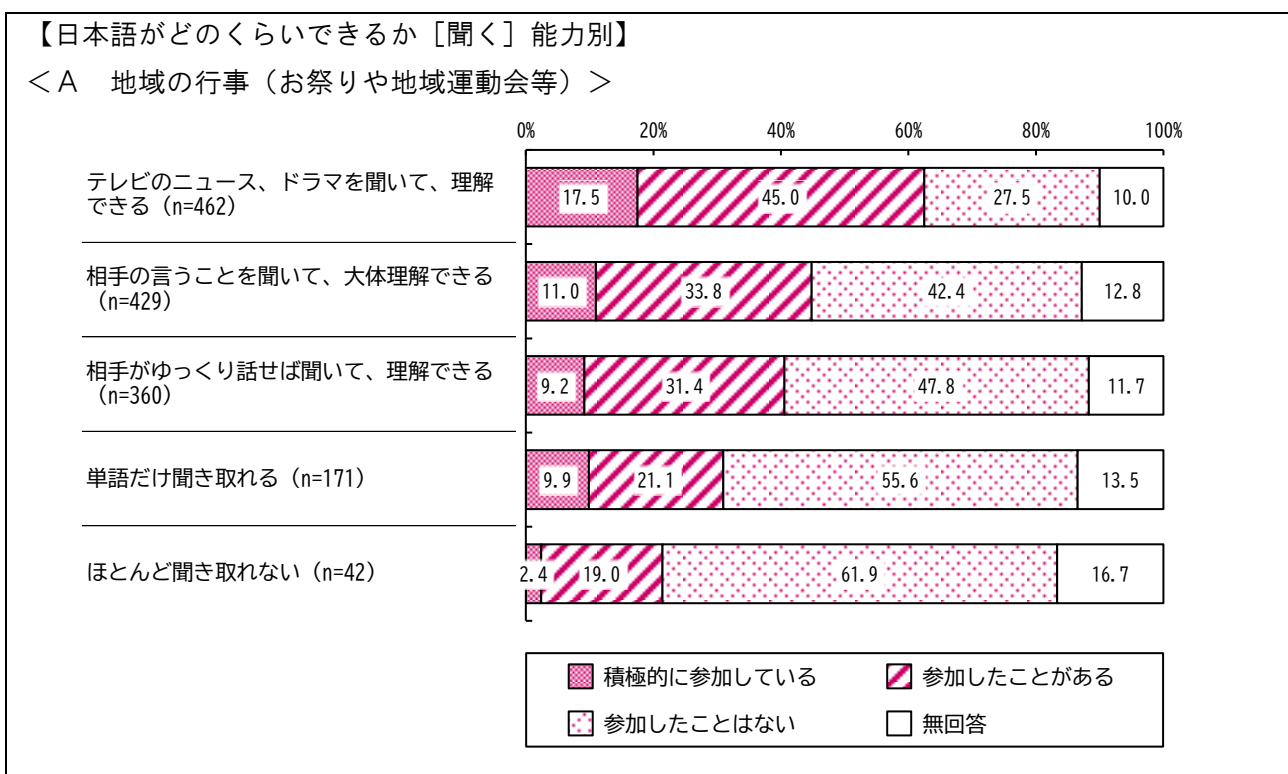
(n=1,467)



- ・ 団体や行事への参加について、＜A 地域の行事（お祭りや地域運動会等）＞は、「積極的に参加している」が12.2%、「参加したことがある」が34.8%で、以下のB～Dに比べ参加経験が多かった。
- ・ ＜B 自治体やボランティアによる日本語教室＞は、「積極的に参加している」が4.6%、「参加したことがある」が17.2%、「参加したことはない」が60.1%であった。
- ・ ＜C 教会などの宗教団体の礼拝や活動、行事（お祭りやスポーツ）等＞は、「積極的に参加している」が9.6%、「参加したことがある」が20.4%、「参加したことはない」が52.0%であった。
- ・ ＜D 宗教団体以外の同国人団体の会合や行事（お祭りやスポーツ）等＞は、「積極的に参加している」が7.6%、「参加したことがある」が23.6%、「参加したことはない」が50.5%であった。



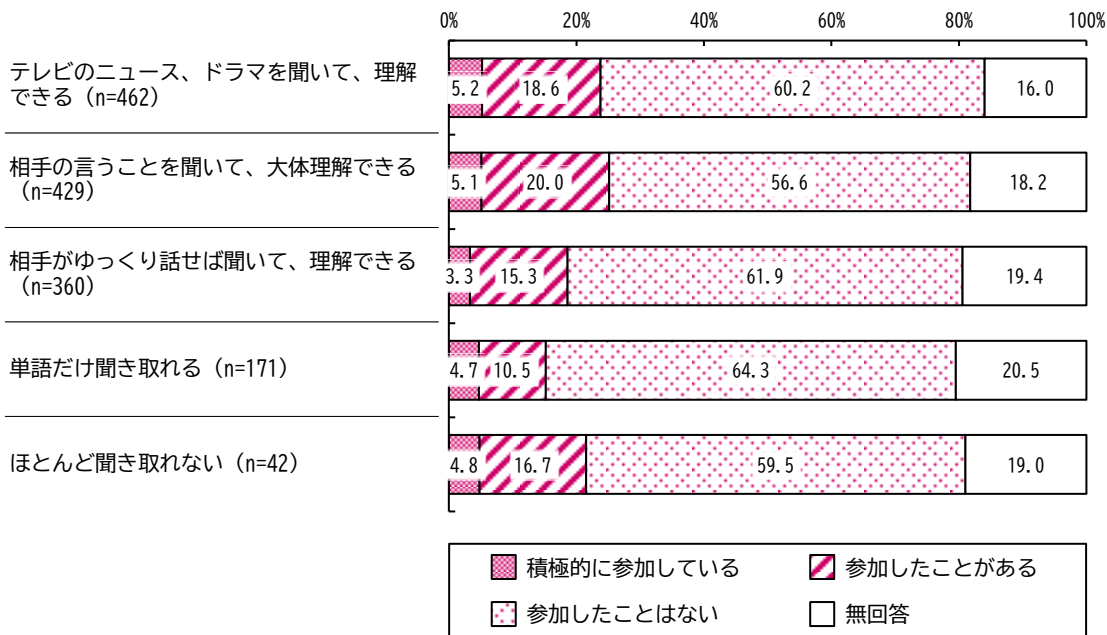
- それぞれの項目について、「積極的に参加している」又は「参加したことがある」を『参加経験あり』とすると、「A 地域の行事（お祭りや地域運動会等）」が47.0%で最も多く、次いで「D 宗教団体以外の同国人団体の会合や行事（お祭りやスポーツ）等」が31.2%となっている。
- 過去調査と比較すると、2020年調査から「D 宗教団体以外の同国人団体の会合や行事（お祭りやスポーツ）等」が4.1ポイント、「A 地域の行事（お祭りや地域運動会等）」が3.8ポイント多くなっている。



- 日本語の [聞く] 能力別に＜A 地域の行事（お祭りや地域運動会等）＞への参加経験をみると、「テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる」で『参加経験あり』が62.5%となっている。

【日本語がどのくらいできるか [聞く] 能力別

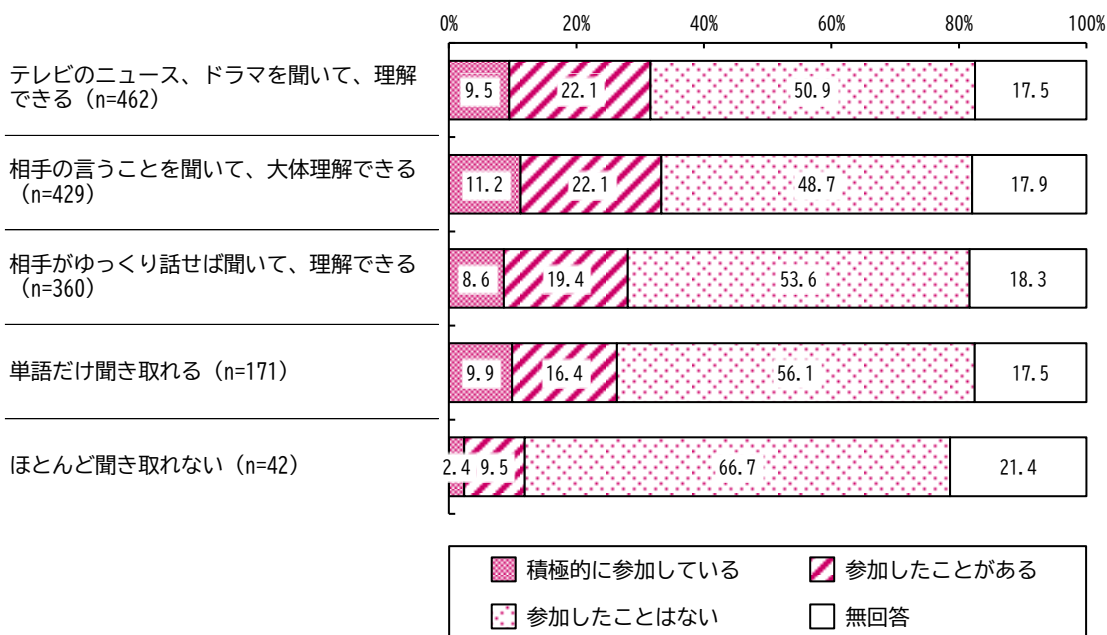
＜B 自治体やボランティアによる日本語教室＞



- ・ <B 自治体やボランティアによる日本語教室>への参加経験は、「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」で『参加経験あり』が25.1%となっている。

【日本語がどのくらいできるか [聞く] 能力別

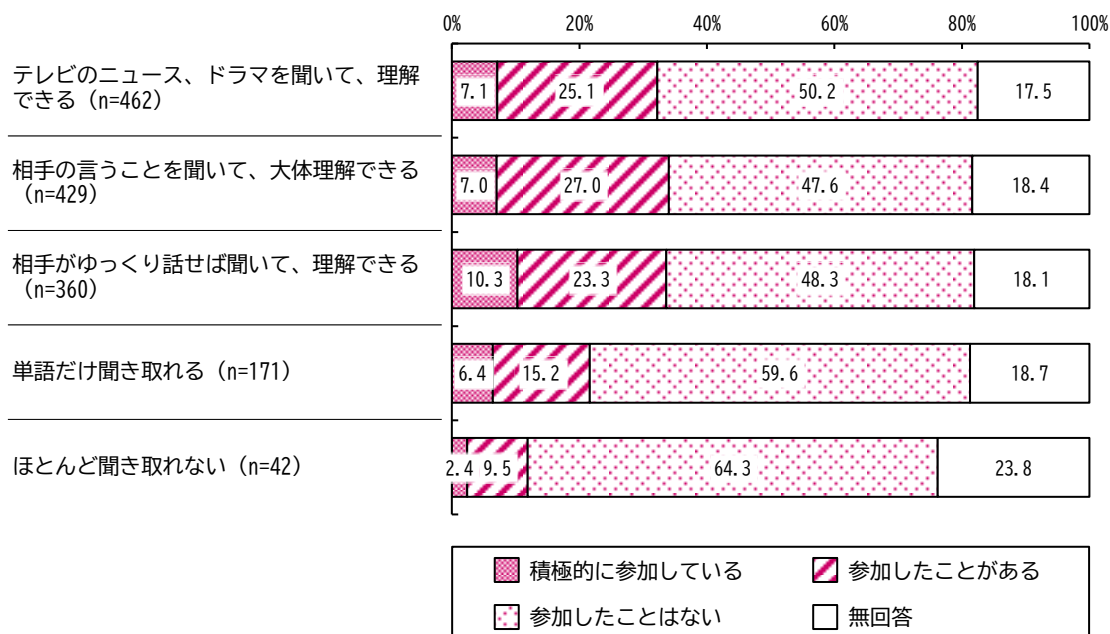
＜C 教会などの宗教団体の礼拝や活動、行事（お祭りやスポーツ）等＞



- ・ <C 教会などの宗教団体の礼拝や活動、行事（お祭りやスポーツ）等>への参加経験は、「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」で『参加経験あり』が33.3%となっている。

【日本語がどのくらいできるか [聞く] 能力別】

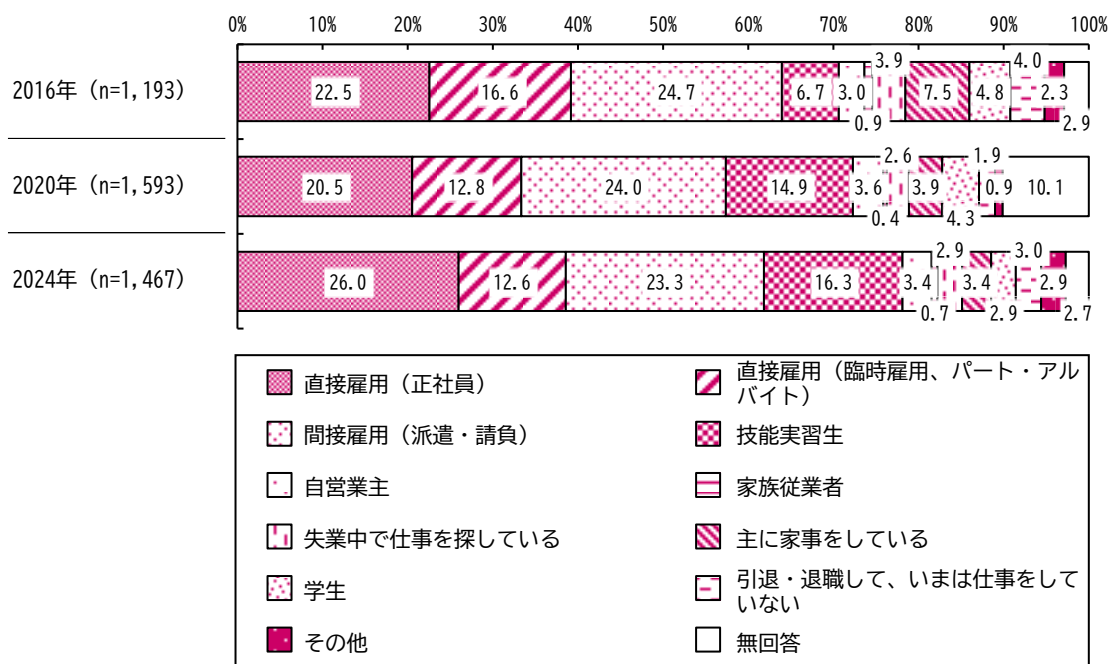
<D 宗教団体以外の同国人団体の会合や行事（お祭りやスポーツ）等>



- ・ <D 宗教団体以外の同国人団体の会合や行事（お祭りやスポーツ）等>への参加経験は、「相手の言うことを聞いて、大体理解できる」で『参加経験あり』が 34.0%となっている。

(52) 現在の就業形態

問 39 あなたの現在の仕事は大きく分けてこの中のどれにあたりますか。複数の仕事を持つ人は、主な仕事について教えてください。(○は1つ)



- ・ 現在の就業形態は、「直接雇用（正社員）」が 26.0%で最も多く、次いで「間接雇用（派遣・請負）」が 23.3%、「技能実習生」が 16.3%、「直接雇用（臨時雇用、パート・アルバイト）」が 12.6%などとなっている。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から「直接雇用（正社員）」が 5.5ポイント多くなっている。

【国籍別】

	調査数 (人)	単位 (%)										
		直接雇用 (正社員)	直接雇用 (臨時雇 用、パート・アル バイト)	間接雇用 (派遣・請 負)	技能実習生	自営業主	家族従業者	失業中で 仕事を探して いる	主に家事を している	学生	引退・退職 して、いま は仕事をし ていない	その他
ブラジル	467	28.3	9.4	39.2	0.4	4.9	0.9	3.2	3.4	2.8	2.6	2.1
フィリピン	357	19.6	13.2	33.3	17.6	0.3	-	4.8	2.8	1.7	2.0	2.5
中国	154	32.5	18.2	3.2	6.5	7.8	0.6	3.2	7.1	5.2	9.7	3.9
ベトナム	218	23.9	10.1	8.7	45.9	-	1.8	-	1.8	2.8	0.9	2.3
韓国	57	24.6	19.3	3.5	-	21.1	-	1.8	8.8	-	7.0	7.0
ペルー	49	40.8	14.3	16.3	-	-	-	2.0	4.1	6.1	6.1	4.1
インドネシア	104	14.4	7.7	3.8	59.6	1.0	1.0	-	1.9	2.9	-	4.8
ネパール	56	50.0	32.1	3.6	1.8	1.8	-	5.4	-	3.6	-	-
二重国籍	3	-	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	33.3

- 国籍別にみると、「直接雇用（正社員）」はネパール 50.0%、ペルー40.8%、中国 32.5%、「間接雇用（派遣・請負）」はブラジル 39.2%、フィリピン 33.3%などが多くなっている。

【在留資格別】

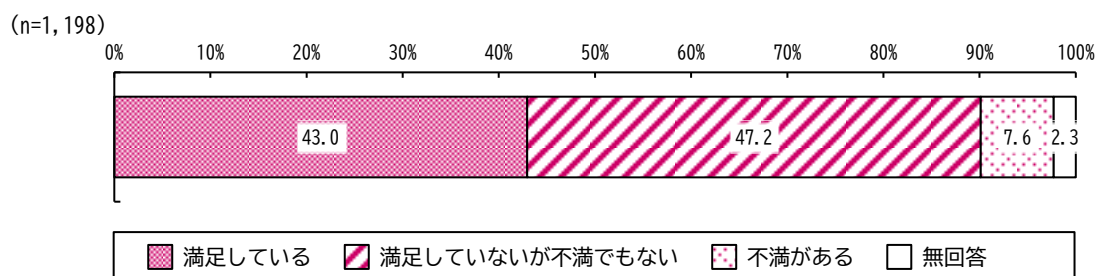
	調査数 (人)	単位 (%)											
		直接雇用 (正社員)	直接雇用 (臨時雇 用、パート・アル バイト)	間接雇用 (派遣・請 負)	技能実習 生	自営業主	家族従業 者	失業中で 仕事を探 している	主に家事 をしてい る	学生	引退・退 職して、 いまは 仕事を してい ない	その他	無回答
永住者	629	32.8	14.6	27.2	-	5.9	0.8	3.0	4.8	2.5	3.7	2.5	2.2
日本人の配偶者等	78	14.1	23.1	33.3	-	3.8	-	3.8	11.5	-	6.4	2.6	1.3
永住者の配偶者等	25	24.0	16.0	44.0	-	-	-	-	-	-	8.0	4.0	4.0
定住者	195	20.5	6.7	46.7	1.0	2.1	-	7.7	3.1	4.1	2.1	2.6	3.6
技術	42	59.5	7.1	28.6	-	-	-	-	-	-	-	2.4	2.4
人文知識・国際業務	47	89.4	4.3	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1
技能	73	26.0	8.2	8.2	42.5	-	1.4	-	-	-	-	9.6	4.1
技能実習	216	4.2	-	0.9	92.1	-	0.9	-	-	-	-	0.9	0.9
留学	30	3.3	33.3	-	-	3.3	-	3.3	-	53.3	3.3	-	-
家族滞在	40	2.5	55.0	7.5	-	-	-	5.0	7.5	2.5	7.5	7.5	5.0
特定活動	13	30.8	7.7	7.7	46.2	-	-	-	7.7	-	-	-	-
特別永住者	33	24.2	30.3	9.1	-	9.1	-	-	3.0	3.0	9.1	3.0	9.1
その他	35	25.7	8.6	34.3	2.9	5.7	2.9	5.7	-	-	-	11.4	2.9

- 在留資格別にみると、「直接雇用（正社員）」は人文知識・国際業務 89.4%、技術 59.5%、「間接雇用（派遣・請負）」は定住者 46.7%、永住者の配偶者等 44.0%などが多くなっている。

(54) 今の就業形態に満足しているか

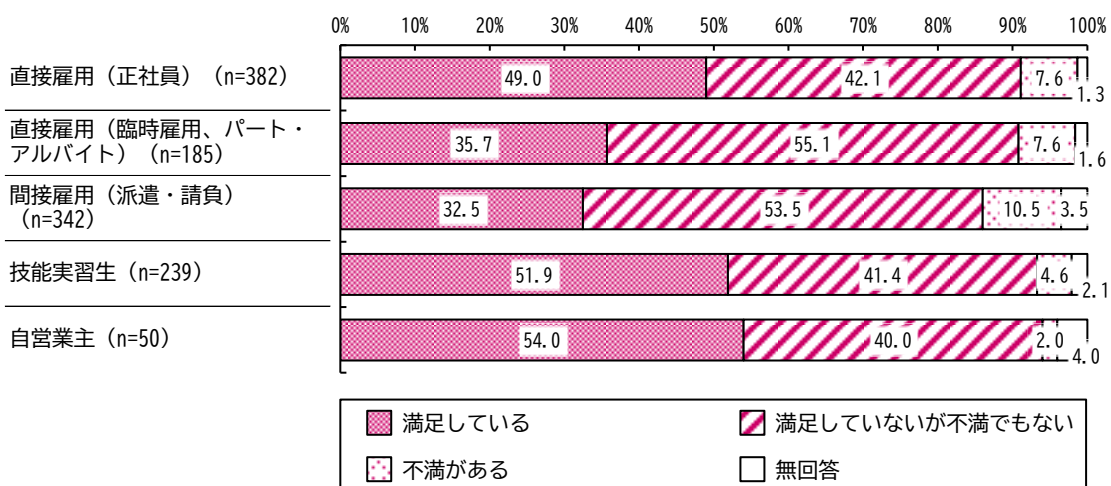
（問 39 で、「直接雇用」「間接雇用」「技能実習生」「自営業主」を選んだ人に）

問 39 - 2 今の就業形態に満足していますか。（○は1つ）



- 今の就業形態については、「満足している」が43.0%、「満足していないが不満でもない」が47.2%、「不満がある」が7.6%であった。

【現在の就業形態別】

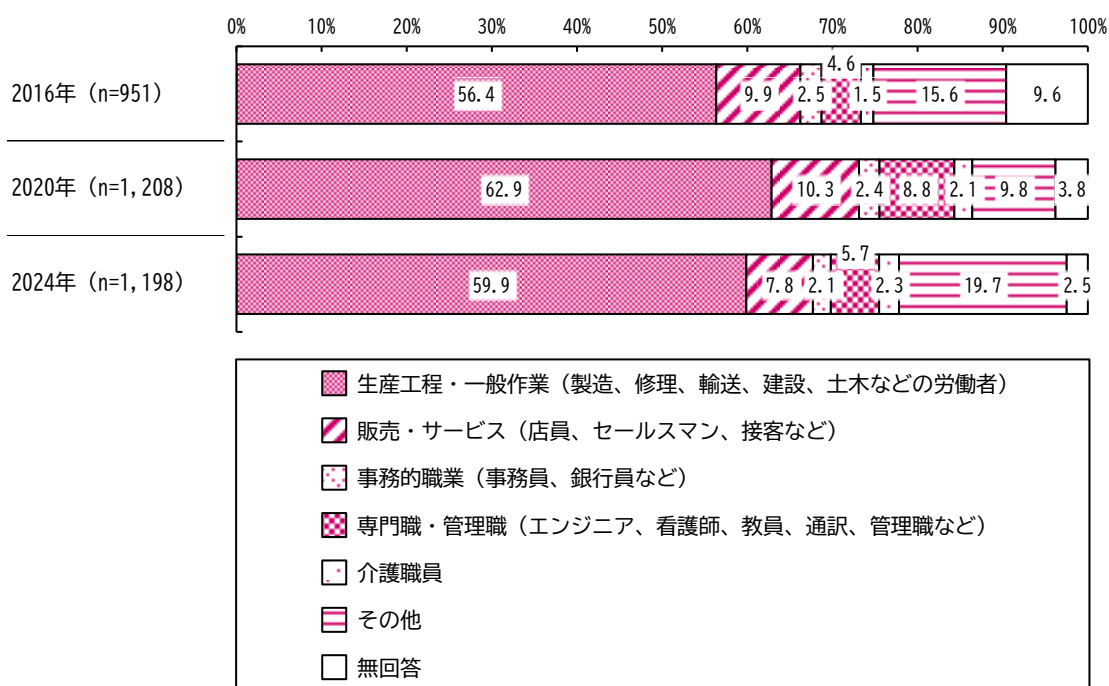


- 現在の就業形態別にみると、「満足している」は直接雇用（正社員）、技能実習生、自営業主で約半数、間接雇用（派遣・請負）で約3割となっている。

(55) 現在の仕事の内容

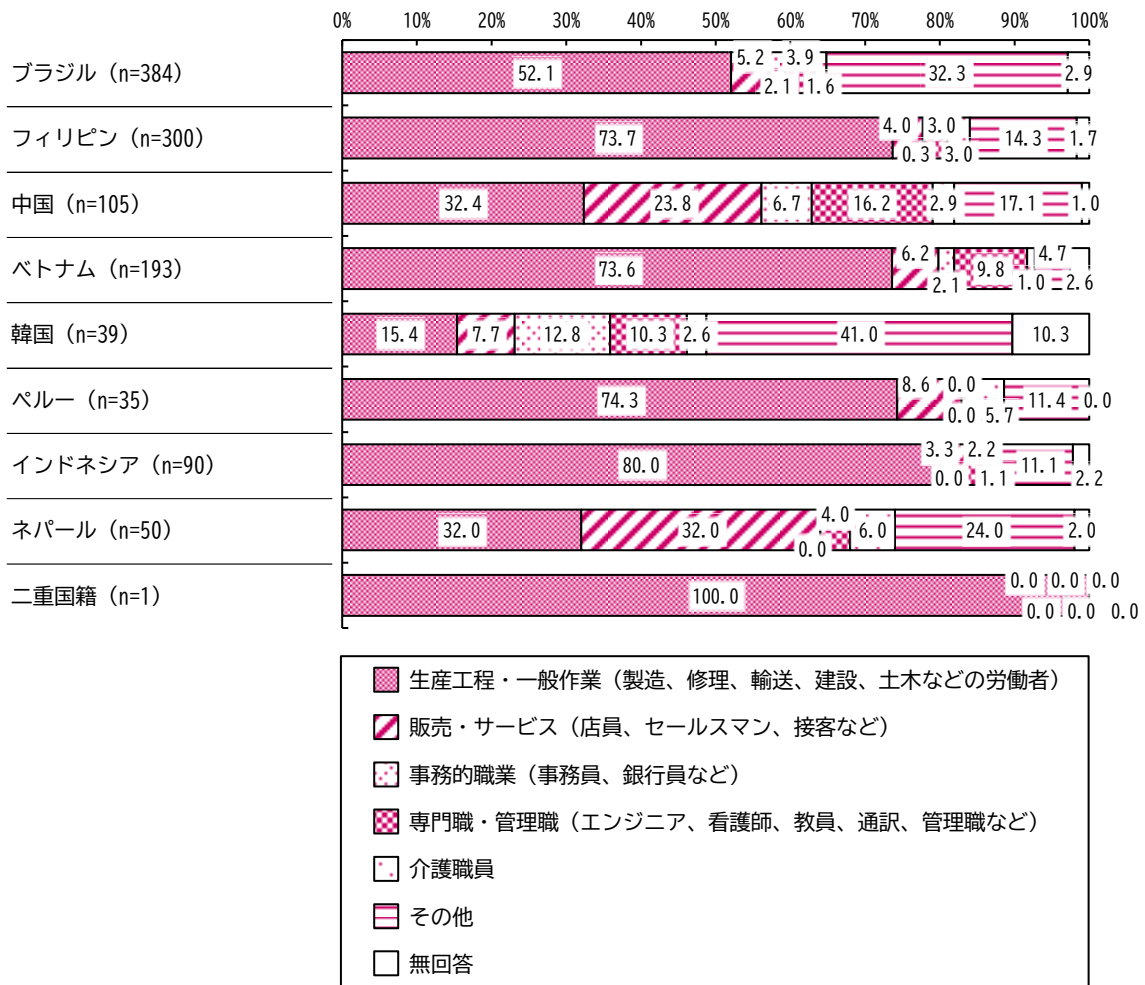
(問 39 で、「直接雇用」「間接雇用」「技能実習生」「自営業主」を選んだ人に)

問 39 - 3 あなたの現在の仕事はどのような内容ですか。(○は1つ)



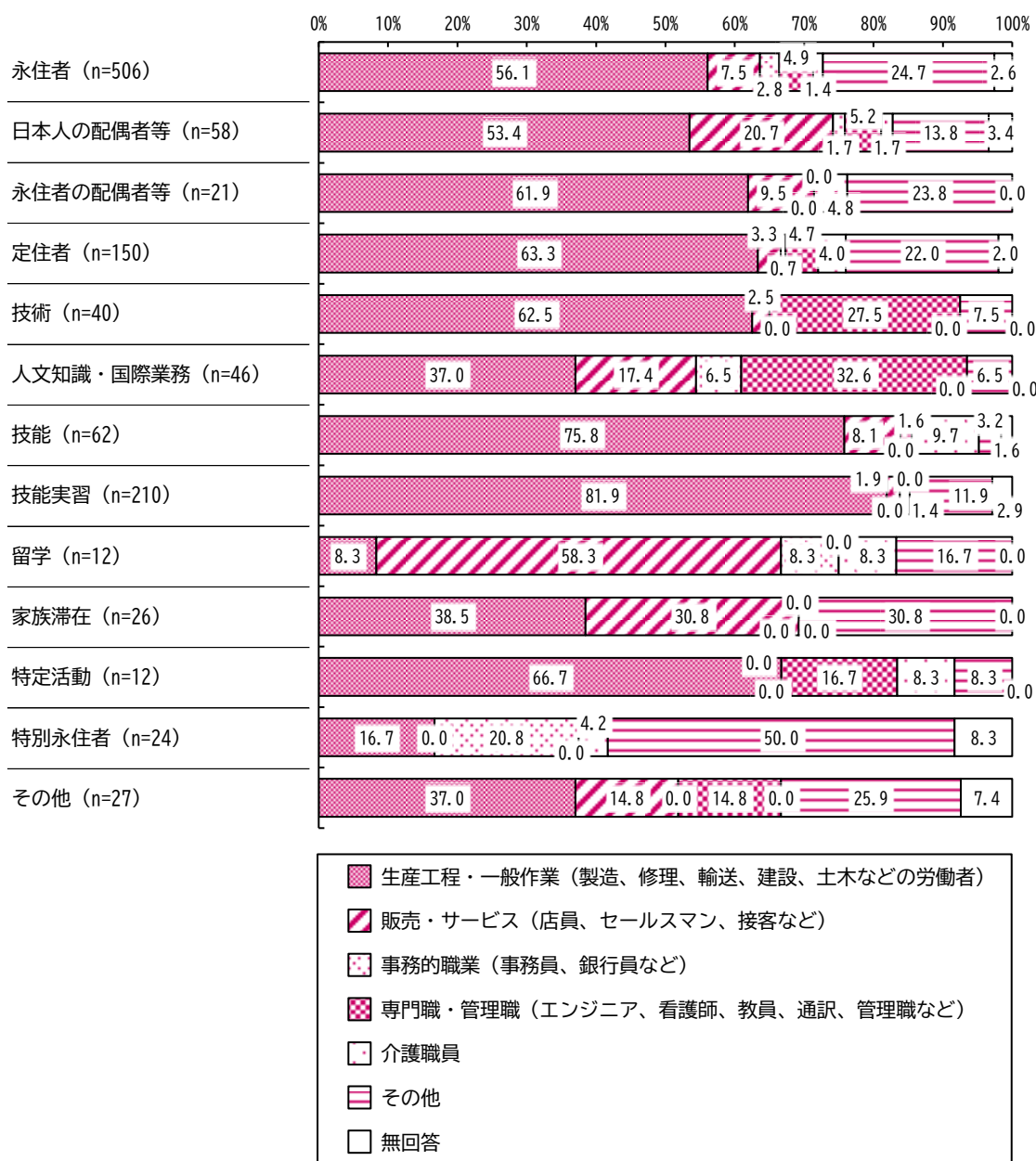
- ・ 現在の仕事の内容は、「生産工程・一般作業 (製造、修理、輸送、建設、土木などの労働者)」が 59.9% で最も多く、以下「販売・サービス (店員、セールスマン、接客など)」が 7.8%、「専門職・管理職 (エンジニア、看護師、教員、通訳、管理職など)」が 5.7% などとなっている。
- ・ 過去調査と比較すると、2020 年調査から「その他」が 9.9 ポイント多くなり、「専門職・管理職 (エンジニア、看護師、教員、通訳、管理職など)」が 3.1 ポイント、「生産工程・一般作業 (製造、修理、輸送、建設、土木などの労働者)」が 3.0 ポイント少なくなっている。

【国籍別】



- ・ 国籍別にみると、「生産工程・一般作業（製造、修理、輸送、建設、土木などの労働者）」は、インドネシア 80.0%、ペルー 74.3%、フィリピン 73.7%、ベトナム 73.6%などが多くなっている。

【在留資格別】

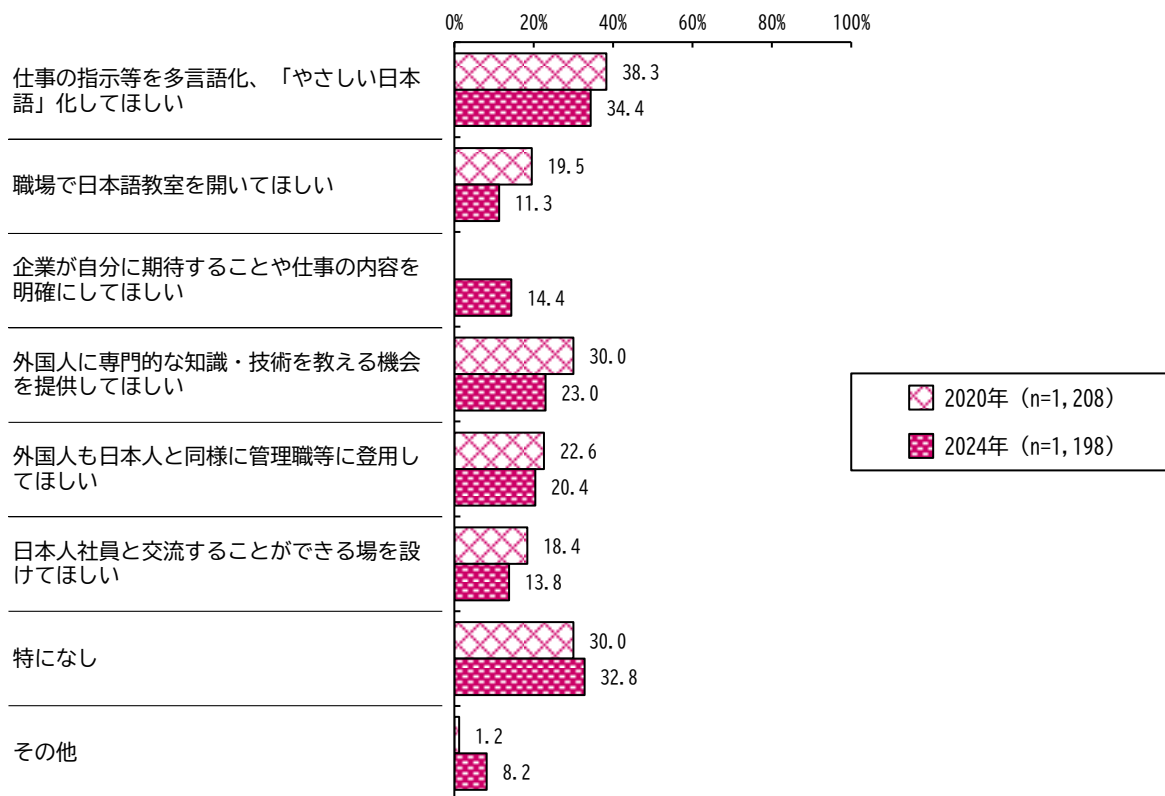


- ・ 在留資格別にみると、「生産工程・一般作業（製造、修理、輸送、建設、土木などの労働者）」は、技能実習 81.9%、技能 75.8%、特定活動 66.7%などが多くなっている。

(56) 職場で活躍するために希望すること

（問39で、「直接雇用」「間接雇用」「技能実習生」「自営業主」を選んだ人に）

問39-4 あなたが、職場でより活躍するためには、どのようなことを希望しますか。（あてはまるもの全てに○）。

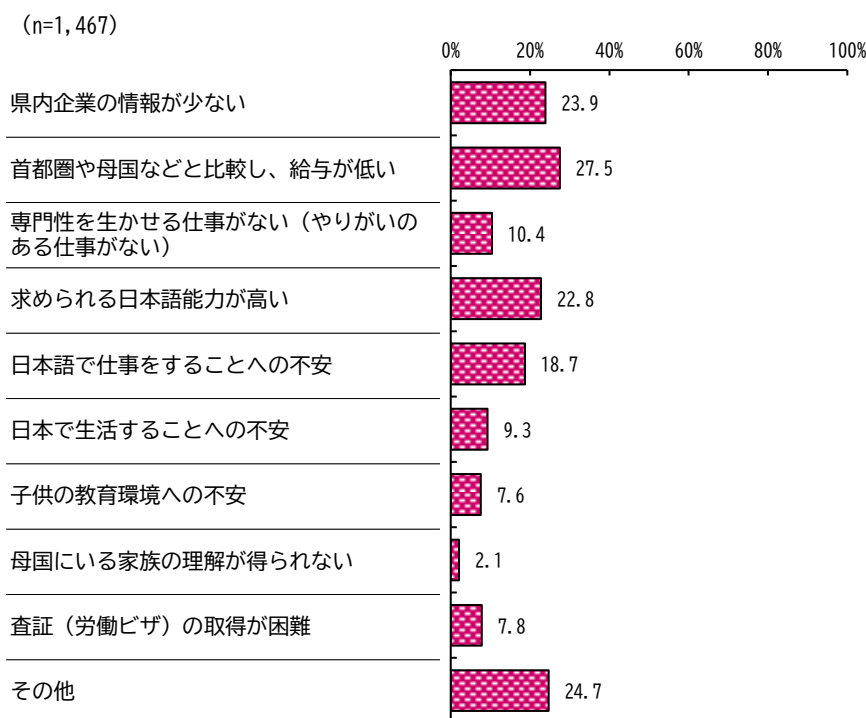


※「企業が自分に期待することや仕事の内容を明確にしてほしい」は2024年から。

- ・ 職場で活躍するために希望することは、「仕事の指示等を多言語化、「やさしい日本語」化してほしい」が34.4%で最も多く、次いで「外国人に専門的な知識・技術を教える機会を提供してほしい」が23.0%であった。
- ・ 一方、「特になし」は32.8%となっている。
- ・ 過去調査と比較すると、2020年調査から「職場で日本語教室を開いてほしい」が8.2ポイント、「外国人に専門的な知識・技術を教える機会を提供してほしい」が7.0ポイント少なくなっている。

(57) 外国人が静岡県で就職・就労するときの課題

問 40 あなたや他の外国人が静岡県で就職・就労するときに課題となること（困っていること）は何だと思いますか？（〇は3つまで）



- 外国人が静岡県で就職・就労するときの課題は、「首都圏や母国などと比較し、給与が低い」が27.5%で最も多く、次いで「県内企業の情報が少ない」が23.9%、「求められる日本語能力が高い」が22.8%であった。

【在留資格別】

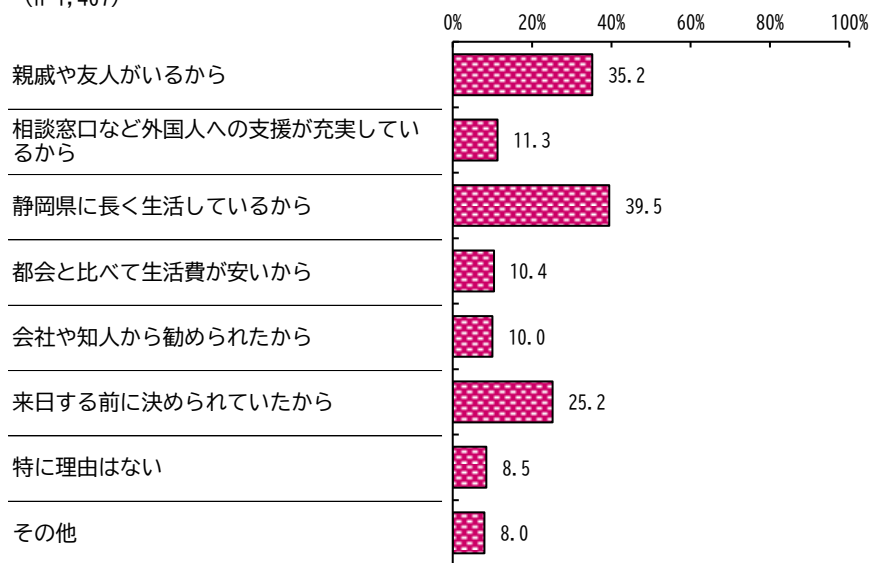
	調査数 (人)	県内企業の情報が少ない	首都圏や母国などと比較し、給与が低い	専門性を生かせる仕事がない（やりがいのある仕事がない）	求められる日本語能力が高い	日本語で仕事をする事への不安	日本で生活することへの不安	子供の教育環境への不安	母国にいる家族の理解が得られない	査証（労働ビザ）の取得が困難	その他
永住者	629	21.8	31.2	12.6	21.6	13.4	7.5	8.4	1.3	4.5	24.5
日本人の配偶者等	78	19.2	20.5	14.1	32.1	17.9	5.1	5.1	2.6	3.8	20.5
永住者の配偶者等	25	8.0	32.0	16.0	28.0	12.0	16.0	16.0	4.0	4.0	32.0
定住者	195	21.5	32.8	15.4	33.8	18.5	10.8	13.3	1.5	4.6	22.6
技術	42	31.0	23.8	11.9	26.2	33.3	9.5	11.9	2.4	21.4	23.8
人文知識・国際業務	47	25.5	31.9	4.3	14.9	8.5	6.4	10.6	-	17.0	19.1
技能	73	43.8	30.1	6.8	19.2	31.5	15.1	4.1	5.5	12.3	23.3
技能実習	216	23.1	20.4	3.2	14.8	29.6	13.4	0.5	4.2	14.4	28.7
留学	30	46.7	13.3	6.7	26.7	33.3	16.7	3.3	3.3	13.3	13.3
家族滞在	40	47.5	15.0	-	35.0	27.5	7.5	10.0	2.5	17.5	22.5
特定活動	13	7.7	23.1	7.7	7.7	23.1	-	-	-	7.7	30.8
特別永住者	33	9.1	15.2	12.1	9.1	12.1	9.1	6.1	-	-	33.3
その他	35	22.9	31.4	8.6	25.7	11.4	8.6	8.6	2.9	11.4	28.6

- 在留資格別にみると、「首都圏や母国などと比較し、給与が低い」は永住者、永住者の配偶者等、定住者、人文知識・国際業務、技能などでいずれも約3割となっている。
- 「県内企業の情報が少ない」は、技能、留学、家族滞在で4割以上となっている。

(58) 静岡県に住んでいる理由

問 41 あなたが静岡県に住んでいる理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）

(n=1,467)



- ・ 静岡県に住んでいる理由は、「静岡県に長く生活しているから」が39.5%で最も多く、次いで「親戚や友人がいるから」が35.2%、「来日する前に決められていたから」が25.2%であった。

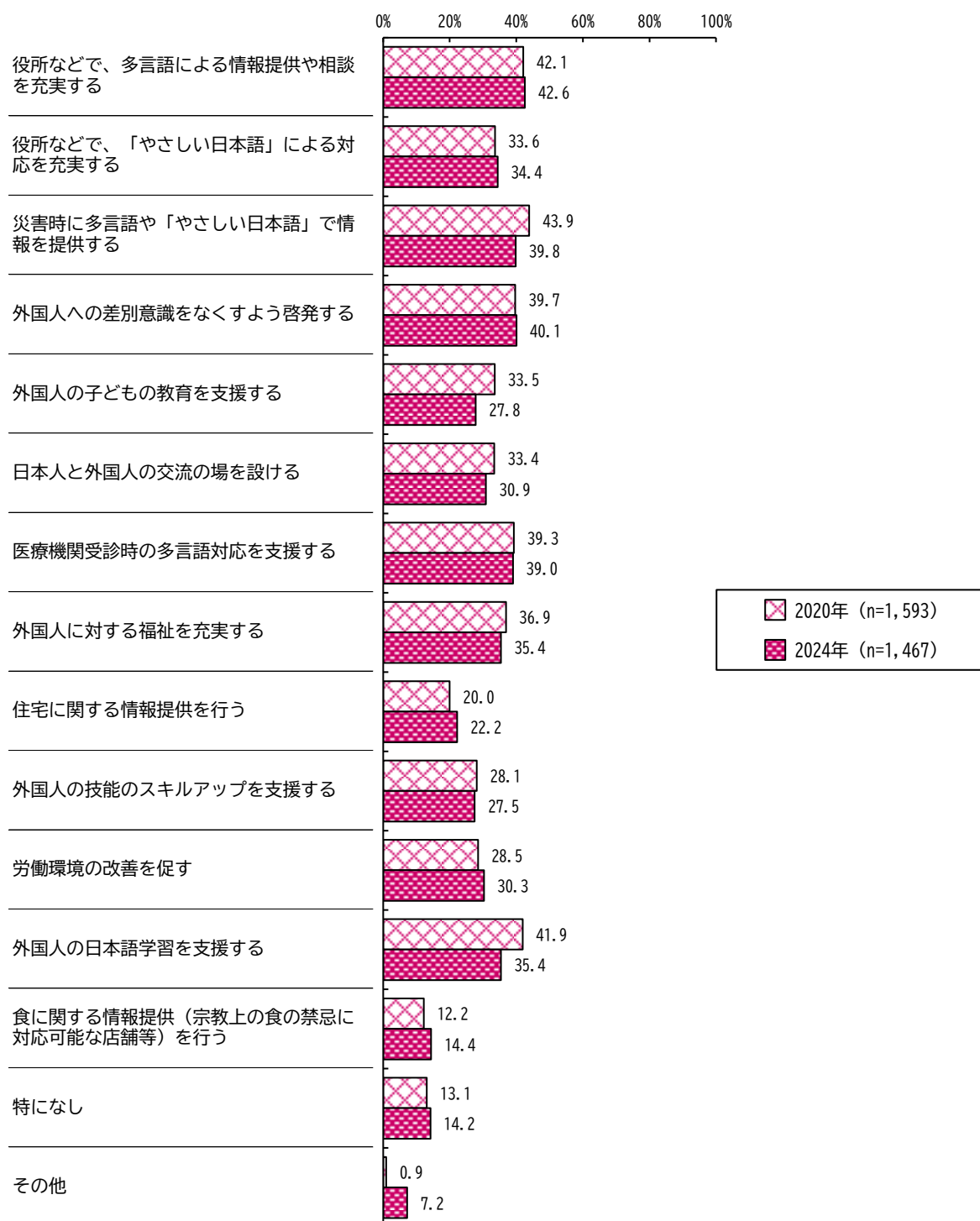
【在留資格別】

	調査数 (人)	単位 (%)							
		親戚や友人が いるから	相談窓口など外 国人への支援が 充実しているか ら	静岡県に長く生 活しているから	都会と比べて生 活費が安いから	会社や知人から 勧められたから	来日する前に決 められていたか ら	特に理由はない	その他
永住者	629	43.6	12.4	59.1	9.5	5.6	12.9	6.5	8.1
日本人の配偶者等	78	57.7	9.0	33.3	7.7	1.3	15.4	6.4	9.0
永住者の配偶者等	25	56.0	8.0	40.0	8.0	12.0	4.0	8.0	8.0
定住者	195	48.2	25.1	36.9	13.8	9.2	17.4	8.7	9.2
技術	42	28.6	14.3	26.2	16.7	23.8	35.7	9.5	9.5
人文知識・国際業務	47	19.1	2.1	31.9	10.6	21.3	19.1	21.3	8.5
技能	73	12.3	8.2	31.5	16.4	21.9	46.6	13.7	4.1
技能実習	216	1.4	4.6	2.8	5.1	15.3	72.7	9.3	5.6
留学	30	43.3	-	3.3	20.0	10.0	20.0	10.0	20.0
家族滞在	40	52.5	5.0	25.0	22.5	15.0	10.0	17.5	2.5
特定活動	13	23.1	-	-	-	30.8	53.8	-	-
特別永住者	33	21.2	9.1	78.8	6.1	3.0	9.1	3.0	6.1
その他	35	34.3	5.7	14.3	14.3	20.0	17.1	8.6	17.1

- ・ 在留資格別にみると、「静岡県に長く生活しているから」は特別永住者で78.8%、永住者で59.1%などとなっている。
- ・ 「親戚や友人がいるから」は、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、家族滞在で半数以上となっている。

(59) 市や県に望む行政サービス

問 42 市役所や県に対してどのような行政サービスを望みますか。(あてはまるもの全てに○)



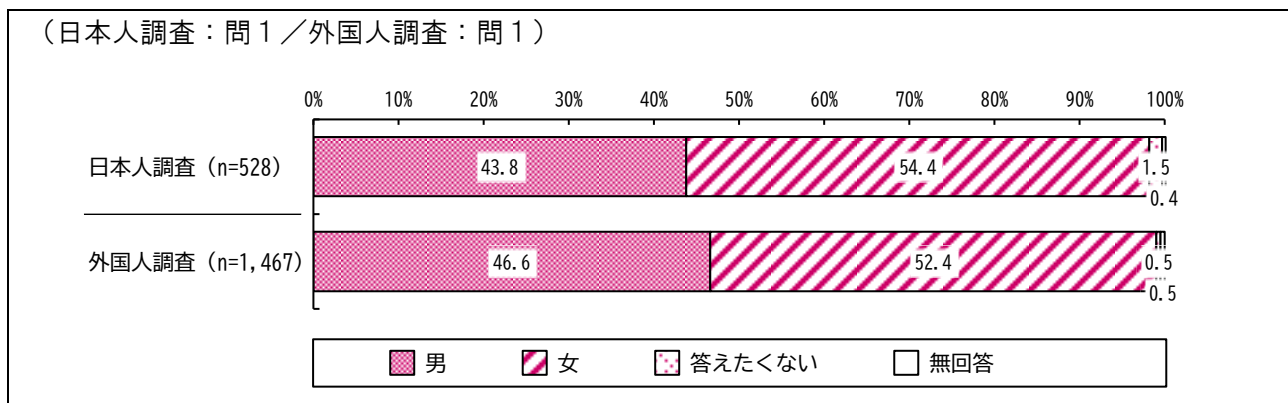
- 市役所や県に望む行政サービスは、「役所などで、多言語による情報提供や相談を充実する」が42.6%で最も多く、次いで「外国人への差別意識をなくすよう啓発する」が40.1%、「災害時に多言語や「やさしい日本語」で情報を提供する」が39.8%、「医療機関受診時の多言語対応を支援する」が39.0%であった。
- 過去調査と比較すると、2020年調査から「外国人の日本語学習を支援する」が6.5ポイント、「外国人の子どもの教育を支援する」が5.7ポイント、ともに少なくなっている。

IV. 日本人調査と外国人調査の比較

IV. 日本人調査と外国人調査の比較

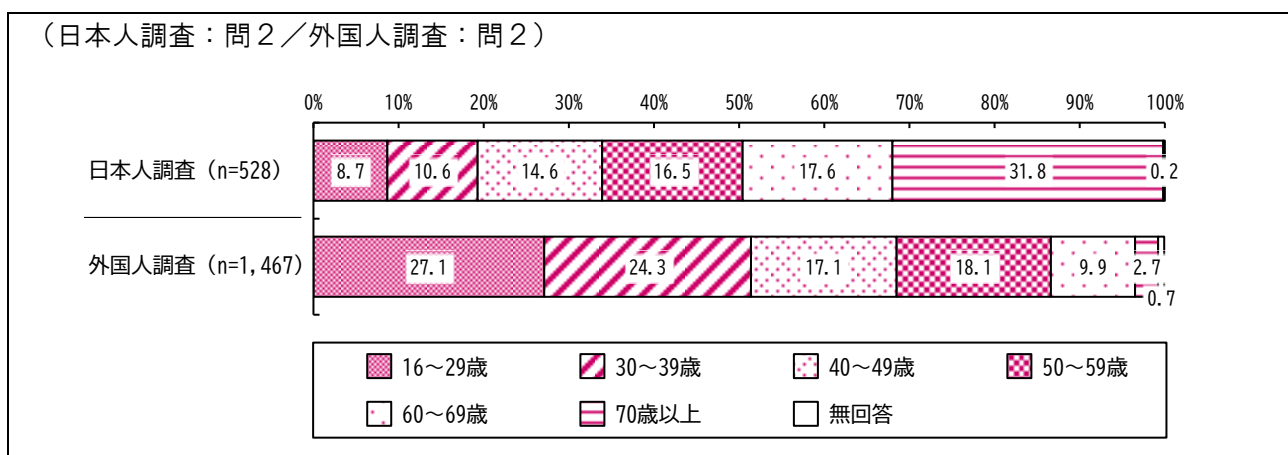
ここでは、日本人調査と外国人調査で比較が可能な一部の質問の結果について、回答結果を比率で比較する。

(1) 性別



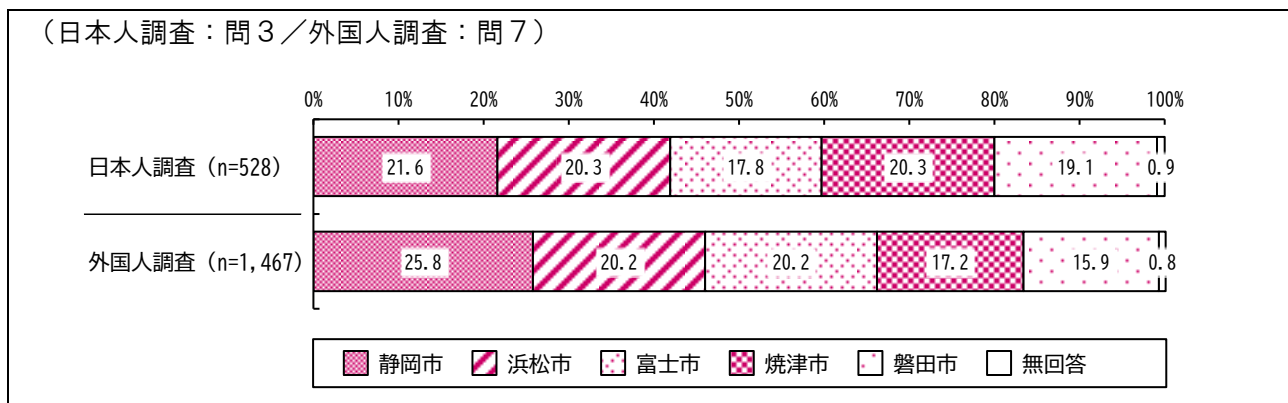
- 性別は、日本人調査と外国人調査で大きな差はみられなかった。

(2) 年齢



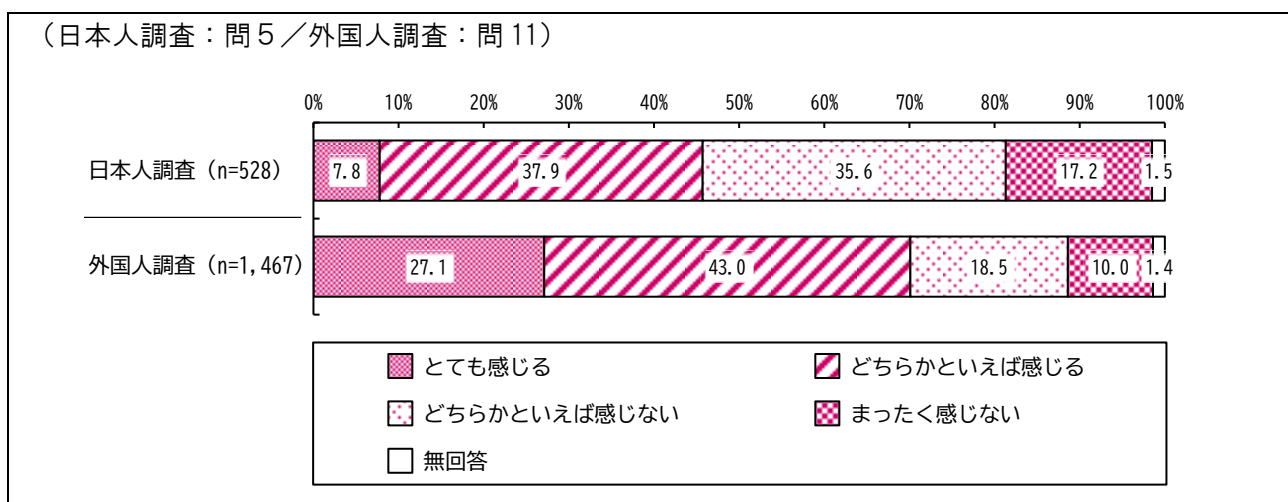
- 日本人調査は 59 歳以下と 60 歳以上がほぼ半数ずつであるが、外国人調査は 39 歳以下と 40 歳以上がほぼ半数ずつで若年層が多い。

（3）居住する市



- ・ 居住する市について、日本人調査は「焼津市」と「磐田市」の割合が約3ポイント多く、「静岡市」の割合が4.2ポイント少ない。

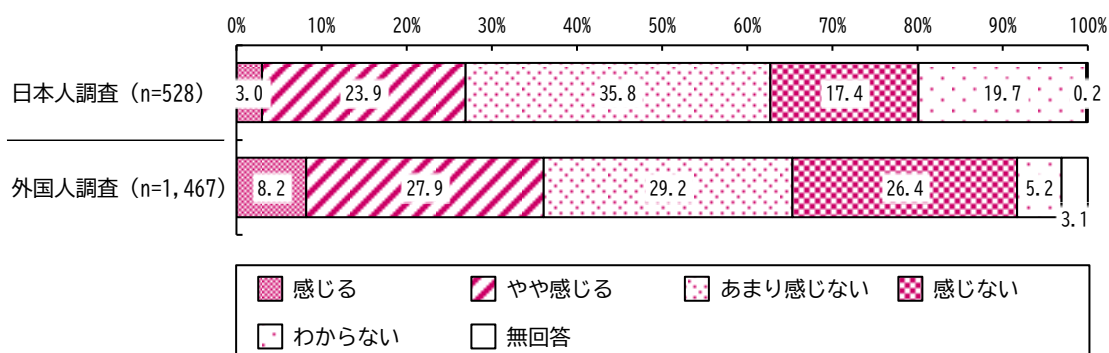
（4）地域で暮らす外国人（日本人）に親しみを感ずるか



- ・ 日本人調査では外国人への親しみ、外国人調査では日本人への親しみについて聞いたところ、日本人調査では「どちらかといえば感じない」と「まったく感じない」を合わせた『感じない』が52.8%と約半数を占め、外国人調査では「とても感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』が70.1%と約7割を占めた。

(5) 外国人に対する差別があると感じるか（日本人から差別されていると感じるか）

(日本人調査：問9／外国人調査：問12)



- ・ 日本人調査では外国人に対する差別があると感じるか、外国人調査では日本人から差別されていると感じるか聞いたところ、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が、日本人調査で26.9%、外国人調査で36.1%と9.2ポイントの差がみられた。
- ・ また、「わからない」は、日本人調査で19.7%、外国人調査で5.2%と14.5ポイントの差がみられた。

V. 集計表 (単純集計表)

V. 集計表 (単純集計表)

1 日本人調査単純集計表

問1 性別

	件数	(%)
男	231	43.8
女	287	54.4
答えたくない	8	1.5
無回答	2	0.4
調査数	528	100.0

問2 年齢

	件数	(%)
16～29歳	46	8.7
30～39歳	56	10.6
40～49歳	77	14.6
50～59歳	87	16.5
60～69歳	93	17.6
70歳以上	168	31.8
無回答	1	0.2
調査数	528	100.0

問3 居住する市

	件数	(%)
静岡市	114	21.6
浜松市	107	20.3
富士市	94	17.8
焼津市	107	20.3
磐田市	101	19.1
無回答	5	0.9
調査数	528	100.0

問4 外国人とつき合いがあるか

	件数	(%)
一緒に働いている (働いていた)	168	31.8
学校で一緒に勉強している (していた)	65	12.3
友人として付き合い合っている (付き合い合っていた)	71	13.4
自分または親せきが外国人と結婚して日本に住んでいる (住んでいた)	36	6.8
NPO等の外国人支援団体や国際交流団体と一緒に活動している (していた)	6	1.1
子どもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している (していた)	28	5.3
宗教活動 (教会・モスクなど) を通じて、一緒に活動している (していた)	4	0.8
自治会等で地域活動と一緒に参加している (していた)	41	7.8
近くに住む外国人とあいさつ程度の付き合いはある (あった)	110	20.8
ホームステイ又はホームビジットを受け入れている (受け入れていた)	8	1.5
身近に外国人はいるが、付き合いはない	49	9.3
外国人の知り合いはいない	146	27.7
無回答	18	3.4
調査数	528	

問5 地域で暮らす外国人に親しみをを感じるか

	件数	(%)
とても感じる	41	7.8
どちらかといえば感じる	200	37.9
どちらかといえば感じない	188	35.6
まったく感じない	91	17.2
無回答	8	1.5
調査数	528	100.0

問6 「やさしい日本語」を知っているか

	件数	(%)
知っていて、自分でも使っている	72	13.6
どういうものか、理解している	94	17.8
見たり、聞いたりしたことはあるが、詳しくは知らない	126	23.9
知らない	229	43.4
無回答	7	1.3
調査数	528	100.0

問7 日本語教育推進に関する法律を知っているか

	件数	(%)
内容を知っている	9	1.7
見たり、聞いたりしたことはあるが、詳しくは知らない	72	13.6
知らない	442	83.7
無回答	5	0.9
調査数	528	100.0

問8 多文化共生に関する意見について

A 外国人とのコミュニケーションを図るため、日本人は、外国語や「やさしい日本語」及び外国の文化を学ぶべきだ

	件数	(%)
そう思う	155	29.4
どちらかといえばそう思う	248	47.0
どちらかといえばそう思わない	61	11.6
そう思わない	32	6.1
無回答	32	6.1
調査数	528	100.0

問8 多文化共生に関する意見について

B 日本人は、外国人が日本の言語、文化、習慣やルールを学べるように支援すべきだ

	件数	(%)
そう思う	197	37.3
どちらかといえばそう思う	236	44.7
どちらかといえばそう思わない	43	8.1
そう思わない	24	4.5
無回答	28	5.3
調査数	528	100.0

問8 多文化共生に関する意見について

C 日本人は、外国人が地域の活動に参加できるよう支援すべきだ

	件数	(%)
そう思う	174	33.0
どちらかといえばそう思う	234	44.3
どちらかといえばそう思わない	58	11.0
そう思わない	23	4.4
無回答	39	7.4
調査数	528	100.0

問9 外国人に対する差別があると感じるか

	件数	(%)
感じる	16	3.0
やや感じる	126	23.9
あまり感じない	189	35.8
感じない	92	17.4
わからない	104	19.7
無回答	1	0.2
調査数	528	100.0

問10 日本人住民と外国人住民がともに暮らしやすい地域社会にしていくために行政が力を入れるべき取組

	件数	(%)
行政サービスに関する情報を多言語で提供する	329	62.3
災害時に多言語で情報を提供する	345	65.3
生活や労働に関する相談をしやすいように多言語の通訳を窓口配置する	274	51.9
病院や診療所での医療通訳を充実させる	277	52.5
外国人住民が日本語を習得する場を設置する	269	50.9
外国人住民の子どもに対する教育を充実させる	250	47.3
外国人住民が自治会活動に参加できるよう支援する	206	39.0
日本人と外国人の交流を促進するイベント等の機会を設ける	149	28.2
公営住宅における住民サポートを充実させる	109	20.6
企業に対して労働規約の遵守などを指導する	170	32.2
職業訓練の機会を充実させる	159	30.1
行政が多文化共生社会を推進していることの啓発を行う	133	25.2
外国人に対する差別がなくなるような啓発を行う	191	36.2
特に必要ない	21	4.0
無回答	16	3.0
調査数	528	

問11 外国人住民が増加することによる影響について

A 社会に多様性が生まれる

	件数	(%)
そう思う	174	33.0
どちらかといえばそう思う	217	41.1
どちらかといえばそう思わない	66	12.5
そう思わない	32	6.1
無回答	39	7.4
調査数	528	100.0

問11 外国人住民が増加することによる影響について

B 地域経済の活性化に貢献する

	件数	(%)
そう思う	80	15.2
どちらかといえばそう思う	219	41.5
どちらかといえばそう思わない	130	24.6
そう思わない	48	9.1
無回答	51	9.7
調査数	528	100.0

問11 外国人住民が増加することによる影響について

C 地域や自治会活動の活性化に貢献する

	件数	(%)
そう思う	58	11.0
どちらかといえばそう思う	186	35.2
どちらかといえばそう思わない	169	32.0
そう思わない	60	11.4
無回答	55	10.4
調査数	528	100.0

問11 外国人住民が増加することによる影響について

D 外国の文化や習慣を知る機会が増える

	件数	(%)
そう思う	157	29.7
どちらかといえばそう思う	232	43.9
どちらかといえばそう思わない	64	12.1
そう思わない	30	5.7
無回答	45	8.5
調査数	528	100.0

問11 外国人住民が増加することによる影響について

E 人口減少・労働力不足の解消につながる

	件数	(%)
そう思う	153	29.0
どちらかといえばそう思う	248	47.0
どちらかといえばそう思わない	52	9.8
そう思わない	33	6.3
無回答	42	8.0
調査数	528	100.0

2 外国人調査単純集計表

問1 性別

	件数	(%)
男	683	46.6
女	769	52.4
答えたくない	7	0.5
無回答	8	0.5
調査数	1,467	100.0

問2 年齢

	件数	(%)
16～29歳	398	27.1
30～39歳	357	24.3
40～49歳	251	17.1
50～59歳	266	18.1
60～69歳	145	9.9
70歳以上	39	2.7
無回答	11	0.7
調査数	1,467	100.0

問3 国籍

	件数	(%)
ブラジル	467	31.8
フィリピン	357	24.3
中国	154	10.5
ベトナム	218	14.9
韓国	57	3.9
ペルー	49	3.3
インドネシア	104	7.1
ネパール	56	3.8
二重国籍	3	0.2
無回答	2	0.1
調査数	1,467	100.0

問4 在留資格

	件数	(%)
永住者	629	42.9
日本人の配偶者等	78	5.3
永住者の配偶者等	25	1.7
定住者	195	13.3
技術	42	2.9
人文知識・国際業務	47	3.2
技能	73	5.0
技能実習	216	14.7
留学	30	2.0
家族滞在	40	2.7
特定活動	13	0.9
特別永住者	33	2.2
その他	35	2.4
無回答	11	0.7
調査数	1,467	100.0

問5 日本での通算滞在年数

	件数	(%)
3年未満	297	20.2
3年以上～5年未満	157	10.7
5年以上～10年未満	218	14.9
10年以上～15年未満	104	7.1
15年以上～20年未満	159	10.8
20年以上	524	35.7
無回答	8	0.5
調査数	1,467	100.0

問6 今後、日本で生活する予定の期間

	件数	(%)
日本に永住するつもり	699	47.6
今後10年以上	129	8.8
今後3年以上10年未満	196	13.4
今後1年以上3年未満	52	3.5
今後1年未満	10	0.7
どれくらい日本に滞在するかわからない	370	25.2
無回答	11	0.7
調査数	1,467	100.0

問7 居住する市

	件数	(%)
静岡市	378	25.8
浜松市	296	20.2
富士市	296	20.2
焼津市	252	17.2
磐田市	233	15.9
無回答	12	0.8
調査数	1,467	100.0

問8 一緒に住んでいる人たち

	件数	(%)
あなたの配偶者	714	48.7
あなたの子ども	502	34.2
あなたの兄弟	89	6.1
あなたの親	131	8.9
あなたの孫	29	2.0
あなたの配偶者の親	46	3.1
あなたの配偶者の兄弟	15	1.0
その他の親族	31	2.1
非親族（友人、知人、同僚等）	293	20.0
ひとり暮らし	235	16.0
無回答	11	0.7
調査数	1,467	

問9 今後、本国から来日して一緒に暮らす予定の人

	件数	(%)
あなたの配偶者	179	12.2
あなたの子ども	184	12.5
あなたの兄弟	55	3.7
あなたの親	68	4.6
あなたの孫	18	1.2
あなたの配偶者の親	34	2.3
あなたの配偶者の兄弟	20	1.4
その他の親族	61	4.2
非親族（友人、知人、同僚等）	71	4.8
いない	963	65.6
無回答	64	4.4
調査数	1,467	

問10 日本人と付き合いがあるか

	件数	(%)
一緒に働いている（働いていた）	1,185	80.8
学校で一緒に勉強している（勉強していた）	240	16.4
友人として付き合い合っている（付き合い合っていた）	609	41.5
自分または親せきが日本人と結婚して日本に住んでいる（住んでいた）	255	17.4
NPO等の外国人支援団体や国際交流団体と一緒に活動している（していた）	57	3.9
子どもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している（していた）	160	10.9
宗教活動（教会・モスクなど）を通じて、一緒に活動している（していた）	121	8.2
自治会や地域活動と一緒に参加している（していた）	245	16.7
近くに住む日本人とあいさつ程度の付き合いはある（あった）	679	46.3
日本人との付き合いは無い	92	6.3
無回答	20	1.4
調査数	1,467	

問11 地域で暮らす日本人に親しみを感ずるか

	件数	(%)
とても感じる	398	27.1
どちらかといえば感じる	631	43.0
どちらかといえば感じない	271	18.5
まったく感じない	146	10.0
無回答	21	1.4
調査数	1,467	100.0

問12 日本人から差別されていると感じるか

	件数	(%)
感じる	120	8.2
やや感じる	409	27.9
あまり感じない	428	29.2
感じない	388	26.4
わからない	77	5.2
無回答	45	3.1
調査数	1,467	100.0

問12-1 どんな時に、日本人から差別されていると感じるか

	件数	(%)
職場で日本人と一緒に仕事をしているとき	345	65.2
学校で日本人と一緒に勉強しているとき	50	9.5
県・市町の窓口等で手続きや相談をしているとき	103	19.5
ショッピングセンター等で買い物や食事をしているとき	127	24.0
住宅を借りるとき	142	26.8
仕事を探しているとき	120	22.7
図書館や公園などの公共施設を利用しているとき	37	7.0
自治会や近所の行事に参加するとき	49	9.3
日本のテレビ、インターネット、新聞、本などを見たとき	62	11.7
その他	62	11.7
無回答	7	1.3
調査数	529	

問13 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるためにしたいこと

A 日本の文化、生活習慣を理解するようにつとめる

	件数	(%)
おおいにしたい	679	46.3
機会があればしたい	602	41.0
あまりしたくない	54	3.7
したくない	20	1.4
無回答	112	7.6
調査数	1,467	100.0

問13 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるためにしたいこと

B 自治会活動に参加する

	件数	(%)
おおいにしたい	221	15.1
機会があればしたい	627	42.7
あまりしたくない	272	18.5
したくない	104	7.1
無回答	243	16.6
調査数	1,467	100.0

問13 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるためにしたいこと

C あいさつなど、日頃から近所の人達と交流する

	件数	(%)
おおいにしたい	584	39.8
機会があればしたい	567	38.7
あまりしたくない	92	6.3
したくない	22	1.5
無回答	202	13.8
調査数	1,467	100.0

問13 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるためにしたいこと

D 母国の言葉、文化を日本人の住民に紹介する

	件数	(%)
おおいにしたい	355	24.2
機会があればしたい	612	41.7
あまりしたくない	190	13.0
したくない	70	4.8
無回答	240	16.4
調査数	1,467	100.0

問13 外国人住民と日本住民との相互理解を深めるためにしたいこと

E 窓口やイベント等での通訳や翻訳のボランティアを行う

	件数	(%)
おおいにしたい	199	13.6
機会があればしたい	523	35.7
あまりしたくない	275	18.7
したくない	204	13.9
無回答	266	18.1
調査数	1,467	100.0

問14 日本語がどのくらいできるか [聞く]

	件数	(%)
テレビのニュース、ドラマを聞いて、理解できる	462	31.5
相手の言うことを聞いて、大体理解できる	429	29.2
相手がゆっくり話せば聞いて、理解できる	360	24.5
単語だけ聞き取れる	171	11.7
ほとんど聞き取れない	42	2.9
無回答	3	0.2
調査数	1,467	100.0

問14 日本語がどのくらいできるか [話す]

	件数	(%)
自分の言いたいことが問題なく話せる	352	24.0
自分の言いたいことが大体話せる	427	29.1
簡単な日常会話ができる	426	29.0
自己紹介、決まった挨拶、単語なら言うことができる	211	14.4
ほとんど話せない	40	2.7
無回答	11	0.7
調査数	1,467	100.0

問14 日本語がどのくらいできるか [読む]

	件数	(%)
役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、理解できる	296	20.2
役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、少し理解できる	386	26.3
チラシやウェブサイトのお知らせを見て、日本語教室や交流イベントなどの場所や日時、内容など、必要な情報を探し出すことができる	155	10.6
絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる	454	30.9
ほとんど読めない	162	11.0
無回答	14	1.0
調査数	1,467	100.0

問14 日本語がどのくらいできるか [書く]

	件数	(%)
仕事の報告書や学校の先生に子供の状況を伝える連絡、料理の作り方など、状況や方法を説明する文章を書くことができる	210	14.3
日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる	178	12.1
職場の同僚や学校の先生、家族に要件を伝える簡単なメモなどを書くことができる	347	23.7
名前や国名、住所などが書ける	520	35.4
ほとんど書けない	194	13.2
無回答	18	1.2
調査数	1,467	100.0

問15 今、日本語を学んでいるか

	件数	(%)
学んでいる	579	39.5
学んでいない	880	60.0
無回答	8	0.5
調査数	1,467	100.0

問16 - 1 今、どうやって日本語を学んでいるか

	件数	(%)
独学で（教科書やテレビ等）	283	48.9
独学で（インターネットやアプリ等）	349	60.3
通信教育で	61	10.5
無料の日本語教室で	56	9.7
有料の日本語教室で	57	9.8
家族から学んでいる	78	13.5
職場で学んでいる	202	34.9
友達（日本人）から学んでいる	153	26.4
友達（日本人以外）から学んでいる	77	13.3
周りの会話を聞いて覚えている	260	44.9
その他	46	7.9
無回答	3	0.5
調査数	579	

問16 - 2 何のために日本語を学んでいるか

	件数	(%)
日本で生活していくために必要だから	496	85.7
日本人との付き合いを広げるため	300	51.8
仕事で必要だから	381	65.8
より良い条件の仕事を探すため	220	38.0
進学や勉強のため	155	26.8
その他	58	10.0
無回答	8	1.4
調査数	579	

問17 - 1 日本語を学びたいか

	件数	(%)
日本語を学びたい	539	61.3
日本語を学びたいとは思わない	272	30.9
無回答	69	7.8
調査数	880	100.0

問17 - 2 現在学んでいないのはなぜか

	件数	(%)
もう十分に日本語ができるから	192	21.8
日本語を使う必要がないから（日本語以外の言語で十分生活ができるから）	19	2.2
育児のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから	101	11.5
仕事のため、日本語を学ぶ時間的余裕がないから	472	53.6
日本語を学ぶのに必要な金銭的な余裕がないから	149	16.9
日本語教室の情報がないから	112	12.7
日本語教室の時間が合わないから	166	18.9
日本語教室が遠くて通うことができないから	66	7.5
日本語教室の教え方や内容、レベルが合わないから	25	2.8
どうやって勉強したらいいかわからないから	99	11.3
学ぶ意欲が湧かないから	69	7.8
無回答	27	3.1
調査数	880	

問17-3 どのような環境があれば、日本語を学びたいか

	件数	(%)
時間的な余裕があれば学びたい	481	54.7
金銭的な余裕があれば学びたい	168	19.1
無料の日本語教室があれば学びたい	259	29.4
日本語教室と時間が合えば学びたい	313	35.6
日本語教室が近くにあれば学びたい	222	25.2
自分の学びたいことと、日本語教室の教え方や内容、レベルが合えば学びたい	153	17.4
良い教科書があれば学びたい	66	7.5
日本語学習用のテレビ番組があれば学びたい	56	6.4
日本語学習用のインターネットのページやアプリのプログラムがあれば学びたい	119	13.5
日本語学習用の通信教育のプログラムがあれば学びたい	101	11.5
無回答	106	12.0
調査数	880	

問18 日本語を使う状況

	件数	(%)
近所付き合いで	1,032	70.3
電車やバスに乗るとき	804	54.8
日常生活や買い物で	1,173	80.0
役所の手続で	795	54.2
郵便局・銀行の手続で	885	60.3
仕事を探するとき	637	43.4
仕事で	1,200	81.8
病気になったとき	860	58.6
学校の先生と話すとき	464	31.6
その他	300	20.4
無回答	12	0.8
調査数	1,467	

問19 日本語が不自由なために、困ったことがあった状況

	件数	(%)
近所付き合いで	202	13.8
電車やバスに乗るとき	142	9.7
日常生活や買い物で	185	12.6
役所の手続で	436	29.7
郵便局・銀行の手続で	369	25.2
仕事を探するとき	195	13.3
仕事で	318	21.7
病気になったとき	378	25.8
学校の先生と話すとき	124	8.5
その他	141	9.6
困ったことはない	532	36.3
無回答	32	2.2
調査数	1,467	

問20 生活に関する情報の入手方法

	件数	(%)
日本政府・県・市町等の行政機関のSNS (Facebook、X、LINE等)	546	37.2
自国の大使館・領事館のSNS (Facebook、X、LINE等)	290	19.8
その他のSNS (Facebook、X、LINE等)	540	36.8
母国語のラジオ・テレビ	298	20.3
母国語の新聞・雑誌	205	14.0
日本語のラジオ・テレビ	479	32.7
日本語の新聞・雑誌	158	10.8
友人・親戚からの情報	716	48.8
会社からの情報	549	37.4
日本政府・県・市町のウェブサイト	232	15.8
自国の大使館・領事館のウェブサイト	144	9.8
自治体の広報紙	240	16.4
特にない	83	5.7
その他	131	8.9
無回答	13	0.9
調査数	1,467	

問21 災害時における情報入手方法

	件数	(%)
日本政府・県・市町等の行政機関のSNS (Facebook、X、LINE等)	650	44.3
自国の大使館・領事館のSNS (Facebook、X、LINE等)	255	17.4
その他のSNS (Facebook、X、LINE等)	535	36.5
母国語のラジオ・テレビ	282	19.2
日本語のラジオ・テレビ	678	46.2
友人・親戚からの情報	624	42.5
日本政府・県・市町のウェブサイト	324	22.1
自国の大使館・領事館のウェブサイト	122	8.3
民間の災害情報発信ウェブサイト	236	16.1
母国語に対応した防災情報提供アプリ	246	16.8
市町の防災メール	326	22.2
わからない	30	2.0
その他	115	7.8
無回答	12	0.8
調査数	1,467	

問22 災害に備えた準備をしているか

	件数	(%)
食糧や飲料水を準備している	800	54.5
携帯ラジオや懐中電灯などを準備している	493	33.6
貴重品（パスポート・財布等）をすぐに持ち出せるようにしている	896	61.1
日用品（衣服、救急セット、医薬品等）をすぐに持ち出せるようにしている	539	36.7
地震や水害の際に避難する場所をハザードマップなどで確認している	461	31.4
災害の際の家族との連絡方法を決めている	373	25.4
建物の耐震対策をしている	172	11.7
家具や冷蔵庫を固定し、倒れるのを防いでいる	207	14.1
消火器を準備している	172	11.7
防災訓練に参加している	250	17.0
「静岡県防災」などの防災アプリ等で、災害情報を入手している	328	22.4
特に何もしていない	205	14.0
その他	83	5.7
無回答	15	1.0
調査数	1,467	

問23 地域の犯罪を減らすために必要なこと

	件数	(%)
子どもの防犯教育を強化する	737	50.2
大人向けに防犯への啓発を強化する	664	45.3
近所の人のつながりや助け合いを深める	655	44.6
住民による見守り活動やパトロールなどの防犯活動を強化する	603	41.1
警察のパトロールを強化する	681	46.4
防犯カメラや防犯灯を増設する	806	54.9
金融機関やコンビニなど事業所の防犯対策を強化する	463	31.6
特にない	135	9.2
その他	83	5.7
無回答	20	1.4
調査数	1,467	

問24 自転車のルールについて知っていること

	件数	(%)
自転車に乗るときにはヘルメットをかぶらなければならない	1,143	77.9
自転車に乗るときには自転車保険に入らなければならない	993	67.7
自転車は、車道の一番左を走らなければならない	1,080	73.6
自転車は、交差点では信号や「止まれ」の標識をみて止まり、安全を確認しなければならない	1,286	87.7
どれも知らなかった	37	2.5
無回答	13	0.9
調査数	1,467	

問25 困ったときの相談先

	件数	(%)
県・市町の相談窓口	534	36.4
勤務先（派遣先）や監理団体の社員	694	47.3
外国人の友人・親戚	652	44.4
日本人の友人・親戚	480	32.7
宗教施設	92	6.3
大使館・領事館	214	14.6
インターネット、SNSなど	461	31.4
わからない	39	2.7
その他	105	7.2
無回答	11	0.7
調査数	1,467	

問26 老後のことを考えて貯金をしているか

	件数	(%)
している	915	62.4
していない	525	35.8
無回答	27	1.8
調査数	1,467	100.0

問26 - 1 いくら貯金をしているか

	件数	(%)
100万円より少ない	587	64.2
100～300万円	179	19.6
300～500万円	48	5.2
500万円より多い	65	7.1
無回答	36	3.9
調査数	915	100.0

問27 日本での健康保険への加入状況

	件数	(%)
国民健康保険	439	29.9
会社の健康保険	826	56.3
その他の保険	54	3.7
入っていない	23	1.6
わからない	111	7.6
無回答	14	1.0
調査数	1,467	100.0

問27 - 1 健康保険へ加入していない理由

	件数	(%)
健康保険の制度がわからないから	12	52.2
会社で入らせてくれないから	2	8.7
お金が払えないから	5	21.7
もうすぐ帰国するから	0	0.0
その他	10	43.5
無回答	0	0.0
調査数	23	

問28 日本での年金への加入状況

	件数	(%)
国民年金	553	37.7
厚生年金	534	36.4
民間の年金保険	17	1.2
母国の公的年金	26	1.8
その他の年金	12	0.8
入っていない	79	5.4
わからない	221	15.1
無回答	25	1.7
調査数	1,467	100.0

問28 - 1 年金へ加入していない理由

	件数	(%)
年金の制度がわからないから	17	21.5
会社で入らせてくれないから	5	6.3
お金が払えないから	17	21.5
いずれ帰国するから	12	15.2
その他	36	45.6
無回答	2	2.5
調査数	79	

問29 介護保険サービスの利用の有無

	件数	(%)
ある	227	15.5
ない	891	60.7
わからない	311	21.2
無回答	38	2.6
調査数	1,467	100.0

問29 - 1 介護保険サービスを利用したことがない理由

	件数	(%)
介護保険制度がわからないから	488	40.6
介護保険制度は知っているが相談先がわからないから	124	10.3
使う必要がないから	473	39.4
その他	135	11.2
無回答	69	5.7
調査数	1,202	

問30 病気やけがをした時困ったことはあるか

	件数	(%)
病院で症状を正確に伝えられなかった	324	22.1
どこの病院に行けば良いかわからなかった	215	14.7
病院の受付でうまく話せなかった	215	14.7
医療費が高かった	154	10.5
診断結果や治療方法がわからなかった	179	12.2
病院での手続きがわからなかった	104	7.1
健康や医療について気軽に相談できるところがなかった	83	5.7
病院で出される薬の飲み方や使い方がわからなかった	25	1.7
医療保険制度がわからなかった	57	3.9
特に困ったことはない	799	54.5
その他	104	7.1
無回答	43	2.9
調査数	1,467	

問31 同居している6歳から15歳までの子どもの人数

	件数	(%)
1人	193	13.2
2人	91	6.2
3人	28	1.9
4人以上	9	0.6
同居している6歳から15歳までの子どもはいない	975	66.5
無回答	171	11.7
調査数	1,467	100.0

問32 同居している6歳から15歳までの子どものうち、一番上の子どもが最もよく話せる言語

	件数	(%)
日本語	147	45.8
日本語以外	62	19.3
両方とも同じくらい	91	28.3
無回答	21	6.5
調査数	321	100.0

問32-1 同居している6歳から15歳までの子どもが日本語以外で最もよく話せる言語

	件数	(%)
ポルトガル語	63	41.2
フィリピン語	33	21.6
中国語	14	9.2
ベトナム語	17	11.1
韓国語	1	0.7
スペイン語	11	7.2
インドネシア語	3	2.0
ネパール語	4	2.6
その他	4	2.6
無回答	3	2.0
調査数	153	100.0

問32 - 2 子どもが勉強で困っていること

	件数	(%)
勉強に集中できない	52	16.2
テストで良い点数がとれない	48	15.0
授業や宿題の内容が難しすぎる	24	7.5
授業や宿題で使われている日本語がわからない	26	8.1
やる気がおきない	24	7.5
わからないとき勉強を教えてくれる人がいない	26	8.1
困っていることはない	140	43.6
その他	34	10.6
無回答	34	10.6
調査数	321	

問33 日本に住んでいる16歳～29歳の子どもについて

	件数	(%)
16歳～29歳の子どもがいる	330	22.5
自分が16歳～29歳だ	398	27.1
あてはまるものはない	649	44.2
無回答	90	6.1
調査数	1,467	100.0

問33 - 1 日本に住んでいる16歳～29歳の子どもの就学状況、または最終学歴

	件数	(%)
日本の高校	159	21.8
日本の短大・高専・専門学校	71	9.8
日本の大学・大学院	83	11.4
外国人学校	40	5.5
高校に進学していない	13	1.8
母国の高校・大学・大学院	175	24.0
その他	49	6.7
無回答	138	19.0
調査数	728	100.0

問34 16歳～29歳で来日した子どもがいるか

	件数	(%)
16歳～29歳で来日した子どもがいる	104	7.1
自分が16歳～29歳で来日した	327	22.3
あてはまるものはない	858	58.5
無回答	178	12.1
調査数	1,467	100.0

問34 - 1 16歳～29歳で来日した子どもは日本語をどのように学んだか

	件数	(%)
海外	55	12.8
学校	85	19.7
外国人学校	20	4.6
日本語学校	112	26.0
市や町の日本語教室	36	8.4
塾	26	6.0
企業	94	21.8
ハローワーク	9	2.1
独学	187	43.4
オンライン	80	18.6
つなひろ	5	1.2
その他	47	10.9
無回答	15	3.5
調査数	431	

問35 ふじのくにに中学校が、静岡県内にあることを知っているか

	件数	(%)
内容を知っている	56	3.8
見たり、聞いたりしたことはあるが、詳しくは知らない	177	12.1
知らない	1,112	75.8
無回答	122	8.3
調査数	1,467	100.0

問36 子どもの将来についてどのように考えているか

	件数	(%)
日本で進学・就職し、日本で生活することを希望する	219	68.2
日本で進学・就職するが、いずれは母国に戻ることを希望する	17	5.3
日本で進学するが、母国で就職することを希望する	1	0.3
母国で進学・就職することを希望する	7	2.2
わからない	32	10.0
その他	33	10.3
無回答	12	3.7
調査数	321	100.0

問37 子どもの教育について、困っていること、困った経験をしたこと

	件数	(%)
日本の教育制度がわからない	31	9.7
学校や進学・就職に関しての情報がわからない、または得られない	21	6.5
学校や進学・就職に関して、相談できる人がいない	16	5.0
学校のルール・習慣が母国と違う	44	13.7
学校からのお知らせや書類の日本語が難しい	58	18.1
子どもの学力が不安	54	16.8
子どもの日本語学習が不十分	31	9.7
入学試験（高校受験・大学受験など）が難しい	39	12.1
日本の学校で教育に必要な費用が高い	96	29.9
外国人学校の授業料が高い	32	10.0
日本の学校で差別やいじめがある	32	10.0
困っていること、困ったことはない	98	30.5
その他	44	13.7
無回答	13	4.0
調査数	321	

問38 団体や行事に参加したことがあるか

A 地域の行事（お祭りや地域運動会等）

	件数	(%)
積極的に参加している	179	12.2
参加したことがある	511	34.8
参加したことはない	603	41.1
無回答	174	11.9
調査数	1,467	100.0

問38 団体や行事に参加したことがあるか

B 自治体やボランティアによる日本語教室

	件数	(%)
積極的に参加している	68	4.6
参加したことがある	252	17.2
参加したことはない	881	60.1
無回答	266	18.1
調査数	1,467	100.0

問38 団体や行事に参加したことがあるか

C 教会などの宗教団体の礼拝や活動、行事（お祭りやスポーツ）等

	件数	(%)
積極的に参加している	141	9.6
参加したことがある	299	20.4
参加したことはない	763	52.0
無回答	264	18.0
調査数	1,467	100.0

問38 団体や行事に参加したことがあるか

D 宗教団体以外の同国人団体の会合や行事（お祭りやスポーツ）等

	件数	(%)
積極的に参加している	112	7.6
参加したことがある	346	23.6
参加したことはない	741	50.5
無回答	268	18.3
調査数	1,467	100.0

問39 現在の仕事

	件数	(%)
直接雇用（正社員）	382	26.0
直接雇用（臨時雇用、パート・アルバイト）	185	12.6
間接雇用（派遣・請負）	342	23.3
技能実習生	239	16.3
自営業主	50	3.4
家族従業者	10	0.7
失業中で仕事を探している	42	2.9
主に家事をしている	50	3.4
学生	42	2.9
引退・退職して、いまは仕事をしていない	44	3.0
その他	42	2.9
無回答	39	2.7
調査数	1,467	100.0

問39 - 1 今の就業形態を選んだ理由

	件数	(%)
自分の都合の良い日（時間）に働きたいから	114	9.5
勤務時間・日数が短いから	22	1.8
休みがとりやすいから	35	2.9
専門的な知識や技術を活かせるから	120	10.0
責任が小さいから	7	0.6
給料が高いから	56	4.7
安定しているから	272	22.7
正社員として採用されなかったから	45	3.8
好きな仕事だから	133	11.1
来日する前に決められていたから	227	18.9
その他	120	10.0
無回答	47	3.9
調査数	1,198	100.0

問39 - 2 今の就業形態に満足しているか

	件数	(%)
満足している	515	43.0
満足していないが不満でもない	565	47.2
不満がある	91	7.6
無回答	27	2.3
調査数	1,198	100.0

問39 - 3 現在の仕事内容

	件数	(%)
生産工程・一般作業（製造、修理、輸送、建設、土木などの労働者）	718	59.9
販売・サービス（店員、セールスマン、接客など）	94	7.8
事務的職業（事務員、銀行員など）	25	2.1
専門職・管理職（エンジニア、看護師、教員、通訳、管理職など）	68	5.7
介護職員	27	2.3
その他	236	19.7
無回答	30	2.5
調査数	1,198	100.0

問39 - 4 職場でより活躍するために希望すること

	件数	(%)
仕事の指示等を多言語化、「やさしい日本語」化してほしい	412	34.4
職場で日本語教室を開いてほしい	135	11.3
企業が自分に期待することや仕事の内容を明確にしてほしい	173	14.4
外国人に専門的な知識・技術を教える機会を提供してほしい	276	23.0
外国人も日本人と同様に管理職等に登用してほしい	244	20.4
日本人社員と交流することができる場を設けてほしい	165	13.8
特になし	393	32.8
その他	98	8.2
無回答	32	2.7
調査数	1,198	

問40 外国人が静岡県で就職・就労するときに課題となること

	件数	(%)
県内企業の情報が少ない	350	23.9
首都圏や母国などと比較し、給与が低い	404	27.5
専門性を生かせる仕事がない（やりがいのある仕事がない）	153	10.4
求められる日本語能力が高い	334	22.8
日本語で仕事することへの不安	274	18.7
日本で生活することへの不安	137	9.3
子供の教育環境への不安	111	7.6
母国にいる家族の理解が得られない	31	2.1
査証（労働ビザ）の取得が困難	115	7.8
その他	362	24.7
無回答	131	8.9
調査数	1,467	

問41 静岡県に住んでいる理由

	件数	(%)
親戚や友人がいるから	516	35.2
相談窓口など外国人への支援が充実しているから	166	11.3
静岡県に長く生活しているから	579	39.5
都会と比べて生活費が安いから	153	10.4
会社や知人から勧められたから	147	10.0
来日する前に決められていたから	370	25.2
特に理由はない	125	8.5
その他	117	8.0
無回答	34	2.3
調査数	1,467	

問42 市役所や県に対して望む行政サービス

	件数	(%)
役所などで、多言語による情報提供や相談を充実する	625	42.6
役所などで、「やさしい日本語」による対応を充実する	504	34.4
災害時に多言語や「やさしい日本語」で情報を提供する	584	39.8
外国人への差別意識をなくすよう啓発する	588	40.1
外国人の子どもの教育を支援する	408	27.8
日本人と外国人の交流の場を設ける	453	30.9
医療機関受診時の多言語対応を支援する	572	39.0
外国人に対する福祉を充実する	520	35.4
住宅に関する情報提供を行う	326	22.2
外国人の技能のスキルアップを支援する	403	27.5
労働環境の改善を促す	445	30.3
外国人の日本語学習を支援する	519	35.4
食に関する情報提供（宗教上の食の禁忌に対応可能な店舗等）を行う	211	14.4
特になし	209	14.2
その他	105	7.2
無回答	58	4.0
調査数	1,467	